

令和7年度

江戸川区民世論調査

< 第 3 8 回 >

江戸川区

目次

I 調査の概要.....	1
II 結果のあらまし	15
III 結果と分析.....	23
1. 居住年数・永住意向について	25
(1) 居住年数.....	25
(2) 永住意向.....	28
(3) 愛着度.....	33
2. 江戸川区の現況について.....	36
(1) 各項目の満足度	36
3. 広報と情報化について	95
(1) 情報の入手手段.....	95
4. SDG s について.....	97
(1) 日ごろから取り組んでいるSDG s の行動	97
5. 共生社会について.....	99
(1) 共生社会についての認知度.....	99
6. 人権について	101
(1) 関心のある人権課題.....	101
7. 文化芸術活動について	103
(1) 1 年間にに行った文化芸術活動や鑑賞	103
(2) 文化芸術活動や鑑賞を行う頻度	105
(3) 文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由.....	107
8. 自転車の利用について	109
(1) 自転車用ヘルメットの着用状況	109
(2) 加入している自転車損害賠償保険の種類.....	111
9. 交通安全について.....	113
(1) 道路を歩いているときに危険な経験をしたか.....	113
10. 脱炭素化について.....	115
(1) 関心がある取り組み.....	115
(2) 導入するときの課題・各項目	117
11. 災害対策について.....	131
(1) 大規模水害時の避難するタイミング	131
(2) 広域避難しない理由・各項目	134
(3) 地震への備え・各項目	149
(4) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について	160
(5) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由.....	162
(6) 災害情報の入手方法.....	164

12. 治安について	166
(1) 地域の治安	166
(2) 治安が悪いと感じる理由	169
13. 地域活動の参加状況について	172
(1) 参加している地域の活動・団体	172
(2) 参加していない理由	174
(3) 参加したいと思うか	176
(4) 参加したい地域の活動・団体	178
14. 地域力の醸成について	180
(1) 連携して取り組んでほしいこと	180
15. 困りごとや悩みについて	182
(1) 困りごとや悩みの有無	182
(2) 困りごとや悩みの具体的内容	184
(3) 相談する相手	186
16. 区政への要望について	188
(1) 今後推進してほしい施策	188
IV 調査票	191

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対象

満18歳以上の区民4,000人。対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出。

3. 期間

令和7年4月18日（金）～5月8日（木）＜21日間＞

4. 内容

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 居住年数・永住意向について | (9) 交通安全について |
| (2) 江戸川区の現況について | (10) 脱炭素化について |
| (3) 広報と情報化について | (11) 災害対策について |
| (4) SDGsについて | (12) 治安について |
| (5) 共生社会について | (13) 地域活動の参加状況について |
| (6) 人権について | (14) 地域力の醸成について |
| (7) 文化芸術活動について | (15) 困りごとや悩みについて |
| (8) 自転車の利用について | (16) 区政への要望について |

5. 調査方法

調査票を対象者へ郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収とWEB回収の併用。

【回収結果】

- ・標本数4,000件
- ・有効回収数1,760件有効回収率44.0%
(内、郵送は1,161件、WEB回収は599件)

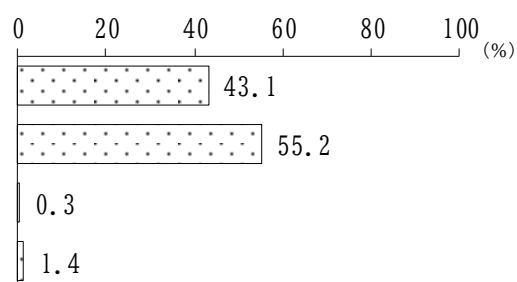
(人口は、令和7年4月1日現在)

18歳以上の人口（人）	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
596,989	4,000	1,760	44.0

6. 回答者の属性

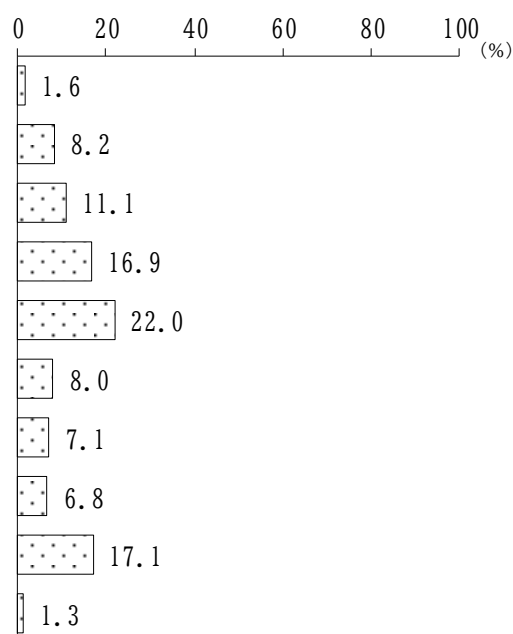
(1) F1 性別

	基数	構成比
男性	759	43.1
女性	971	55.2
その他	5	0.3
無回答	25	1.4
合 計	1,760	100.0



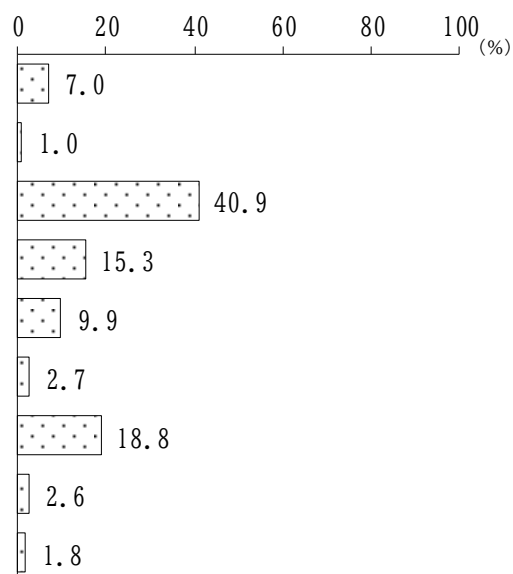
(2) F2 年齢

	基数	構成比
18・19歳	28	1.6
20～29歳	145	8.2
30～39歳	195	11.1
40～49歳	297	16.9
50～59歳	387	22.0
60～64歳	141	8.0
65～69歳	125	7.1
70～74歳	119	6.8
75歳以上	301	17.1
無回答	22	1.3
合 計	1,760	100.0



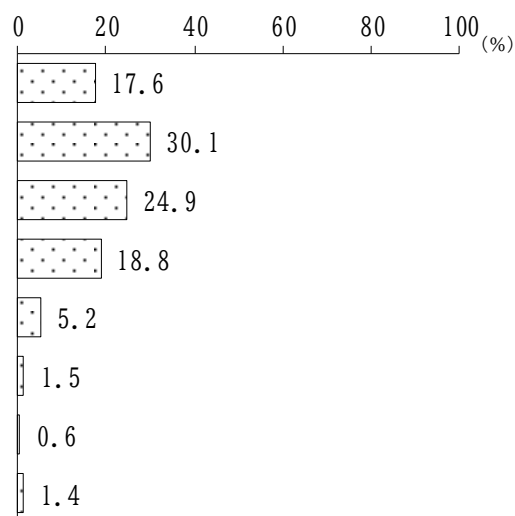
(3) F3 職業

	基数	構成比
自営業者	123	7.0
家族従業（家事手伝い）	17	1.0
勤め（フルタイム）	720	40.9
勤め（パートタイム）	270	15.3
家事専業	174	9.9
学生	48	2.7
無職	331	18.8
その他	46	2.6
無回答	31	1.8
合 計	1,760	100.0



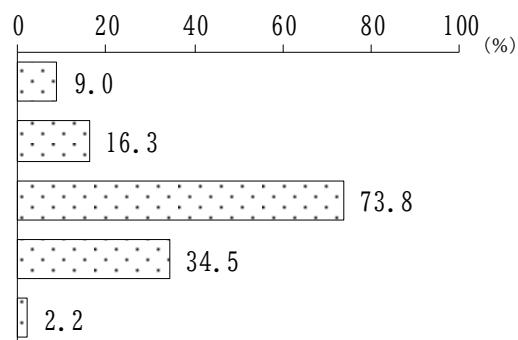
(4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1人	309	17.6
2人	529	30.1
3人	439	24.9
4人	331	18.8
5人	92	5.2
6人	26	1.5
7人以上	10	0.6
無回答	24	1.4
合 計	1,760	100.0



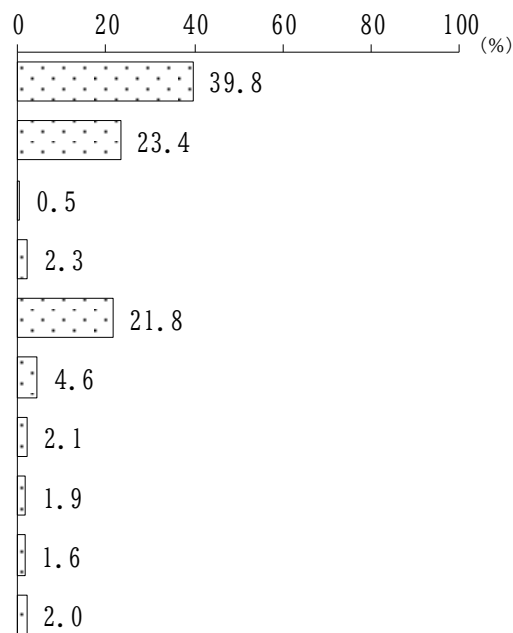
(5) F4-1 同居者

	基数	構成比
小学校入学前のお子さん	129	9.0
小・中学生	233	16.3
16～64歳の方	1,053	73.8
65歳以上の方	493	34.5
無回答	31	2.2
合 計	1,427	100.0



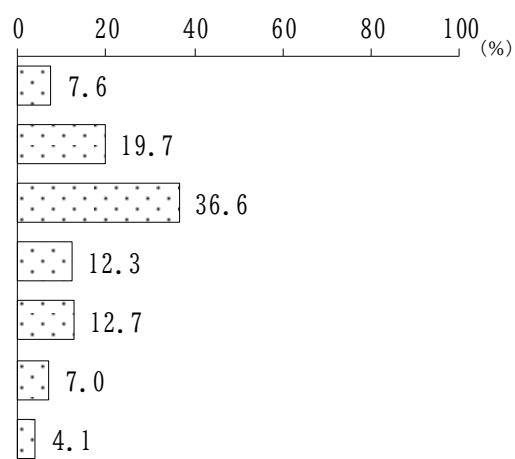
(6) F5 居住形態

	基数	構成比
持ち家(一戸建)	701	39.8
持ち家(共同住宅)	411	23.4
持ち家(長屋建・その他)	8	0.5
民営の賃貸住宅(一戸建)	40	2.3
民営の賃貸住宅(共同住宅)	383	21.8
公営の賃貸住宅	81	4.6
都市再生機構・公社などの賃貸住宅	37	2.1
給与住宅(社宅・公務員住宅など)	34	1.9
借間	29	1.6
無回答	36	2.0
合 計	1,760	100.0



(7) F 6 居住地域

	基数	構成比
小松川地区	133	7.6
中央地区	346	19.7
葛西地区	644	36.6
小岩地区	217	12.3
東部地区	224	12.7
鹿骨地区	123	7.0
無回答	73	4.1
合 計	1,760	100.0



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

○図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。

○回答の比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。

○1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

○分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの（n）の合計が全体と一致しない場合がある。

○nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。

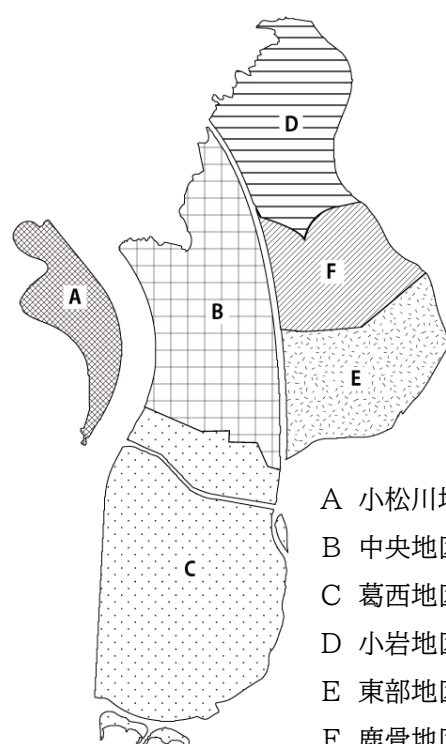
○地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

【管轄別区域表】

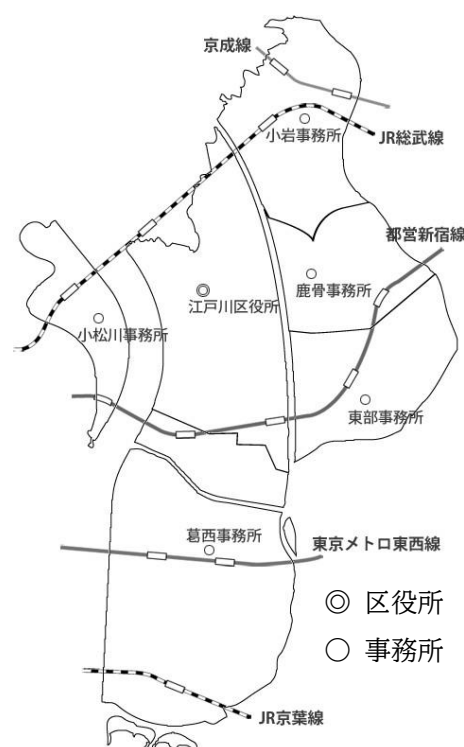
管轄名	管轄内町丁名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1～3丁目、平井1～7丁目
区民課 (中央地区)	中央1～4丁目、松島1～4丁目、松江1～7丁目、東小松川1～4丁目、西小松川町、大杉1～5丁目、西一之江1～4丁目、春江町4丁目、上一色1～3丁目、本一色1～3丁目、一之江1～8丁目、西瑞江4丁目1～2・10～27、江戸川4丁目15～25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1～7丁目、宇喜田町、東葛西1～9丁目、西葛西1～8丁目、中葛西1～8丁目、南葛西1～7丁目、北葛西1～5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1～6丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1～6丁目、西小岩1～5丁目、南小岩1～8丁目、北小岩1～8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1～3丁目、西瑞江3丁目・4丁目5～9、江戸川1～3丁目・4丁目1～14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3～6丁目、南篠崎町1～5丁目、東篠崎1・2丁目、瑞江1～4丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1～6丁目、上篠崎1～4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

【地区別区分図】



- A 小松川地区（小松川事務所管内）
 B 中央地区（区民課管内）
 C 葛西地区（葛西事務所管内）
 D 小岩地区（小岩事務所管内）
 E 東部地区（東部事務所管内）
 F 鹿骨地区（鹿骨事務所管内）



回答比率(P) 回答者数(n)	10% または 90%程度	20% または 80%程度	30% または 70%程度	40% または 60%程度	50%程度
1,760	±1.43	±1.91	±2.18	±2.34	±2.38
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

（注／この表の見方）

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,760であり、その設問中の選択肢の回答比率が60.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.34%以内（57.66～62.34%）である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果（母集団との比較）



※内円は母集団 18 歳以上の人口（N=596,989）の構成比、外円は調査回答者（n=1,760）の構成比を示している。

※性別が「その他」の回答者については「n」が少ないため掲載をしていない。

9. 過去の世論調査の概要（主要項目）

回 数 (時 期)		第1回 (\$51.1)	第2回 (\$52.1)	第3回 (\$53.1)	第4回 (\$54.1)	第5回 (\$55.1)	第6回 (\$56.1)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%
主 な 調 査 内 容	永住意向	55.2%	－	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	－	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への要望 (上位3つ)	保健・衛生・ 医療	－	－	－	－	－
		災害対策	－	－	－	－	－
		公害対策	－	－	－	－	－
	区政への信頼度	76.7%	－	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の 実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回 数 (時 期)		第7回 (\$57.1)	第8回 (\$58.1)	第9回 (\$59.1)	第10回 (\$60.1)	第11回 (\$61.1)	第12回 (\$62.1)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%
主 な 調 査 内 容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・ 医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の調査項目	地域活動への 参加意向	区民の 健康状態	ボランティア 活動の 参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の 健康状態	
	街の美観 について	区民の 悩み事の実態	区内の バス交通	地域情報の 媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回 数 (時 期)	第 13 回 (S63.2)	第 14 回 (H 元.1)	第 15 回 (H2.1)	第 16 回 (H3.1)	第 17 回 (H4.1)	第 18 回 (H5.1)
標 本 数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%
	施設への要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	病院	病院
		病院	大型店	大型店	大型店	大型店
	施策への要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	区政への信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%
	区政への関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%
その他の調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の健康状態	区民のいきがい	保健所の利用状況
	友好都市との交流	ボランティア活動の考え方	国際交流の参加意向	住みよさの評価	地元商店街の印象	広報紙 閲覧状況

回 数 (時 期)	第 19 回 (H6.1)	第 20 回 (H7.1)	第 21 回 (H8.1)	第 22 回 (H8.10)	第 23 回 (H10.10)	第 24 回 (H12.7)
標 本 数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%
	施設への要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	駐車場・ 駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への要望 (上位3つ)	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—
	区政への関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—
その他の調査項目	区のイメージ	江戸川区の 魅力	災害時への 備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の 魅力	江戸川区の 将来像
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの 満足度	生活環境 満足度	産業振興施策	介護保険に ついて

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回 数 (時 期)		第 25 回 (H14.4)	第 26 回 (H16.6)	第 27 回 (H18.6)	第 28 回 (H20.5)	第 29 回 (H22.5)	第 30 回 (H24.5)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への要望(※) (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への要望 (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への信頼度	－	－	－	－	－	－
	区政への関心度	－	－	－	－	64.5%	63.4%
その他の調査項目	区のイメージ	まちづくりの 状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・ 健(検)診	喫煙について	

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回 数 (時 期)		第 31 回 (H26.5)	第 32 回 (H29.5)	第 33 回 (R2.11)	第 34 回 (R3.11)	第 35 回 (R4.10)	第 36 回 (R5.10)
標 本 数		2,000	2,000	4,000	4,000	4,000	4,000
回 収 数 (回収率)		1,512 75.6%	1,486 74.3%	1,548 38.7%	1,836 45.9%	1,767 44.2%	1,746 43.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	74.4%	73.3%	74.5%	76.3%	86.9%	85.2%
	転出意向	4.6%	6.2%	8.5%	7.7%	3.2%	3.4%
	施設への要望 (上位3つ)	－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
	施策への要望 (※) (上位3つ)	震災	震災	水害	水害	水害	水害
		防犯	防犯	震災	震災	震災	震災
		水害	水害	防犯対策	防犯対策	防犯対策	防犯対策
	区政への信頼度	－	－	－	－	－	－
	区政への関心度	－	－	－	－	－	－
その他の調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レン タサイクル について	スポーツの 実践について	災害対策 について	SDGs について	災害に強い 安全安心な まちづくり	ひきこもり 支援について	

I 調査の概要

回 数 (時 期)		第 37 回 (R6.4)	第 38 回 (R7.4)
標 本 数		4,000	4,000
回 収 数 (回収率)		1,667 41.7%	1,760 44.4%
主 な 調 査 内 容	永住意向	84.9%	85.2%
	転出意向	3.4%	3.4%
	施設への要望 (上位3つ)	—	—
		—	—
		—	—
	施策への要望 (※) (上位3つ)	水害	水害
		震災	震災
		防犯対策	防犯対策
	区政への信頼度	—	—
	区政への関心度	—	—
	その他の調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度
		災害対策 について	地域活動の 参加状況 について

Ⅱ 結果のあらまし

Ⅱ 結果のあらまし

1. 居住年数・永住意向について（25～35ページ）

【問1（25ページ）】

江戸川区の居住者は、『長期の居住者』（「21年以上31年未満」＋「31年以上」）（62.3%）、『中期の居住者』（「6年以上11年未満」＋「11年以上21年未満」）（22.7%）、『短期の居住者』（「1年未満」＋「1年以上6年未満」）（14.1%）の順に高くなっている。選択肢の中では「31年以上」が46.3%で最も高くなっている。

【問2（28ページ）】

「ずっと住みたい」が47.6%、「当分の間は住みたい」が37.6%で、『永住意向』（「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」）は85.2%となっている。一方、『転出意向』（「区外に転出したい」）は3.4%となっている。

【問3（33ページ）】

「感じている」が55.7%、「やや感じている」が33.8%で、『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）は89.5%となっている。一方、『感じていない』（「感じていない」＋「あまり感じていない」）は8.9%となっている。

2. 江戸川区の現況について（36～94ページ）

【問4（36ページ）】

江戸川区の19項目の満足度について尋ねたところ、「満足」は【①買い物の便】（38.4%）が4割近くと最も高く、次いで【④公園・水辺の整備】（34.5%）、【⑧ごみの収集】（31.6%）、【⑤緑化の推進】（31.4%）と続いている。一方、「不満」は【⑩地域の治安・安全性】（6.5%）、【⑪災害への備え】（6.5%）が最も高くなっているが、いずれの項目でも1割未満となっている。

3. 広報と情報化について（95～96ページ）

【問5（95ページ）】

「広報誌（広報えどがわ）紙版」（50.7%）が約5割と最も高く、次いで「区公式ホームページ」（24.0%）、「町内・自治会回覧からの資料」（23.5%）、「親族、友人、知人に聞く」（22.5%）と続いている。

4. SDGsについて（97～98ページ）

【問6（97ページ）】

「食品ロスを防ぐ」（65.2%）が6割台半ばと最も高く、次いで「電気も水も大切に使う」（57.7%）、「健康的な生活を送る」（56.9%）、「リサイクルをする」（50.5%）と続いている。

5. 共生社会について（99～100ページ）

【問7（99 ページ）】

共生社会についての認知度は、「言葉だけは聞いたことがある」（39.8%）が4割弱、「知っている」（33.2%）は3割強となっている。

6. 人権について（101～102ページ）

【問8（101 ページ）】

「高齢者」（44.8%）が4割台半ばと最も高く、次いで「こども」（40.5%）、「女性」（37.9%）、「障害者」（36.5%）と続いている。一方、「部落差別（同和問題）」（8.6%）、「刑を終えて出所した人やその家族」（7.5%）、「アイヌの人々」（7.2%）、「ハンセン病患者・元患者やその家族」（6.4%）は1割未満と低い。

7. 文化芸術活動について（103～108ページ）

【問9（103 ページ）】

「音楽（歌唱、楽器の演奏、作曲など）の活動または鑑賞」（36.7%）が4割近くと最も高く、次いで「メディア芸術（映画、アニメーションなど）の製作または鑑賞」（36.0%）、「美術（絵画、彫刻、写真、書、工芸、盆栽、建築）などの製作または鑑賞」（30.7%）、「文芸（小説、俳句、短歌、随筆など）の製作または鑑賞」（16.0%）と続いている。

【問10（105 ページ）】

文化芸術活動や鑑賞を行う頻度は、「年1～3日」（30.4%）が約3割、「月1日～3日」（19.0）は2割弱となっている。

【問11（107 ページ）】

「時間に余裕がない」（43.8%）が4割強と最も高く、次いで「活動に関する情報が少ない」（19.7%）、「魅力的な活動、イベントが少ない」（19.5%）、「一緒に活動する仲間が見つからない」（17.9%）と続いている。

8. 自転車の利用について（109～112ページ）

【問12（109 ページ）】

「自転車を利用することがあるが、ヘルメットを持っていない」（49.5%）が5割弱と最も高くなっている。次いで「ヘルメットを持っているが、着用していない」（6.3%）、「いつも着用している」（3.4%）となっている。一方、「自転車を利用しない」（36.1%）は4割近くとなっている。

【問13（111 ページ）】

「自転車利用者向けの保険」（23.4%）が2割強と最も高くなっている。次いで「傷害保険などの特約」（20.9%）、「TS マーク付帯保険」（2.8%）となっている。一方、「加入していない」（12.6%）は1割強となっている。

9. 交通安全について（113～114ページ）**【問 14（113 ページ）】**

「自転車と接触した、または接触しそうになった」（39.8%）が4割強と最も高くなっている。次いで「他の歩行者と接触した、または接触しそうになった」（19.1%）、「自動車と接触した、または接触しそうになった」（10.3%）となっている。一方、「ない」（44.0%）は4割台半ばとなっている。

10. 脱炭素化について（115～130ページ）**【問 15（115 ページ）】**

「LED 照明や省エネ家電への買い替え」（62.7%）が6割強と最も高くなっている。次いで「太陽光発電・蓄電池の設置」（25.6%）、「持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用」（19.2%）となっている。一方、「関心があるものはない」（16.5%）は2割近くとなっている。

【問 16（117 ページ）】

導入するときの課題について尋ねたところ、「初期費用」は【① 太陽光発電・蓄電池の設置】が（53.0%）が5割強と最も高く、次いで【⑥ 高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入】（42.0%）、【⑦ 住宅の高断熱化（ZEH など）】（40.5%）と続いている。

11. 災害対策について（131～165ページ）**【問 17（131 ページ）】**

大規模水害時の避難するタイミングは、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」（36.6%）が4割近く、「24 時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う」（20.7%）は約2割となっている。

【問 18（134 ページ）】

問 23 で「大規模水害が発生する前に避難はできないと思う」または「区外への避難はしない」と回答した方に、広域避難しない（できない）理由を尋ねたところ、「思う」は【③広域避難する先の当てがない】（62.3%）が6割強と最も高く、次いで【②家や家財から長く離れることが心配】（40.3%）、【⑥自宅が一番安全だと思う】（35.7%）、【①仕事や学校がある】（29.9%）と続いている。一方、「思わない」は【⑤ペットなどを飼っている】（54.0%）が最も高くなっている。

【問 19（149 ページ）】

地震への備えについて、「はい」は【①消火器の使い方を知っている】（68.2%）が7割近くと最も高く、次いで【③自宅に3日分以上の物資を備蓄している】（50.6%）、【④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている】（49.5%）、【②近所の消火器がある場所を知っている】（46.1%）となっている。

【問 20 (160 ページ)】

「知らなかったが、利用したい」(79.5%)が8割弱と最も高くなっている。次いで、「知らなかったし、利用しない」(12.7%)、「知っていたし、利用したい」(3.7%)、「知っていたが、利用しない」(1.7%)となっている。『利用したい』合計は8割強と高くなっている一方、『知らなかった』合計は9割強と高く、認知度は低いことが読み取れる。

【問 21 (162 ページ)】

制度を利用しない理由を尋ねたところ、「自宅を離れたくない」(25.3%)が2割台半ばと最も高く、次いで「広域避難をどこにするかまだ決めていない」(20.9%)、「広域避難を検討していない」(19.0%)、「広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている」(17.4%)、「行政が確保する広域避難先に避難したい」(12.6%)となっている。

【問 22 (164 ページ)】

「区ホームページ」(31.9%)が3割強と最も高くなっている。次いで「防災アプリ」(28.1%)、「エリアメール・緊急速報メール」(23.6%)、「防災行政無線」(19.0%)となっている。

12. 治安について (166～171ページ)

【問 23 (166 ページ)】

「良い」が13.4%、「どちらかといえば良い」が47.2%で、『良い』(「良い」+「どちらかといえば良い」)は60.6%となっている。一方、『悪い』(「悪い」+「どちらかといえば悪い」)は25.2%となっている。

【問 24 (169 ページ)】

「タバコのポイ捨て・ごみの不法投棄」(70.5%)が約7割と最も高くなっている。次いで「公共の場所での迷惑行為(喫煙、けんか、客引きなど)」(51.6%)、「交通違反(交通事故、危険運転など)」(41.7%)、「窃盗(自転車盗、空き巣など)」(30.9%)となっている。

13. 地域活動の参加状況について (172～179ページ)

【問 25 (172 ページ)】

「町会・自治会」(29.9%)が3割弱と最も高くなっている。次いで「PTA」(5.7%)、「趣味」(4.9%)、「高齢者団体(くすのきクラブなど)・障害者団体」(4.0%)となっている。一方、「参加していない」(57.0%)は6割近くとなっている。

【問 26 (174 ページ)】

「仕事や家事(育児・介護など)が忙しい」(47.5%)が5割近くと最も高くなっている。次いで「興味がない」(31.9%)、「健康や体力に不安がある」(17.4%)、「経済的負担がある」(9.1%)となっている。

【問 27 (176 ページ)】

「思う」が10.2%、「まあ思う」が34.2%で、『思う』(「思う」+「まあ思う」)は44.4%となっている。一方、『思わない』(「思わない」+「あまり思わない」)は53.6%となっている。

【問 28 (178 ページ)】

「趣味」(23.1%) が2割強と最も高くなっている。次いで「ボランティア」(13.4%)、「町会・自治会」(12.2%)、「スポーツ団体」(8.9%)となっている。一方、「参加したい活動・団体はない」(36.9%) は4割近くとなっている。

14. 地域力の醸成について (180～181ページ)

【問 29 (180 ページ)】

「防犯に関する活動(防犯パトロールなど)」(43.1%) が4割強と最も高くなっている。次いで「防災に関する活動(防災訓練・避難訓練・災害要配慮者支援など)」(42.1%)、「美化活動(道路・公園の清掃活動・リサイクル活動など)」(32.2%)、「まつり(祭事含む)や盆踊りなどの地域の賑わいづくり」(28.8%) となっている。

15. 困りごとや悩みについて (182～187ページ)

【問 30 (182 ページ)】

日常生活の中での困りごとや悩みは、「ある」(43.9%) が4割強、「ない」(52.0%) は5割強となっている。

【問 31 (184 ページ)】

「経済的なこと」(55.4%) が5割台半ばと最も高くなっている。次いで「健康のこと」(43.5%)、「住まいや生活環境」(33.6%)、「子育て・介護のこと」(28.1%) となっている。

【問 32 (186 ページ)】

「家族・親戚」(53.9%) が5割強と最も高くなっている。次いで「友人・知人」(31.6%)、「病院・診療所の医師」(13.6%)、「職場関係者」(11.5%) となっている。一方、「相談する人はいない」(13.8%) は1割強となっている。

16. 区政への要望について (188～190ページ)

【問 33 (188 ページ)】

「水害対策」(36.5%) が4割近くと最も高く、次いで「震災対策」(31.2%)、「防犯対策」(21.8%) と続いている。

Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

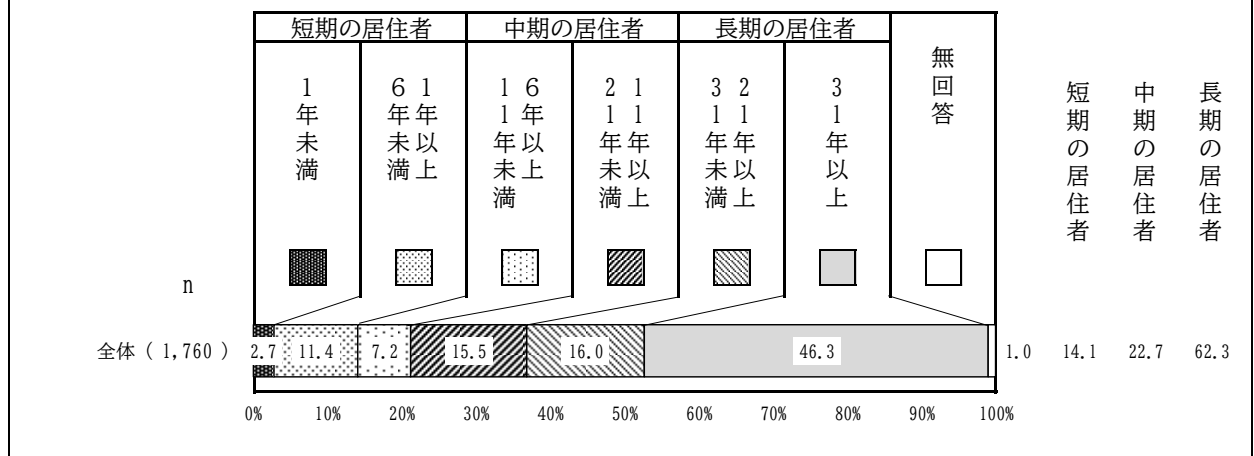
1. 居住年数・永住意向について

(1) 居住年数

◇『長期の居住者』が62.3%を占める。

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

<図表1-1> 居住年数



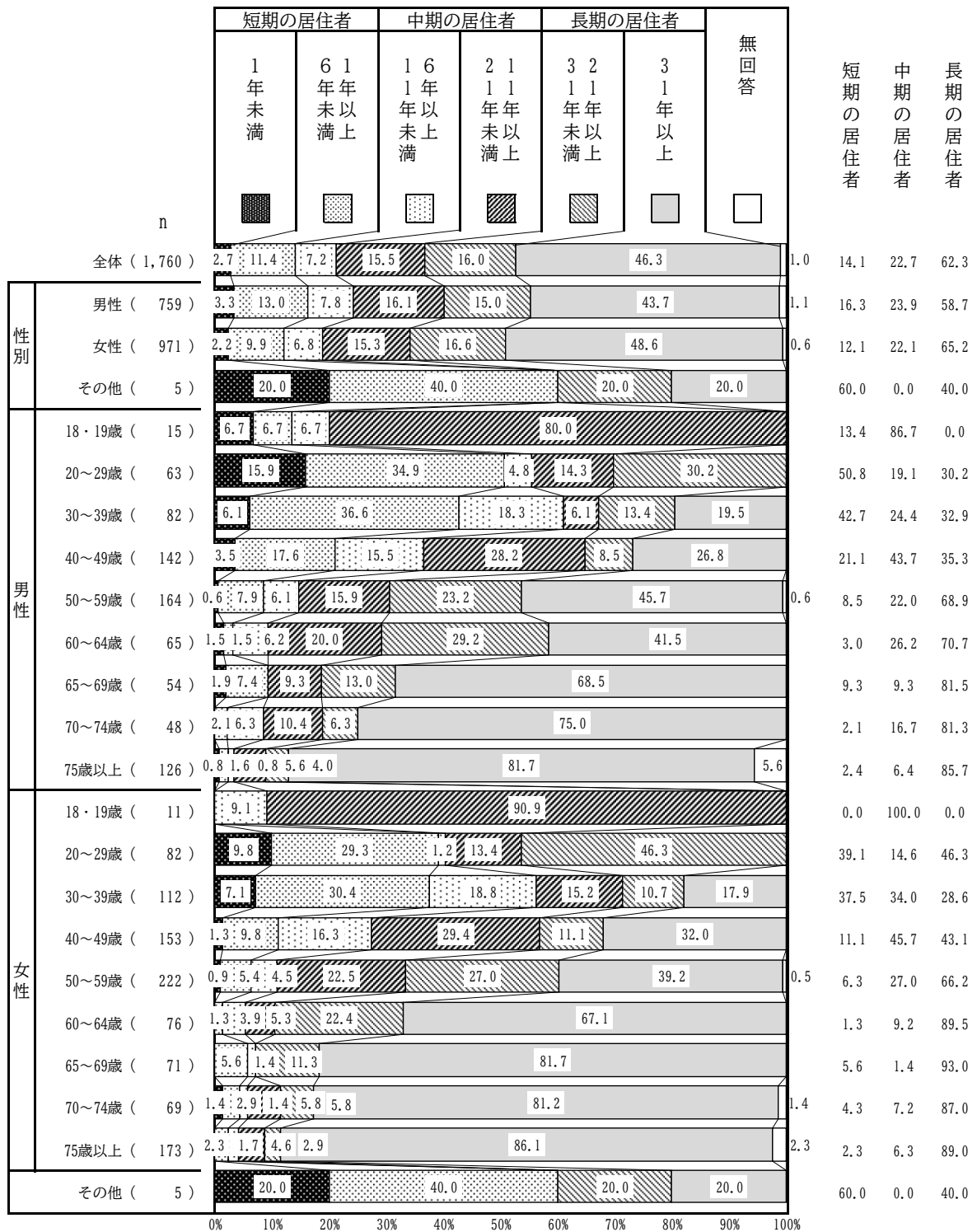
江戸川区の居住者は、『長期の居住者』（「21年以上31年未満」＋「31年以上」）（62.3%）、『中期の居住者』（「6年以上11年未満」＋「11年以上21年未満」）（22.7%）、『短期の居住者』（「1年未満」＋「1年以上6年未満」）（14.1%）の順に高くなっている。選択肢の中では「31年以上」が46.3%で最も高くなっている。（図表1-1）

【性・年齢別】

男性において、『短期の居住者』は20～29歳（50.8%）が約5割と高くなっている。『中期の居住者』は40～49歳（43.7%）が4割強と高くなっている。『長期の居住者』は65～69歳以降が8割以上と高くなっている。

女性において、『短期の居住者』は20～29歳（39.1%）が4割弱と高くなっている。『中期の居住者』は40～49歳（45.7%）が4割台半ばと高くなっている。『長期の居住者』は60～64歳以降が8割以上と高くなっている。（図表1-2）

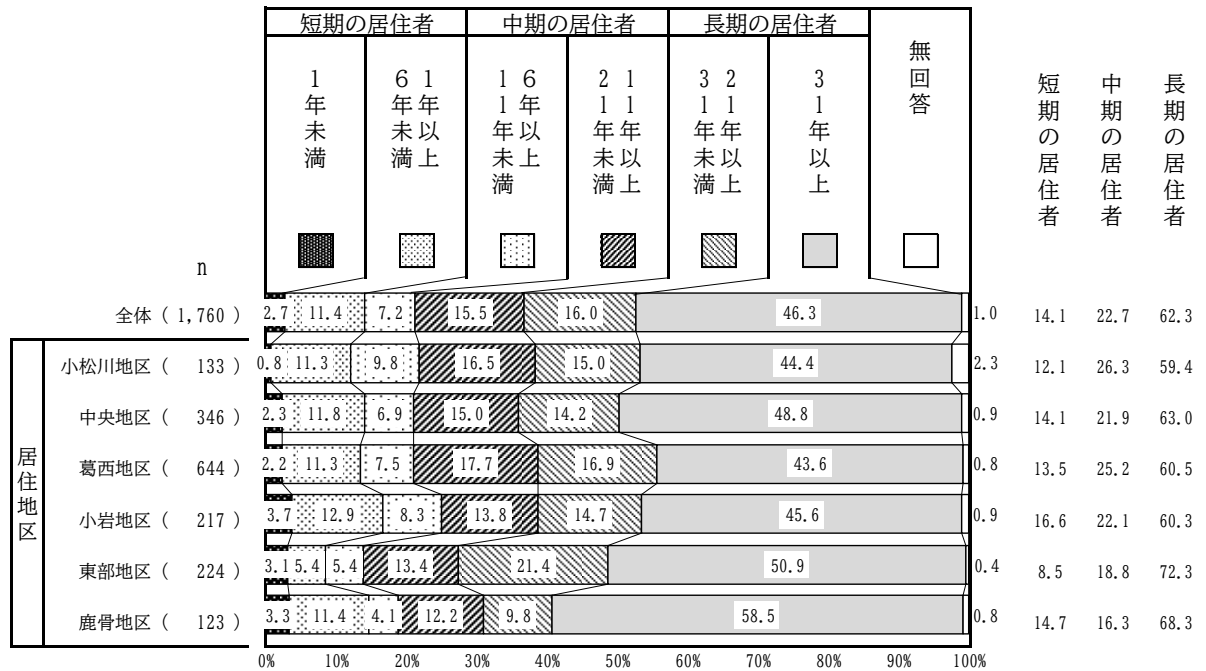
<図表1-2> 居住年数／性・年齢別



【居住地区別】

『長期の居住者』は小松川地区以外で6割を超え、東部地区（72.3%）が7割強と最も高くなっている。（図表1－3）

<図表1－3> 居住年数／居住地区別

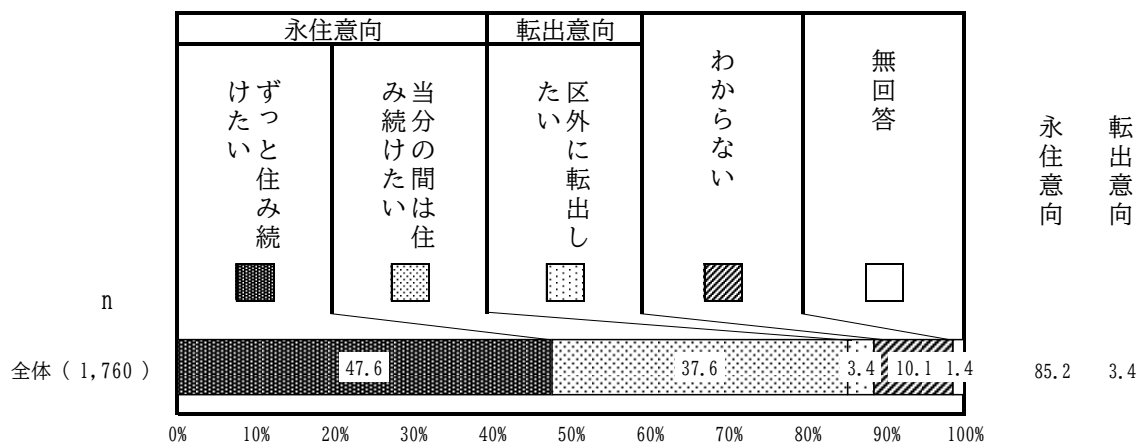


(2) 永住意向

◇『永住意向』は 85.2%を占める。

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-4> 永住意向

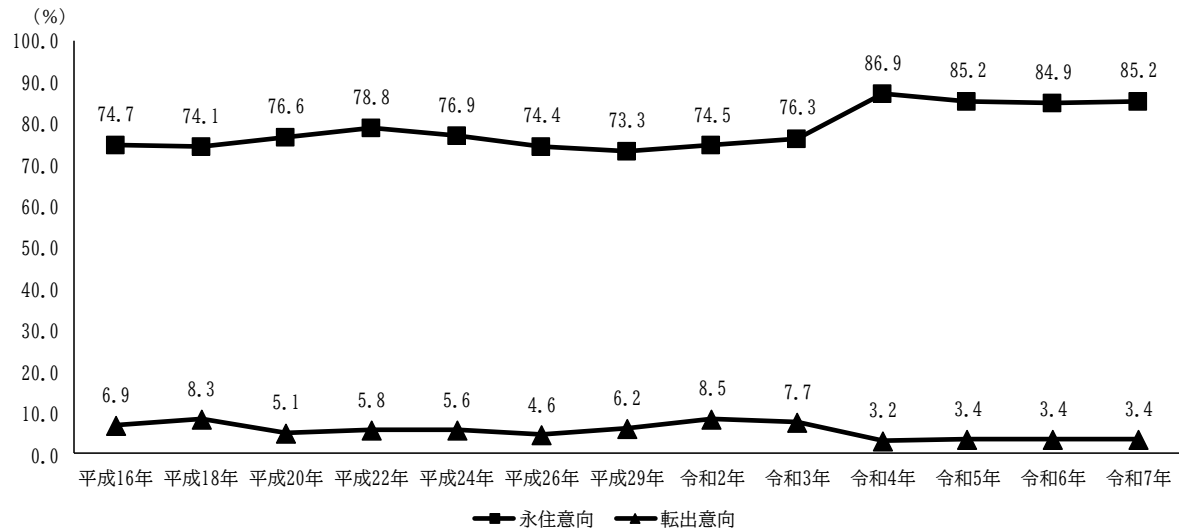


「ずっと住み続けたい」が 47.6%、「当分の間は住み続けたい」が 37.6%で、『永住意向』（「ずっと住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」）は 85.2%となっている。一方、『転出意向』（「区外に転出したい」）は 3.4%となっている。（図表 1-4）

【時系列比較】

『永住意向』は、前回の令和6年度より0.3ポイント増加し、8割台半ばとなっている。一方、『転出意向』は前回の令和6年度と変わらず3.4%となっている。（図表1－5）

＜図表1－5＞永住意向／時系列比較



※令和3年までは『永住意向』（「住み続けたい」＋「できれば住み続けたい」）、『転出意向』（「できれば区外へ移りたい」＋「区外へ移るつもり」）としていたため、令和4年以降とは選択肢が異なっている。

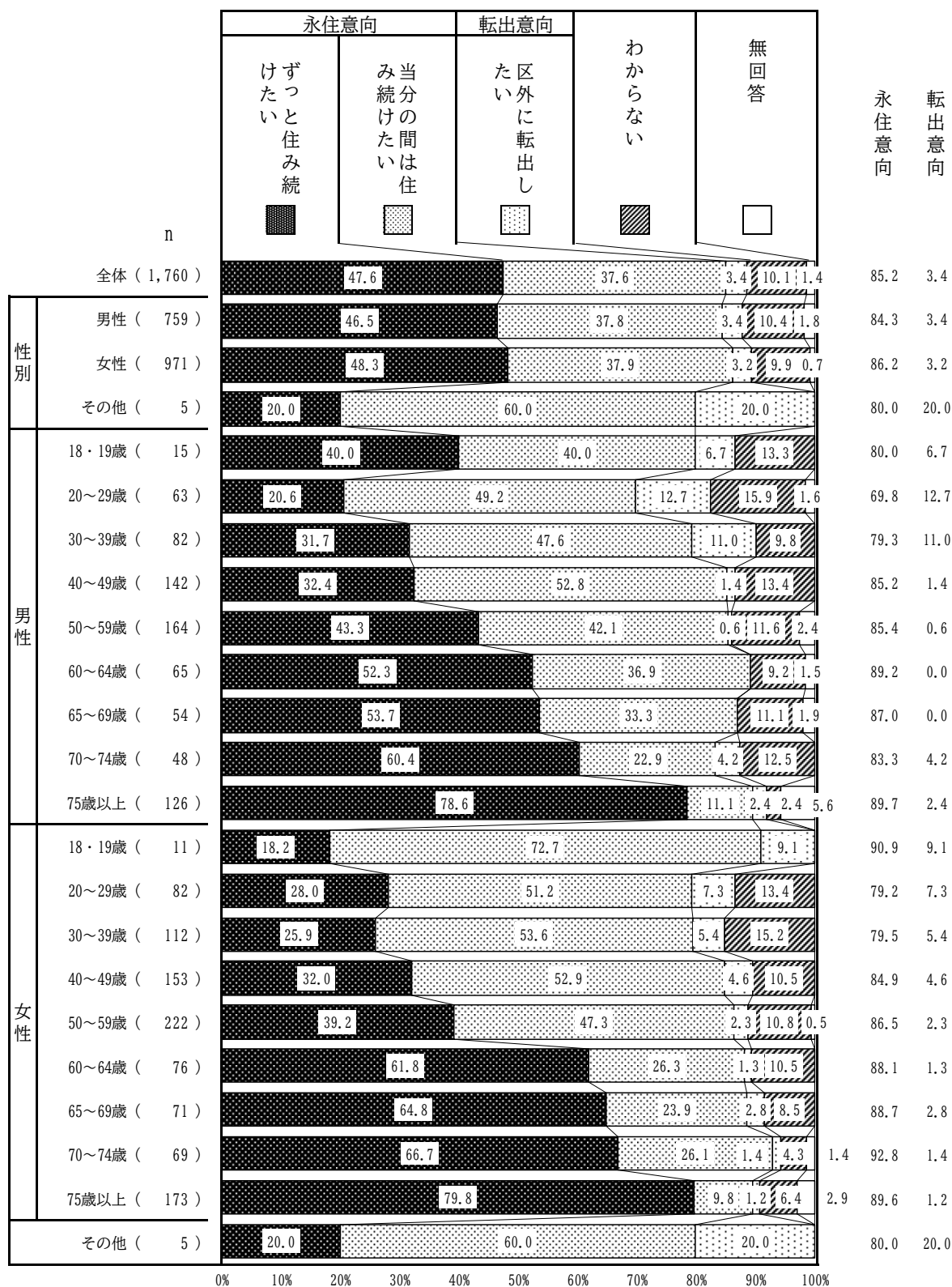
【性・年齢別】

男性において、『永住意向』は60～64歳（89.2%）、75歳以上（89.7%）が9割弱と高くなっている。「ずっと住み続けたい」は20～29歳を境に、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

女性において、『永住意向』は70～74歳（92.8%）が9割強と最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は30～39歳を境に、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

（図表1－6）

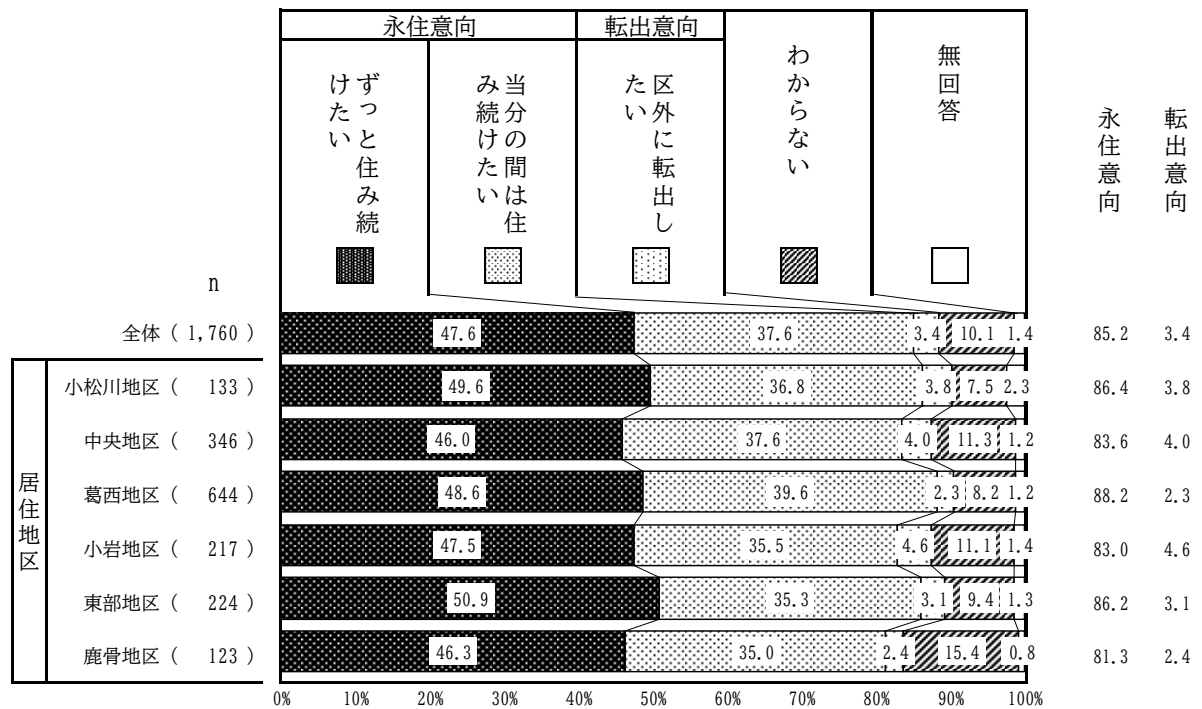
<図表1-6> 永住意向／性・年齢別



【居住地区別】

『永住意向』は全ての地区が8割を超えている。「ずっと住み続けたい」は東部地区（50.9%）が約5割と高くなっている。（図表1－7）

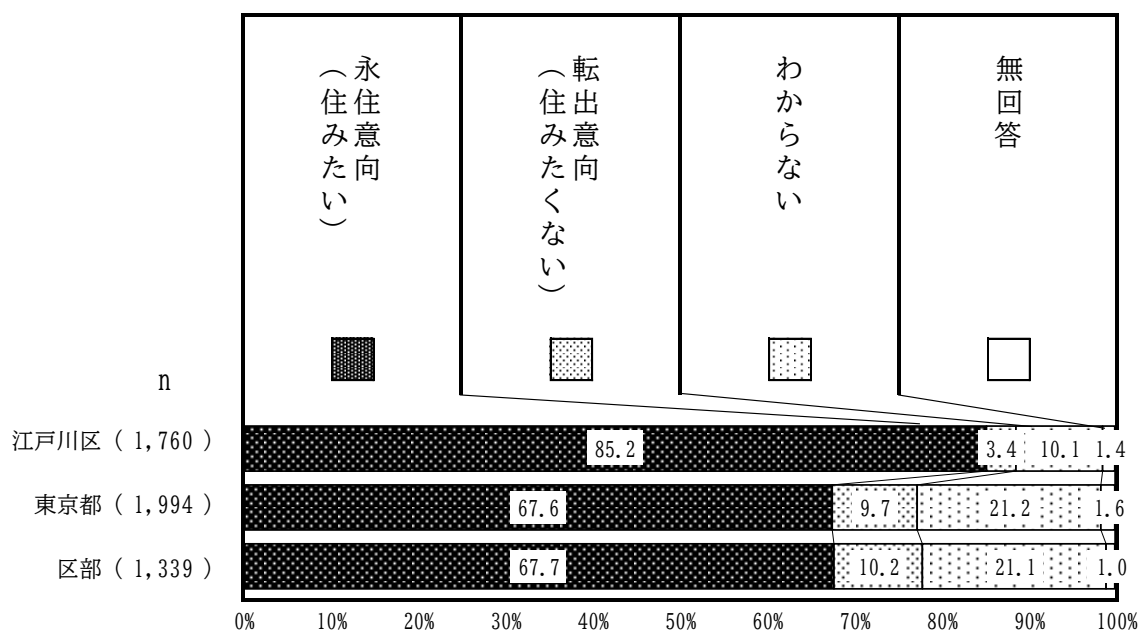
<図表1－7> 永住意向／居住地区別



【東京都・区部との比較】

江戸川区の『永住意向』（「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」）が85.2%に対して、東京都では67.6%、区部では67.7%となっている。一方、江戸川区の『転出意向』（「区外に転出したい」）が3.4%に対して、東京都は9.7%、区部は10.2%と高くなっている。（図表1－8）

<図表1－8> 永住意向／東京都・区部との比較



（注1）東京都と区部は東京定住意向の調査結果

（注2）表頭の（）内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」（令和6年8月調査）

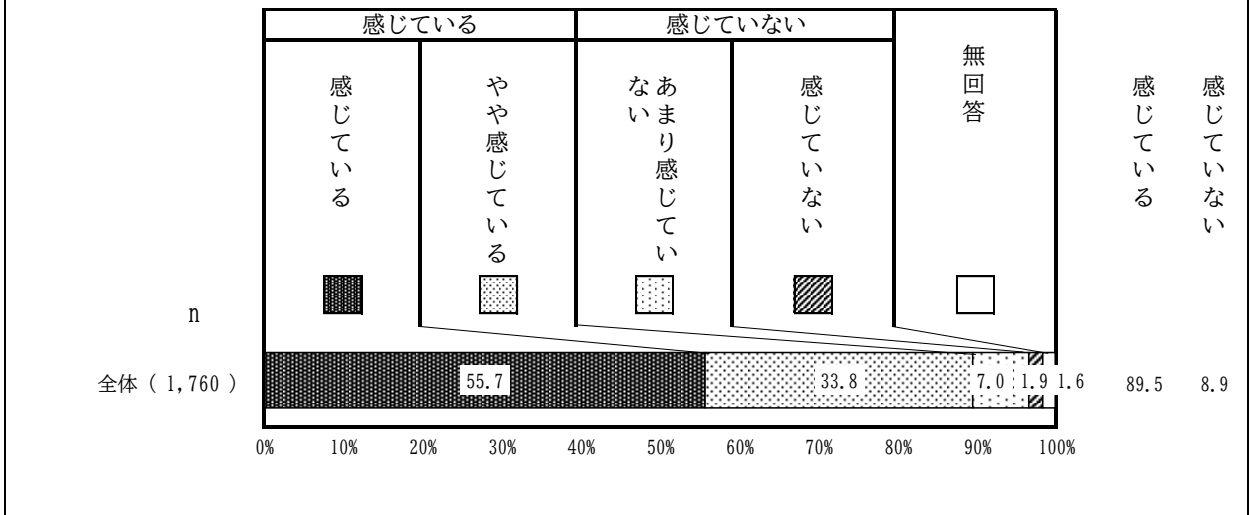
（注3）江戸川区調査と東京都調査で選択肢に違いがあるため、『永住意向』は、江戸川区の「ずっと住みたい」＋「当分の間は住みたい」を合計した数値と、東京都の「住みたい」の数値を比較している。同様に、『転出意向』は、江戸川区の「区外に転出したい」の数値と、東京都の「住みたくない」の数値を比較している。

(3) 愛着度

◇『感じている』が89.5%を占める。

問3 あなたは、江戸川区に愛着や親しみを感じますか。(○は1つ)

<図表1-9>愛着度

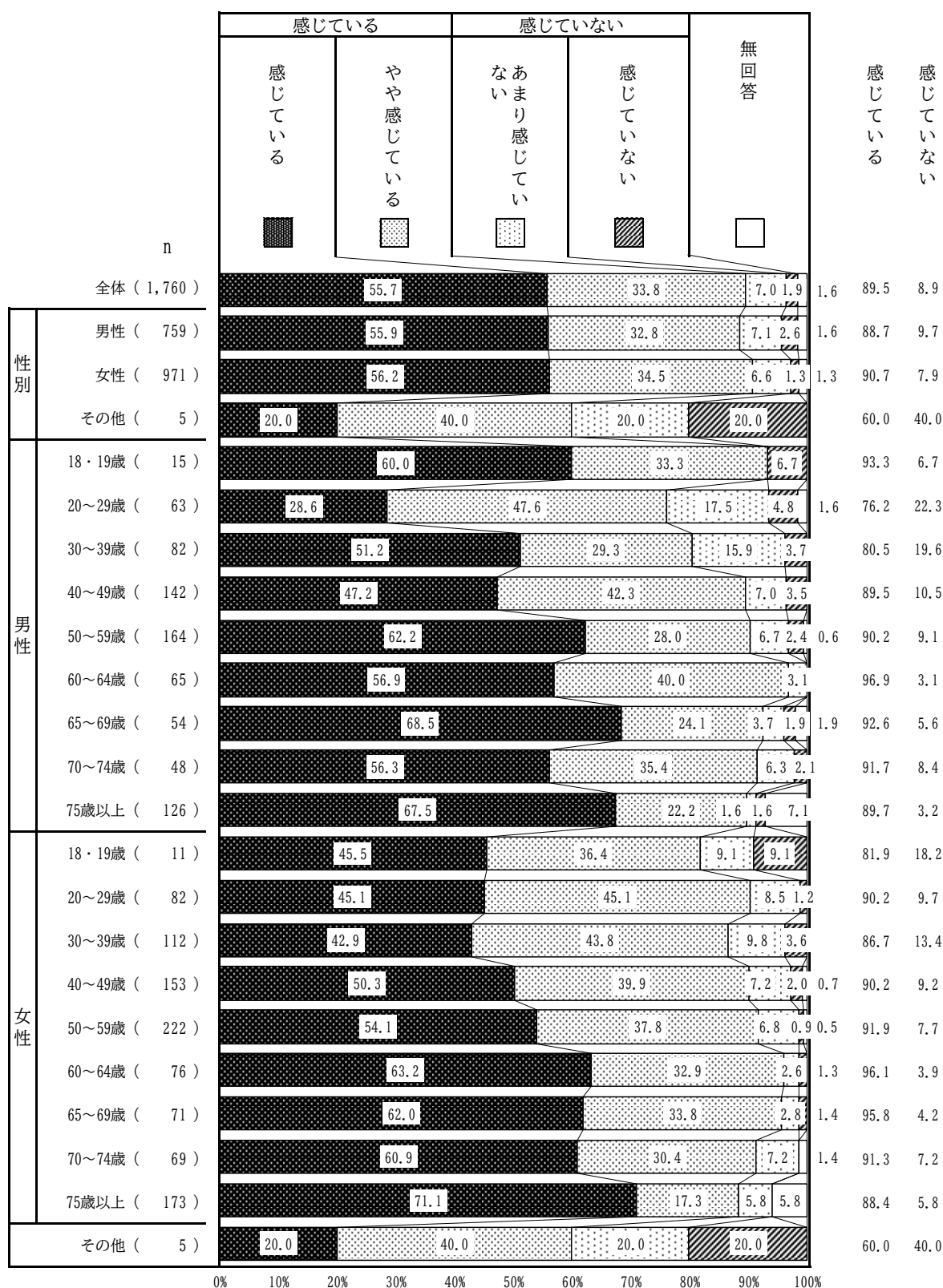


「感じている」が55.7%、「やや感じている」が33.8%で、『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）は89.5%となっている。一方、『感じない』（「感じない」＋「あまり感じない」）は8.9%となっている。（図表1-9）

【性・年齢別】

『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）は60～64歳が男性（96.9%）、女性（96.1%）ともに最も高くなっている。（図表1-10）

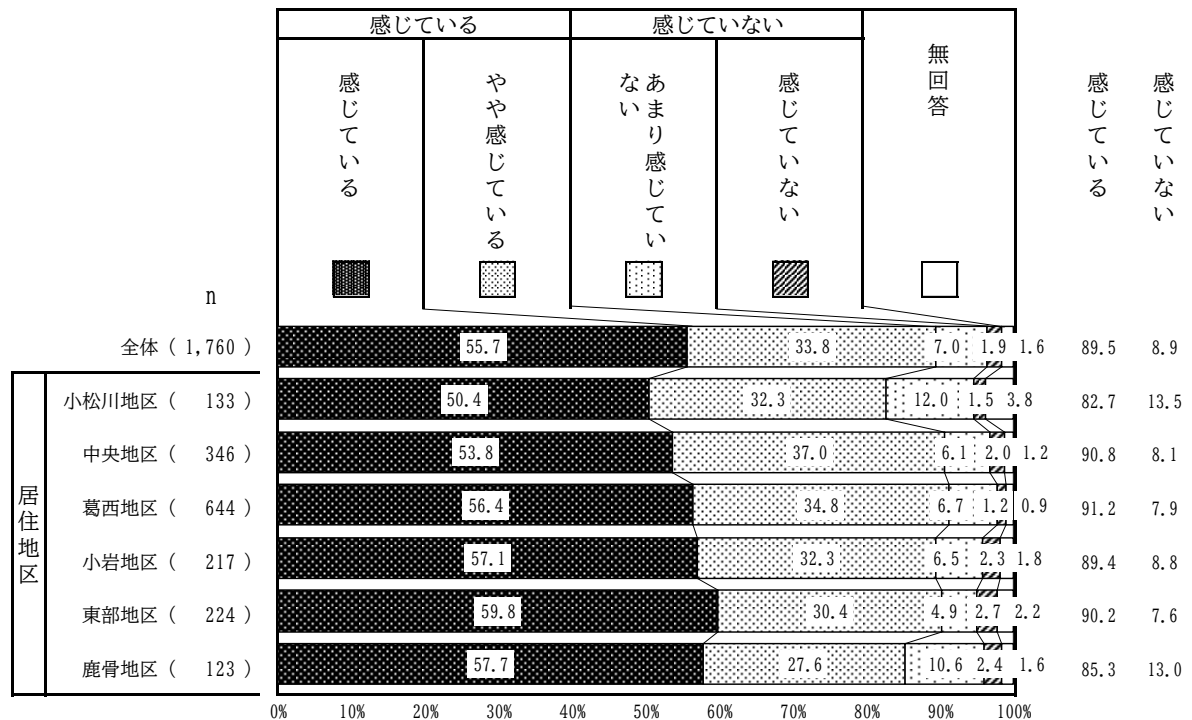
<図表1-10> 愛着度／性・年齢別



【居住地区別】

『感じている』は全ての地区が8割を超えており、葛西地区（91.2%）では9割強と最も高くなっている。（図表1－11）

<図表1－11> 愛着度／居住地区別



2. 江戸川区の現況について

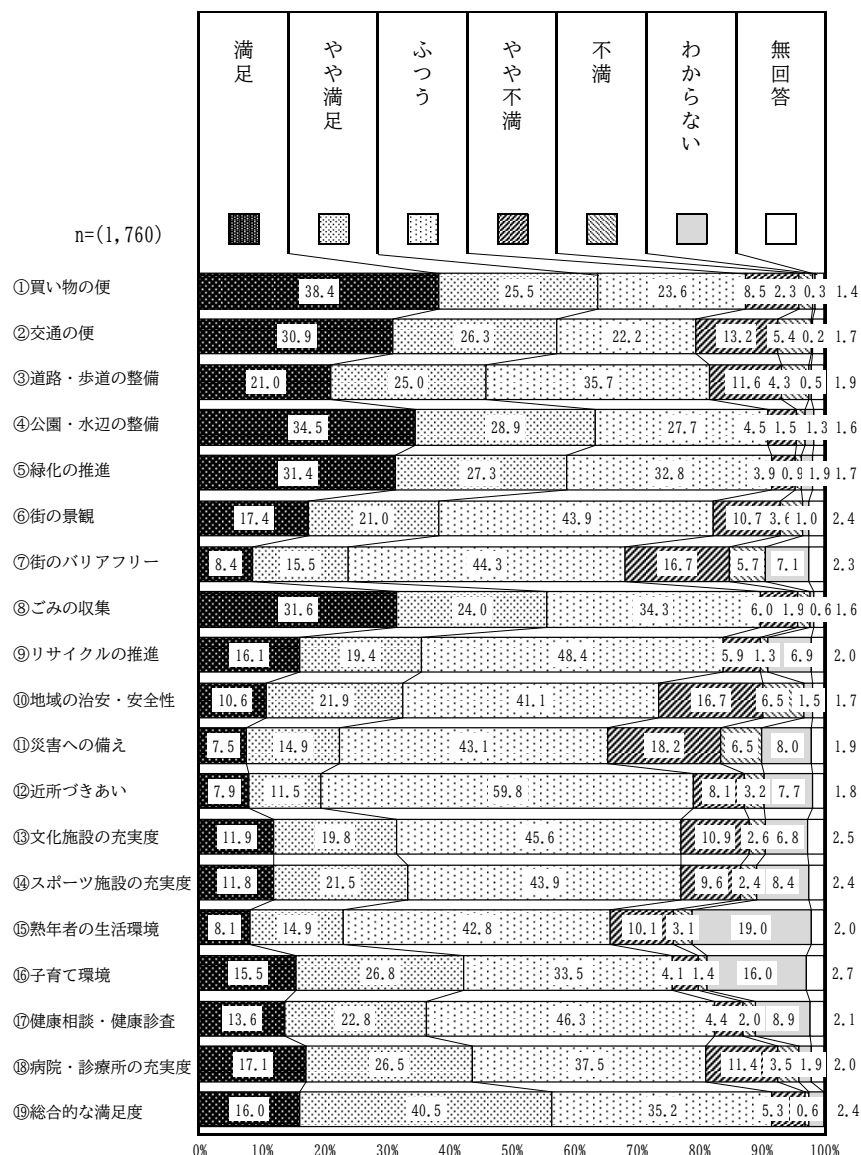
(1) 各項目の満足度

◇【①買い物の便】、【②交通の便】、【④公園・水辺の整備】、【⑤緑化の推進】、【⑧ごみの収集】の「満足」が3割を超えている。

問4 ①～⑱の各項目の現況について、どの程度満足していますか。

項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つつ)

<図表2-1>各項目の満足度

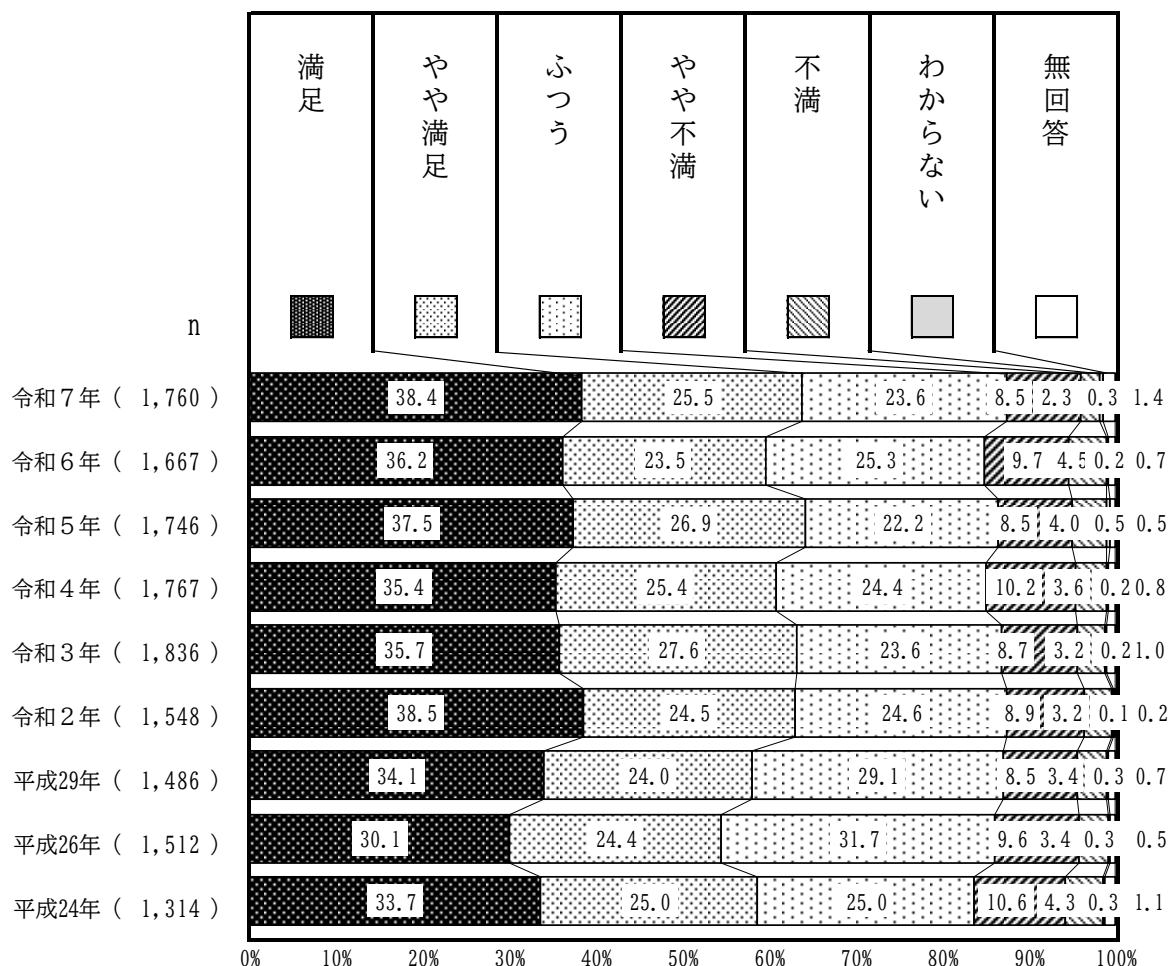


「満足」は【①買い物の便】(38.4%)が4割近くと最も高く、次いで【④公園・水辺の整備】(34.5%)、【⑧ごみの収集】(31.6%)、【⑤緑化の推進】(31.4%)と続いている。一方、「不満」は【⑩地域の治安・安全性】(6.5%)、【⑪災害への備え】(6.5%)が高くなっているが、いずれの項目でも1割未満となっている。(図表2-1)

【①買い物の便／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」が2.2ポイント、「やや満足」が2.0ポイント増加している。一方、「不満」は2.2ポイント、「やや不満」は1.2ポイント減少している。（図表2－2）

<図表2－2>①買い物の便／時系列比較



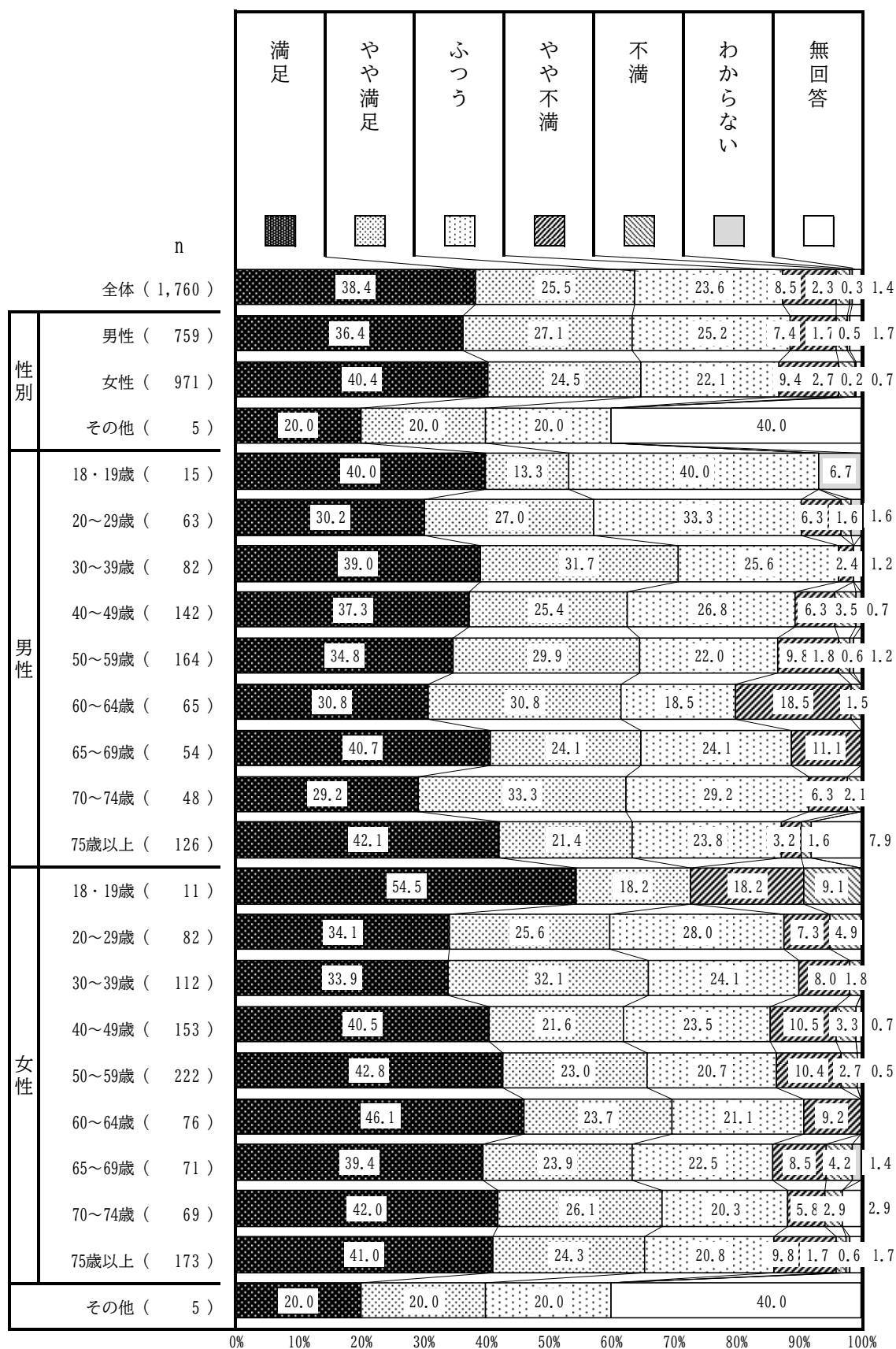
【①買い物の便／性・年齢別別】

「満足」は女性（40.4％）が男性（36.4％）に比べて4.0ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は75歳以上（42.1％）が4割強と最も高く、「満足」と「やや満足」の合計は30～39歳が約7割と高くなっている。

女性において、「満足」は60～64歳（46.1％）が5割近くと高くなっている。（図表2－3）

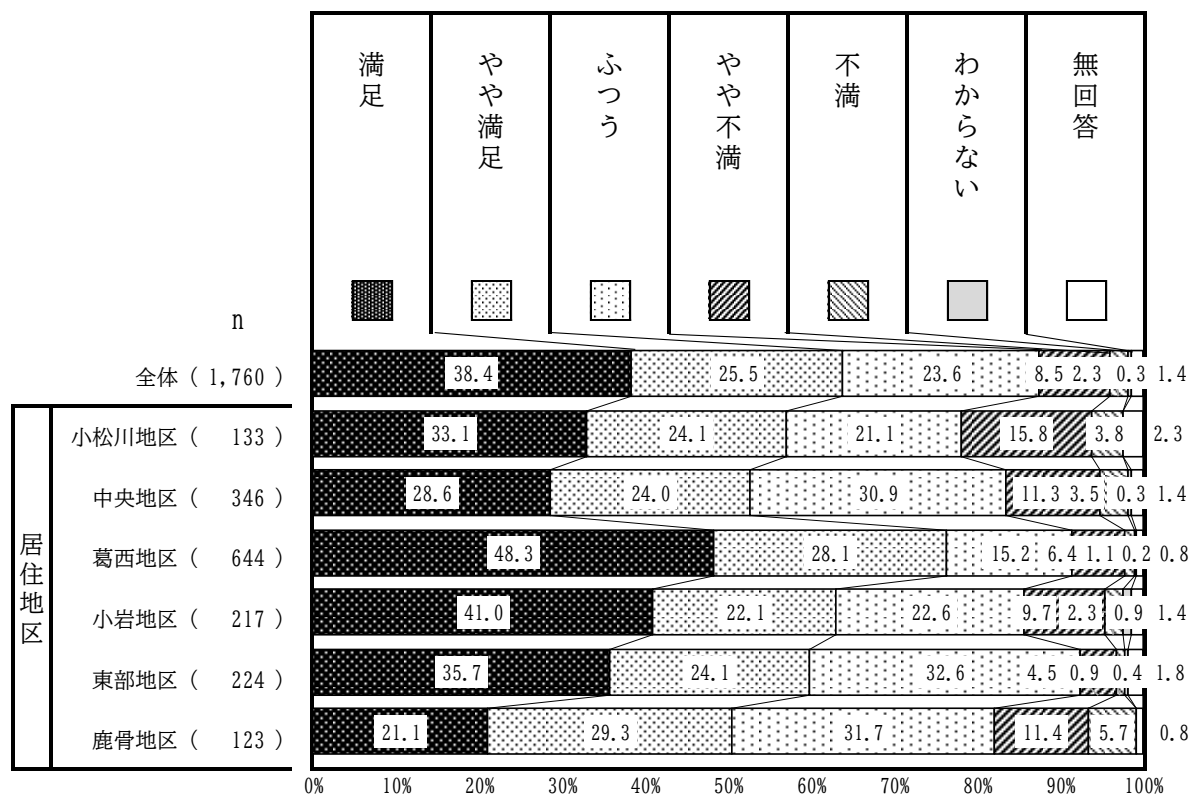
<図表2-3>①買い物の便／性・年齢別



【①買い物の便／居住地区別】

「満足」は葛西地区（48.3%）が5割近くと高く、鹿骨地区（21.1%）が2割強と低くなっている。（図表2－4）

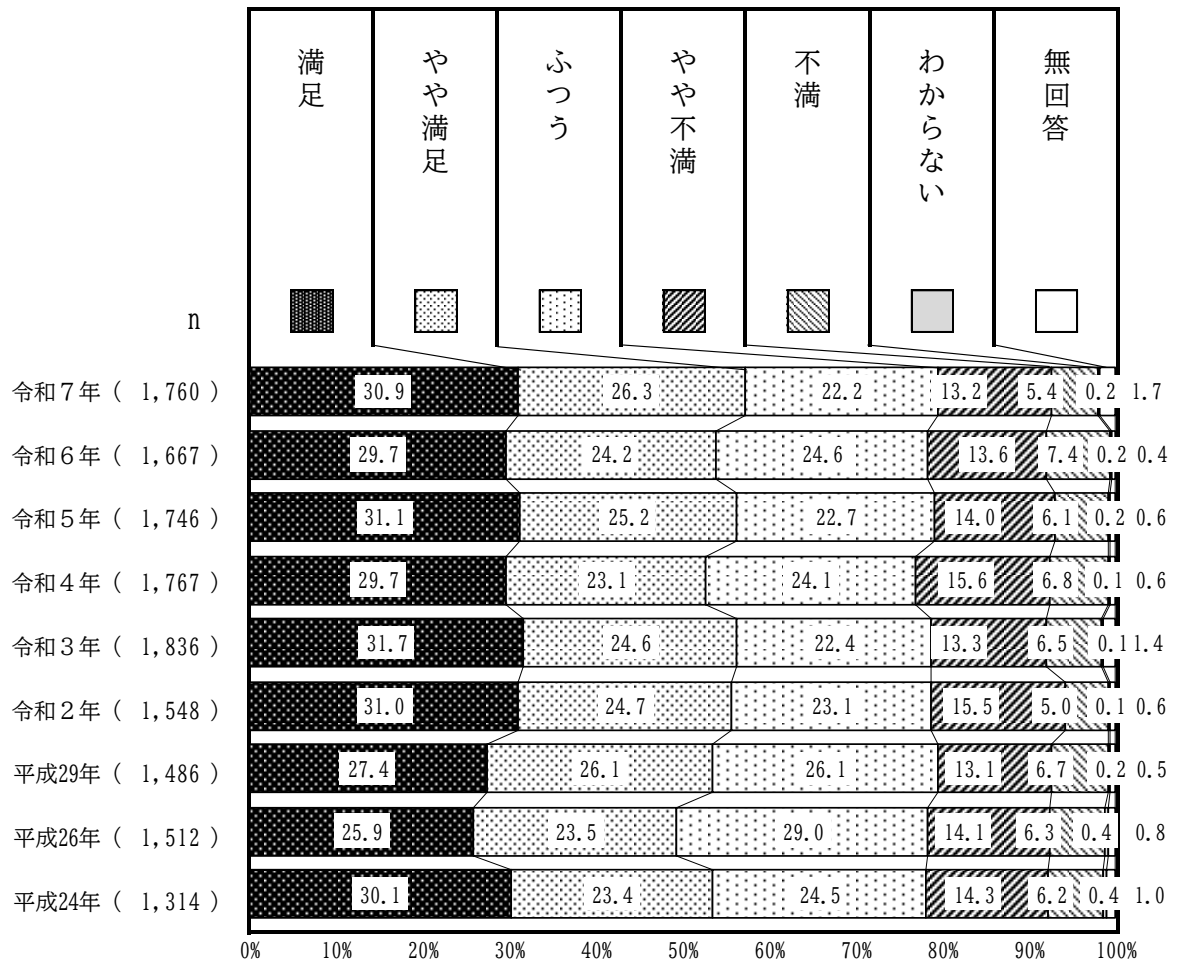
＜図表2－4＞①買い物の便／居住地区別



【②交通の便／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」が1.2ポイント、「やや満足」が2.1ポイント増加している。一方、「不満」は2.0ポイント、「やや不満」は0.4ポイント減少している。（図表2－5）

<図表2－5>②交通の便／時系列比較



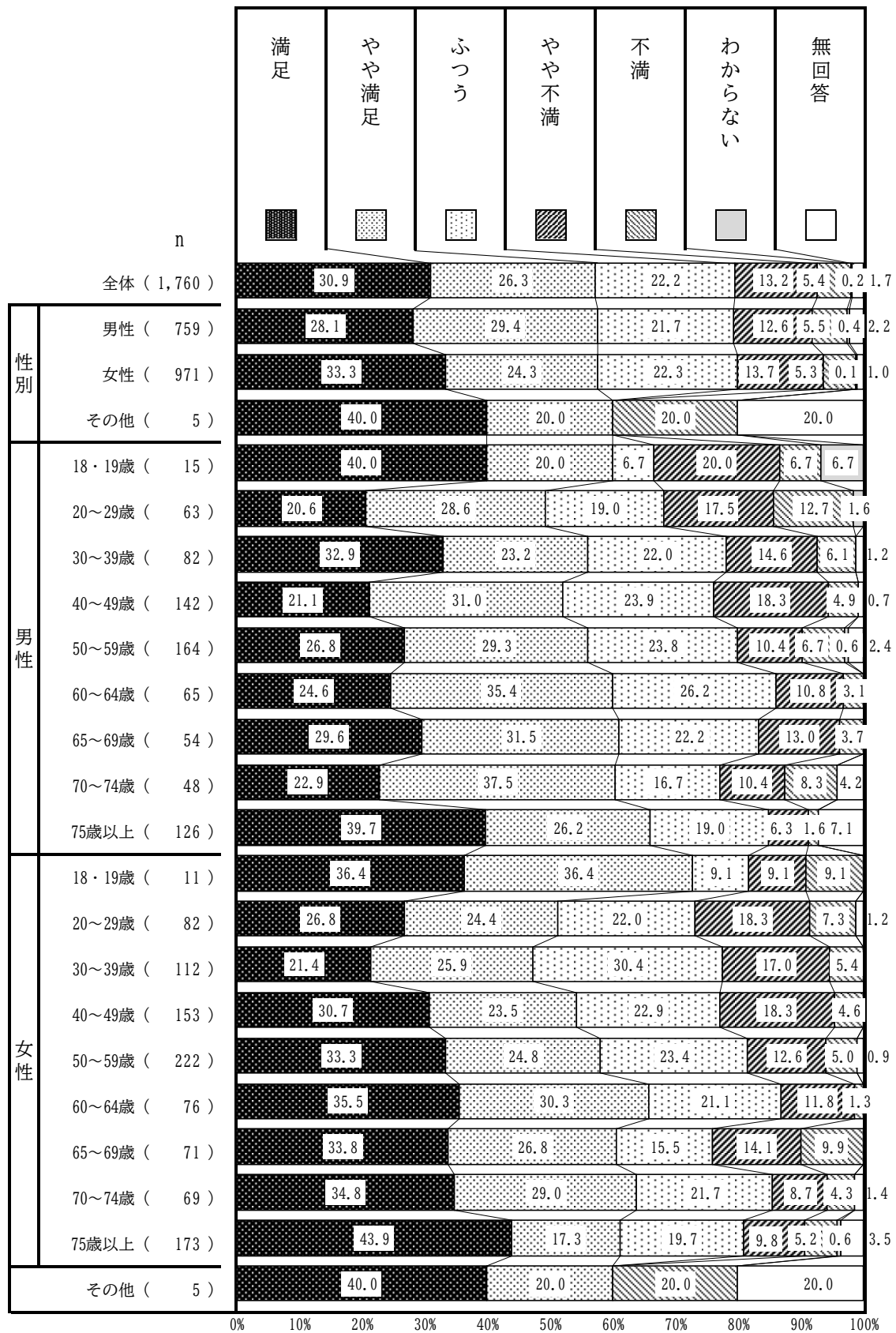
【②交通の便／性・年齢別別】

「満足」は女性（33.3％）が男性（28.1％）に比べて5.2ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は75歳以上（39.7％）が4割弱と最も高くなっている。「やや満足」は70～74歳（37.5％）が4割近くと高くなっている。

女性において、「満足」は75歳以上（43.9％）が4割強と最も高くなっている。「やや満足」は60～64歳（30.3％）が約3割と高くなっている。（図表2－6）

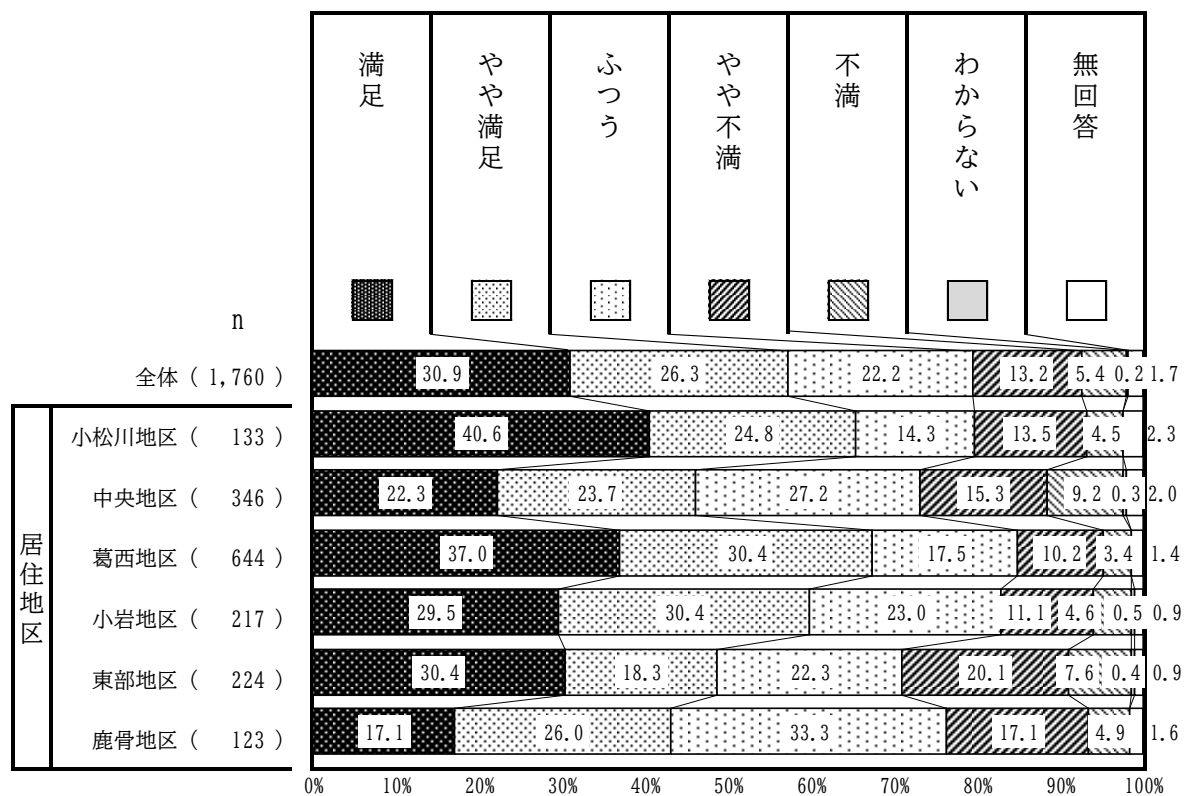
<図表2-6>②交通の便／性・年齢別



【②交通の便／居住地区別】

「満足」は小松川地区（40.6%）が約4割と高く、「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が7割近くと高くなっている。（図表2－7）

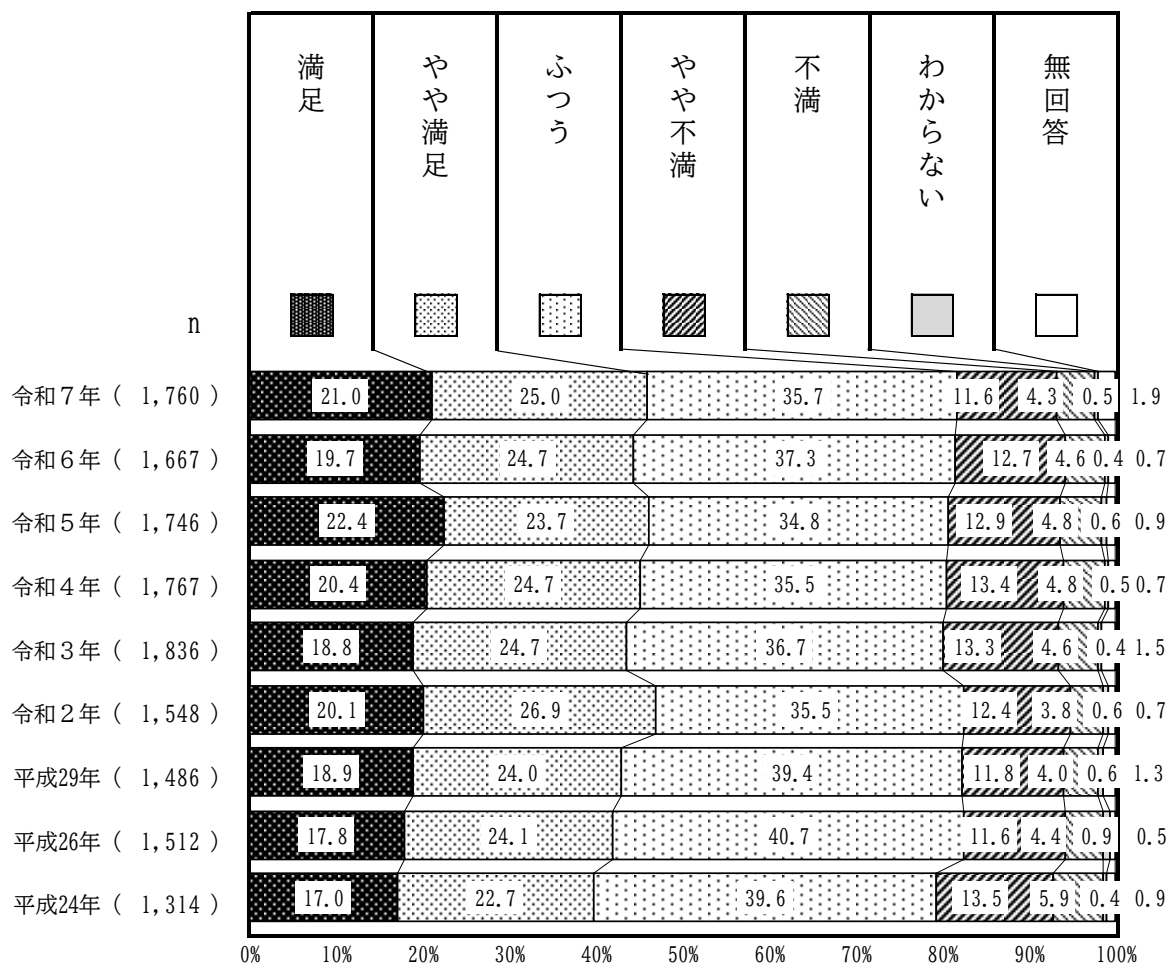
<図表2－7>②交通の便／居住地区別



【③道路・歩道の整備／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は1.3ポイント、「やや満足」は0.3ポイント増加している。一方、「不満」は0.3ポイント、「やや不満」は1.1ポイント減少している。（図表2－8）

<図表2－8>③道路・歩道の整備／時系列比較



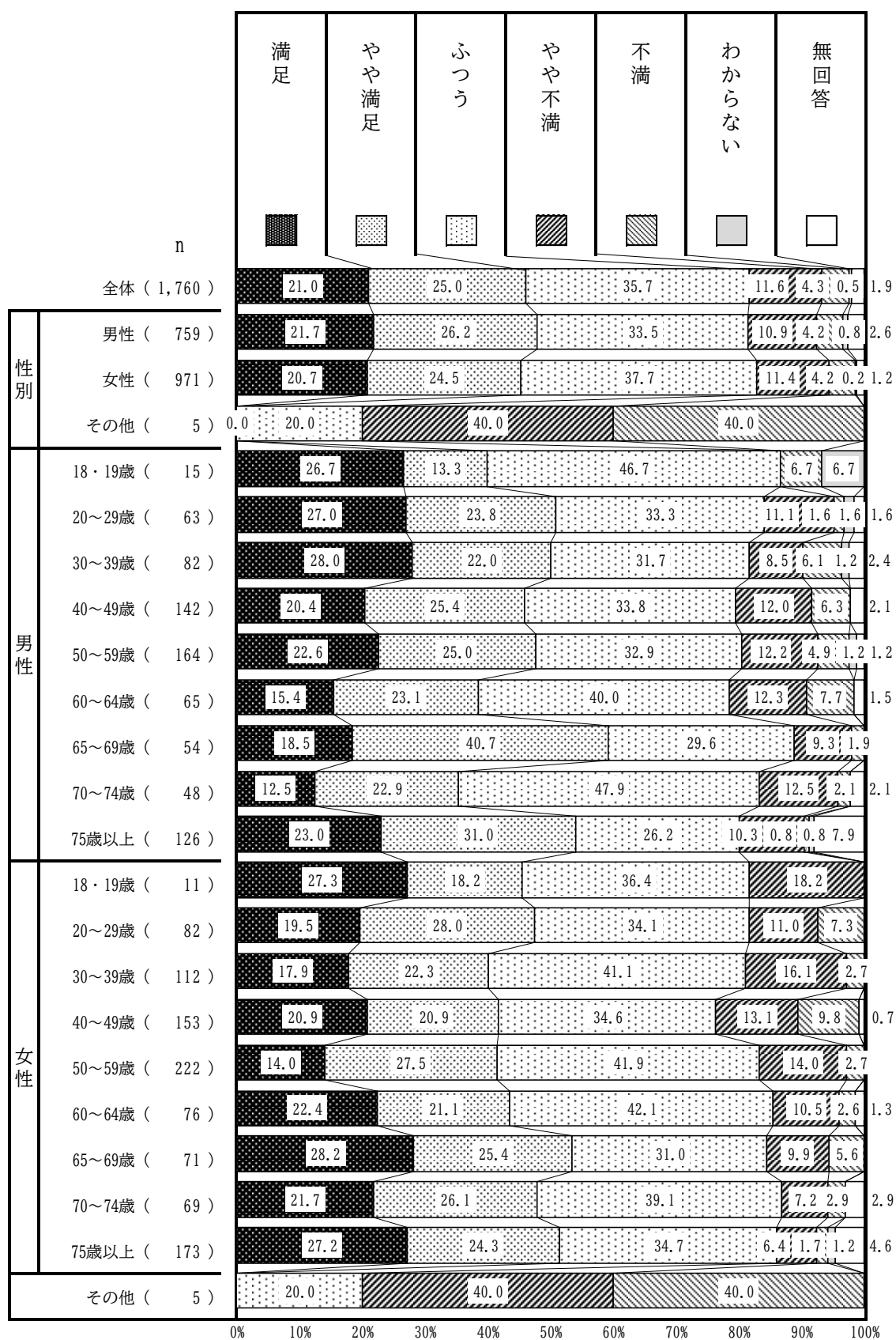
【③道路・歩道の整備／性・年齢別別】

「やや満足」は男性（26.2%）が女性（24.5%）に比べて1.7ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳（59.2%）が6割弱と高くなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳と75歳以上が5割強と高くなっている。（図表2－9）

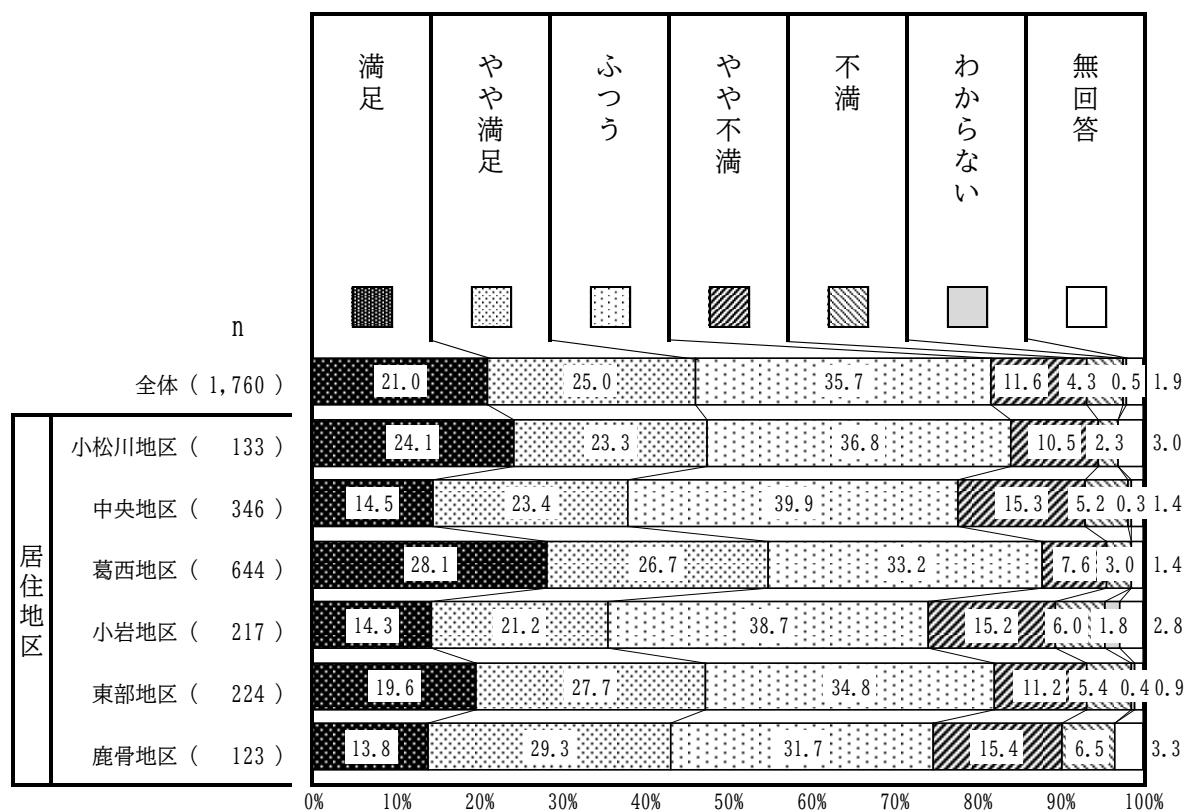
<図表2-9>③道路・歩道の整備／性・年齢別



【③道路・歩道の整備／居住地区別】

「満足」は葛西地区（28.1%）が3割近くと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が5割台半ばと高く、小岩地区が3割台半ばと低くなっている。（図表2－10）

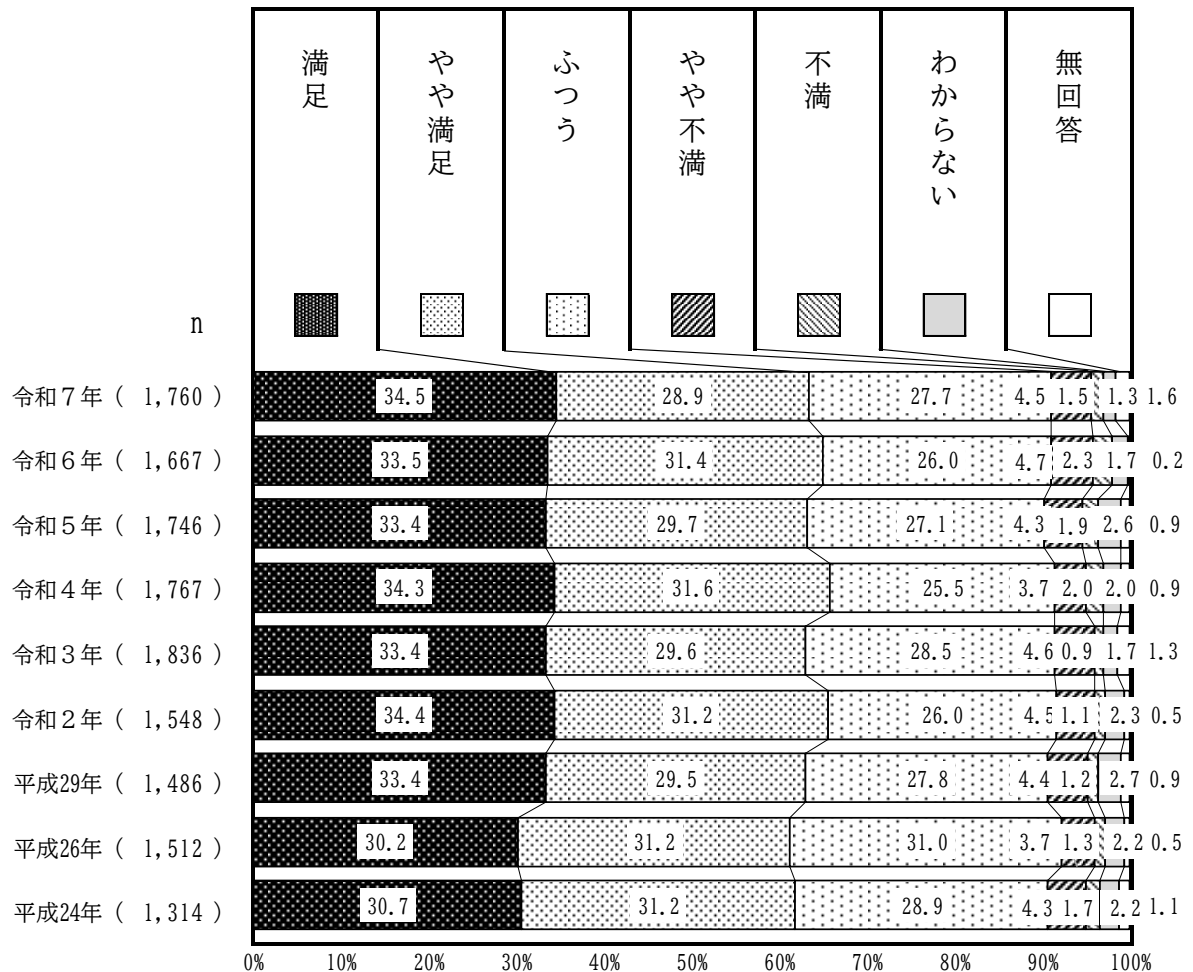
＜図表2－10＞③道路・歩道の整備／居住地区別



【④公園・水辺の整備／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は1.0ポイント増加し、「やや満足」は2.5ポイント減少している。一方、「不満」は0.8ポイント、「やや不満」は0.2ポイント減少している。(図表2-11)

<図表2-11>④公園・水辺の整備／時系列比較

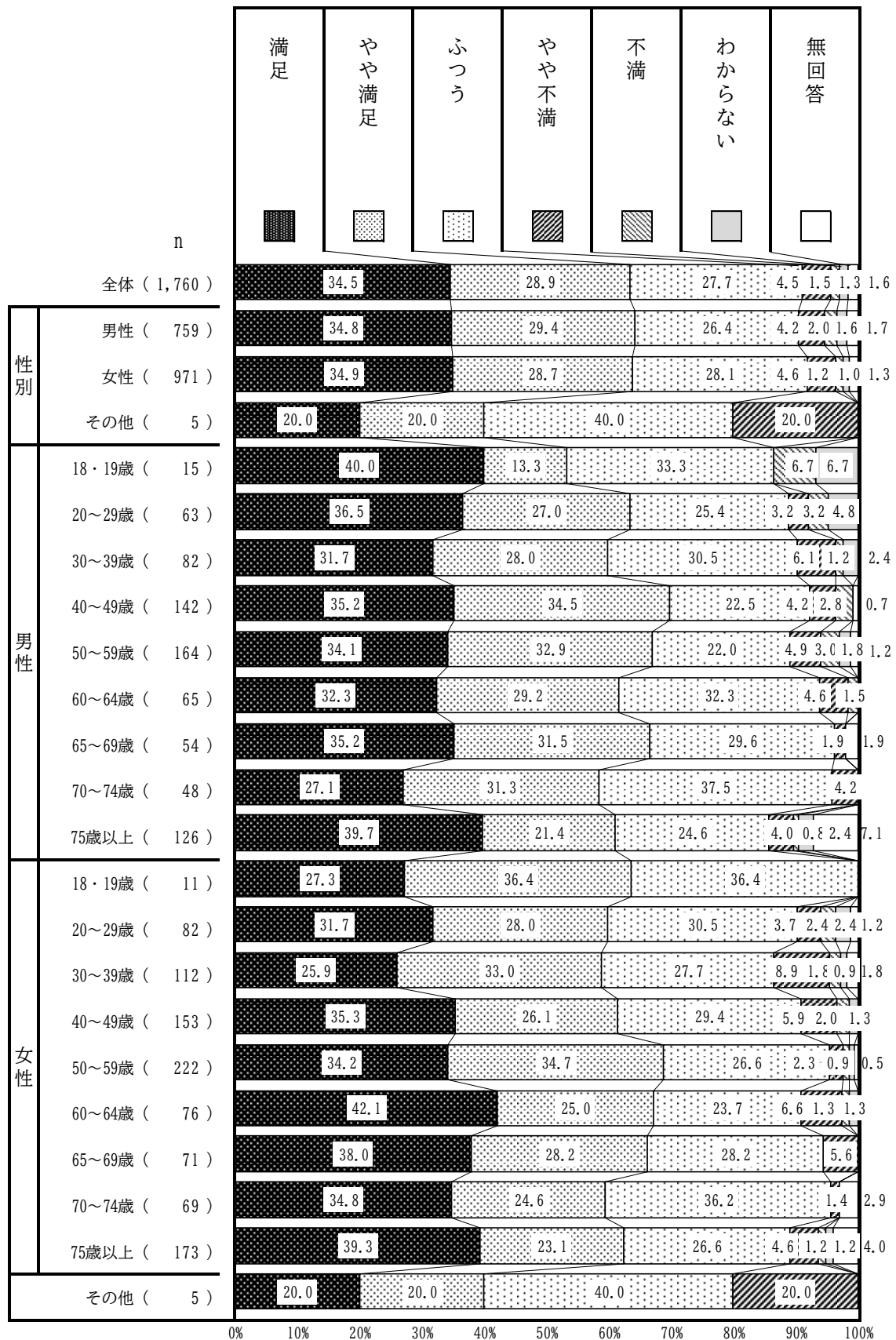


【④公園・水辺の整備／性・年齢別別】

男性において、「満足」は75歳以上(39.7%)が4割弱と高く、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳が7割弱と高くなっている。

女性において、「満足」は60～64歳(42.1%)が4割強と高く、「満足」と「やや満足」の合計は50～59歳、60～64歳が7割近くと最も高くなっている。(図表2-12)

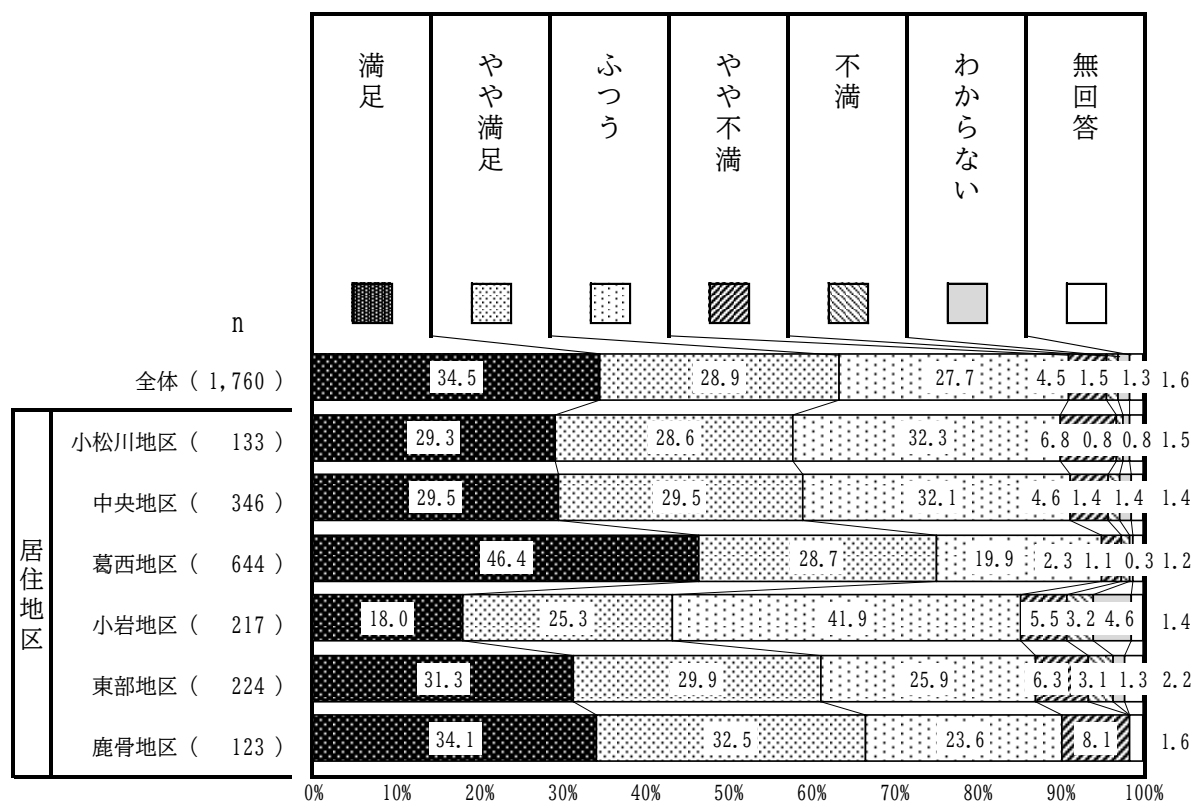
<図表2-12>④公園・水辺の整備／性・年齢別



【④公園・水辺の整備／居住地区別】

「満足」は葛西地区（46.4%）が5割近くと高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が7割台半ばと高く、小岩地区が4割強と低くなっている。（図表2－13）

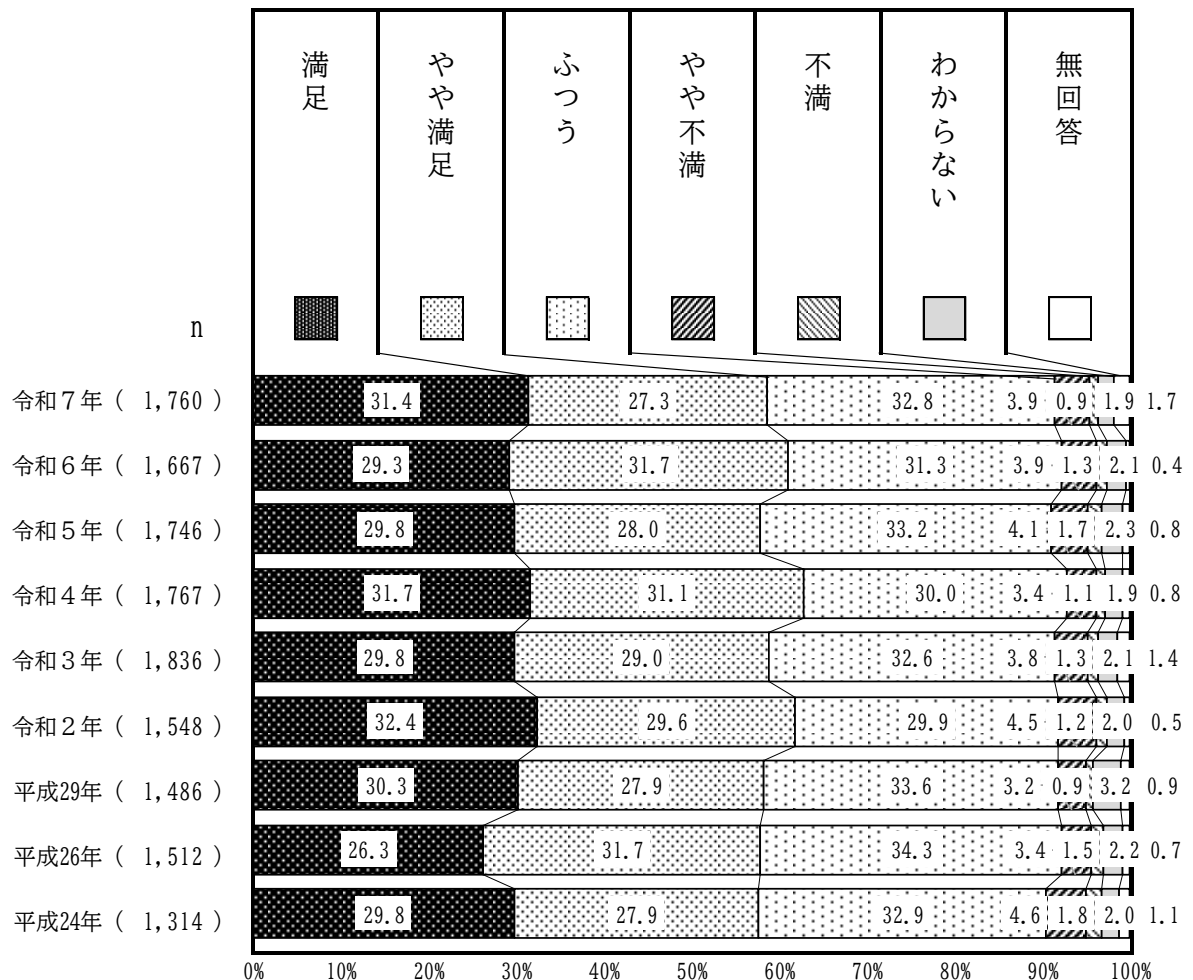
<図表2－13>④公園・水辺の整備／居住地区別



【⑤緑化の推進／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は2.1ポイント増加し、「やや満足」は4.4ポイント減少している。一方、「不満」は0.4ポイント減少している。「やや不満」に変化はなかった。（図表2-14）

＜図表2-14＞⑤緑化の推進／時系列比較



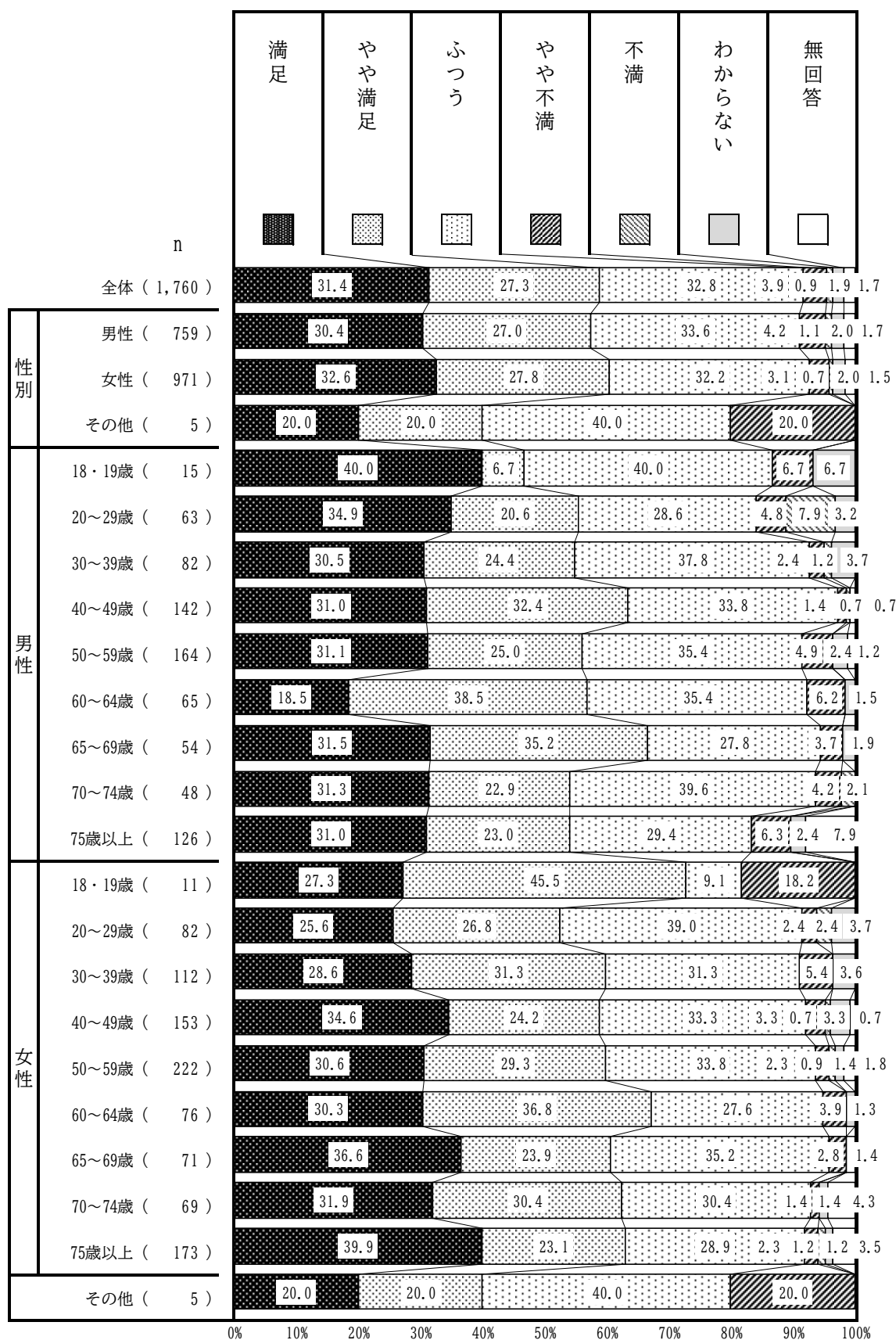
【⑤緑化の推進／性・年齢別別】

「満足」は女性（32.6％）が男性（30.4％）に比べて2.2ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は20～29歳（34.9％）が3割台半ばと高く、60～64歳（18.5％）が2割近くと低くなっている。

女性において、「満足」は75歳以上（39.9％）が4割弱と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は60～64歳が7割近くと高くなっている。（図表2-15）

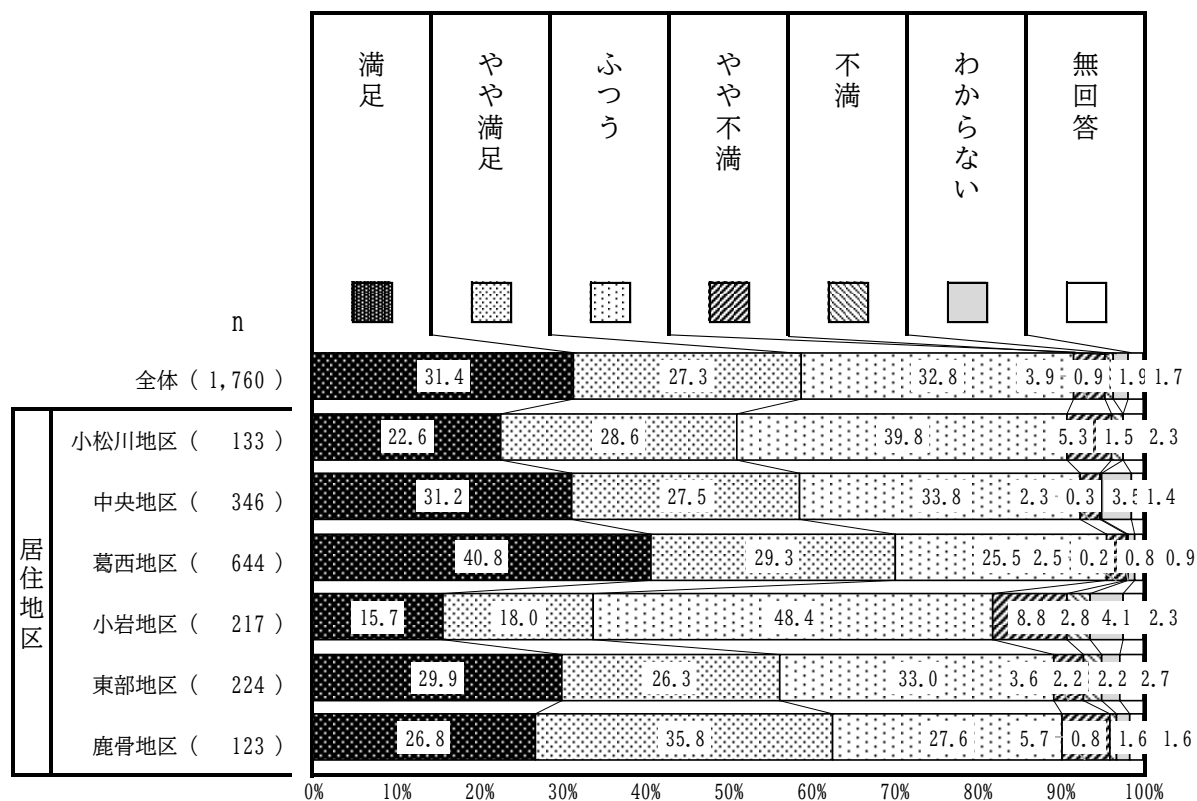
<図表2-15>⑤緑化の推進／性・年齢別



【⑤緑化の推進／居住地区別】

「満足」は葛西地区（40.8%）が約4割と高く、小岩地区（15.7%）が1割台半ばと低くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が約7割と高く、小岩地区が3割強と低くなっている。（図表2-16）

<図表2-16>⑤緑化の推進／居住地区別

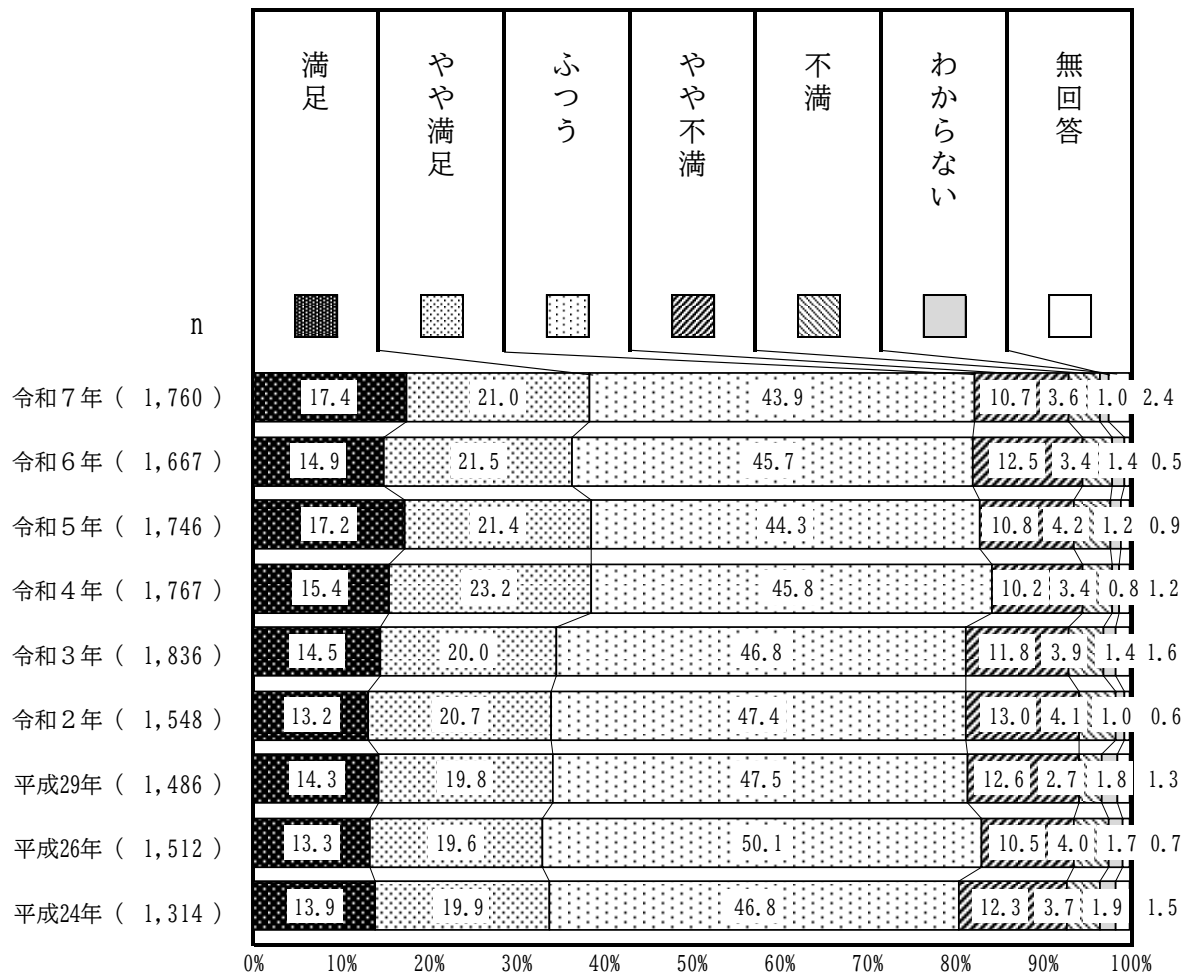


【⑥街の景観／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は2.5ポイント増加し、「やや満足」は0.5ポイント減少している。一方、「不満」は0.2ポイント増加し、「やや不満」は1.8ポイント減少している。

(図表2-17)

<図表2-17>⑥街の景観／時系列比較



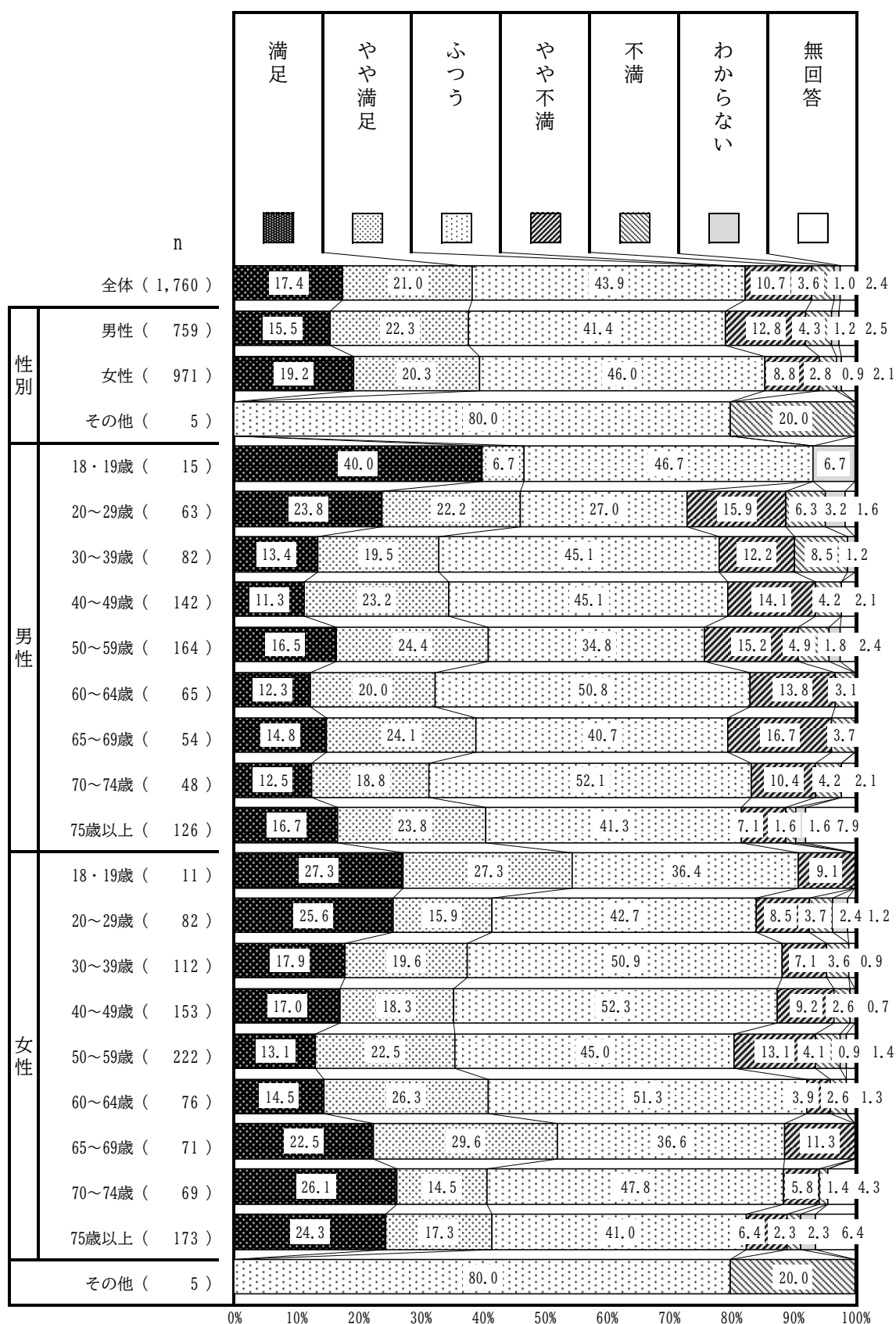
【⑥街の景観／性・年齢別別】

「満足」は女性（19.2％）が男性（15.5％）に比べて3.7ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は20～29歳（23.8％）が2割強と高く、「満足」と「やや満足」の合計は5割近くと高くなっている。

女性において、「満足」は70～74歳（26.1％）が3割近くと高く、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳が5割強と高くなっている。（図表2-18）

<図表2-18> ⑥街の景観／性・年齢別

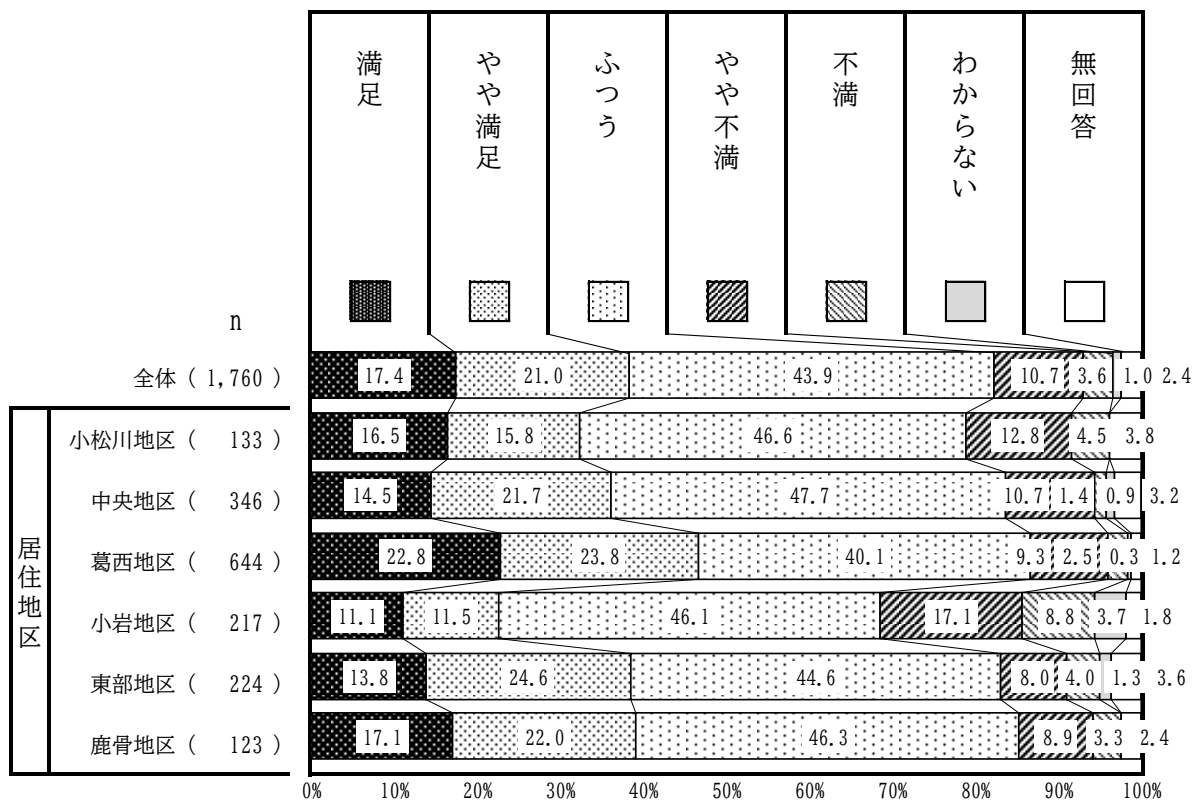


【⑥街の景観／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が5割近くと高くなっている。

「不満」と「やや不満」の合計は小岩地区が2割台半ばと高くなっている。(図表2-19)

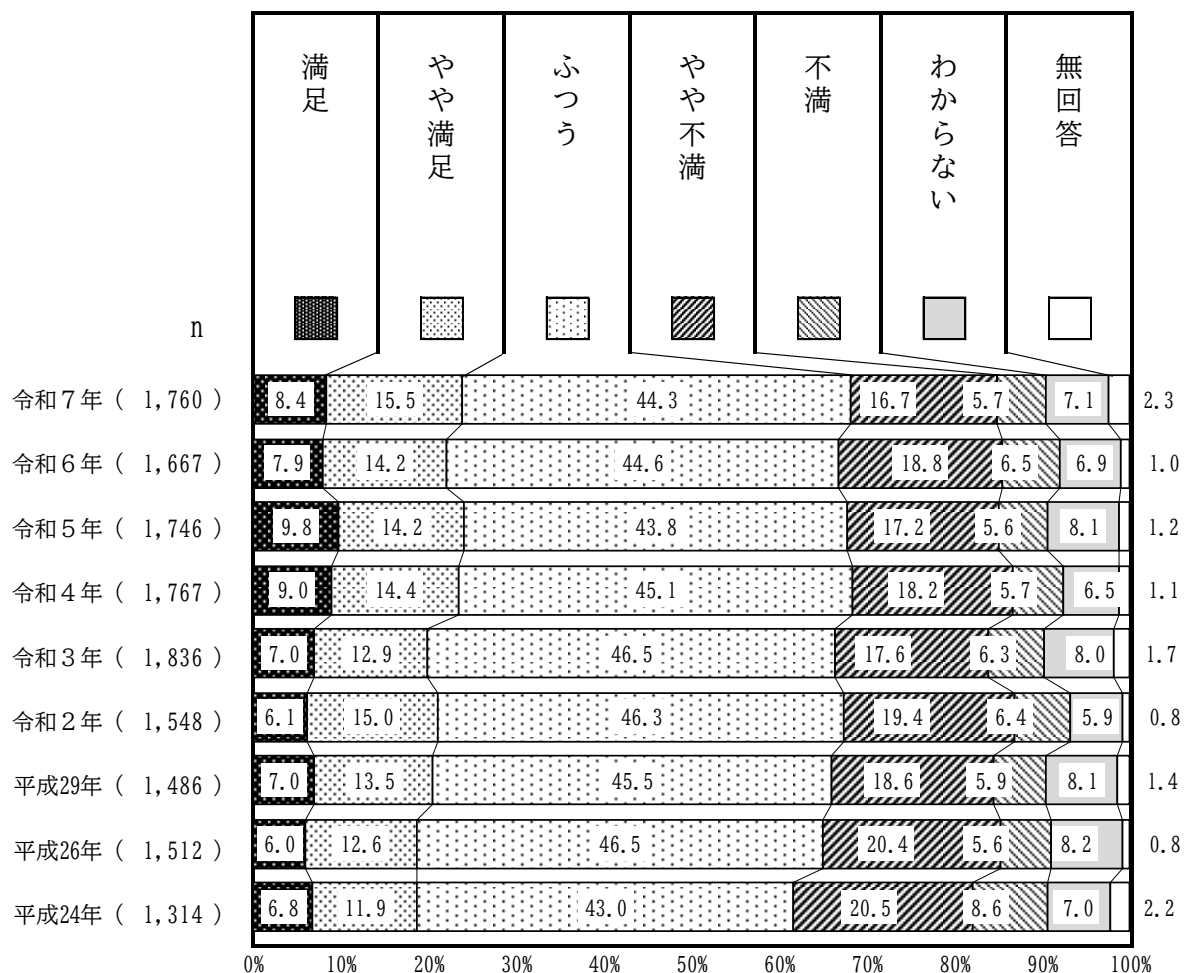
<図表2-19>⑥街の景観／居住地区別



【⑦街のバリアフリー／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は0.5ポイント、「やや満足」は1.3ポイント増加している。一方、「不満」は0.8ポイント、「やや不満」は2.1ポイント減少している。（図表2-20）

＜図表2-20＞⑦街のバリアフリー／時系列比較

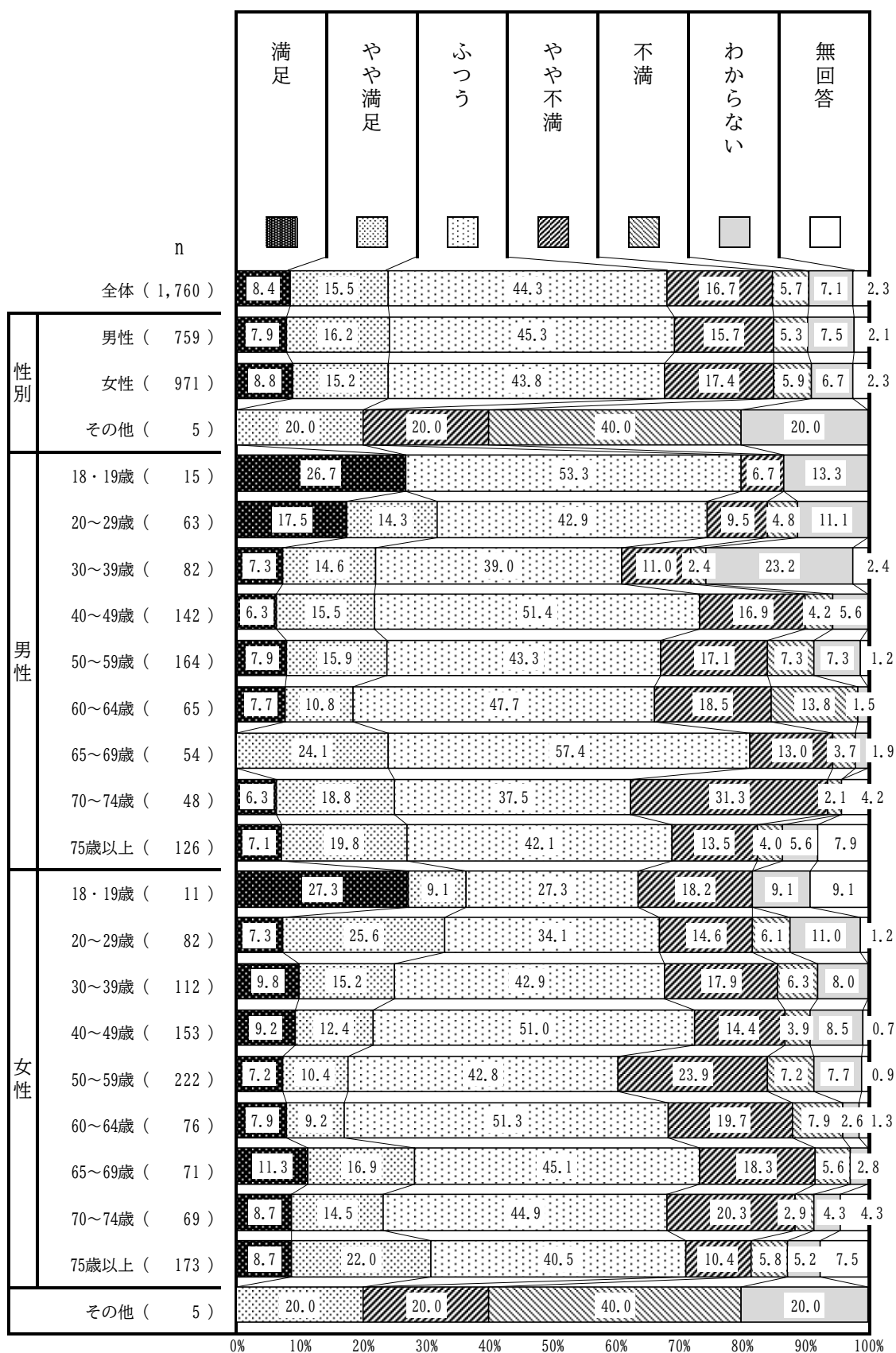


【⑦街のバリアフリー／性・年齢別別】

男性において、「やや不満」は70～74歳（31.3%）が3割強と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が3割強と高くなっている。

女性において、「やや満足」は20～29歳（25.6%）が2割台半ばと高く、「満足」と「やや満足」の合計は3割強と高くなっている。（図表2-21）

<図表2-21>⑦街のバリアフリー／性・年齢別

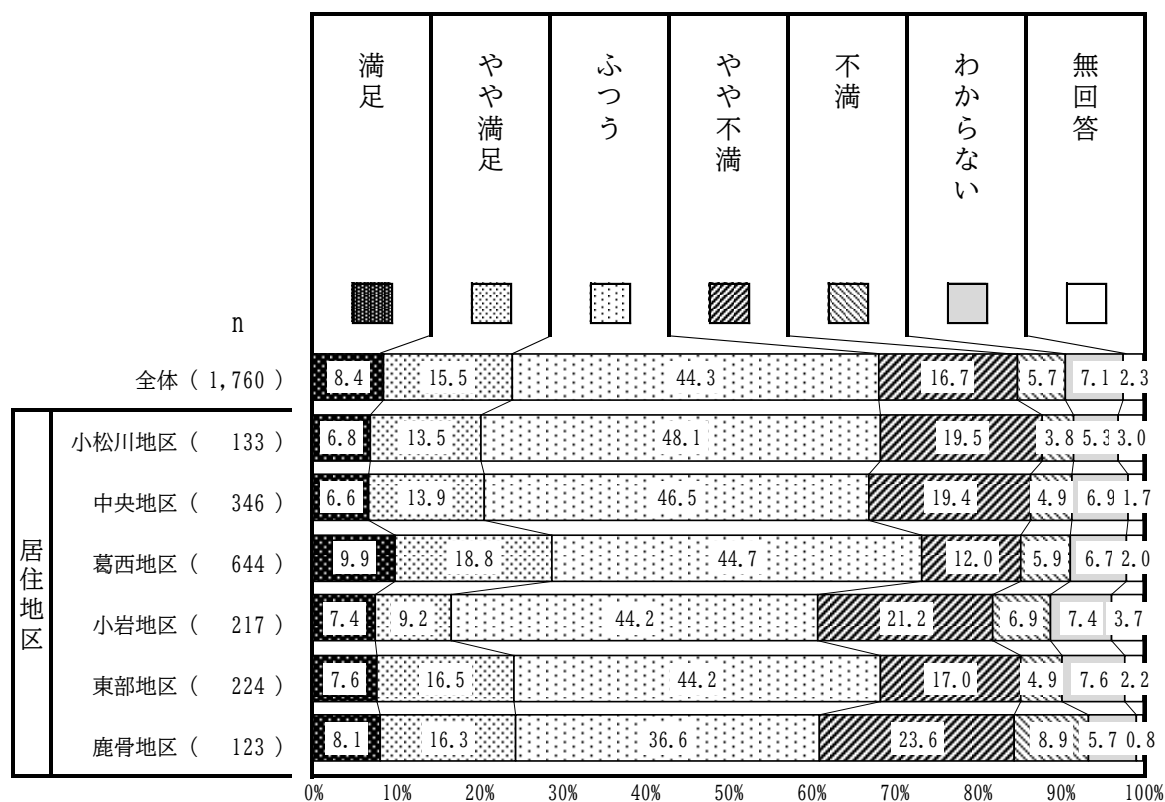


【⑦街のバリアフリー／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が3割近くと高くなっている。

「不満」と「やや不満」の合計は鹿骨地区が3割強と高くなっている。（図表2－22）

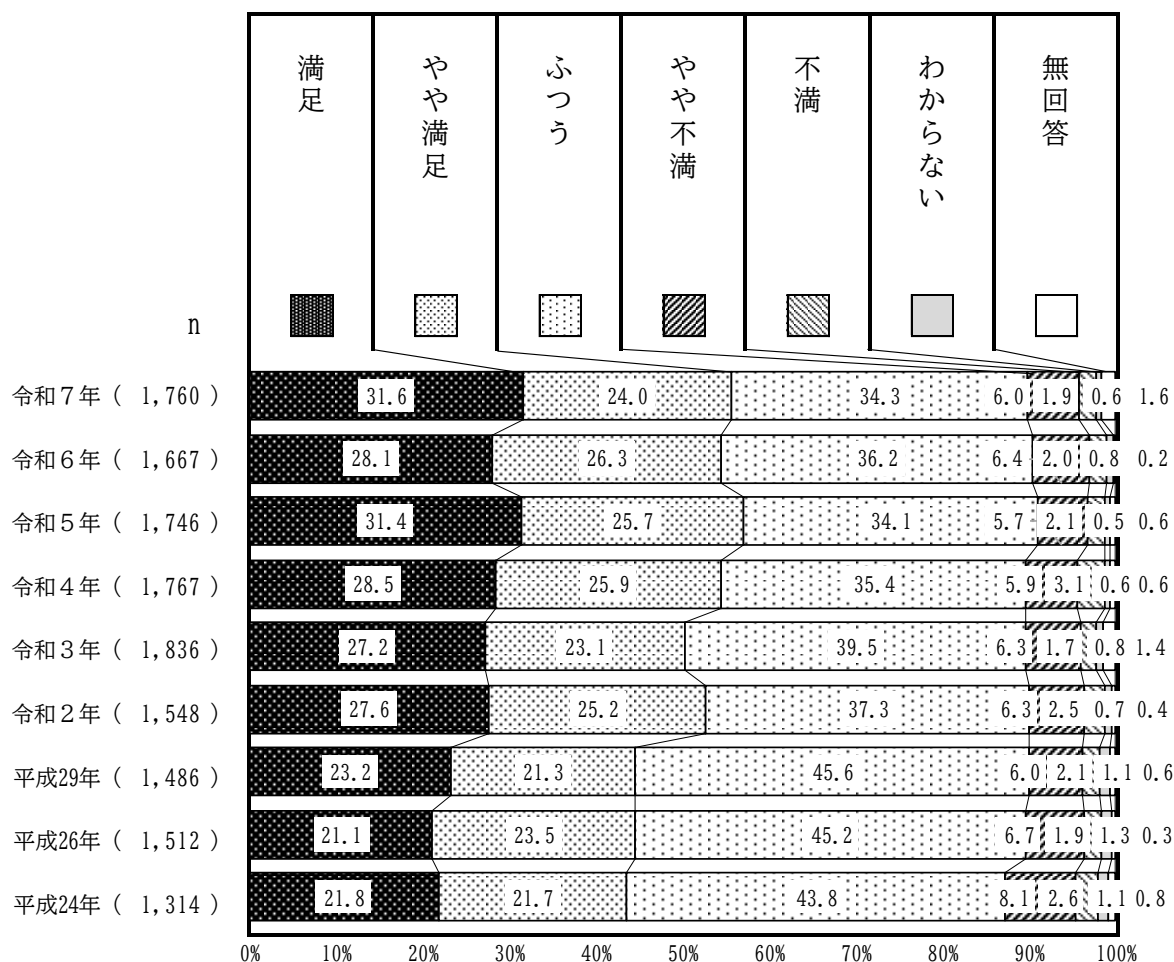
<図表2－22>⑦街のバリアフリー／居住地区別



【⑧ごみの収集／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は3.5ポイント増加し、「やや満足」は2.3ポイント減少している。一方、「不満」は0.1ポイント、「やや不満」は0.4ポイント減少している。（図表2-23）

<図表2-23>⑧ごみの収集／時系列比較



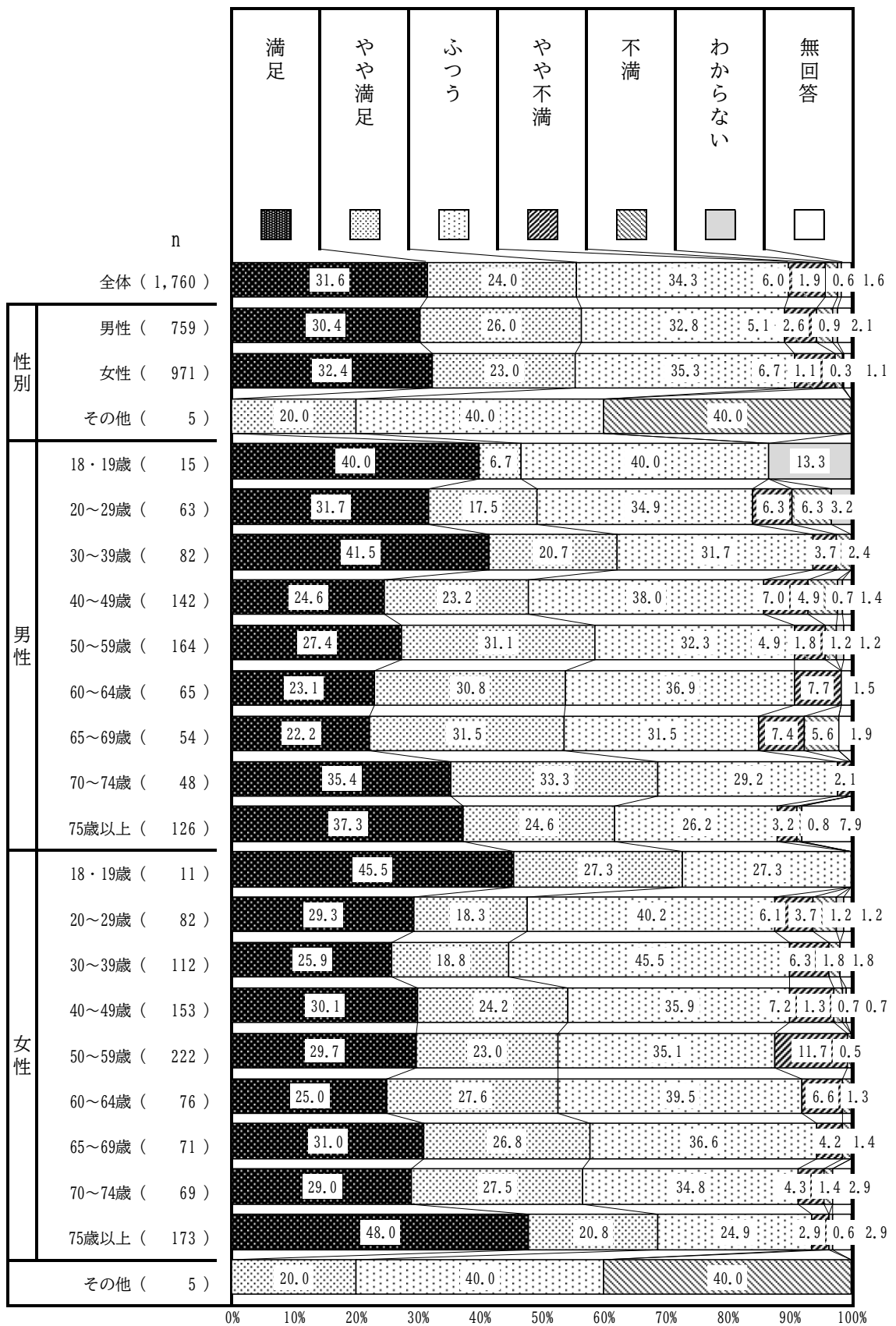
【⑧ごみの収集／性・年齢別別】

「やや満足」は男性（26.0%）が女性（23.0%）に比べて3.0ポイント高くなっている。

男性において、「満足」は30～39歳（41.5%）が4割強と最も高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は70～74歳が7割近くと高くなっている。

女性において、「満足」は75歳以上（48.0%）が5割近くと最も高く、「満足」と「やや満足」の合計は7割近くと高くなっている。（図表2-24）

<図表2-24>⑧ごみの収集／性・年齢別

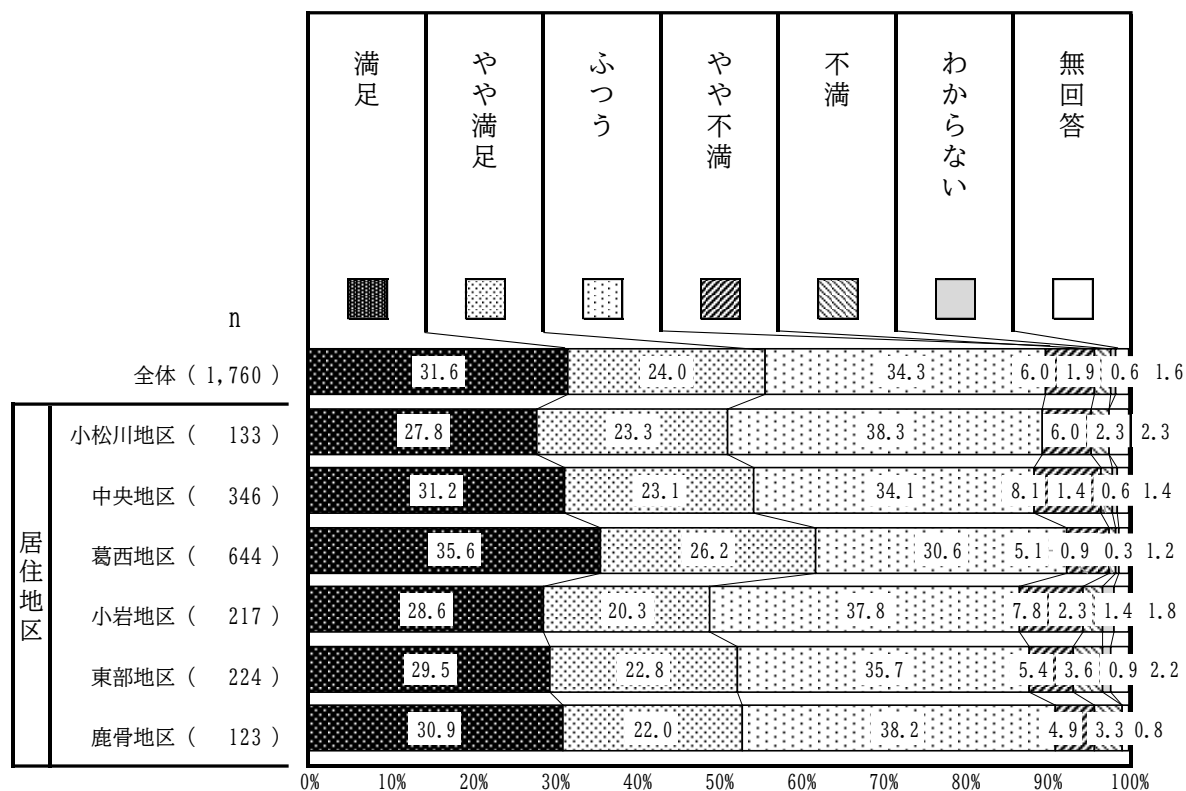


【⑧ごみの収集／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区で6割強と高くなっている。

「不満」と「やや不満」の合計は小岩地区で約1割となっている。（図表2－25）

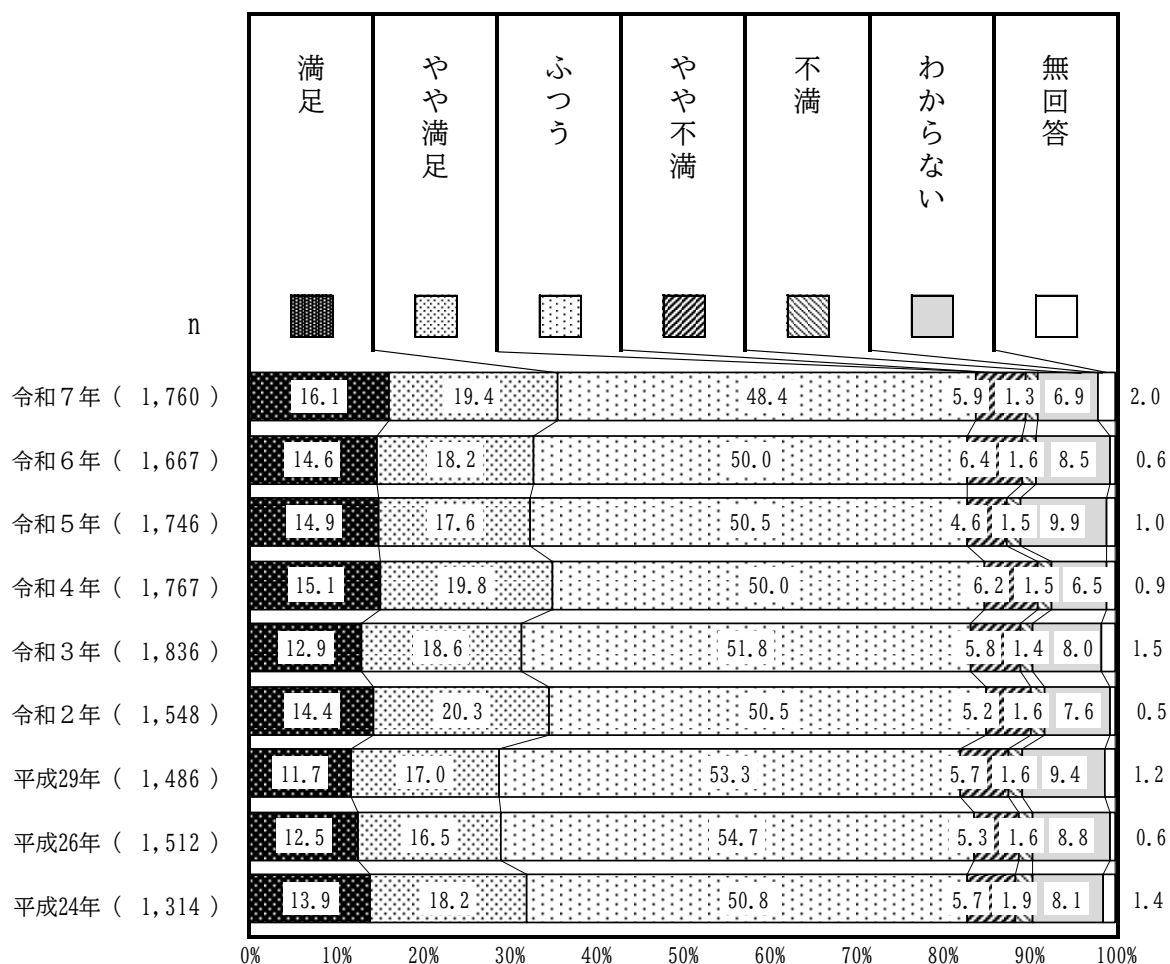
<図表2－25>⑧ごみの収集／居住地区別



【⑨リサイクルの推進／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は1.5ポイント、「やや満足」は1.2ポイント増加している。一方、「不満」は0.3ポイント、「やや不満」は0.5ポイント減少している。（図表2-26）

＜図表2-26＞⑨リサイクルの推進／時系列比較



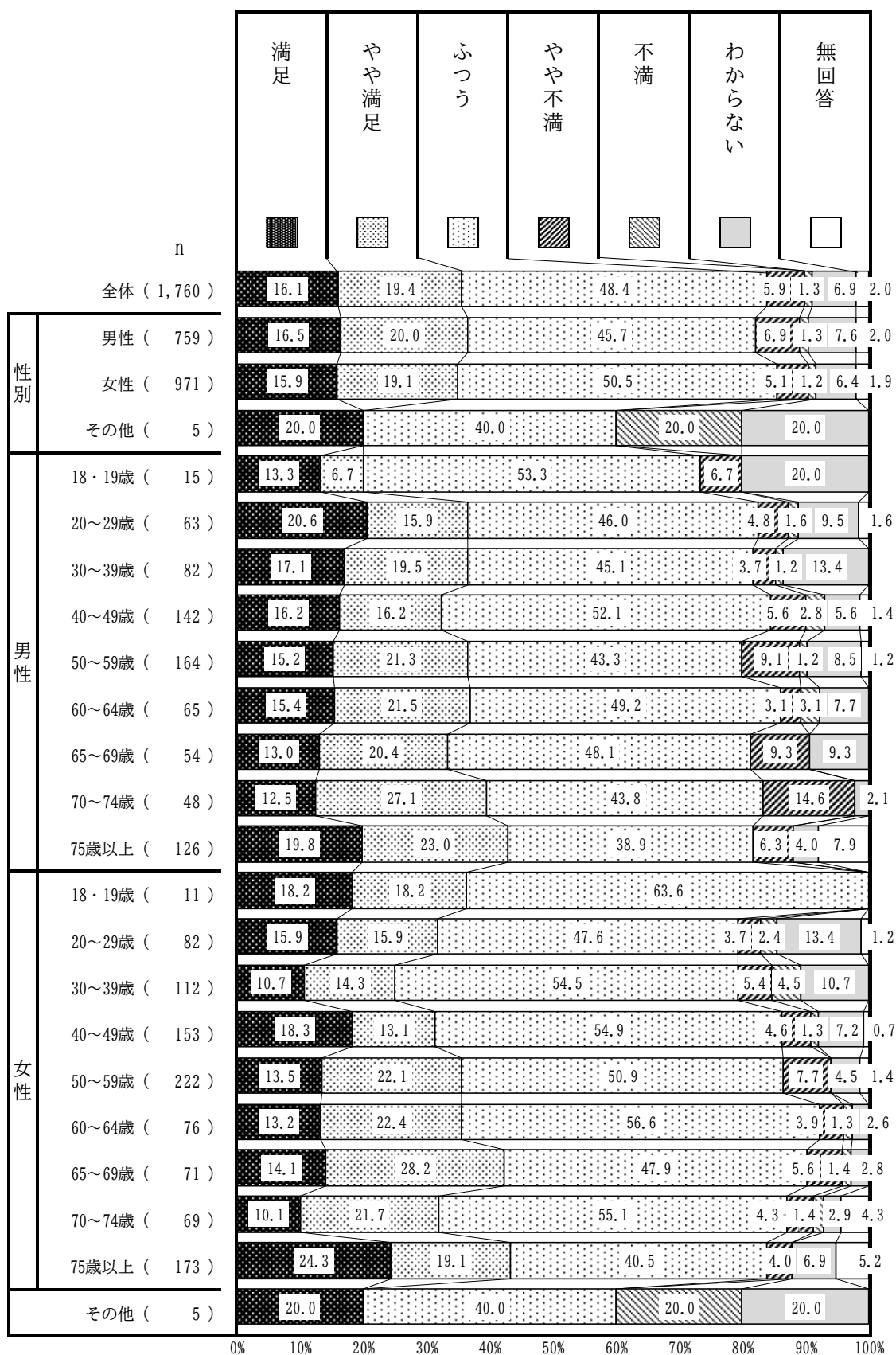
【⑨リサイクルの推進／性・年齢別別】

男性において、「満足」は20～29歳（20.6%）が約2割と最も高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上が4割強と高くなっている。

女性において、「満足」は75歳以上（24.3%）が2割台半ばと最も高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳と75歳以上が4割強と高くなっている。

（図表2-27）

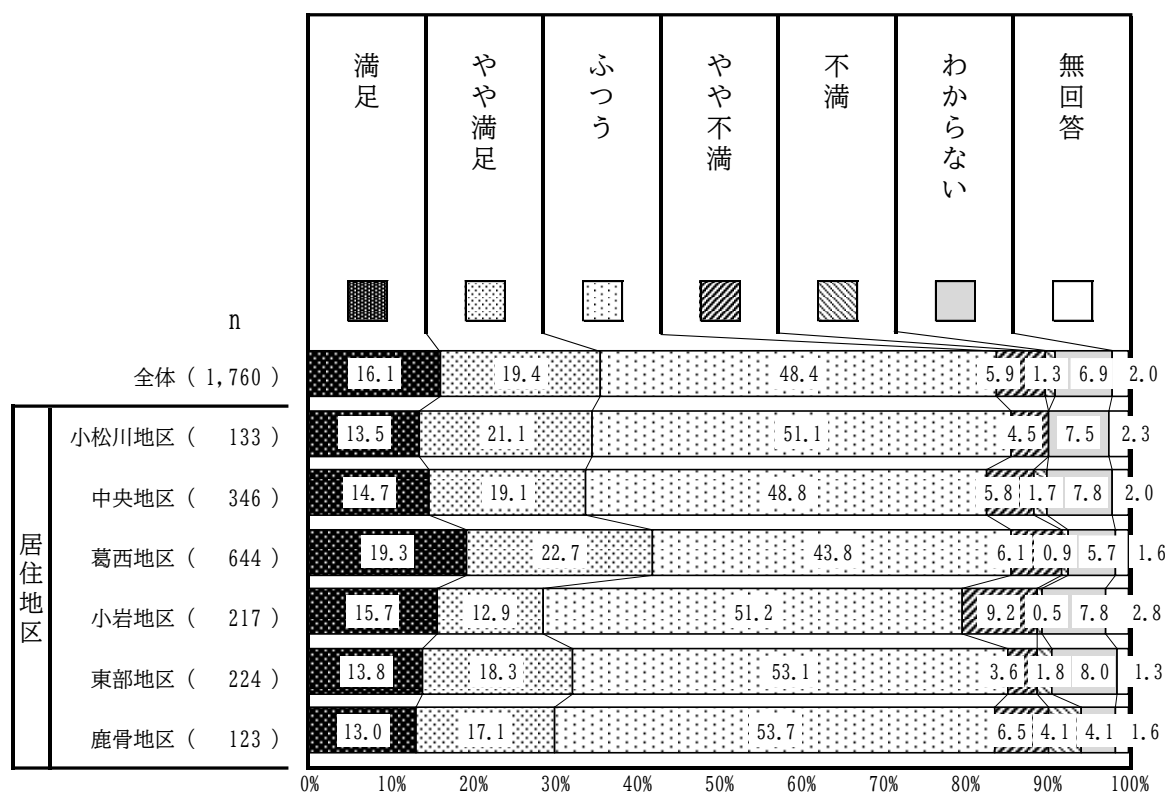
<図表2-27>⑨リサイクルの推進／性・年齢別



【⑨リサイクルの推進／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区で4割強と高くなっている。「不満」と「やや不満」の合計は鹿骨地区で約1割となっている。(図表2-28)

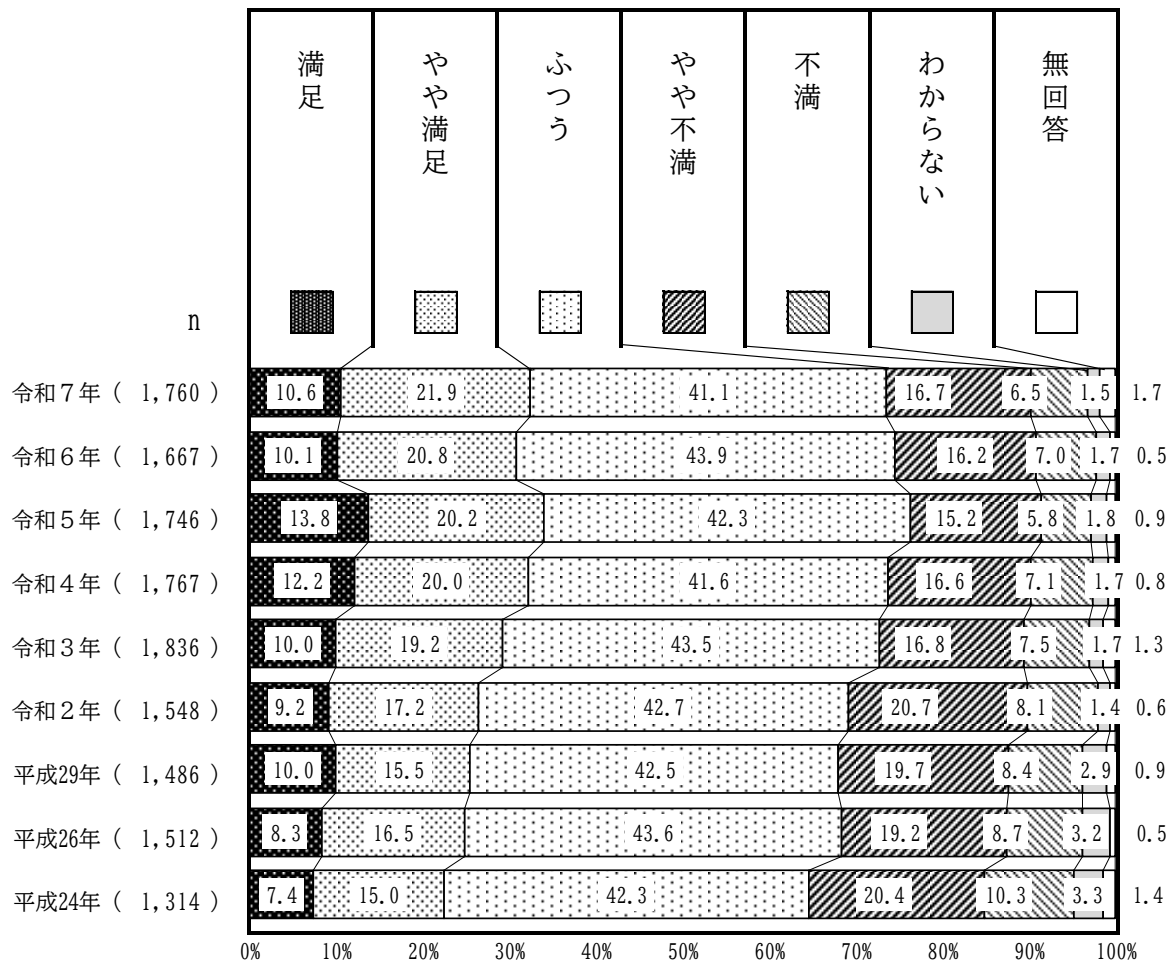
<図表2-28>⑨リサイクルの推進／居住地区別



【⑩地域の治安・安全性／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は0.5ポイント、「やや満足」は1.1ポイント増加している。一方、「不満」は0.5ポイント減少し、「やや不満」は0.5ポイント増加している。（図表2-29）

<図表2-29>⑩地域の治安・安全性／時系列比較



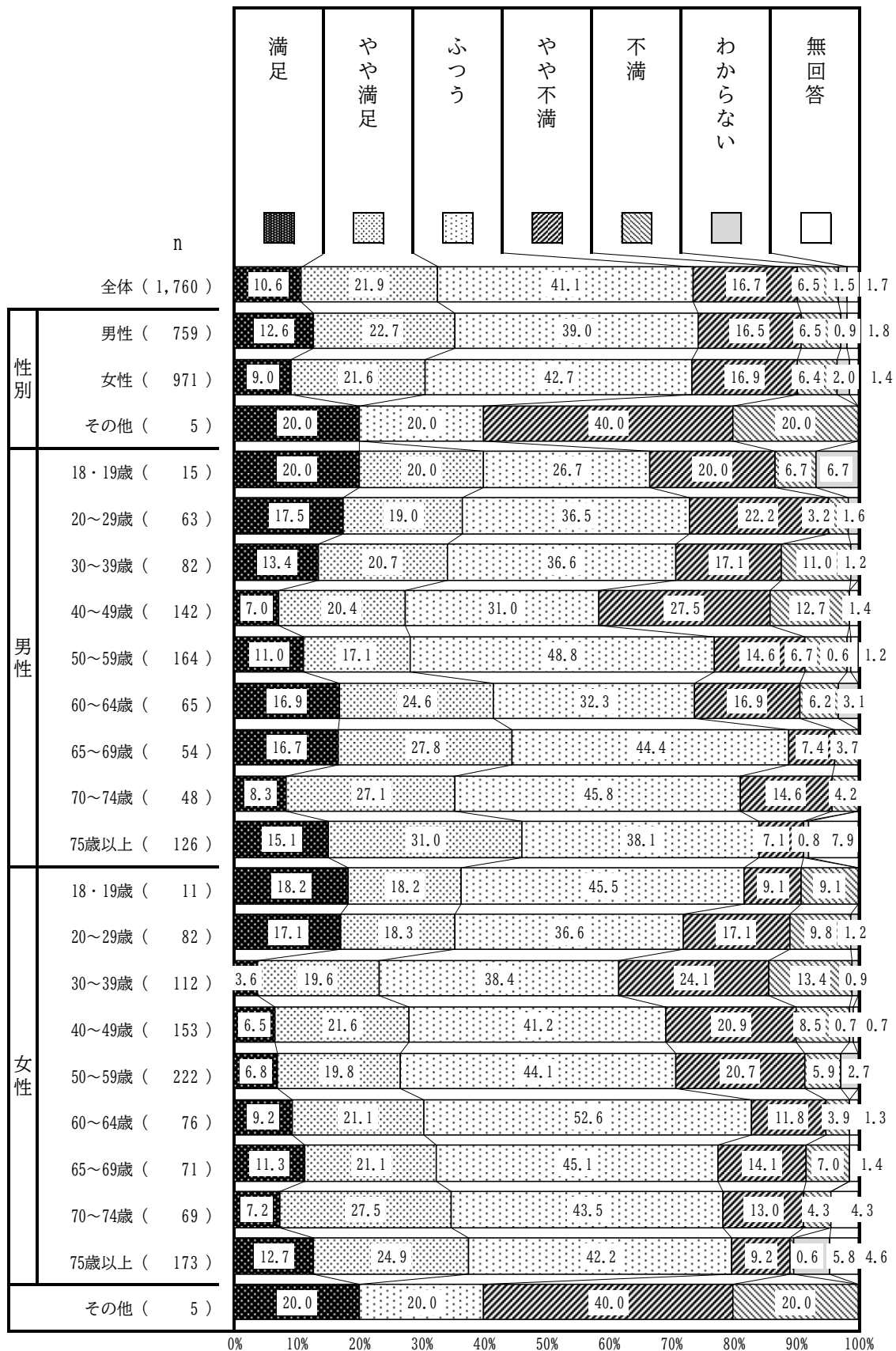
【⑩地域の治安・安全性／性・年齢別別】

「満足」は男性（12.6％）が女性（9.0％）に比べて3.6ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は75歳以上（31.0％）が3割強と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上が5割近くとなっている。

女性において、「満足」は30～39歳（3.6％）が低くなっている。「やや満足」は70～74歳（27.5％）が3割近くと高くなっている。（図表2-30）

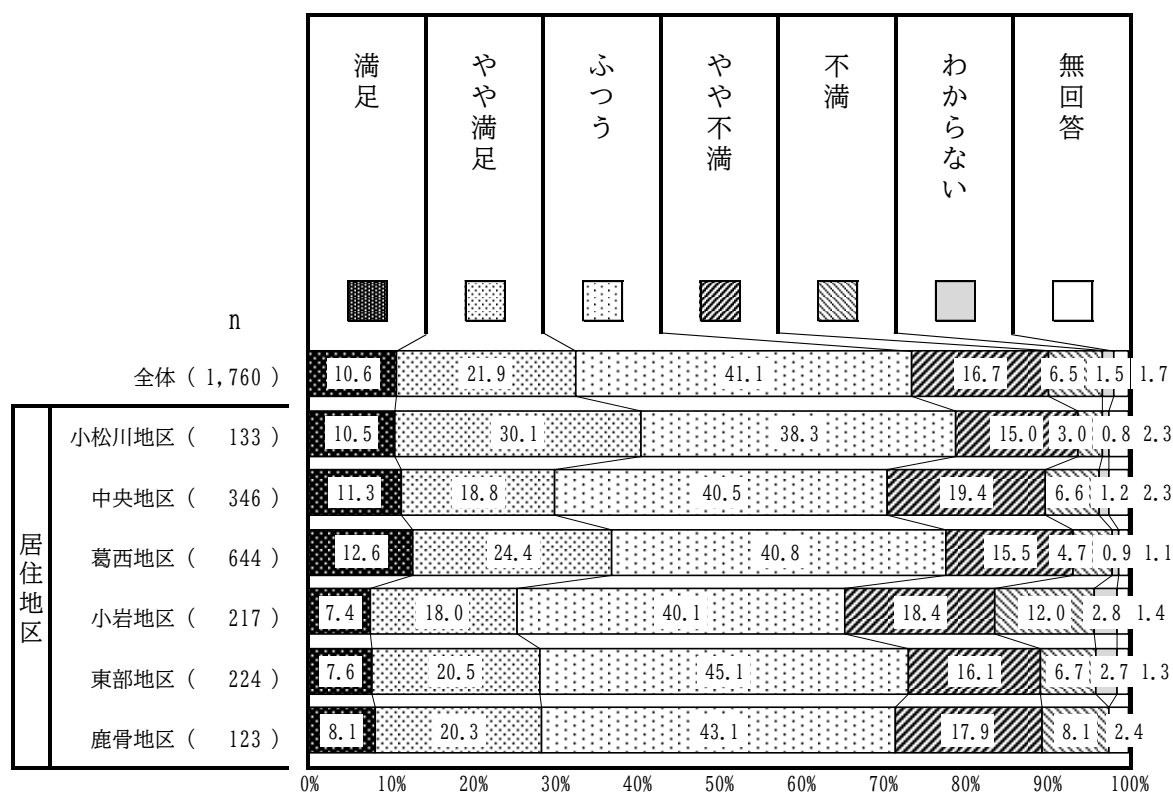
<図表2-30>⑩地域の治安・安全性／性・年齢別



【⑩地域の治安・安全性／居住地区別】

「不満」は小岩地区（12.0%）、が1割強と高く、「不満」と「やや不満」のとの合計は約3割となっている。（図表2－31）

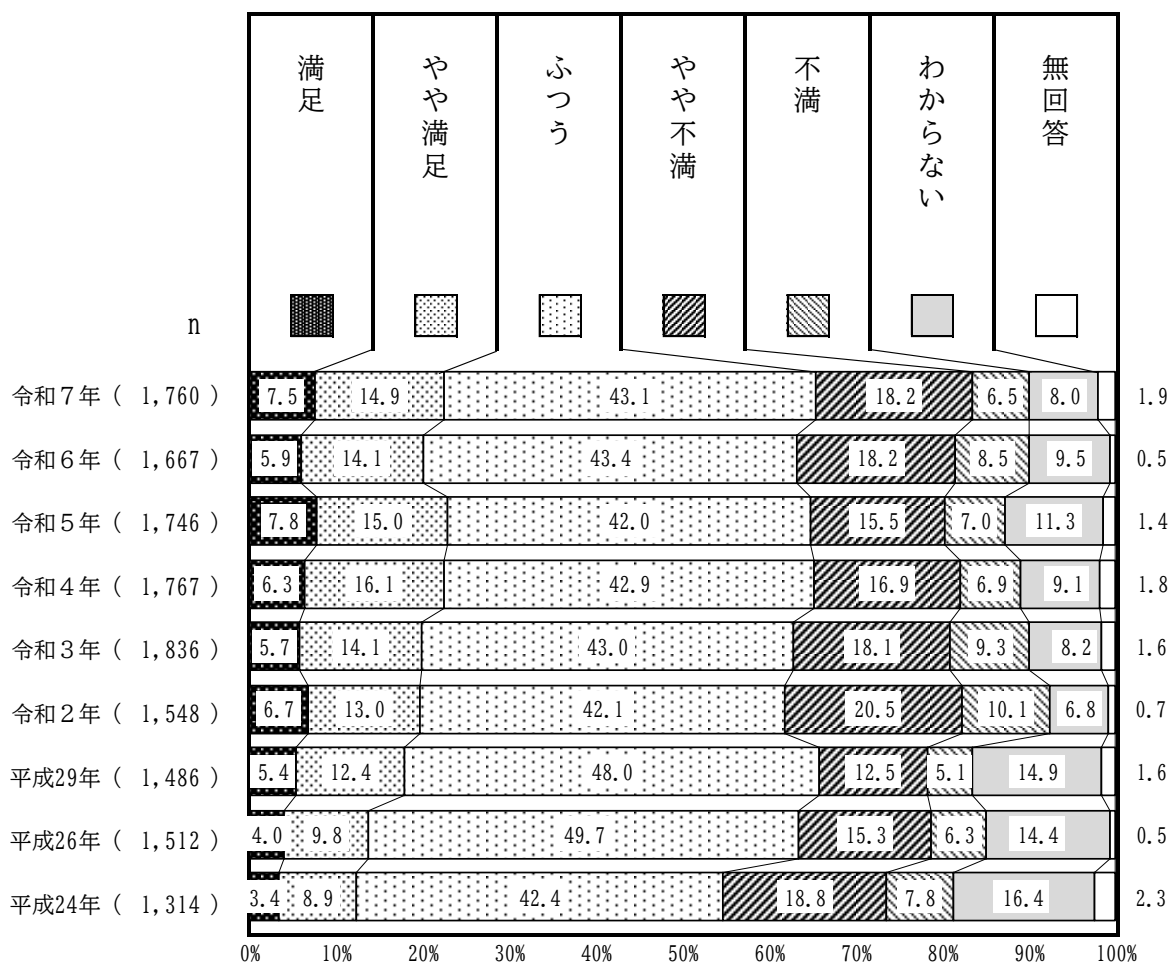
<図表2－31>⑩地域の治安・安全性／居住地区別



【⑪災害への備え／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は1.6ポイント、「やや満足」は0.8ポイント増加している。一方、「不満」は2.0ポイント減少している。（図表2-32）

<図表2-32>⑪災害への備え／時系列比較

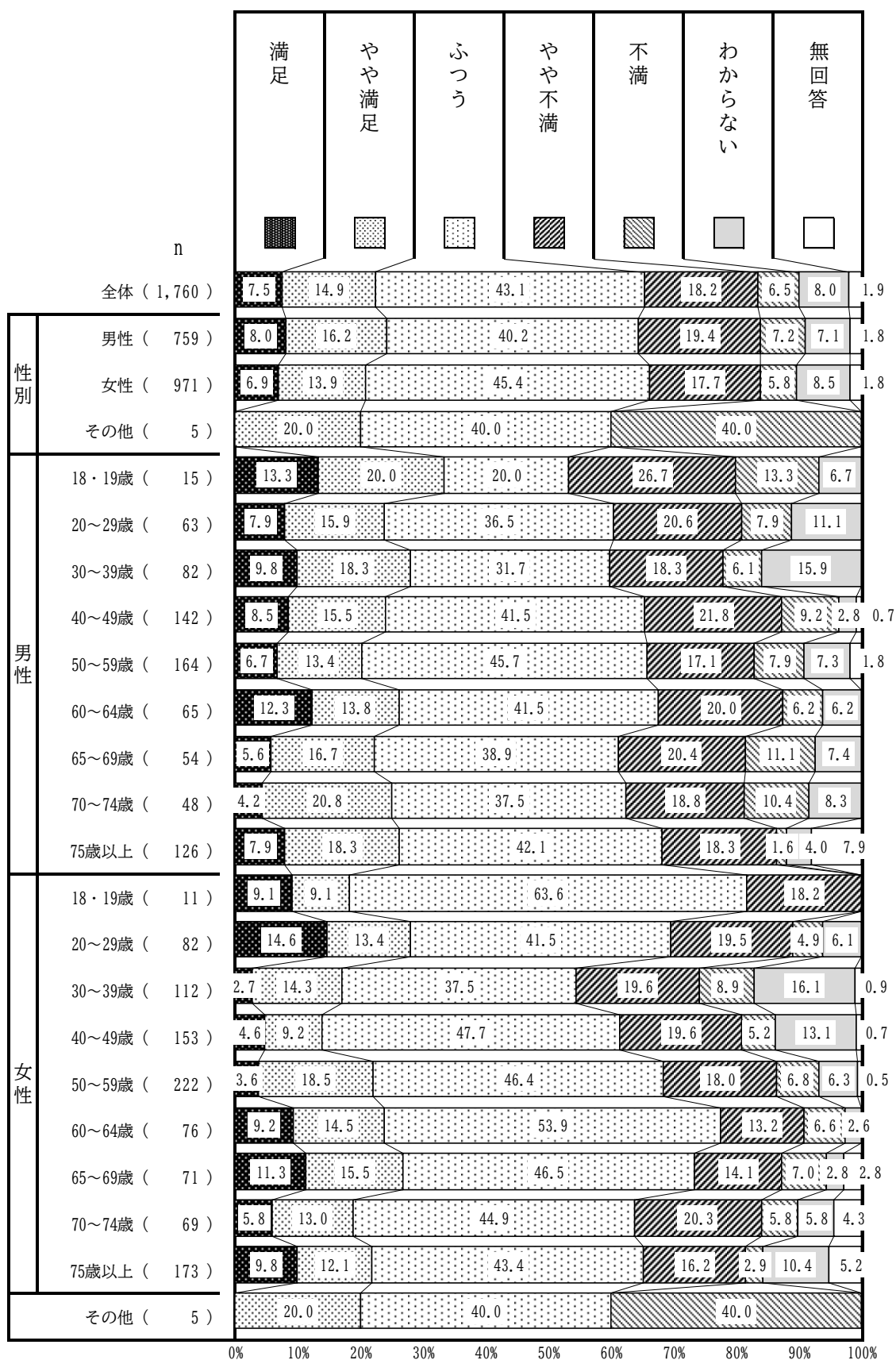


【⑪災害への備え／性・年齢別別】

男性において、「不満」は65～69歳（11.1%）が1割強となっており、「やや不満」と「不満」の合計は40～49歳と65～69歳が3割強となっている。

女性において、「やや不満」は70～74歳（20.3%）が約2割となっており、「不満」と「やや不満」の合計は30～39歳、70～74歳が3割近くとなっている。（図表2-33）

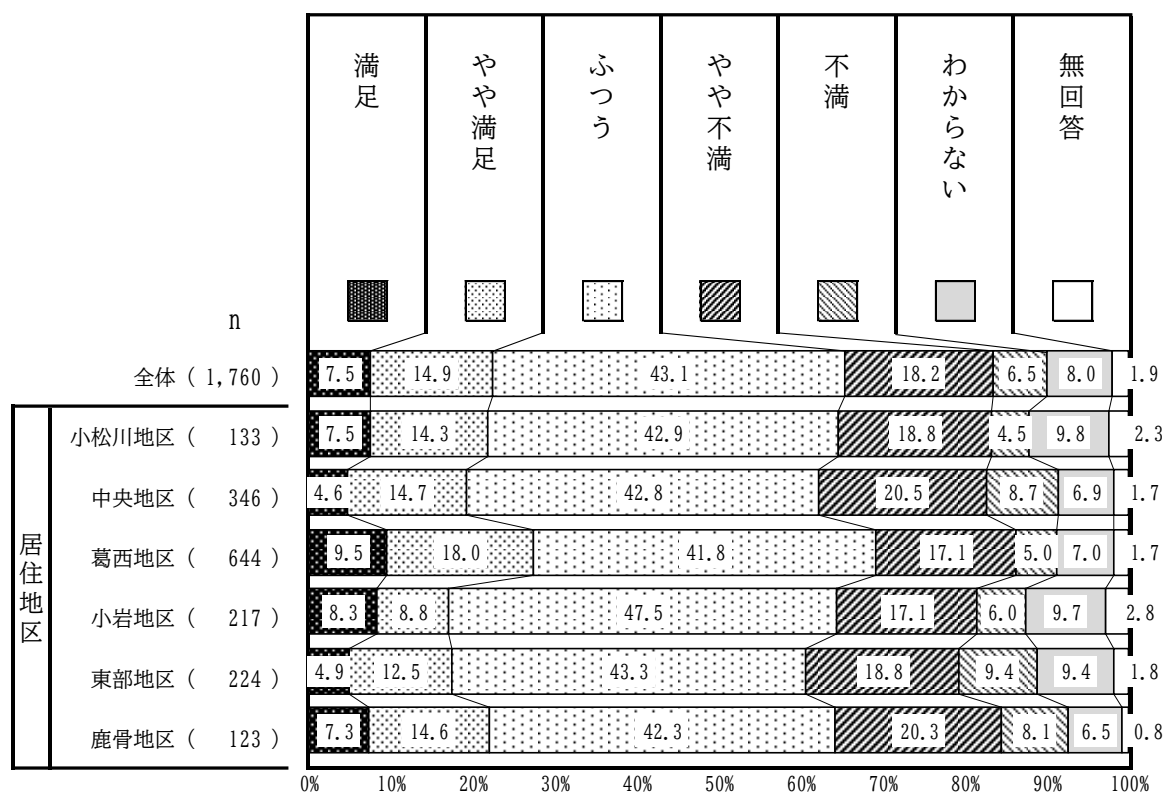
<図表2-33>⑪災害への備え／性・年齢別



【⑪災害への備え／居住地区別】

「満足」は葛西地区（9.5%）が最も高く、次いで小岩地区（8.3%）が高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区で3割近くとなっている。（図表2－34）

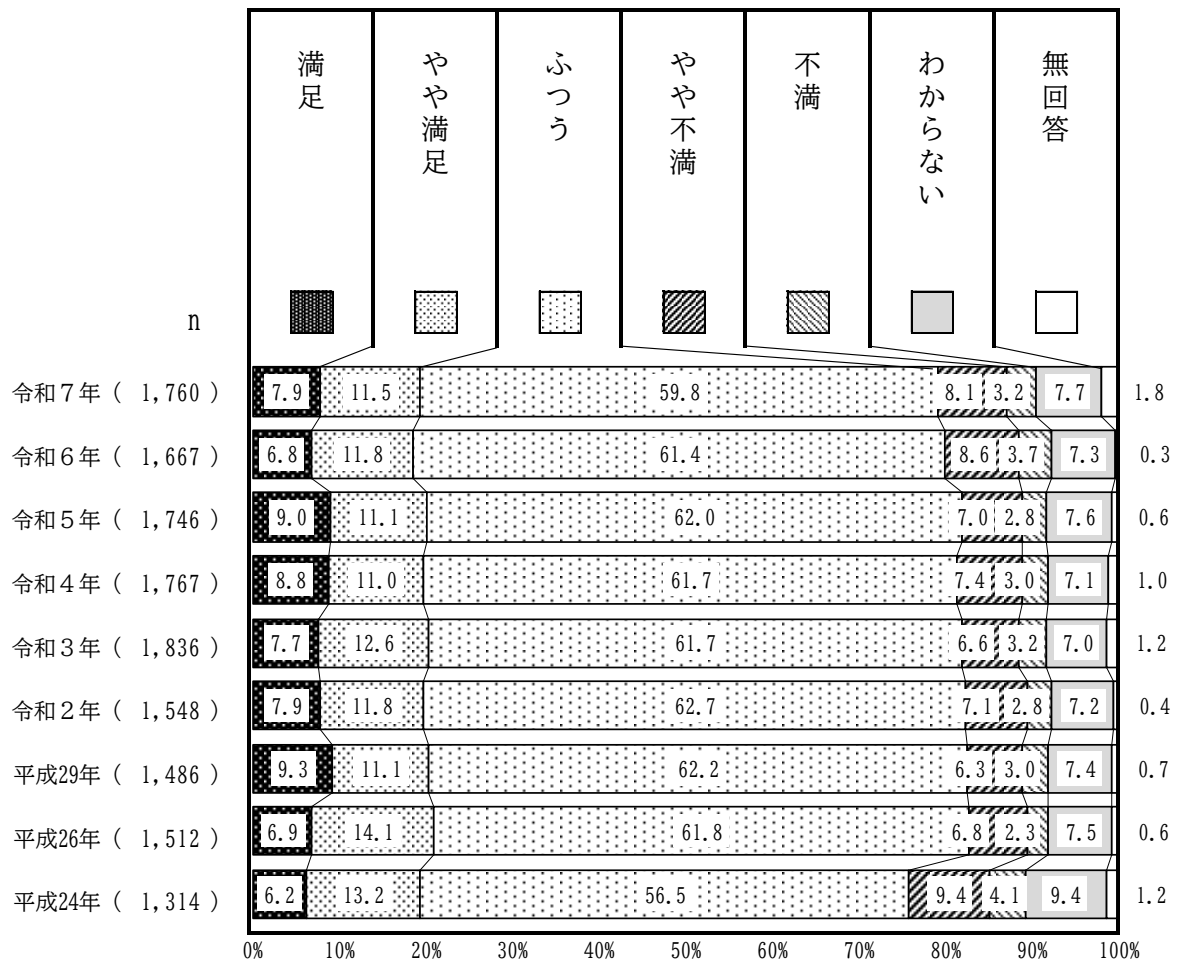
<図表2－34>⑪災害への備え／居住地区別



【⑫近所づきあい／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は1.1ポイント増加し、「やや満足」は0.3ポイント減少している。一方、「不満」と「やや不満」は0.5ポイント減少している。(図表2-35)

<図表2-35>⑫近所づきあい／時系列比較

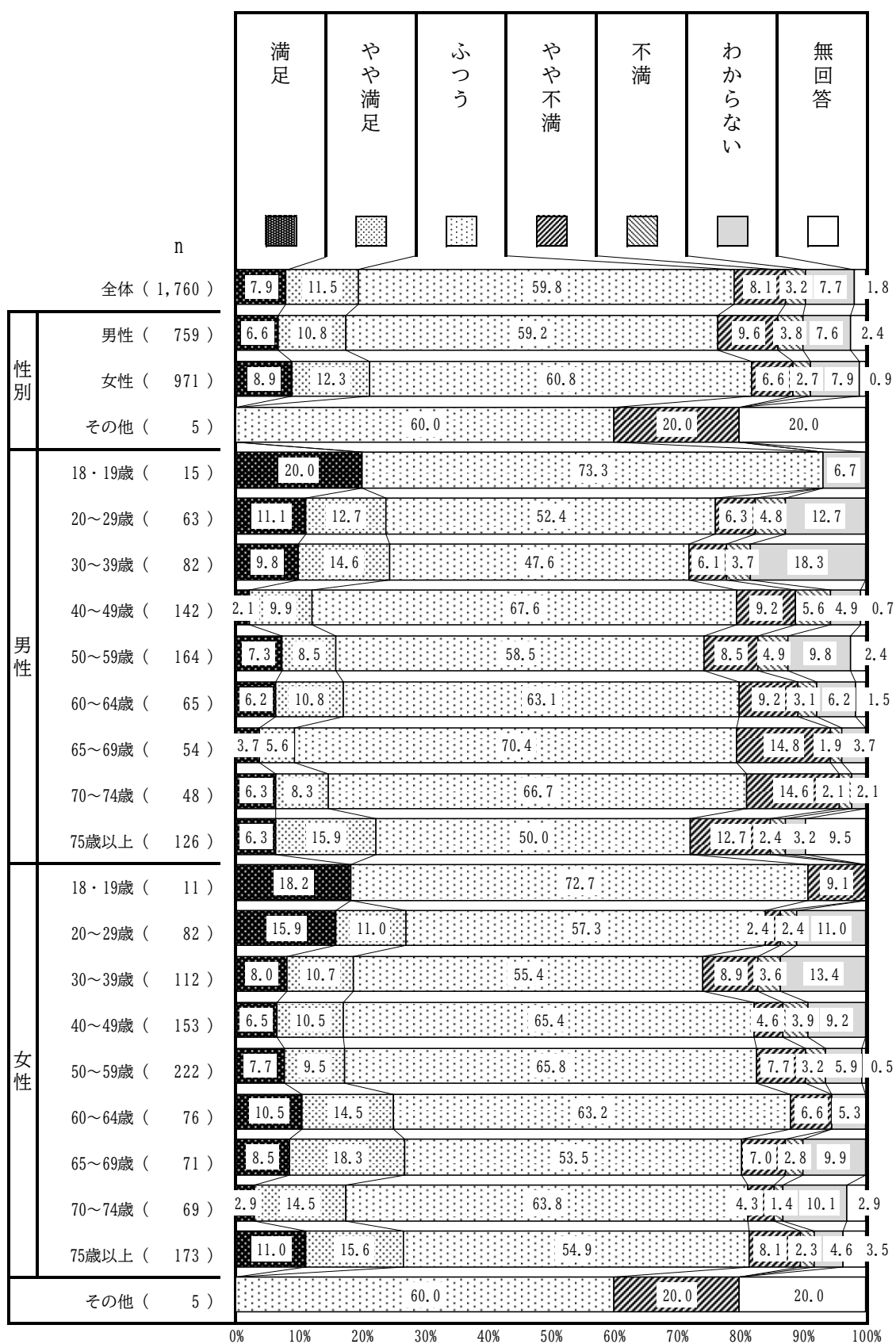


【⑫近所づきあい／性・年齢別別】

男性において、「満足」は20～29歳(11.1%)が1割強となっており、「満足」と「やや満足」の合計は30～39歳が2割台半ばとなっている。

女性において、「満足」は20～29歳(15.9%)が1割台半ばとなっており、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳、65～69歳、75歳以上が3割近くとなっている。(図表2-36)

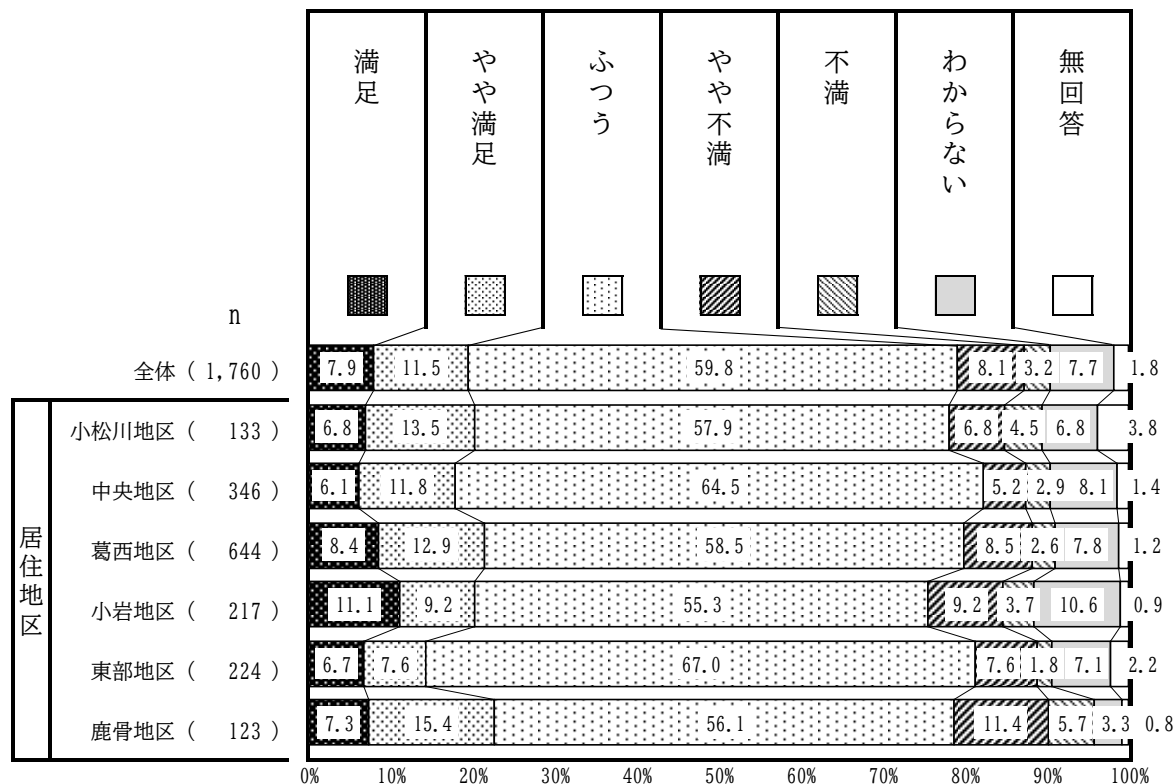
<図表2-36>⑫近所づきあい／性・年齢別



【⑫近所づきあい／居住地区別】

「満足」は小岩地区（11.1%）が1割を超えている。（図表2－37）

<図表2－37>⑫近所づきあい／居住地区別

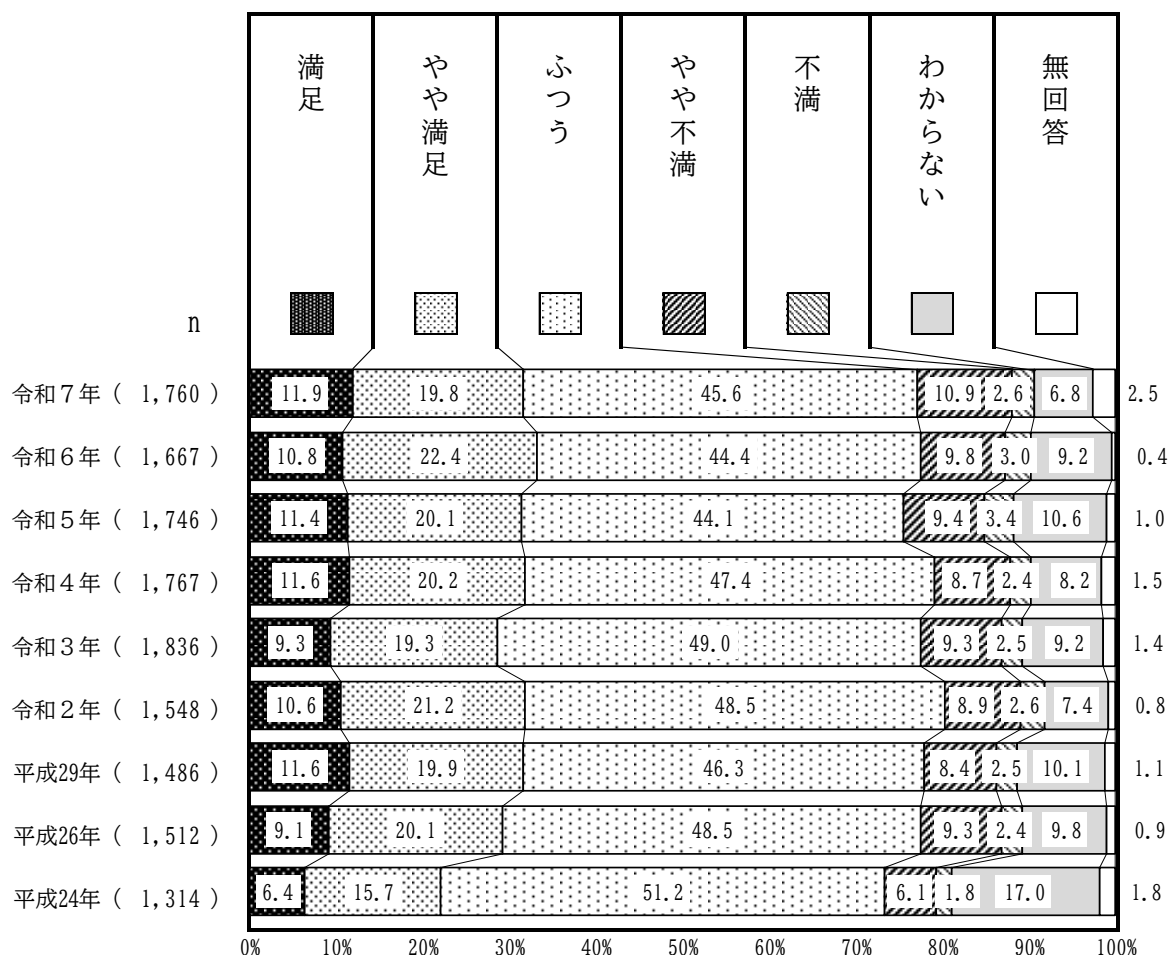


【⑬文化施設の充実度／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は1.1ポイント増加し、「やや満足」は2.6ポイント減少している。一方、「不満」は0.4ポイント減少し、「やや不満」は1.1ポイント増加している。

(図表2-38)

<図表2-38> ⑬文化施設の充実度／時系列比較



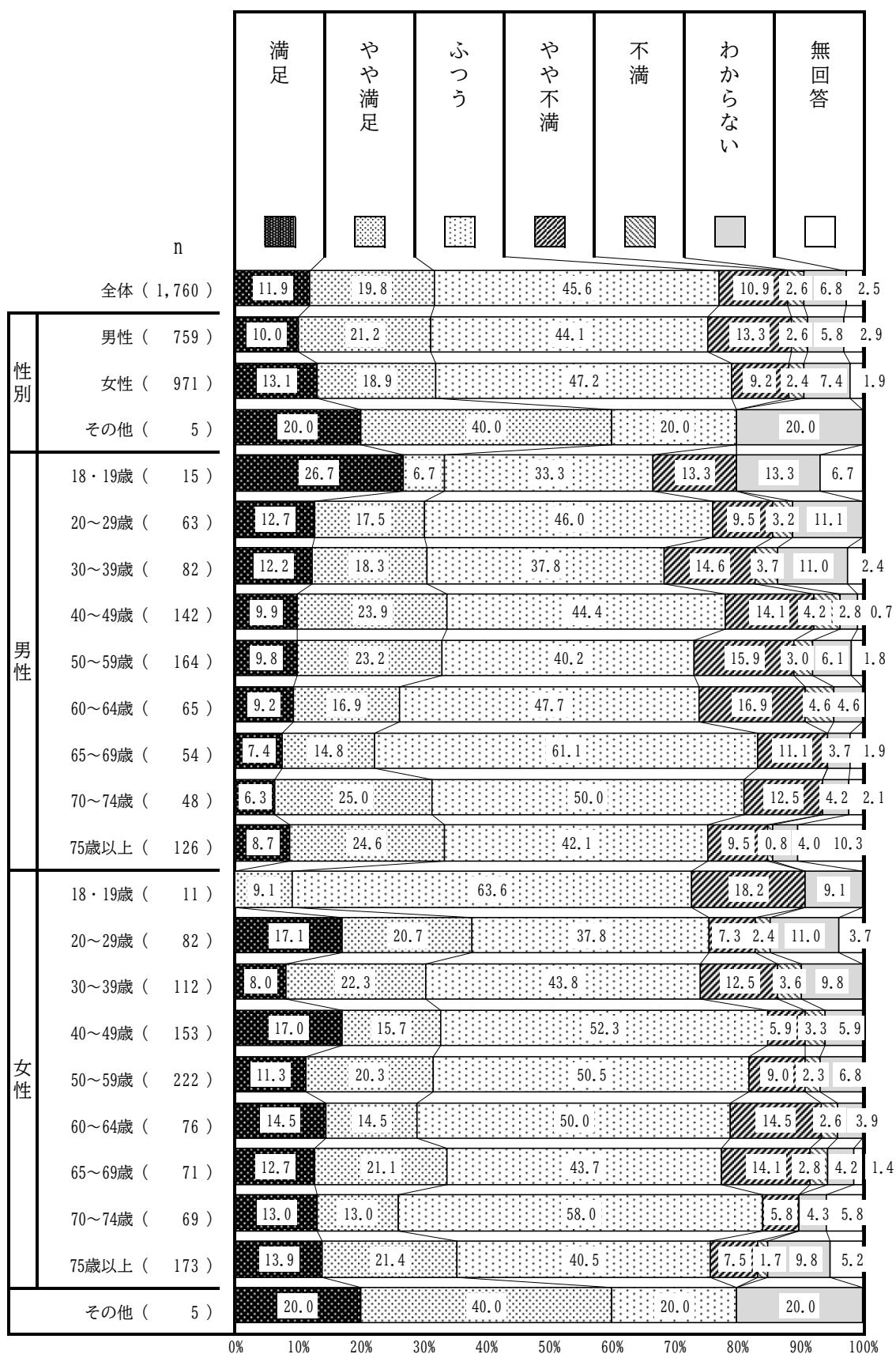
【⑬文化施設の充実度／性・年齢別別】

男性において、「やや満足」は70～74歳(25.0%)、75歳以上(24.6%)が2割台半ばとなっており、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳、50～59歳、70～74歳、75歳以上が3割強と高くなっている。

女性において、「やや満足」は30～39歳(22.3%)、65～69歳(21.1%)、75歳以上(21.4%)が2割強となっており、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が4割近くと高くなっている。

(図表2-39)

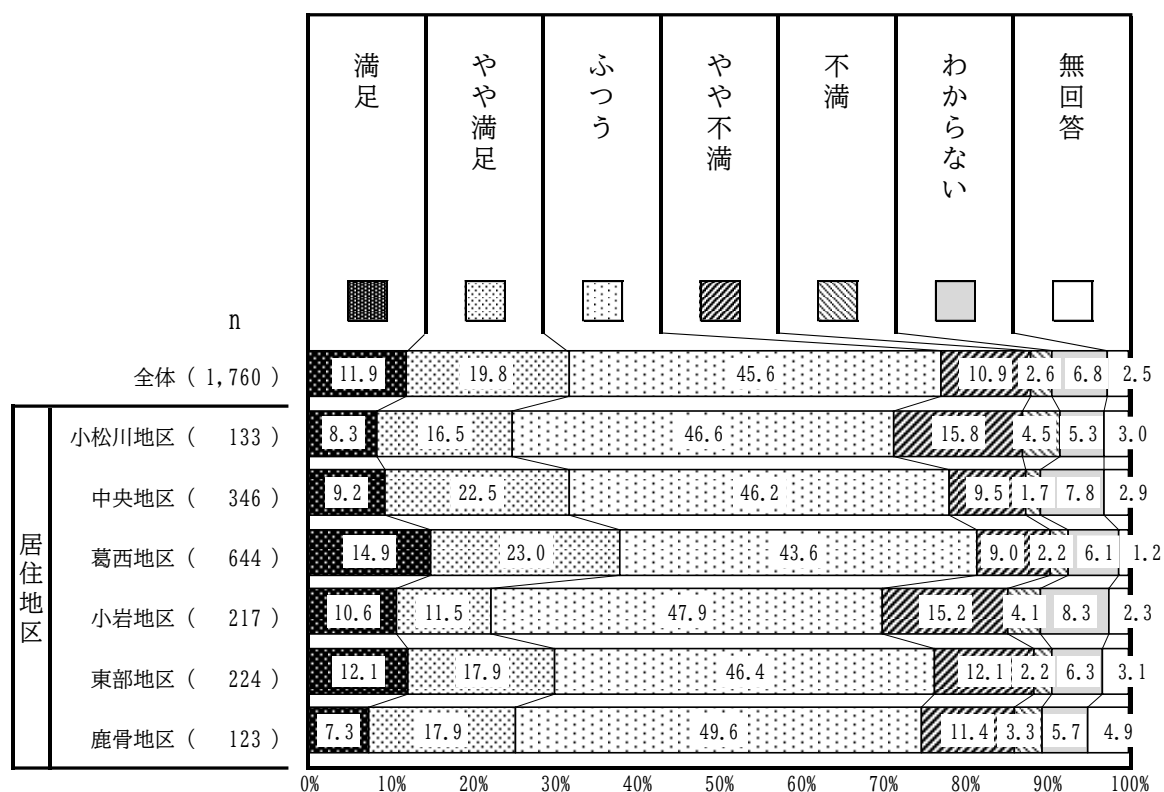
<図表2-39>⑬文化施設の充実度／性・年齢別



【⑬文化施設の充実度／居住地区別】

「やや満足」は中央地区（22.5%）と葛西地区（23.0%）が2割強と高くなっている。「やや不満」は小松川地区（15.8%）と小岩地区（15.2%）が1割半ばとなっている。（図表2－40）

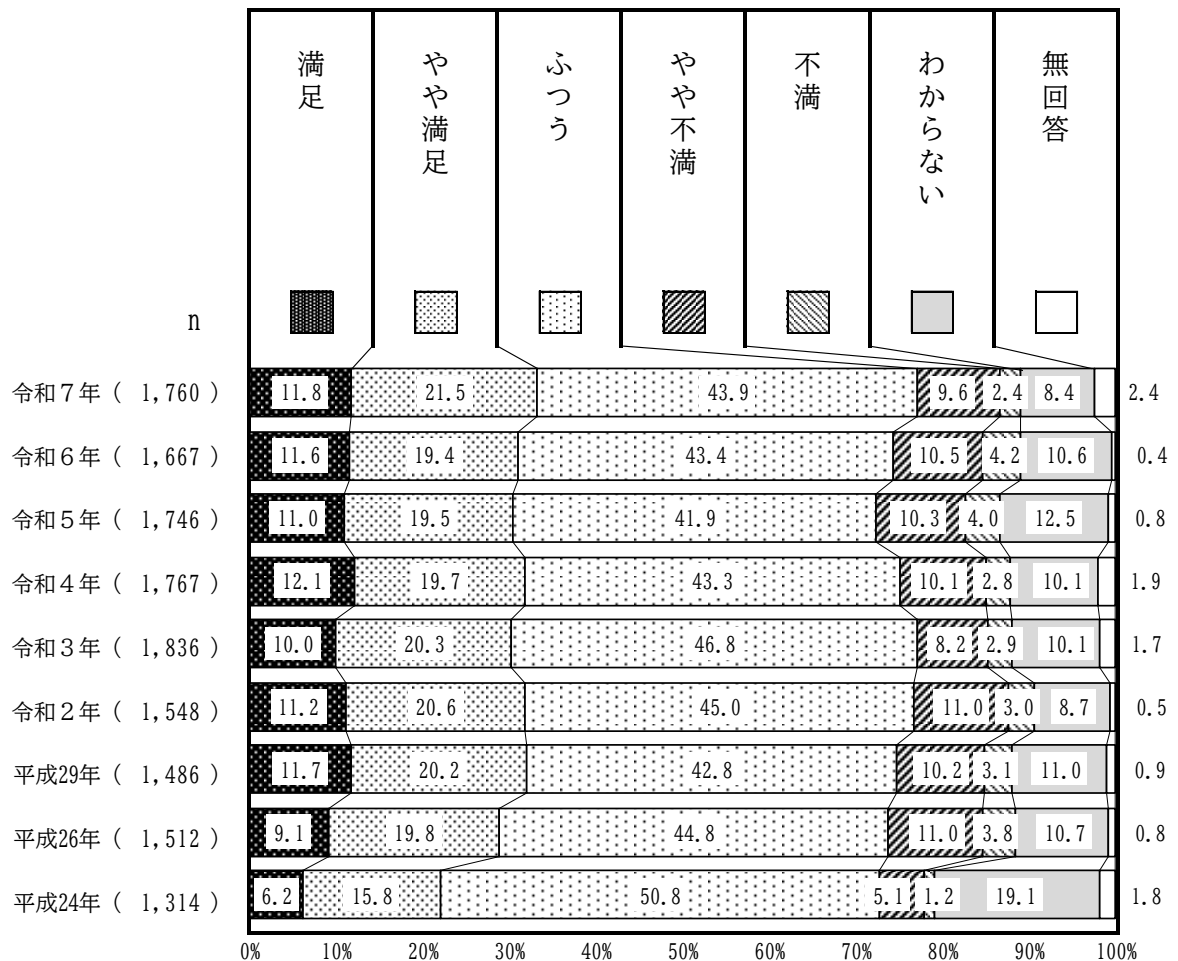
<図表2－40> ⑬文化施設の充実度／居住地区別



【⑭スポーツ施設の充実度／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は0.2ポイント、「やや満足」は2.1ポイント増加している。一方、「不満」は1.8ポイント、「やや不満」は0.9ポイント減少している。（図表2-41）

<図表2-41>⑭スポーツ施設の充実度／時系列比較



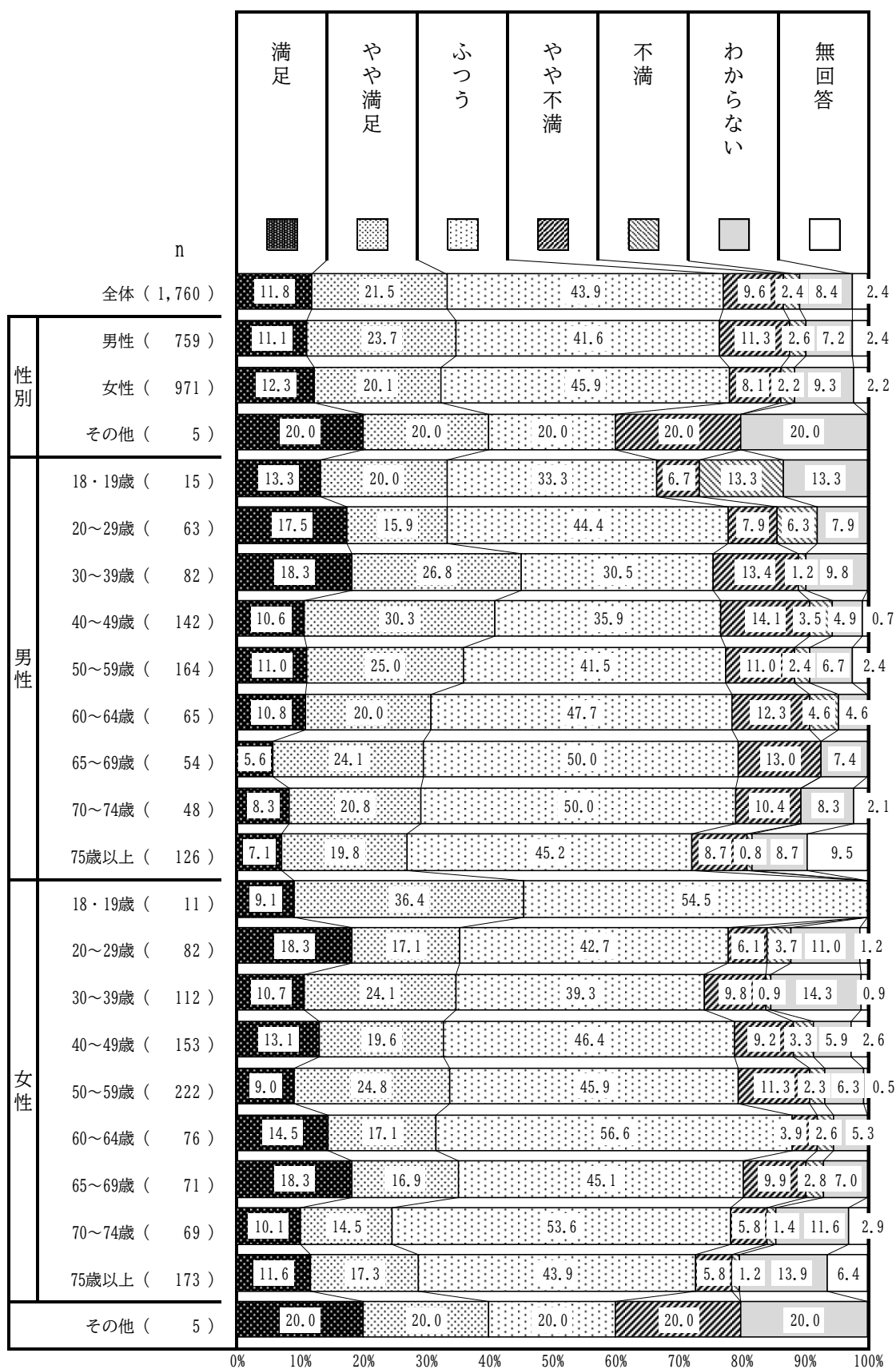
【⑭スポーツ施設の充実度／性・年齢別別】

「やや満足」は男性（23.7%）が女性（20.1%）に比べて3.6ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は40～49歳（30.3%）が約3割となっている。「満足」と「やや満足」の合計は30～39歳が4割台半ばとなっている。

女性において、「やや満足」は30～39歳（24.1%）、50～59歳（24.8%）が2割台半ばとなっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳、30～39歳、65～69歳が3割台半ばとなっている。（図表2-42）

<図表2-42>⑭スポーツ施設の充実度／性・年齢別

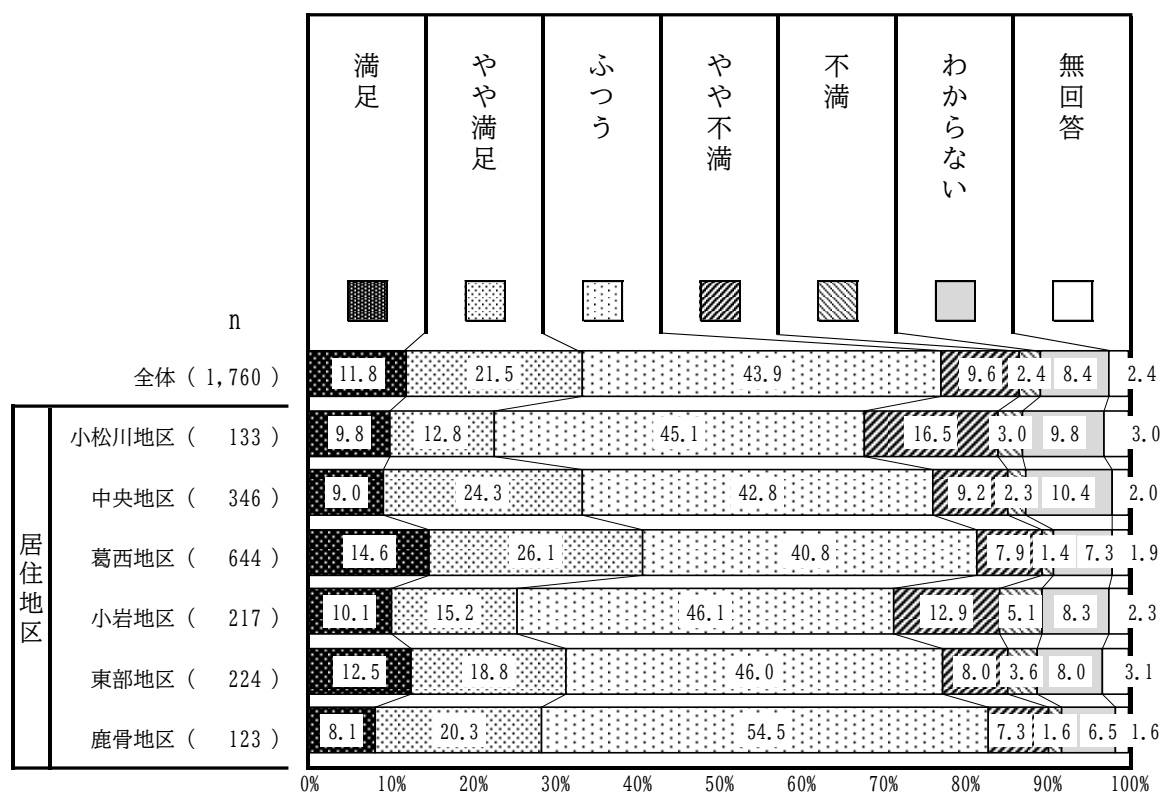


【⑭スポーツ施設の充実度／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が約4割となっている。

「不満」と「やや不満」の合計は小松川地区が2割弱となっている。（図表2－43）

<図表2－43>⑭スポーツ施設の充実度／居住地区別

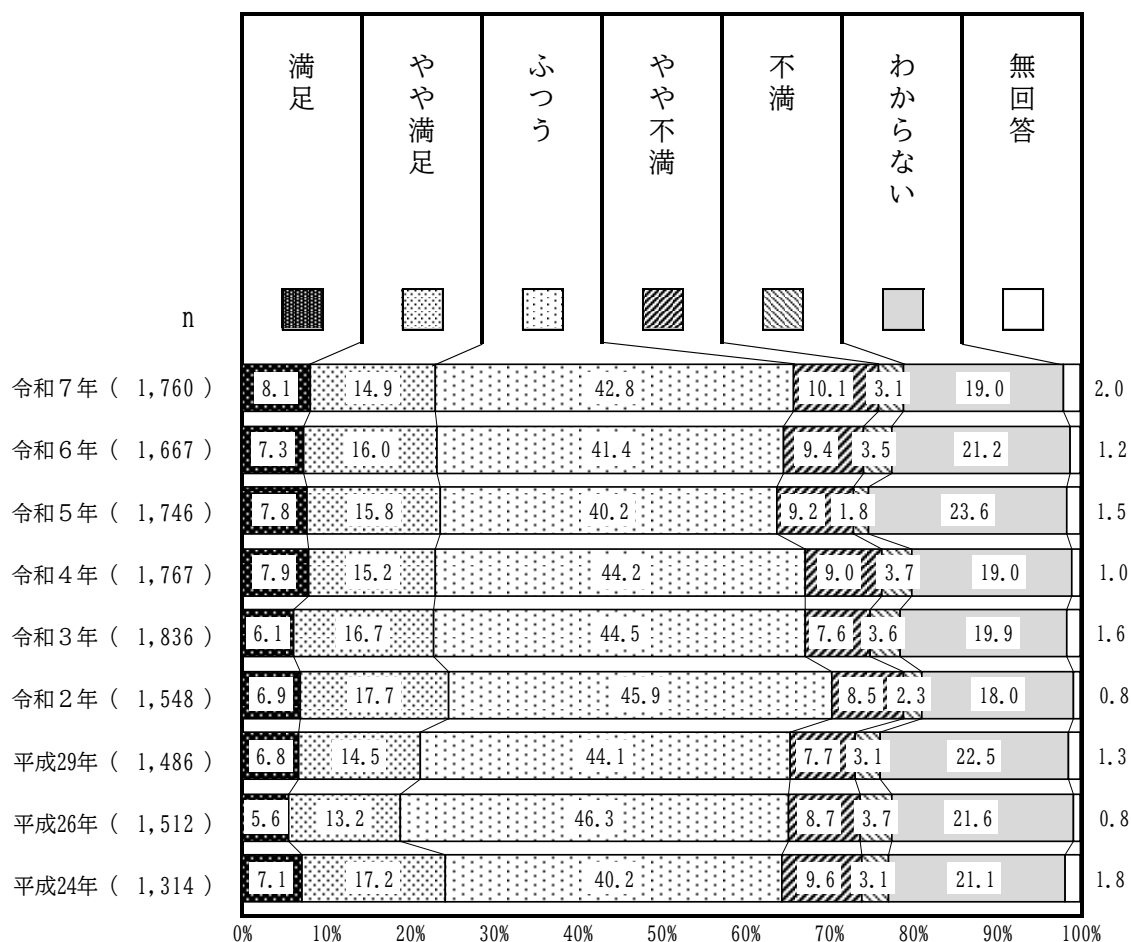


【⑮熟年者の生活環境／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は0.8ポイント増加し、「やや満足」は1.1ポイント減少している。一方、「不満」は0.4ポイント減少し、「やや不満」は0.7ポイント増加している。

(図表2-44)

<図表2-44> ⑮熟年者の生活環境／時系列比較

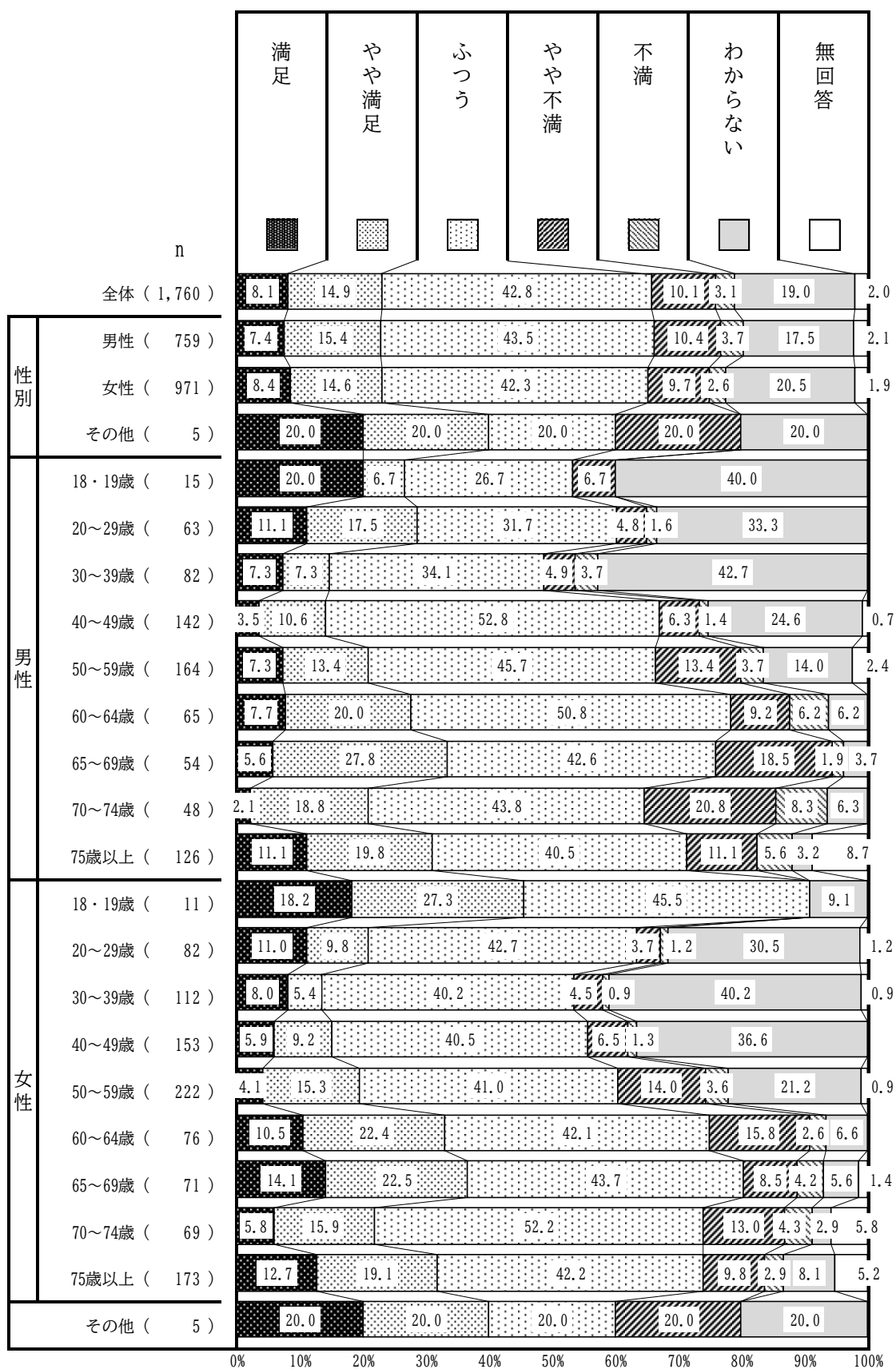


【⑮熟年者の生活環境／性・年齢別別】

「男性において、「やや満足」は65～69歳(27.8%)が3割近くとなっており、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳が3割強と高くなっている。

女性において、「やや満足」は60～64歳(22.4%)、65～69歳(22.5%)が2割強となっており、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳が4割近くと高くなっている。(図表2-45)

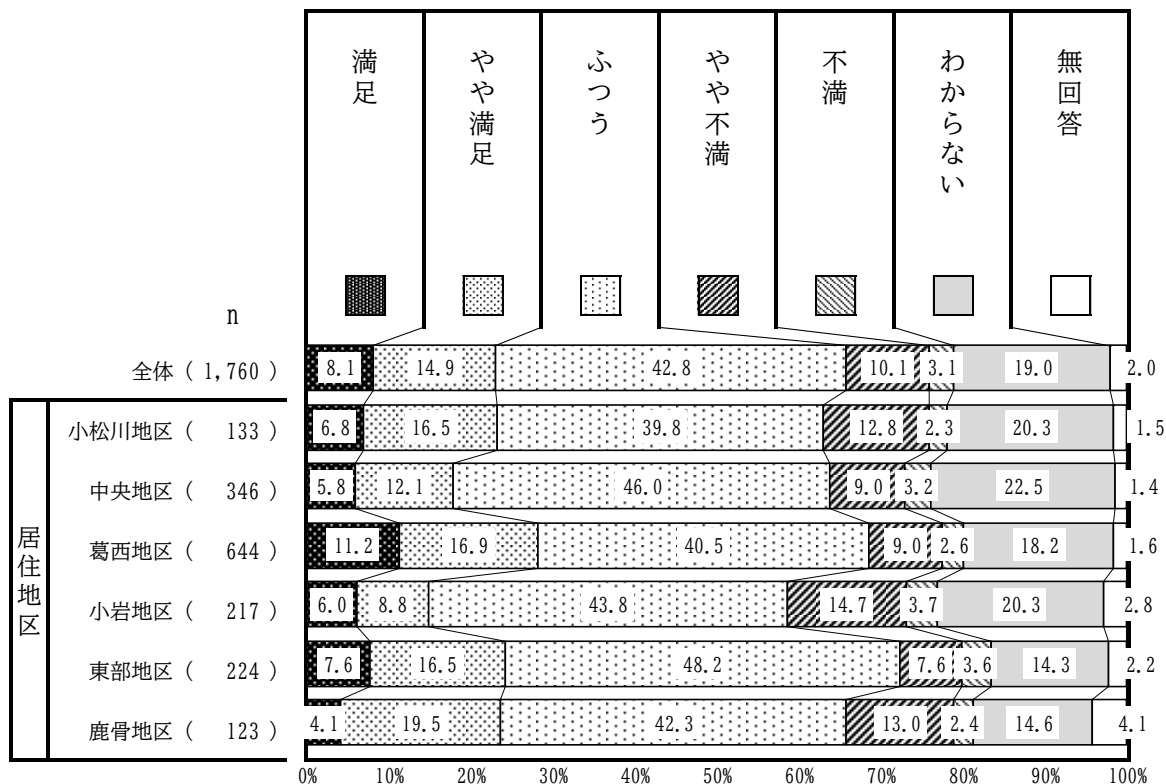
<図表2-45> ⑮熟年者の生活環境／性・年齢別



【⑮熟年者の生活環境／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が3割近くと高くなっている。(図表2-46)

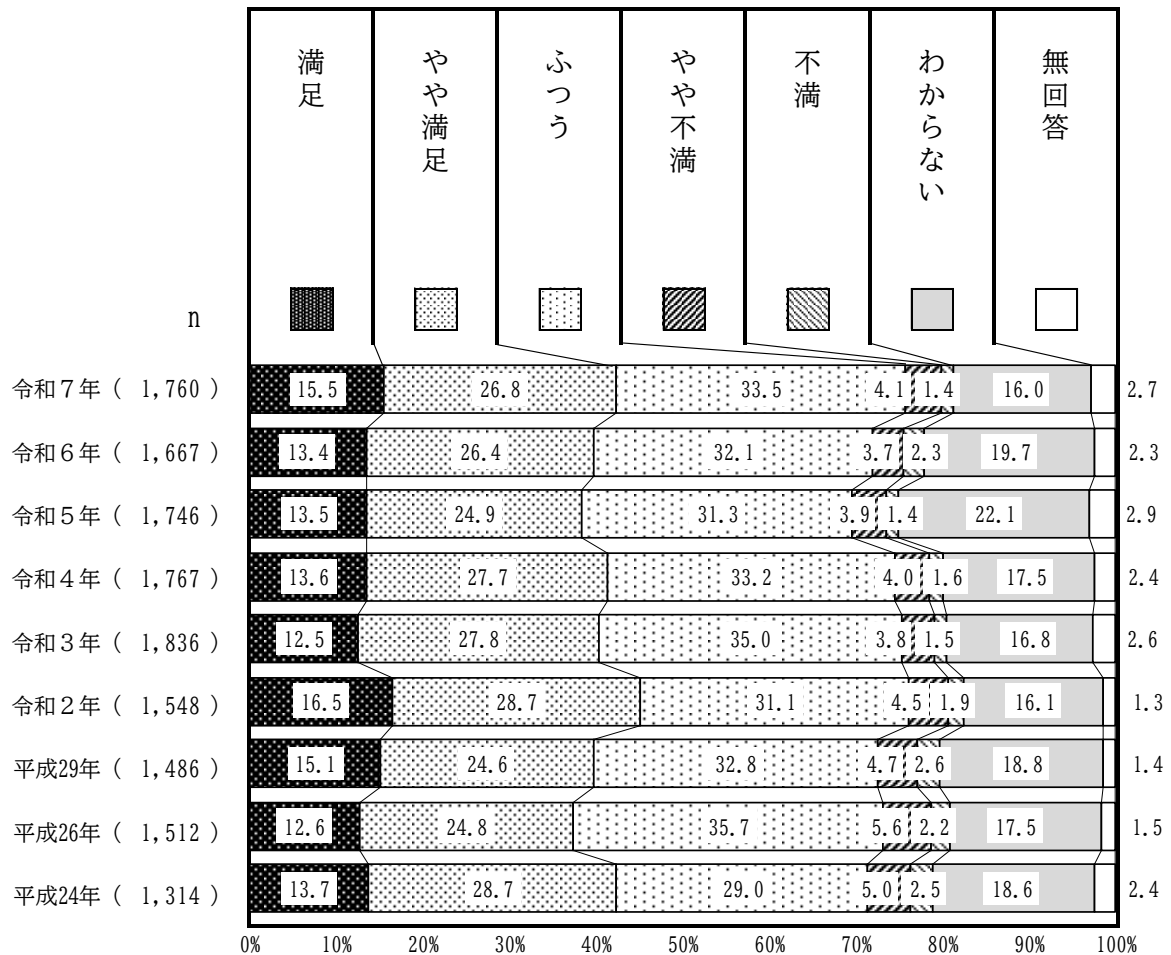
<図表2-46> ⑮熟年者の生活環境／居住地区別



【⑩子育て環境／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は2.1ポイント、「やや満足」は0.4ポイント増加している。一方、「不満」は0.9ポイント減少し、「やや不満」は0.4ポイント増加している。(図表2-47)

<図表2-47>⑩子育て環境／時系列比較



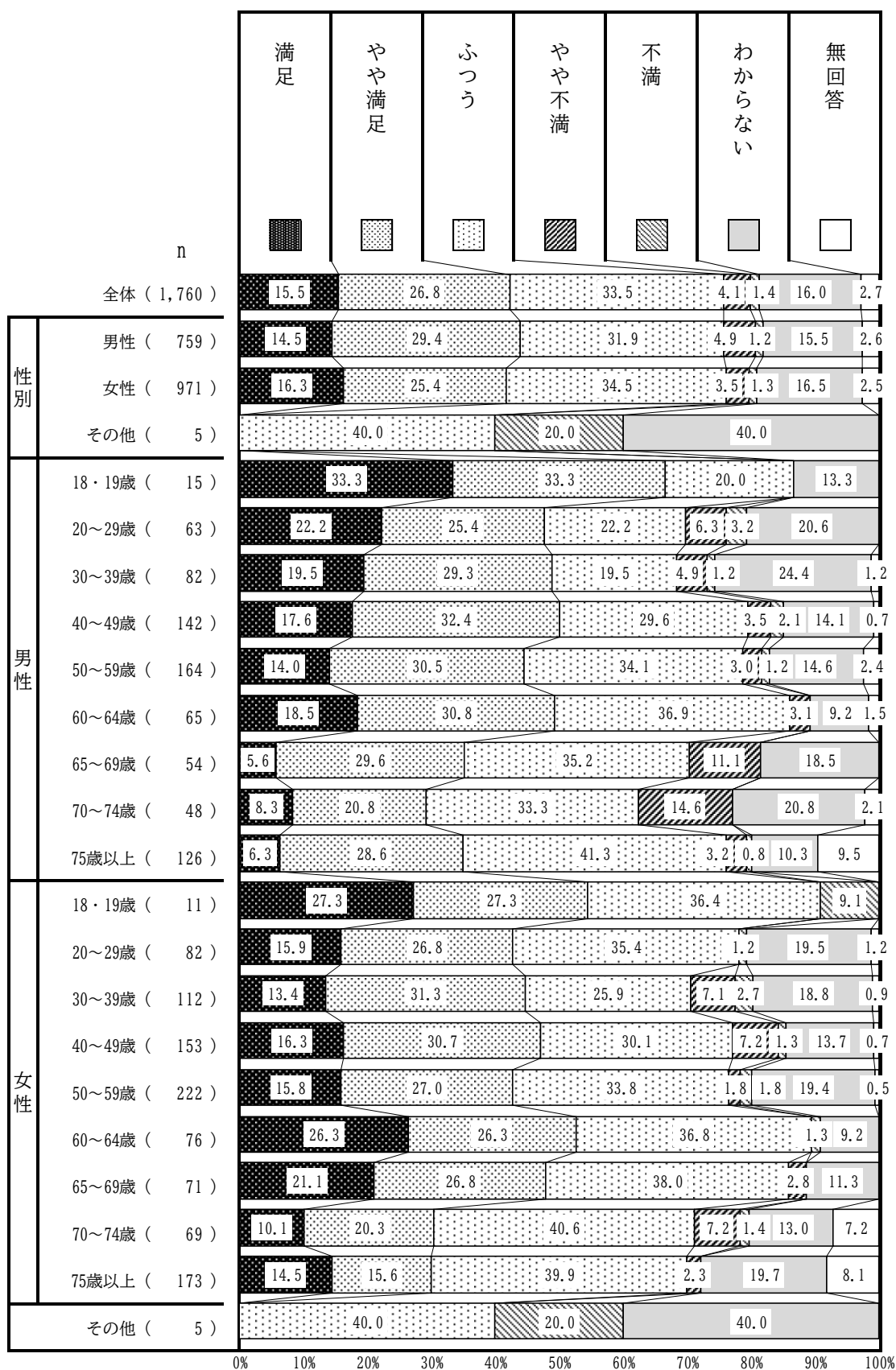
【⑩子育て環境／性・年齢別別】

「やや満足」は男性（29.4%）が女性（25.4%）に比べて4.0ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は40～49歳（32.4%）が3割強となっており、「満足」と「やや満足」の合計は5割と高くなっている。

女性において、「やや満足」は30～39歳（31.3%）が3割強となっており、「満足」と「やや満足」の合計は60～64歳が5割強と高くなっている。(図表2-48)

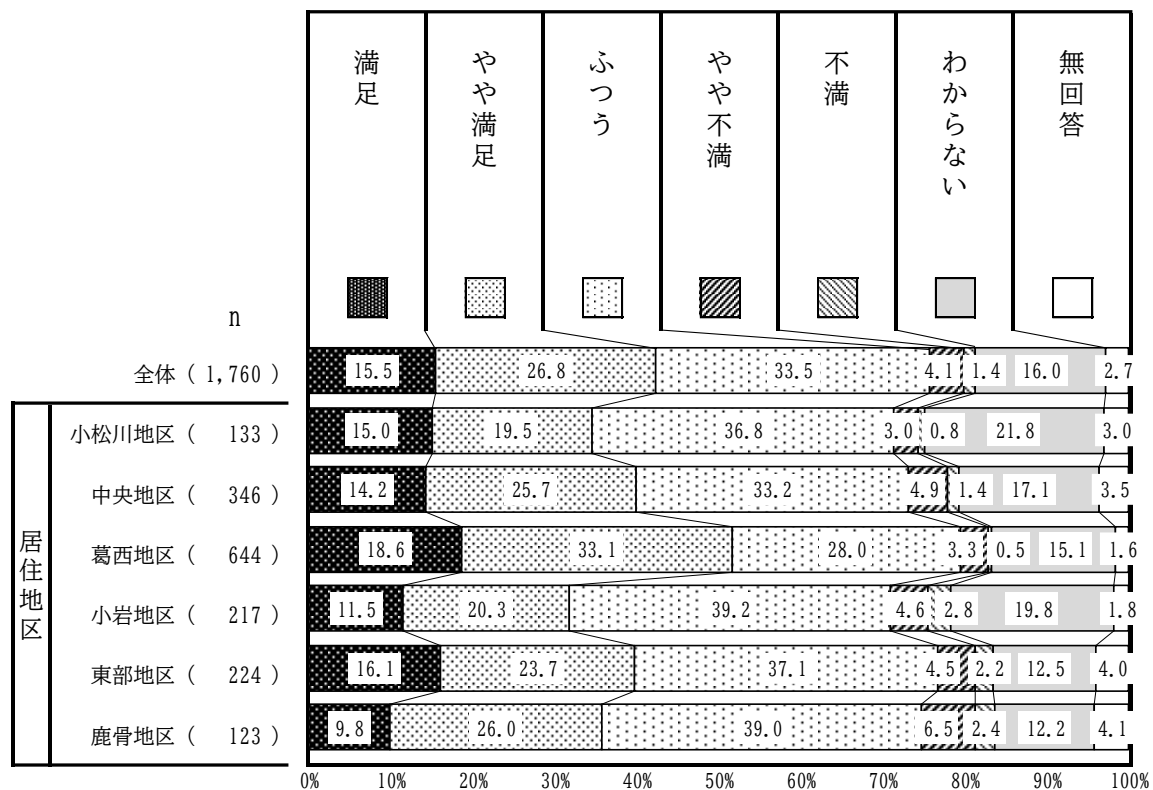
<図表2-48>⑩子育て環境／性・年齢別



【⑩子育て環境／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が5割強と高くなっている。(図表2-49)

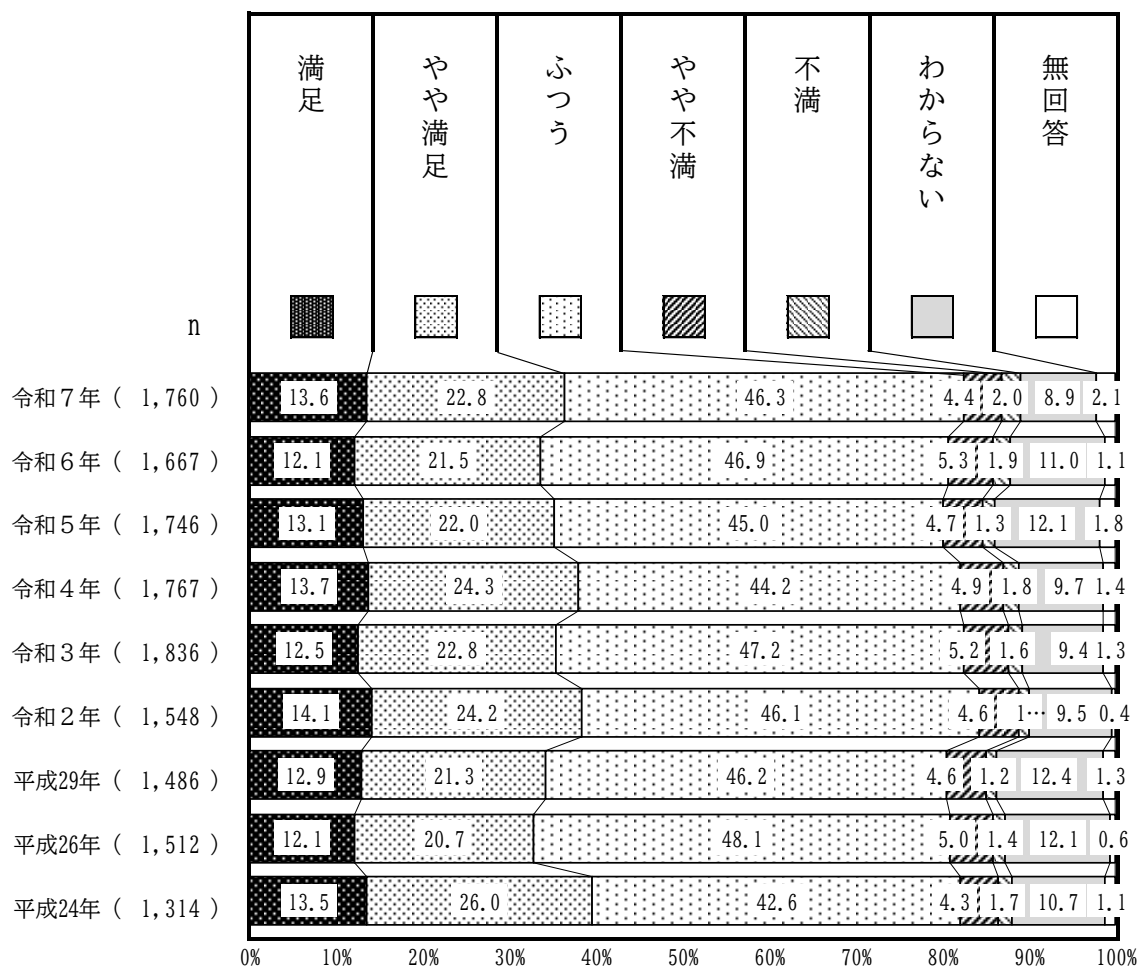
<図表2-49> ⑩子育て環境／居住地区別



【⑰健康相談・健康診査／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は1.5ポイント、「やや満足」は1.3ポイント増加している。一方、「不満」は0.1ポイント増加し、「やや不満」は0.9ポイント減少している。（図表2-50）

<図表2-50> ⑰健康相談・健康診査／時系列比較

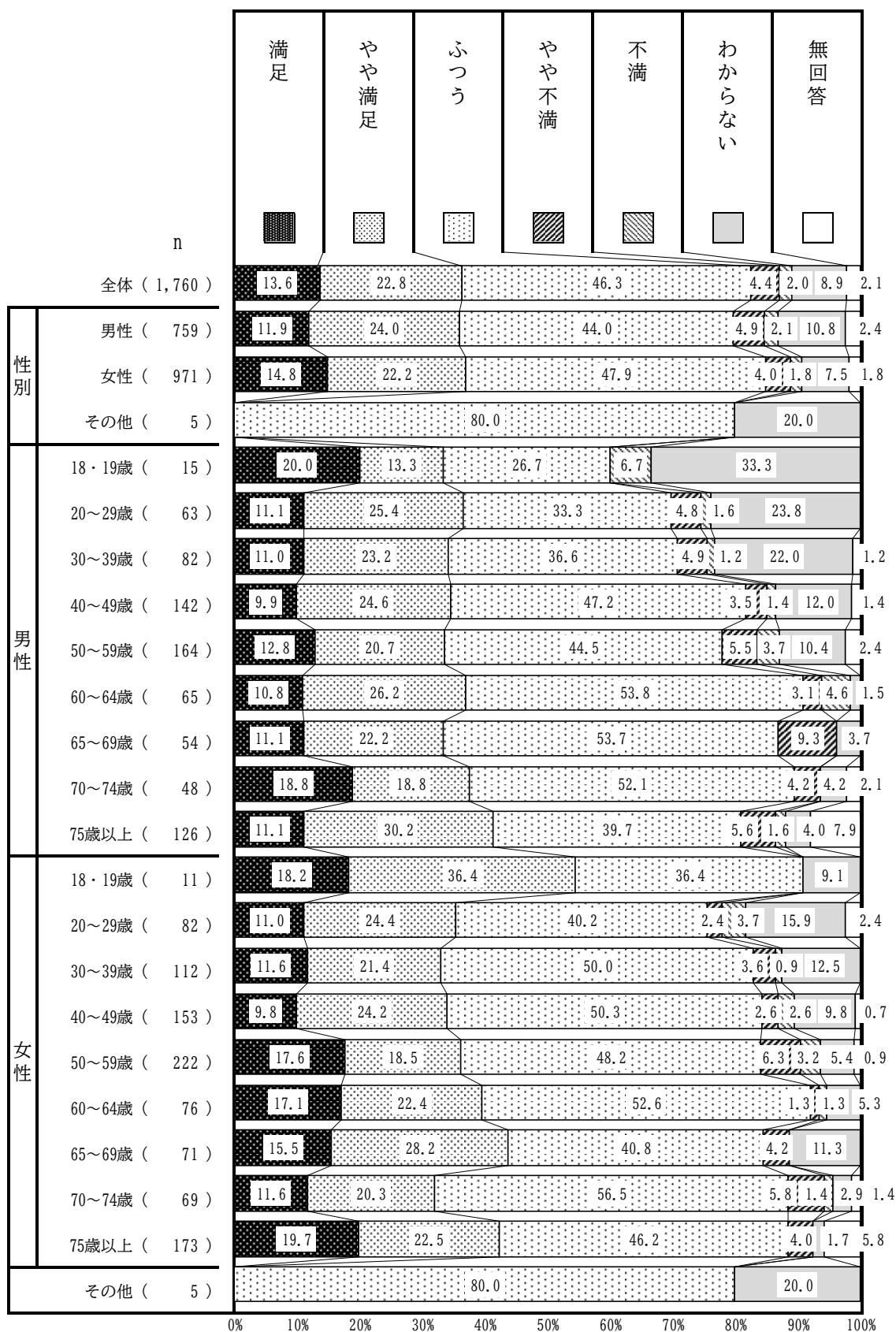


【⑰健康相談・健康診査／性・年齢別別】

男性において、「やや満足」は75歳以上（30.2%）が約3割となっており、「満足」と「やや満足」の合計は4割強と高くなっている。

女性において、「満足」は75歳以上（19.7%）が2割弱となっており、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳、75歳以上が4割強と高くなっている。（図表2-51）

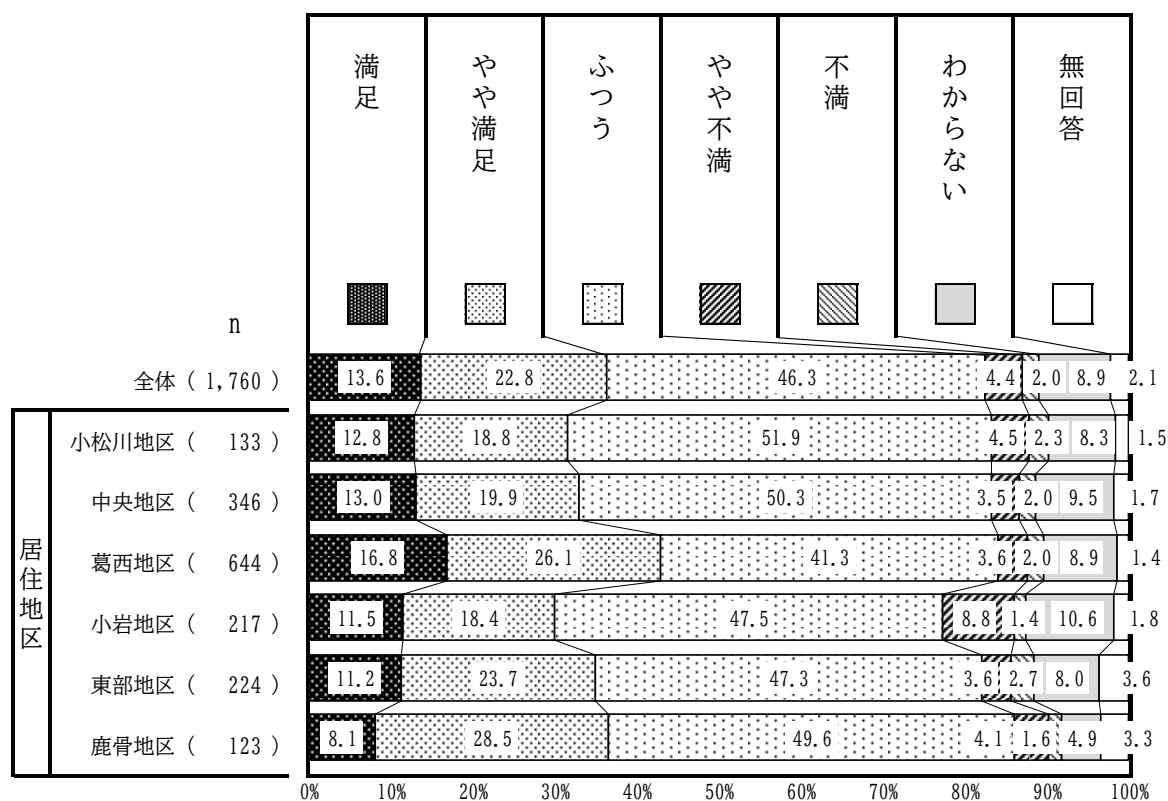
<図表2-51> ⑰健康相談・健康診査／性・年齢別



【⑰健康相談・健康診査／居住地区別】

「やや満足」は葛西地区（26.1%）、鹿骨地区（28.5%）が3割近くとなっており、「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が4割強と高くなっている。（図表2－52）

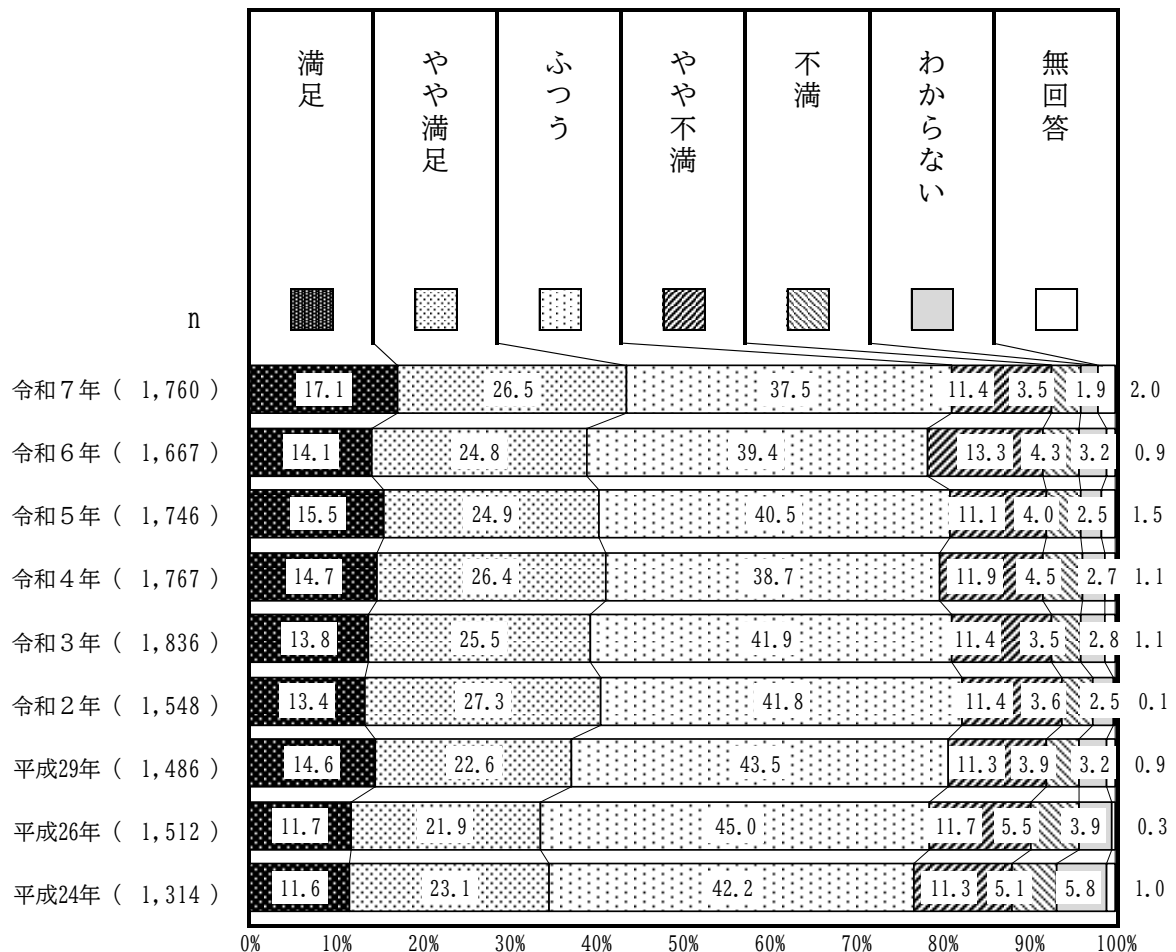
＜図表2－52＞⑰健康相談・健康診査／居住地区別



【⑱病院・診療所の充実度／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は3.0ポイント、「やや満足」は1.7ポイント増加している。
一方、「不満」は0.8ポイント、「やや不満」は1.9ポイント減少している。(図表2-53)

<図表2-53> ⑱病院・診療所の充実度／時系列比較

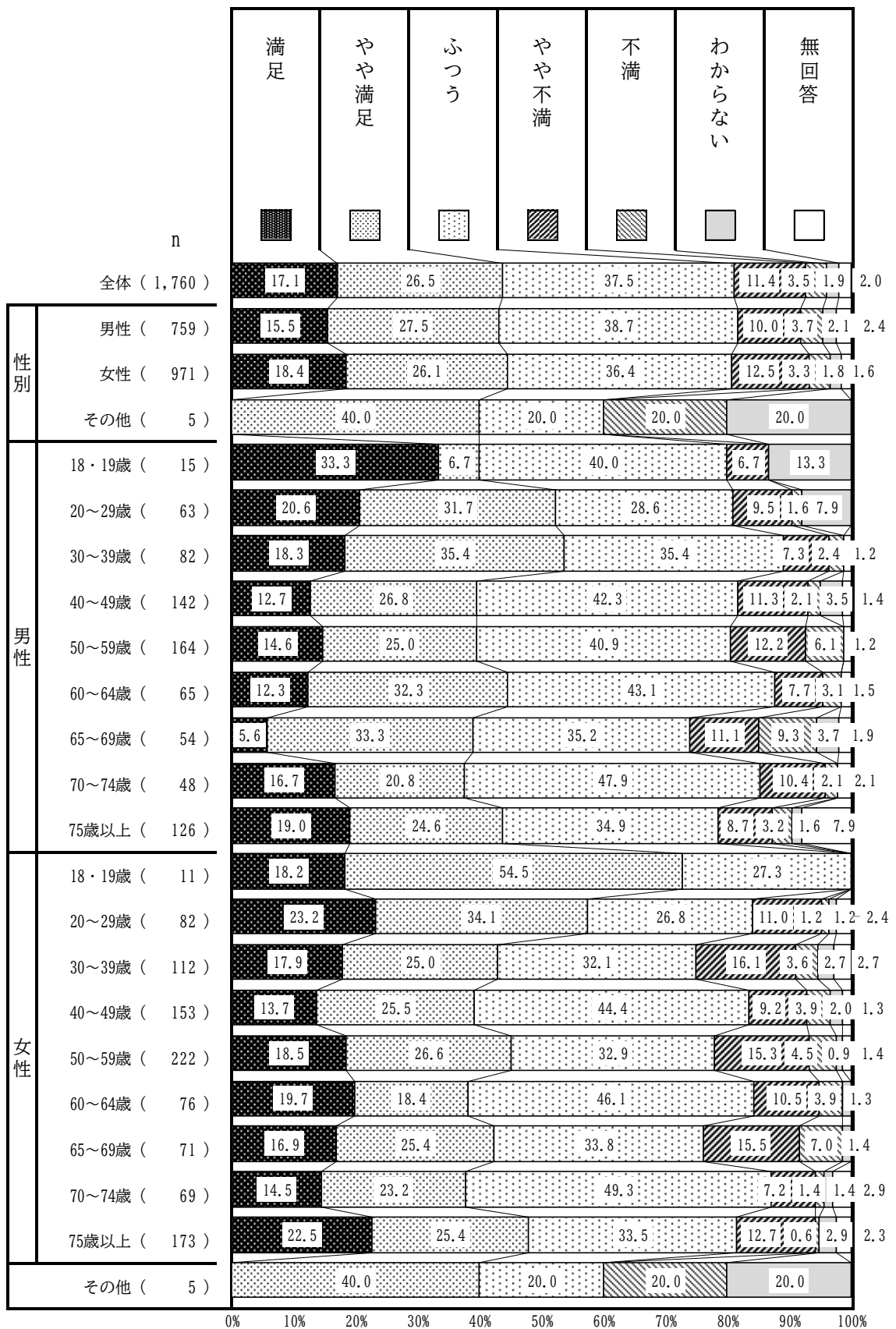


【⑱病院・診療所の充実度／性・年齢別別】

男性において、「満足」は20～29歳(20.6%)が約2割となっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳、30～39歳が5割強と高くなっている。

女性において、「満足」は20～29歳(23.2%)、75歳以上(22.5%)が2割強となっている。「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳が6割近くと高くなっている。(図表2-54)

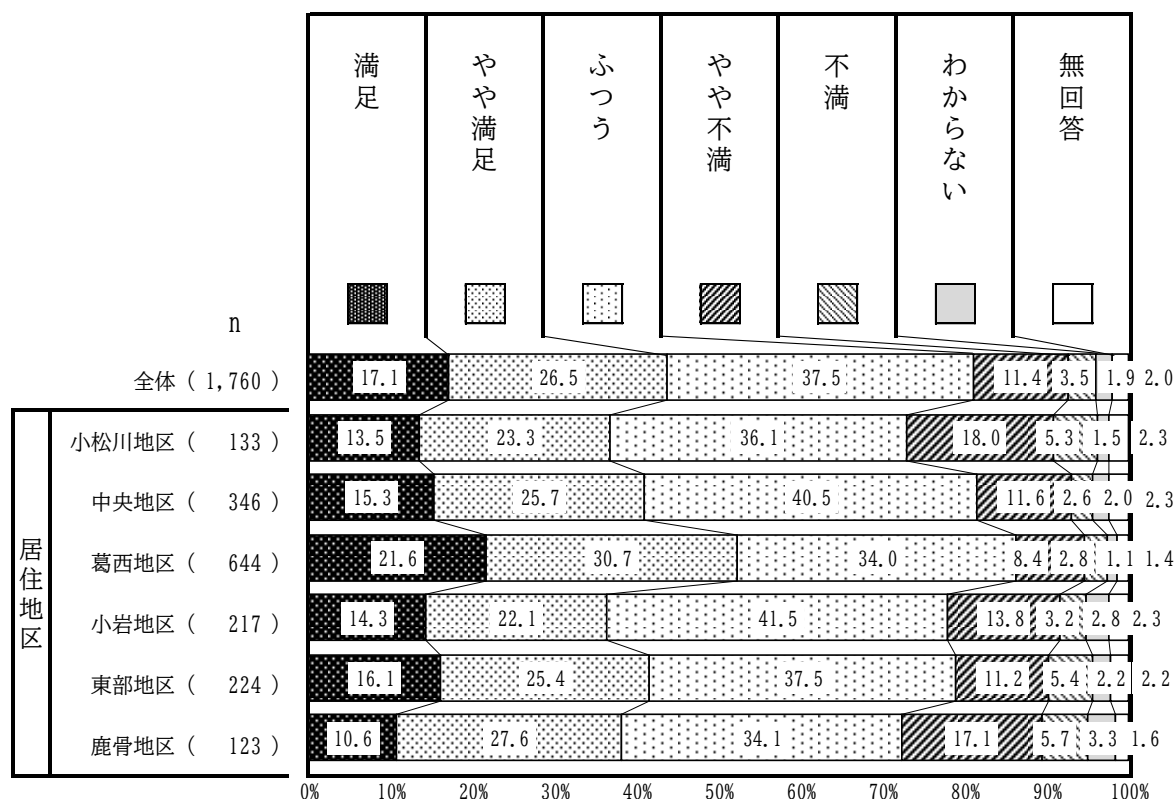
<図表2-54>⑱病院・診療所の充実度／性・年齢別



【⑱病院・診療所の充実度／居住地区別】

「やや満足」は葛西地区（30.7%）が約3割となっており、「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が5割強と高くなっている。（図表2－55）

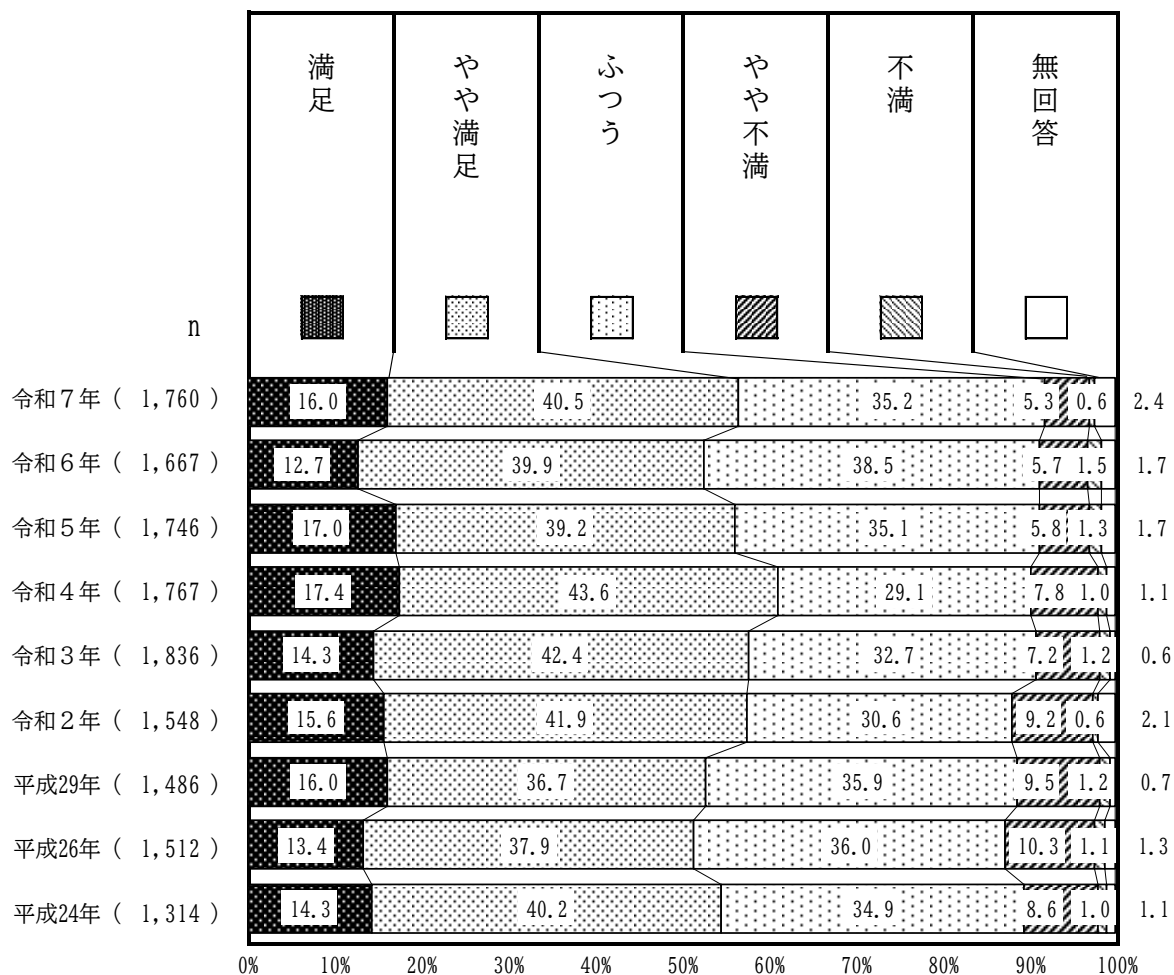
<図表2－55> ⑱病院・診療所の充実度／居住地区別



【⑨総合的な満足度／時系列比較】

令和6年と比較すると、「満足」は3.3ポイント、「やや満足」は0.6ポイント増加している。一方、「不満」は0.9ポイント、「やや不満」は0.4ポイント減少している。（図表2-56）

<図表2-56>⑨総合的な満足度／時系列比較



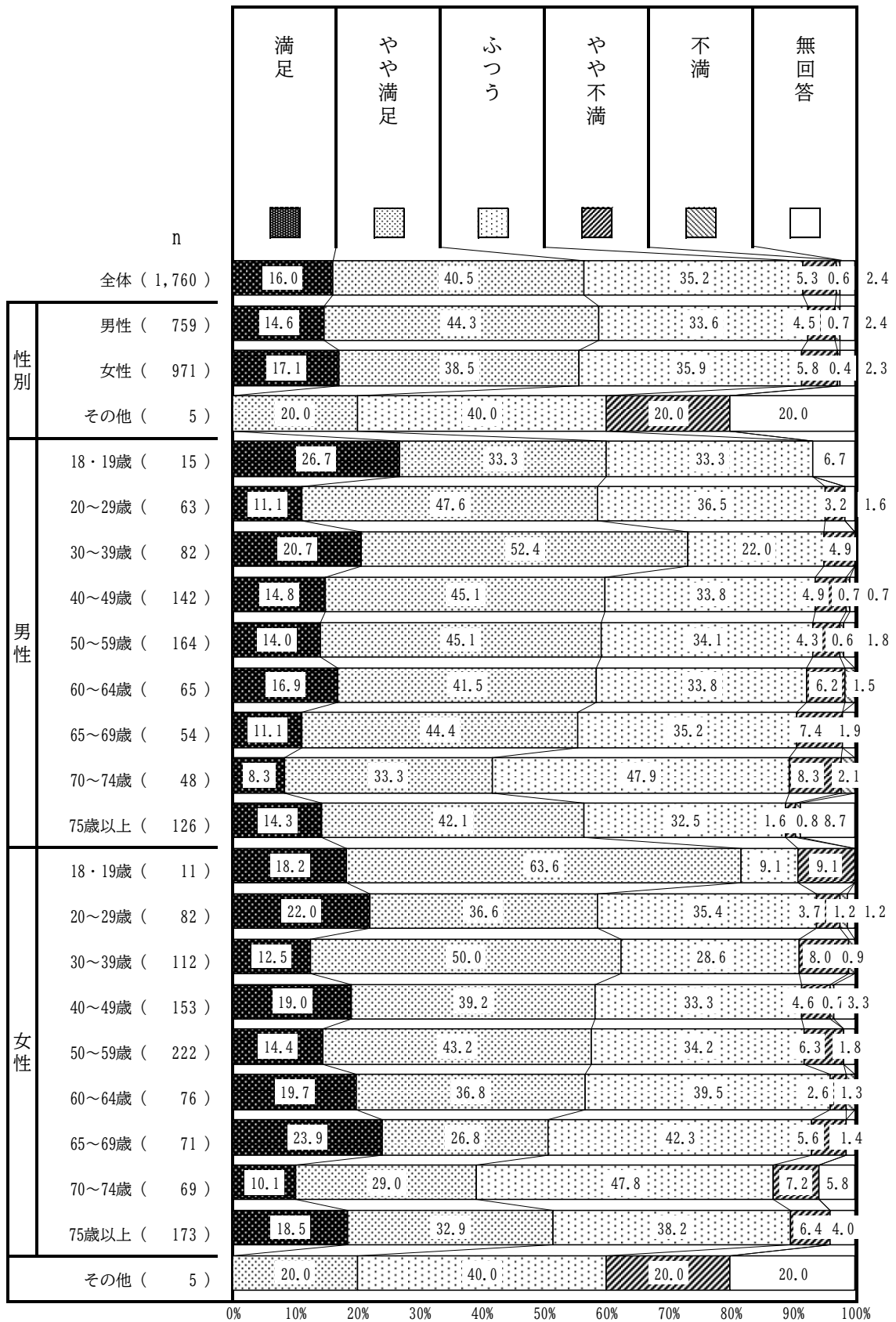
【⑨総合的な満足度／性・年齢別別】

「やや満足」は男性（44.3%）が女性（38.5%）と比べて5.8ポイント高くなっている。

男性において、「やや満足」は30～39歳（52.4%）が5割強と高くなっており、「満足」と「やや満足」の合計は7割強と高くなっている。

女性において、「やや満足」は30～39歳（50.0%）が5割と高くなっている。「満足」と「やや満足」の合計は30～39歳が6割強と高くなっている。（図表2-57）

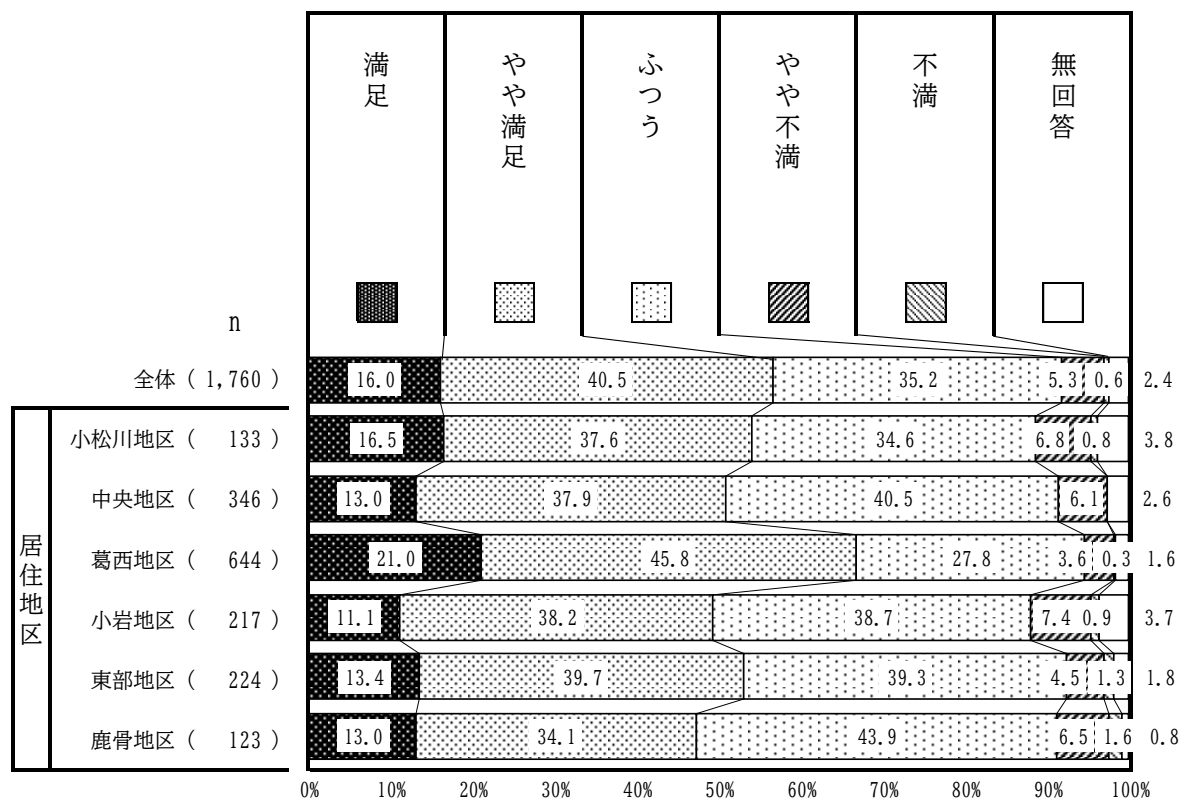
<図表2-57> ⑨総合的な満足度／性・年齢別



【⑨総合的な満足度／居住地区別】

「満足」は葛西地区（21.0%）が2割強となっており、「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区が7割近くと高くなっている。（図表2－58）

<図表2－58> ⑨総合的な満足度／居住地区別



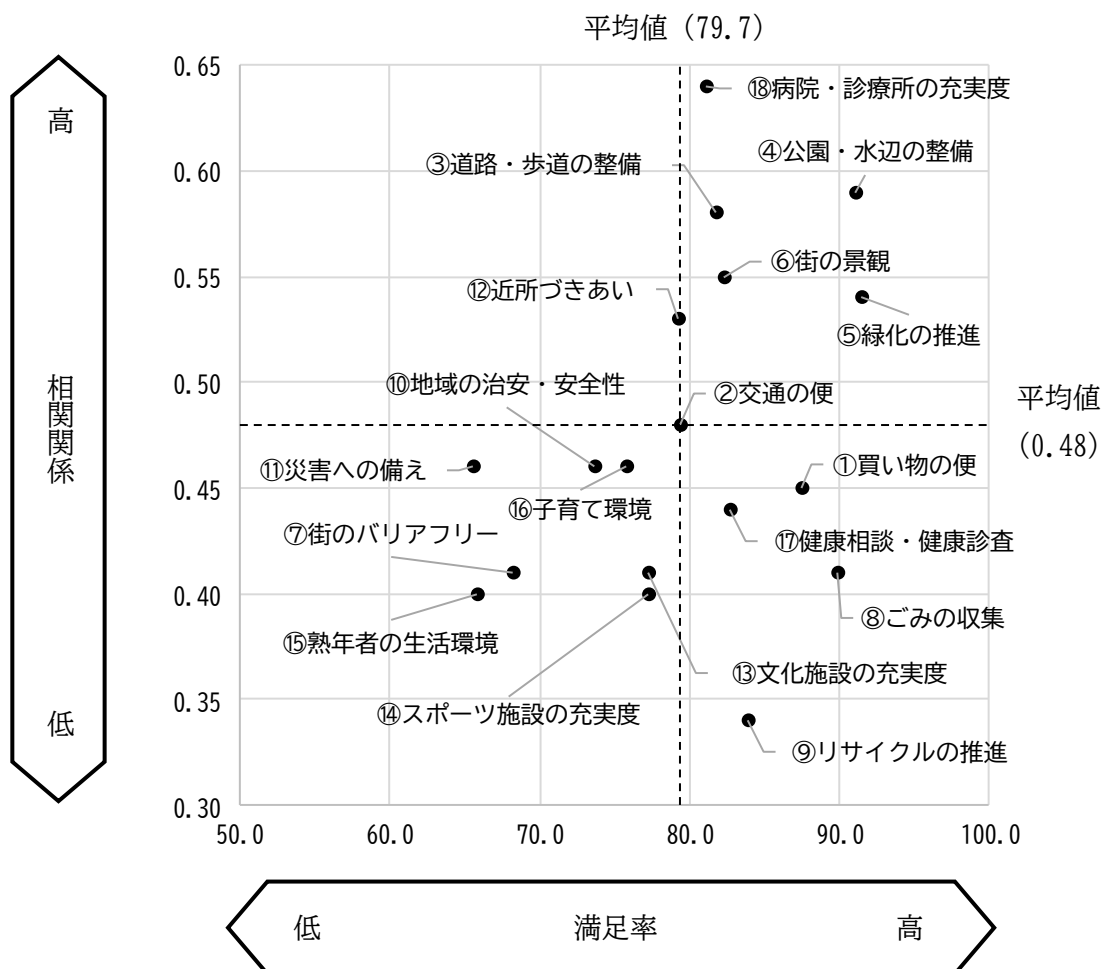
【相関分析】

「各項目の満足度」と「区の現況への満足度」から相関係数を算出し、それぞれの相関係数（①～⑮には「わからない」という選択肢があるが算出時には除外して計算している）と満足率（「満足」と「やや満足」と「ふつう」の合計の割合）から散布図を作成した。相関係数は0.2～0.4だと弱い相関関係が、0.4～0.7だと相関関係が、0.7～1.0だと強い相関関係があるとされている。

「総合的な満足度」と強い相関がある項目は見られないが、「⑮病院・診療所の充実度」（0.64）、「④公園・水辺の整備」（0.59）、「③道路・歩道の整備」（0.58）、「⑥街の景観」（0.55）、「⑤緑化の推進」（0.54）は相関係数が平均値（0.48）より高く、満足率も平均値（79.7%）を上回っている。

一方、「⑫近所づきあい」（0.53）は相関係数が平均値（0.48）より高いが、満足率は平均値（79.7%）を下回っている。この項目について改善していくことは総合的な満足度を向上させるために重要であるといえる。（図表2－59）

<図表2－59> 「各項目の満足度」と「総合的な満足度」との相関分析



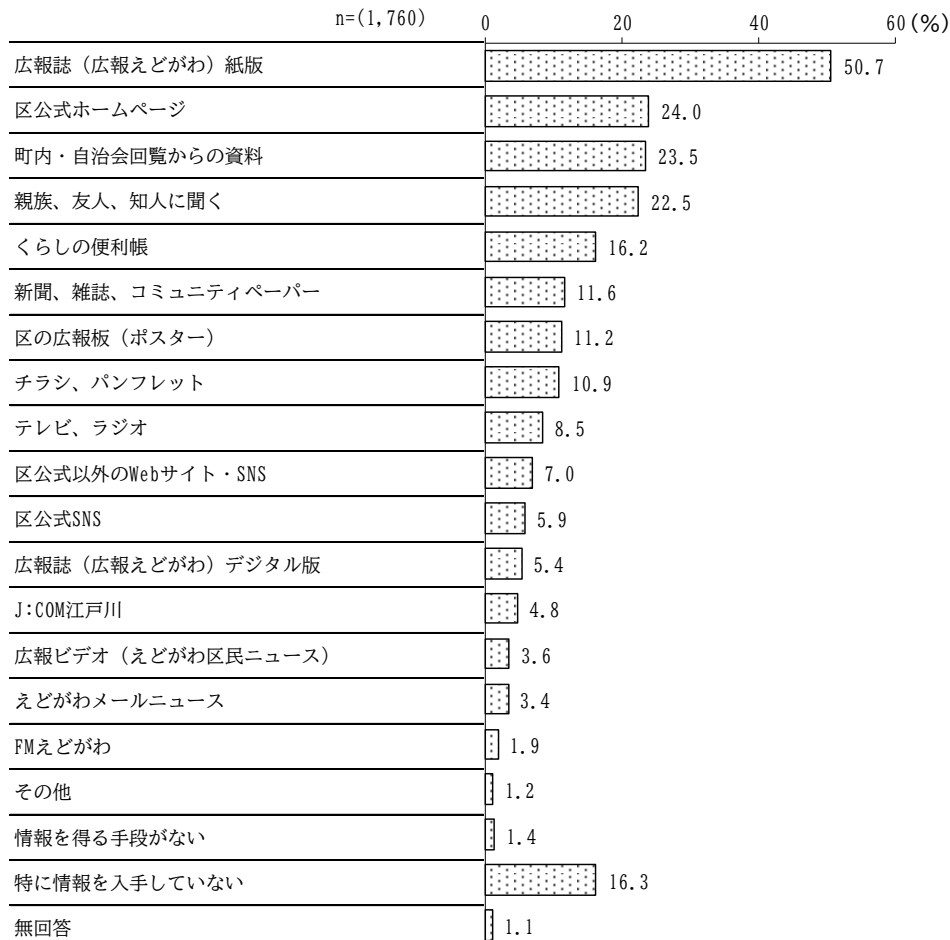
3. 広報と情報化について

(1) 情報の入手手段

◇「広報誌（広報えどがわ）紙版」が約5割で最も高い。

問5 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段（媒体）で入手していますか。
（○はいくつでも）

<図表3-1>情報の入手手段



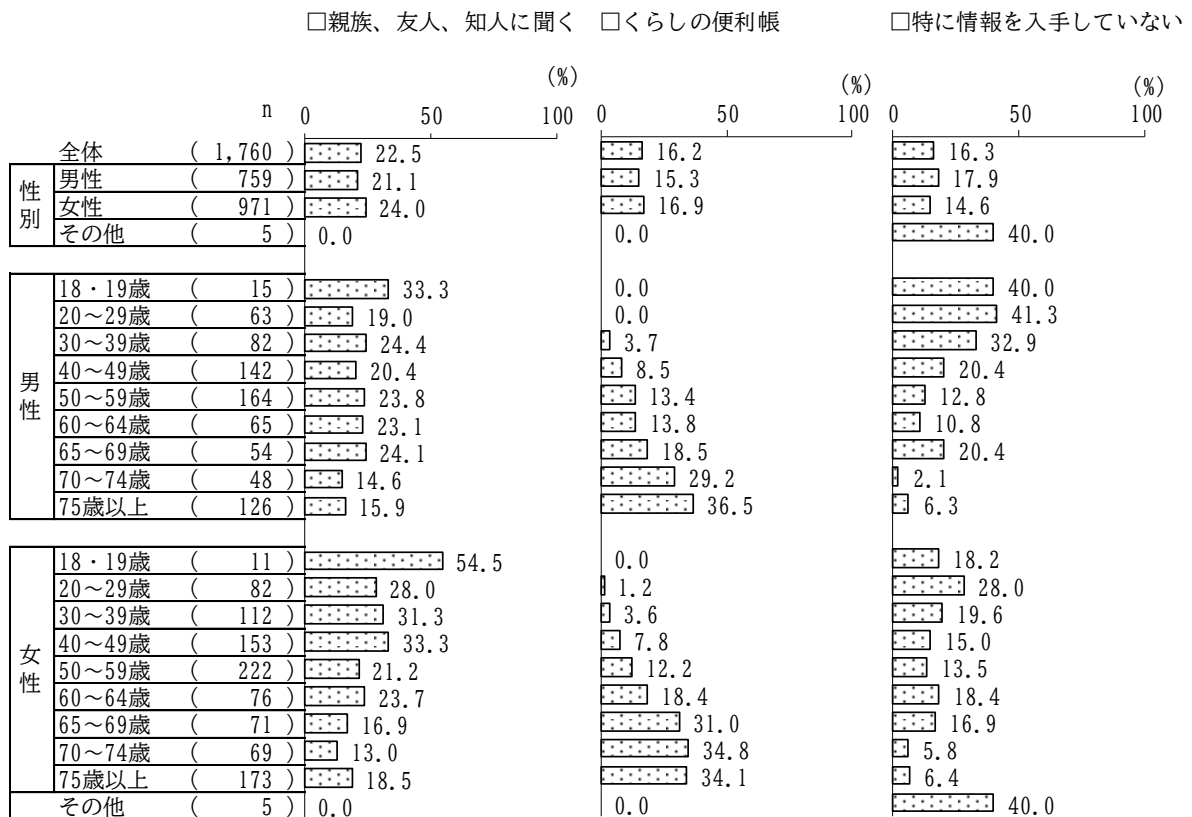
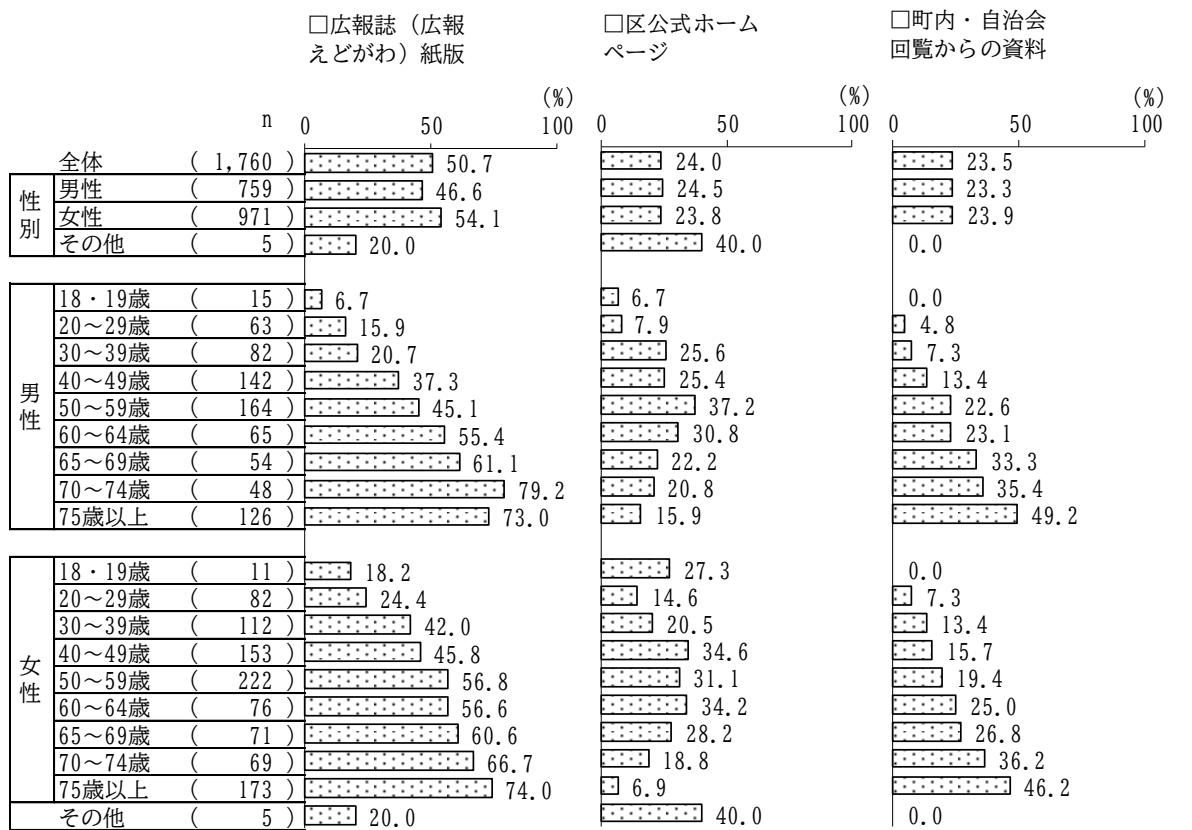
「広報誌（広報えどがわ）紙版」（50.7%）が約5割と最も高く、次いで「区公式ホームページ」（24.0%）、「町内・自治会回覧からの資料」（23.5%）、「親族、友人、知人に聞く」（22.5%）と続いている。（図表3-1）

【性・年齢別】

「広報誌（広報えどがわ）紙版」は女性（54.1%）が男性（46.6%）に比べて7.5ポイント高くなっている。

「広報誌（広報えどがわ）紙版」は男性70～74歳（79.2%）で8割弱、女性75歳以上（74.0%）で7割台半ばと高くなっている。「区公式ホームページ」は男性50～59歳（37.2%）で4割近く、女性40～49歳（34.6%）、60～64歳（34.2%）で3割台半ばとなっている。（図表3-2）

<図表3-2>情報の入手手段／性・年齢別



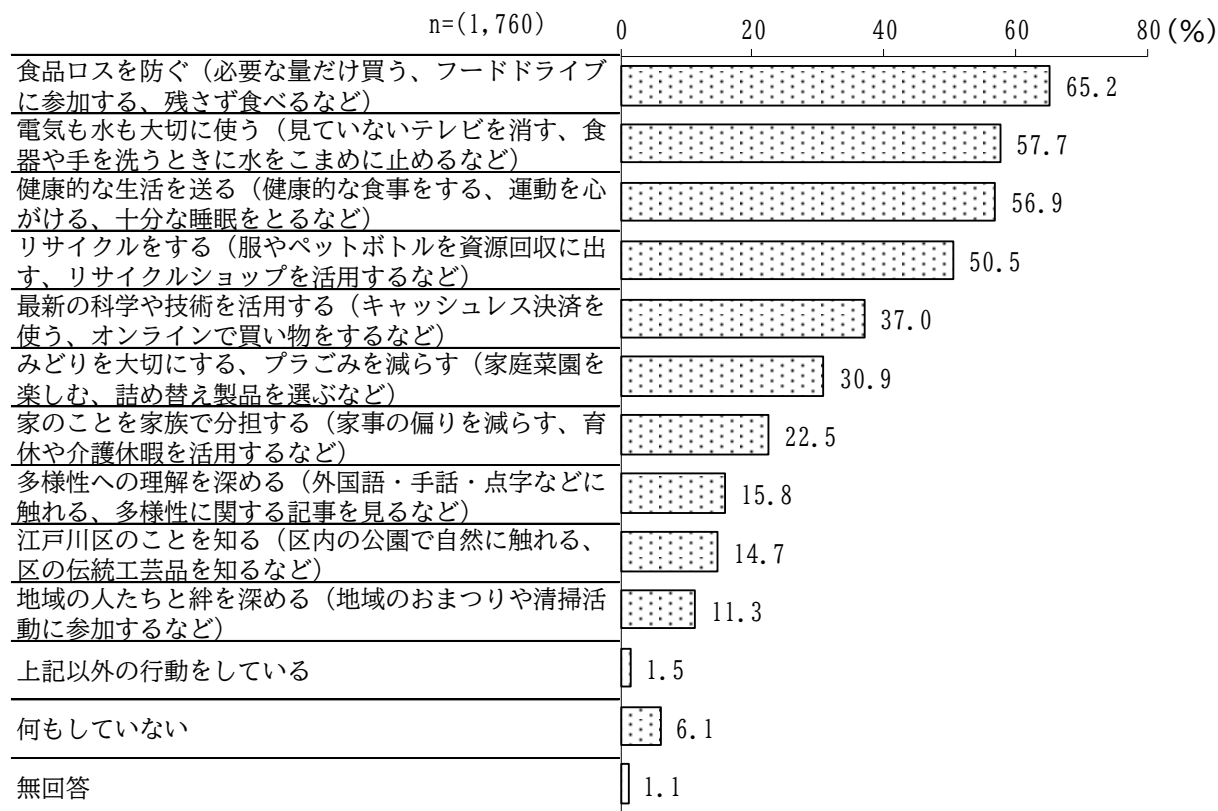
4. SDGsについて

(1) 日ごろから取り組んでいるSDGsの行動

◇「食品ロスを防ぐ」が6割台半ばで最も高い。

問6 あなたが、生活の中で日ごろから取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。
(〇はいくつでも)

<図表4-1>日ごろから取り組んでいるSDGsの行動



「食品ロスを防ぐ」(65.2%)が6割台半ばと最も高く、次いで「電気も水も大切に使う」(57.7%)、「健康的な生活を送る」(56.9%)、「リサイクルをする」(50.5%)と続いている。

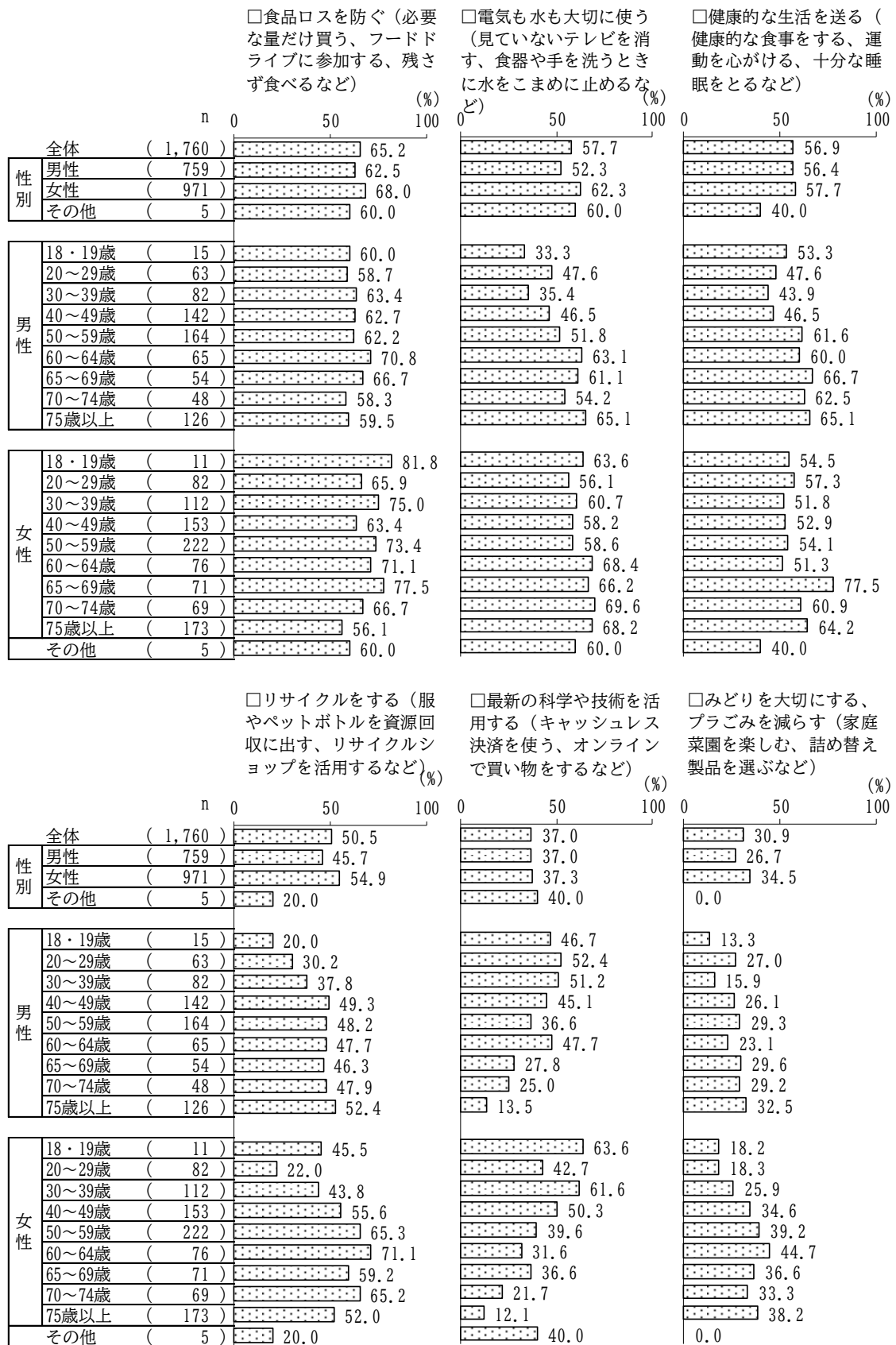
(図表4-1)

【性・年齢別】

上位6項目ではすべての項目で女性が男性に比べて高く、「電気も水も大切に使う」は10.0ポイント、「リサイクルをする」は9.2ポイント高くなっている。

「食品ロスを防ぐ」は男性60～64歳が約7割、女性65～69歳が8割近くと高くなっている。「電気も水も大切に使う」は男性75歳以上が6割台半ば、女性70～74歳が7割弱と高くなっている。「健康的な生活を送る」は男性65～69歳が7割近く、女性65～69歳が8割近くと高くなっている。(図表4-2)

<図表4-2>日ごろから取り組んでいるSDGsの行動／性・年齢別



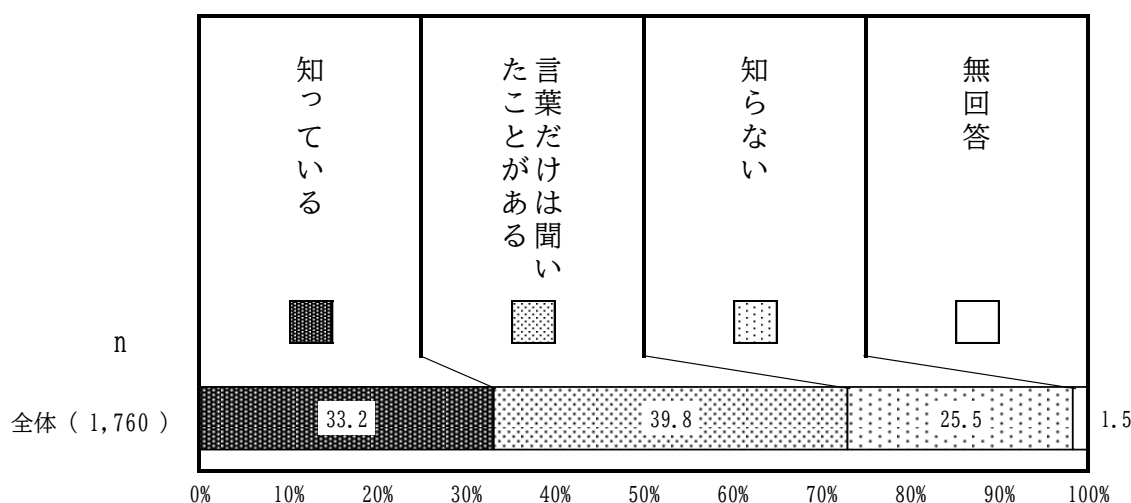
5. 共生社会について

(1) 共生社会についての認知度

◇共生社会についての認知度を「知っている」、「言葉だけは聞いたことがある」の合計は7割強。

問7 江戸川区には、子どもから高齢者、障害や病気のある方、外国人などさまざまな方々が暮らしています。そうした誰もが、互いの違いを認め合い、支え合いながら自分らしく暮らせる社会を「共生社会」といいます。あなたは、「共生社会」を知っていますか。(〇は1つ)

<図表5-1>共生社会についての認知度



共生社会についての認知度は、「言葉だけは聞いたことがある」(39.8%)が4割弱、「知っている」(33.2%)は3割強となっている。(図表5-1)

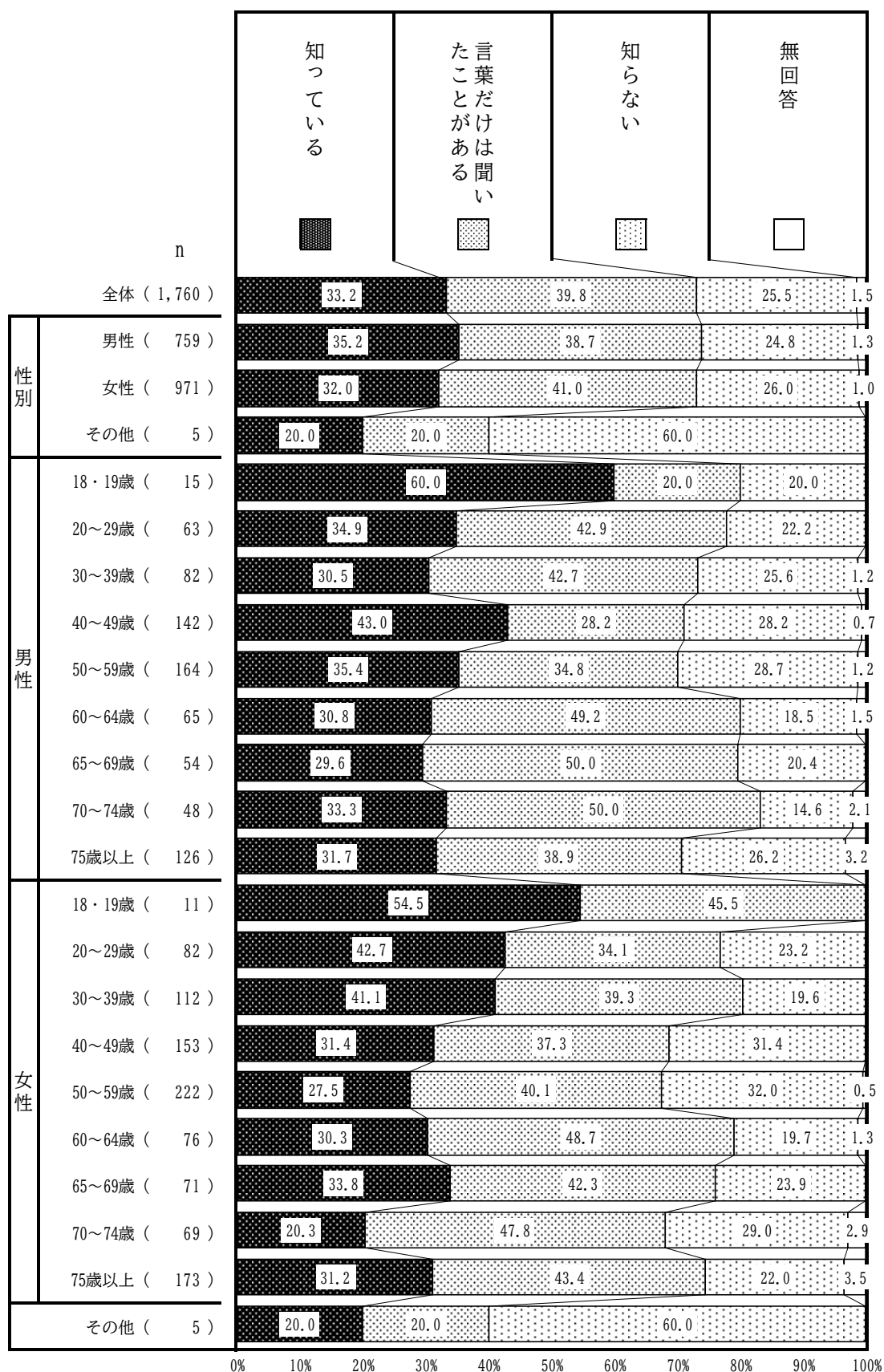
【性・年齢別】

「知っている」は男性(35.2%)が女性(32.0%)に比べて3.2ポイント高くなっている。

男性において、「知っている」、「言葉だけは聞いたことがある」の合計は70~74歳(83.3%)が8割強と最も高くなっている。

女性において、「知っている」、「言葉だけは聞いたことがある」の合計は30~39歳(80.4%)が8割強と高くなっている。(図表5-2)

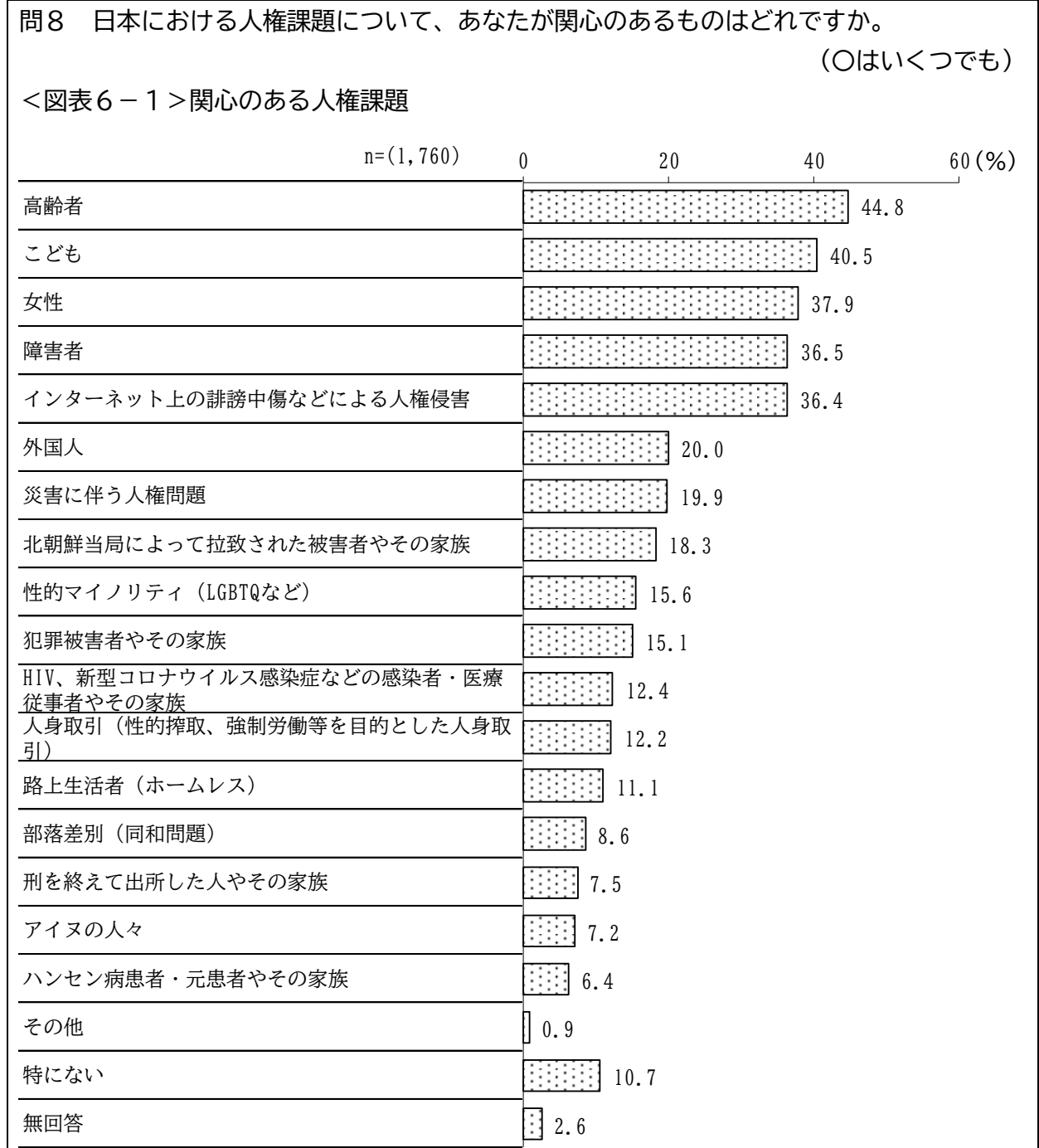
<図表5-2> 共生社会についての認知度／性・年齢別



6. 人権について

(1) 関心のある人権課題

◇「高齢者」の人権課題についての関心が4割台半ばで最も高い。



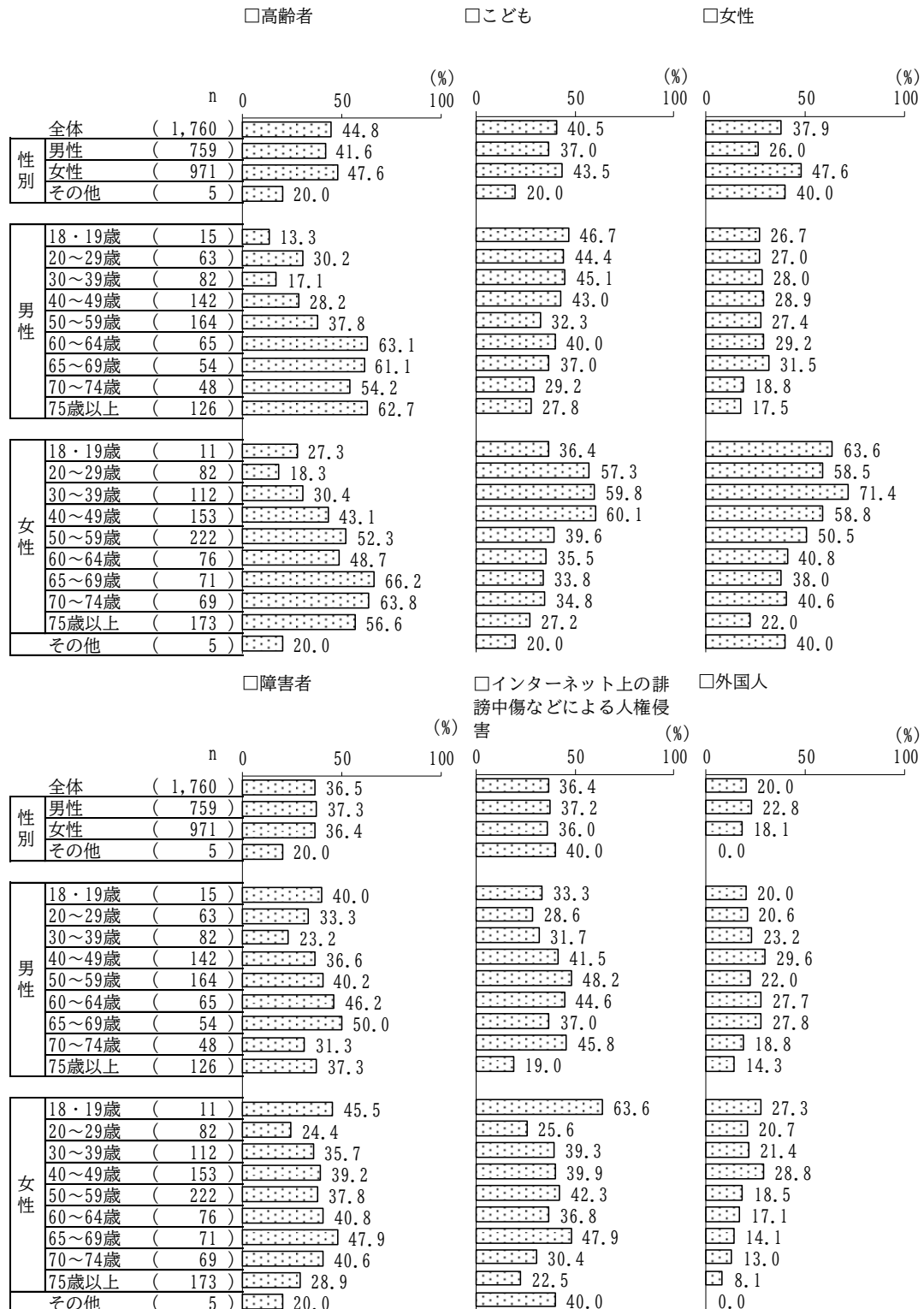
「高齢者」(44.8%)が4割台半ばと最も高く、次いで「子ども」(40.5%)、「女性」(37.9%)、「障害者」(36.5%)と続いている。一方、「部落差別 (同和問題)」(8.6%)、「刑を終えて出所した人やその家族」(7.5%)、「アイヌの人々」(7.2%)、「ハンセン病患者・元患者やその家族」(6.4%)は1割未満と低い。(図表6-1)

【性・年齢別】

「女性」は女性（47.6%）が男性（26.0%）に比べて 21.6 ポイント高くなっている。

「高齢者」は男性 60～64 歳、65～69 歳、75 歳以上で 6 割強、女性 65～69 歳で 7 割近くと高くなっている。「子ども」は女性 30～39 歳、40～49 歳で約 6 割と高くなっている。（図表 6－2）

<図表 6－2> 関心のある人権課題／性・年齢別



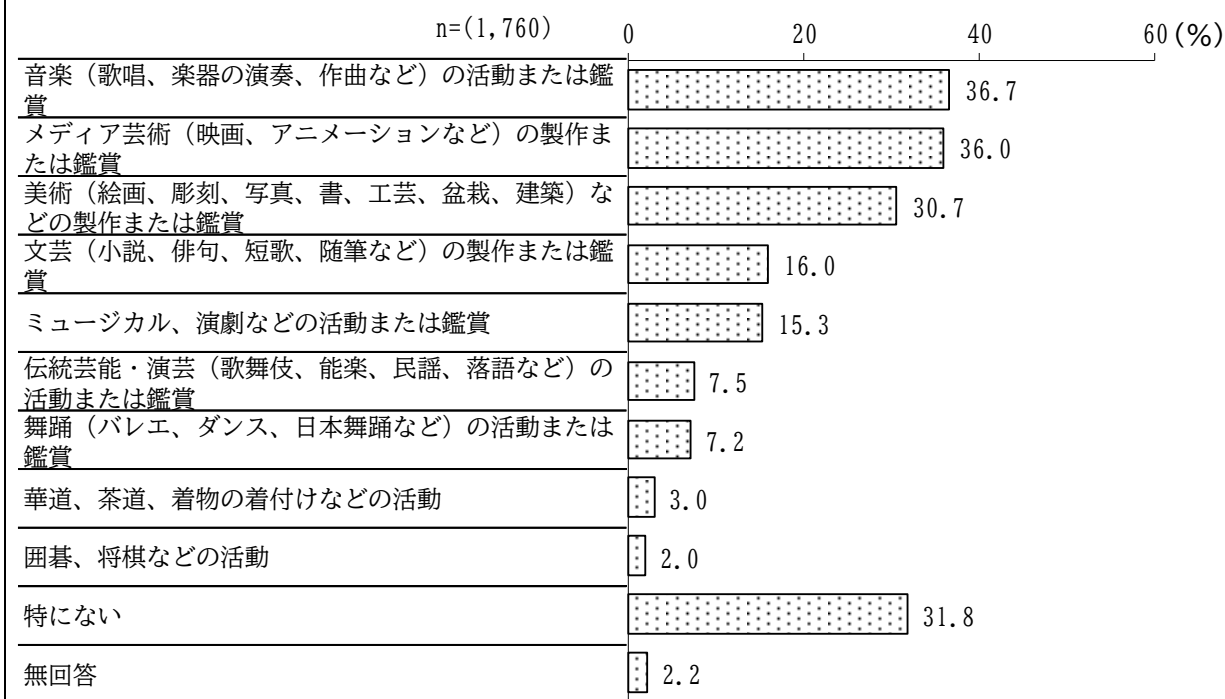
7. 文化芸術活動について

(1) 1年間に行った文化芸術活動や鑑賞

◇「音楽（歌唱、楽器の演奏、作曲など）の活動または鑑賞」が4割近くで最も高い。

問9 あなたは、この1年間にどのような文化芸術活動や鑑賞（テレビ・DVD などによる鑑賞を除く）をしましたか。（○はいくつでも）

<図表7-1> 1年間に行った文化芸術活動や鑑賞



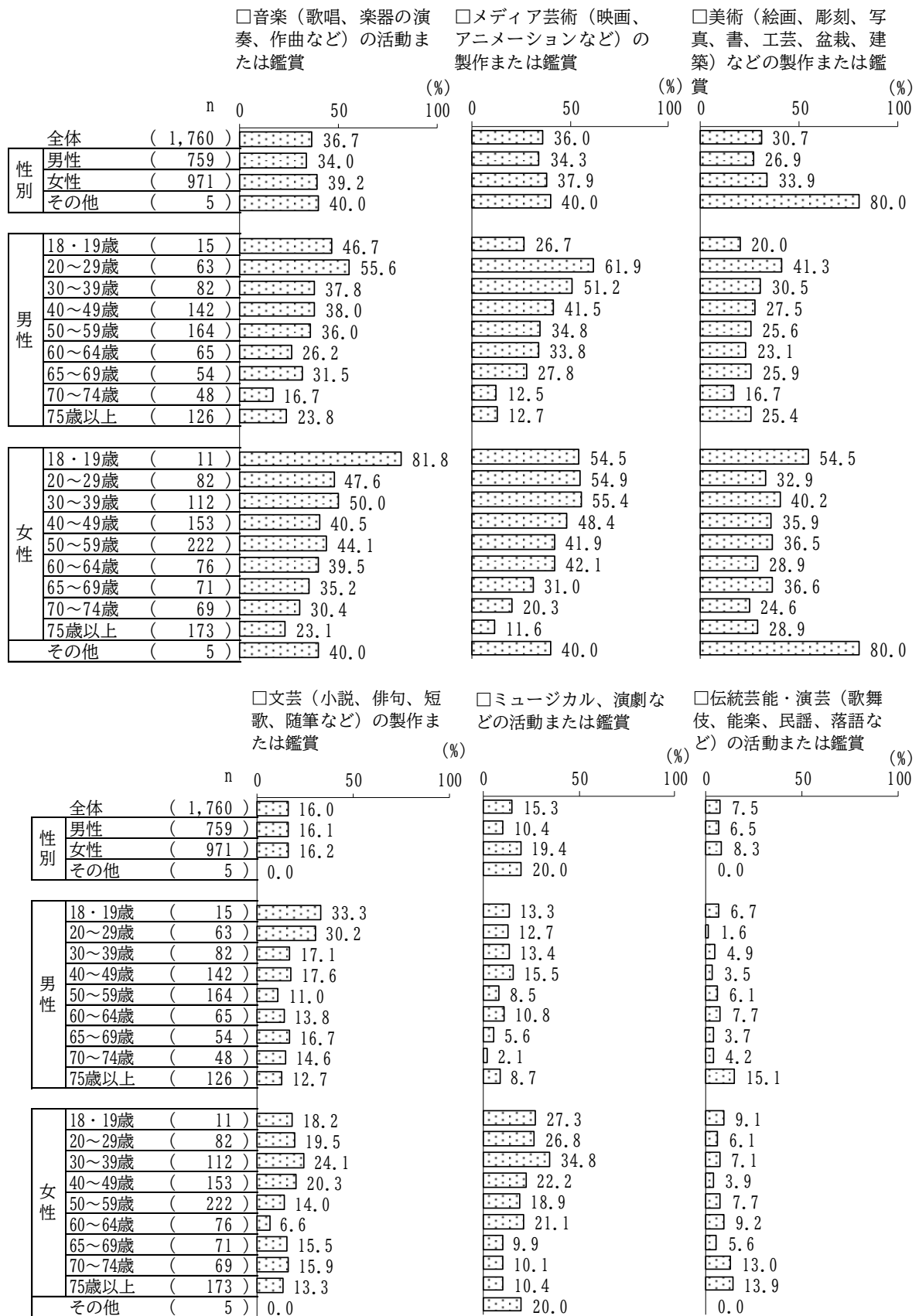
「音楽（歌唱、楽器の演奏、作曲など）の活動または鑑賞」（36.7%）が4割近くと最も高く、次いで「メディア芸術（映画、アニメーションなど）の製作または鑑賞」（36.0%）、「美術（絵画、彫刻、写真、書、工芸、盆栽、建築）などの製作または鑑賞」（30.7%）、「文芸（小説、俳句、短歌、随筆など）の製作または鑑賞」（16.0%）と続いている。（図表7-1）

【性・年齢別】

「美術（絵画、彫刻、写真、書、工芸、盆栽、建築）などの製作または鑑賞」は女性（33.9%）が男性（26.9%）に比べて7.0ポイント高くなっている。

「音楽（歌唱、楽器の演奏、作曲など）の活動または鑑賞」は男性20～29歳で5割台半ば、女性30～39歳で5割と高くなっている。（図表7-2）

<図表7-2> 1年間に行った文化芸術活動や鑑賞／性・年齢別

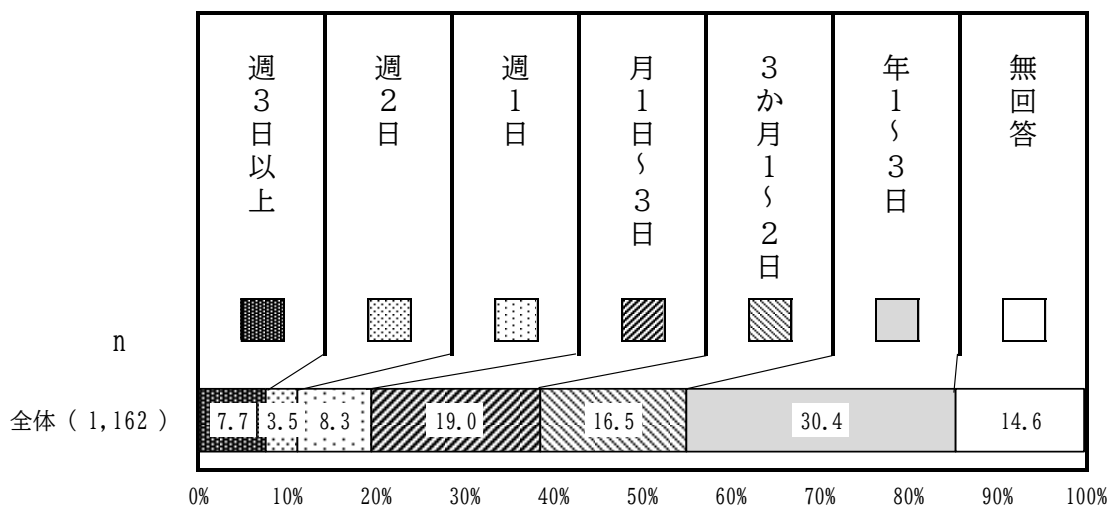


(2) 文化芸術活動や鑑賞を行う頻度

◇「年1～3日」が約3割で最も高い。

問10 あなたは、この1年間に文化芸術活動や鑑賞（テレビ・DVD などによる鑑賞を除く）をどのくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）

<図表7-3>文化芸術活動や鑑賞を行う頻度



文化芸術活動や鑑賞を行う頻度は、「年1～3日」（30.4%）が約3割、「月1日～3日」（19.0）は2割弱となっている。（図表7-3）

【性・年齢別】

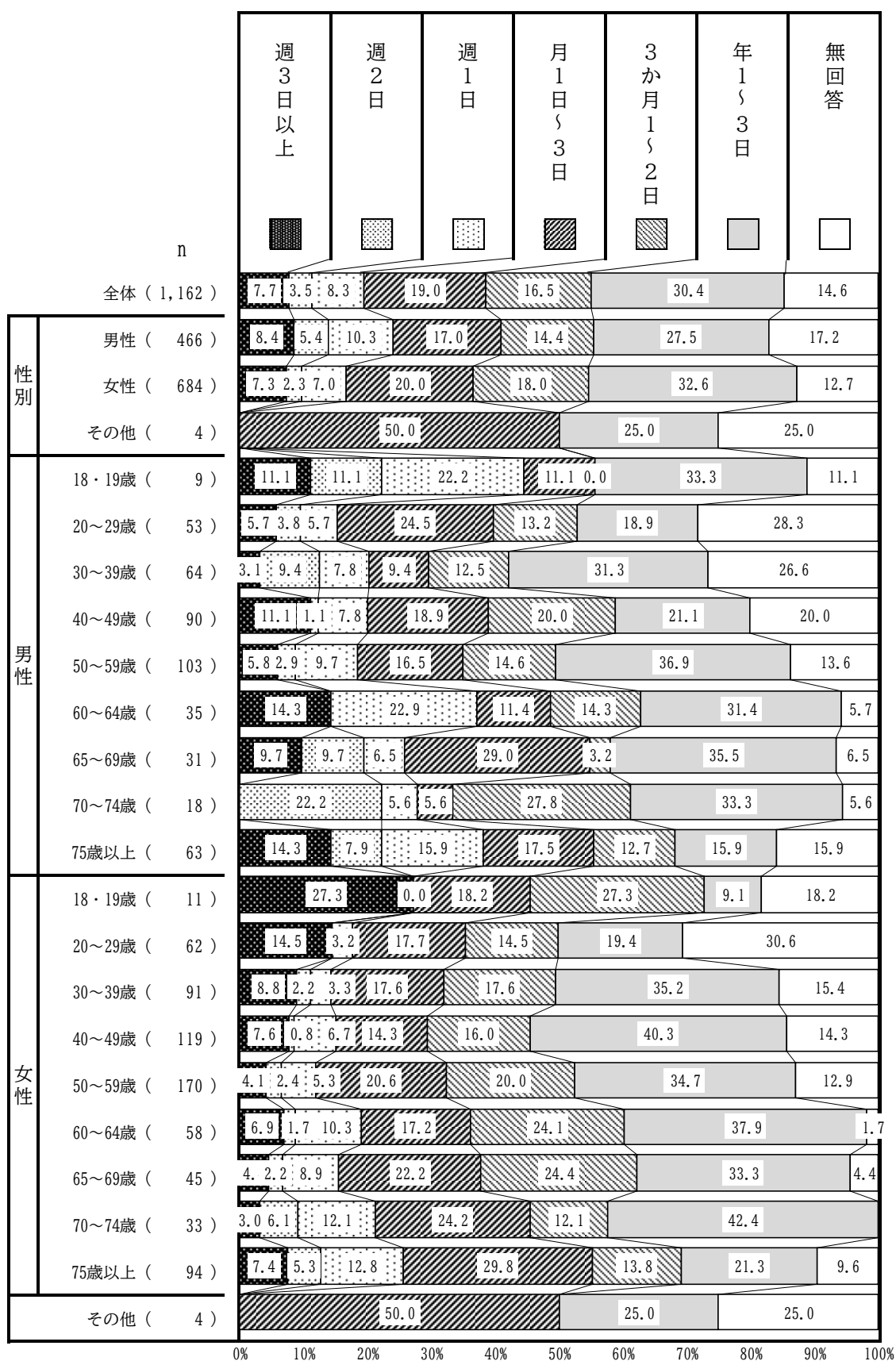
「年1～3日」は女性（32.6%）が男性（27.5%）に比べて5.1ポイント高くなっている。

男性において、「年1～3日」は50～59歳が4割近くと高くなっている。

女性において、「年1～3日」は70～74歳（42.4%）が4割強と高くなっている。

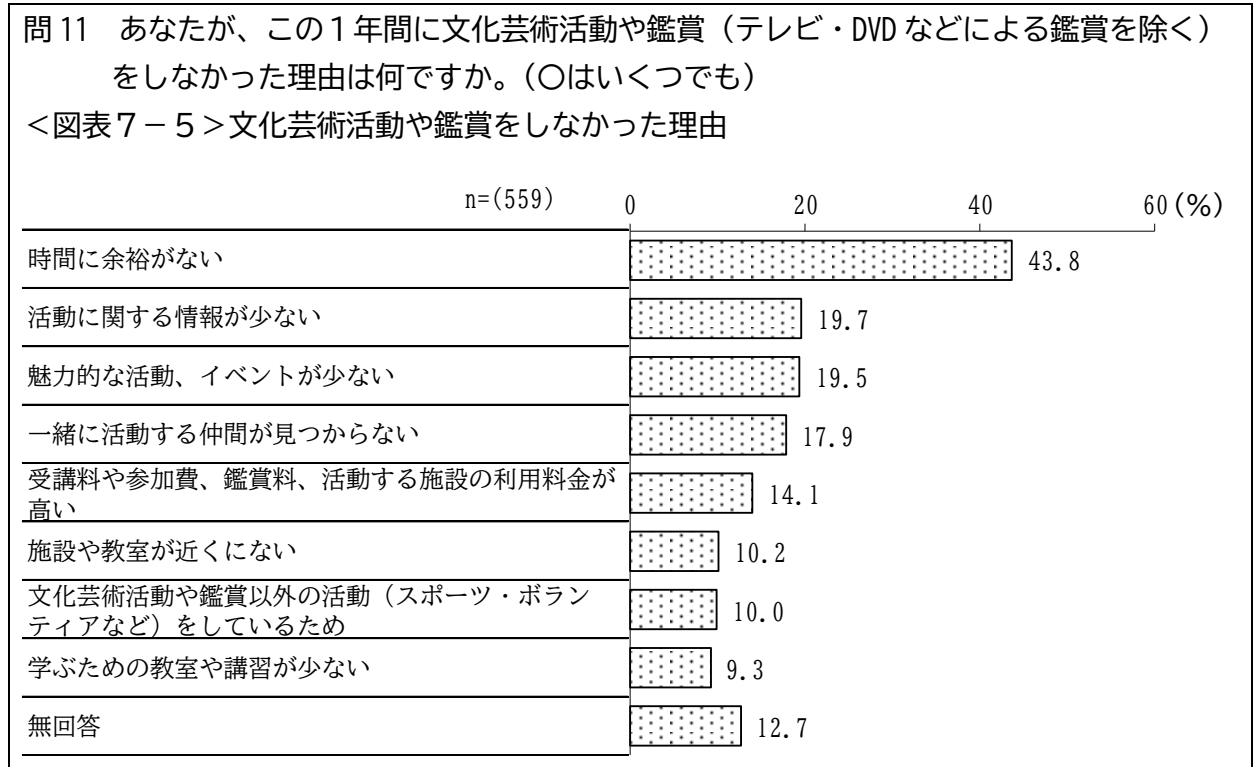
（図表7-4）

<図表7-4>文化芸術活動や鑑賞を行う頻度／性・年齢別



(3) 文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由

◇「時間に余裕がない」が4割強で最も高い。



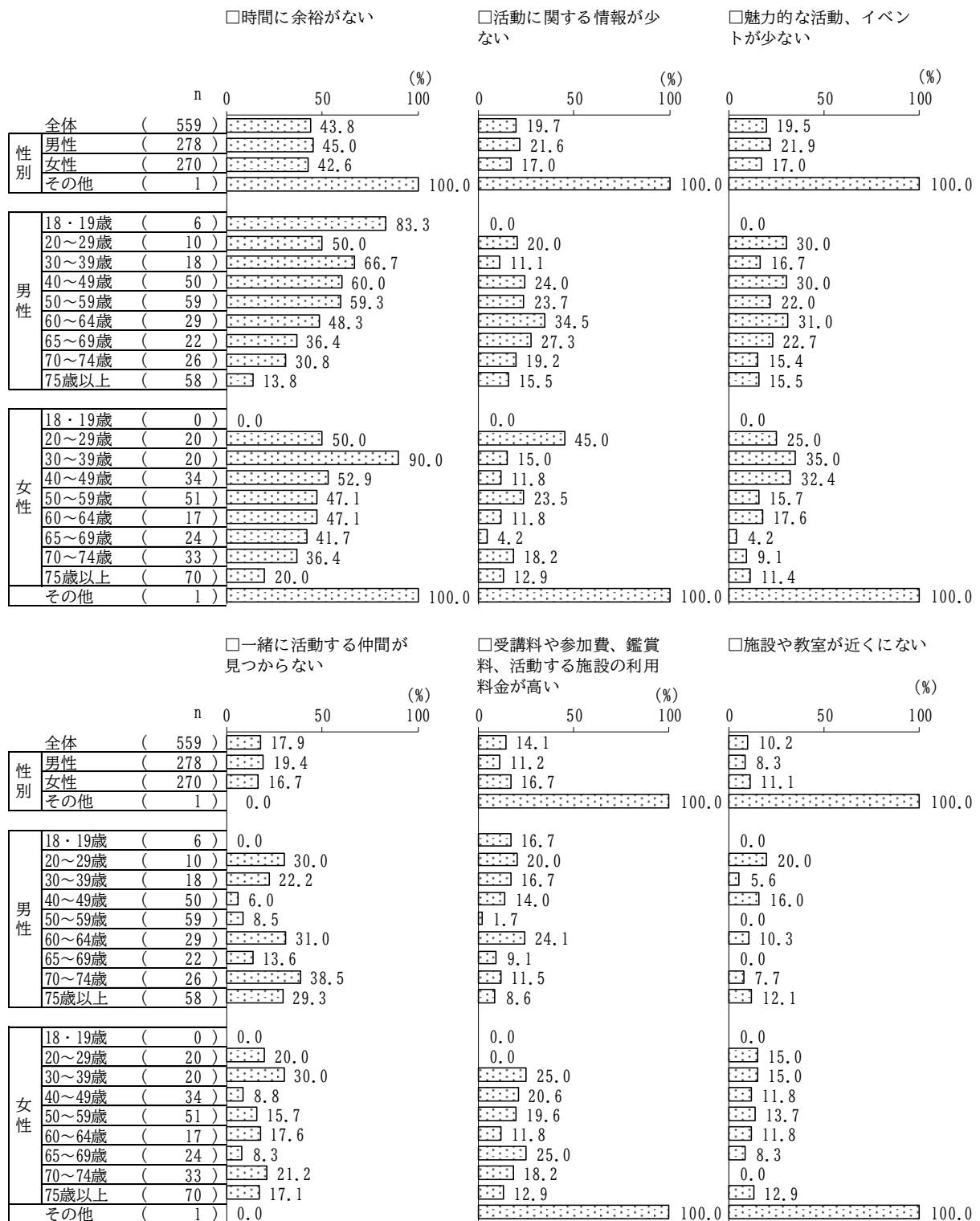
「時間に余裕がない」（43.8%）が4割強と最も高く、次いで「活動に関する情報が少ない」（19.7%）、「魅力的な活動、イベントが少ない」（19.5%）、「一緒に活動する仲間が見つからない」（17.9%）と続いている。（図表7-5）

【性・年齢別】

「受講料や参加費、鑑賞料、活動する施設の利用料金が*高い」は女性（16.7%）が男性（11.2%）に比べて5.5ポイント高くなっている。

「時間に余裕がない」は男性40～49歳（60.0%）が6割と高くなっている。「活動に関する情報が少ない」は男性60～64歳（34.5%）が3割台半ばと高くなっている。（図表7-6）

<図表7-6>文化芸術活動や鑑賞をしなかった理由／性・年齢別



8. 自転車の利用について

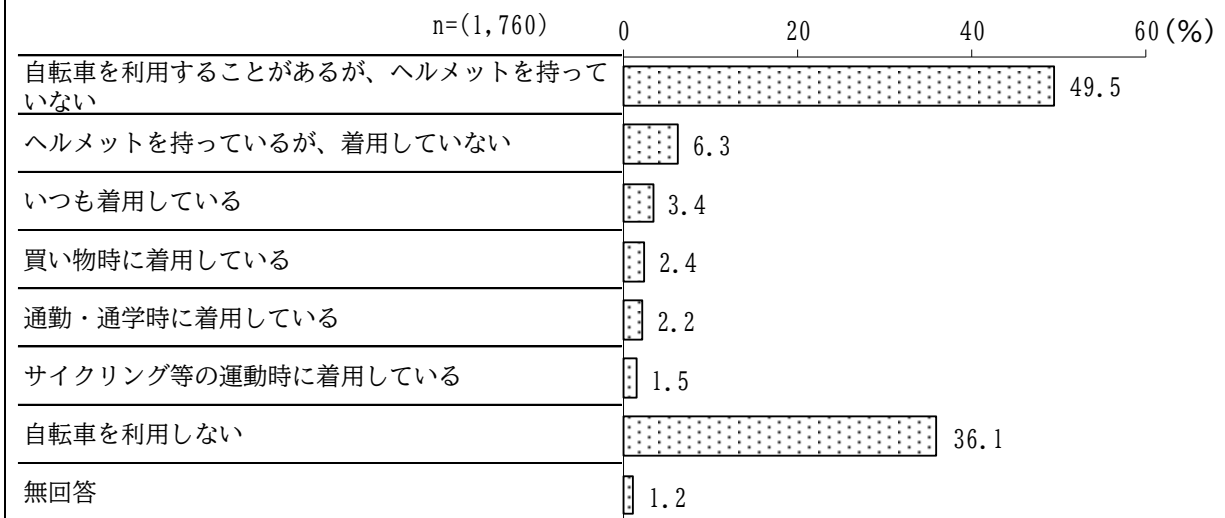
(1) 自転車用ヘルメットの着用状況

◇「自転車を利用することがあるが、ヘルメットを持っていない」が5割弱で最も高い。

問 12 令和5年4月から、すべての年代で自転車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。あなたは、自転車を利用するときに、自転車用ヘルメットを着用していますか。

(○はいくつでも)

<図表8-1> 自転車用ヘルメットの着用状況



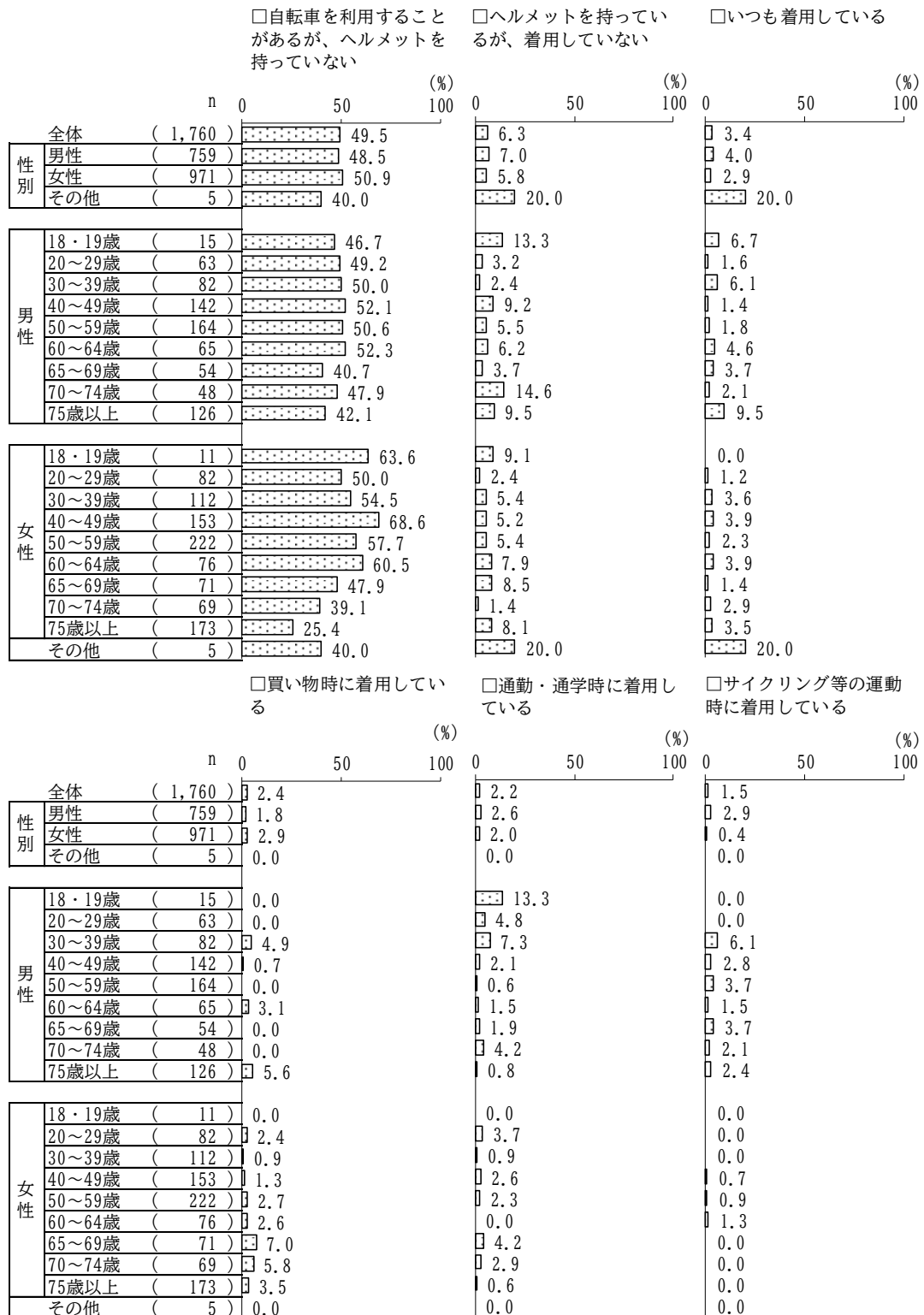
「自転車を利用することがあるが、ヘルメットを持っていない」(49.5%)が5割弱と最も高くなっている。次いで「ヘルメットを持っているが、着用していない」(6.3%)、「いつも着用している」(3.4%)となっている。一方、「自転車を利用しない」(36.1%)は4割近くとなっている。

(図表8-1)

【性・年齢別】

「自転車を利用することがあるが、ヘルメットを持っていない」は女性 40～49 歳（68.6%）が 7 割近くと高くなっている。

＜図表 8－2＞自転車用ヘルメットの着用状況／性・年齢別

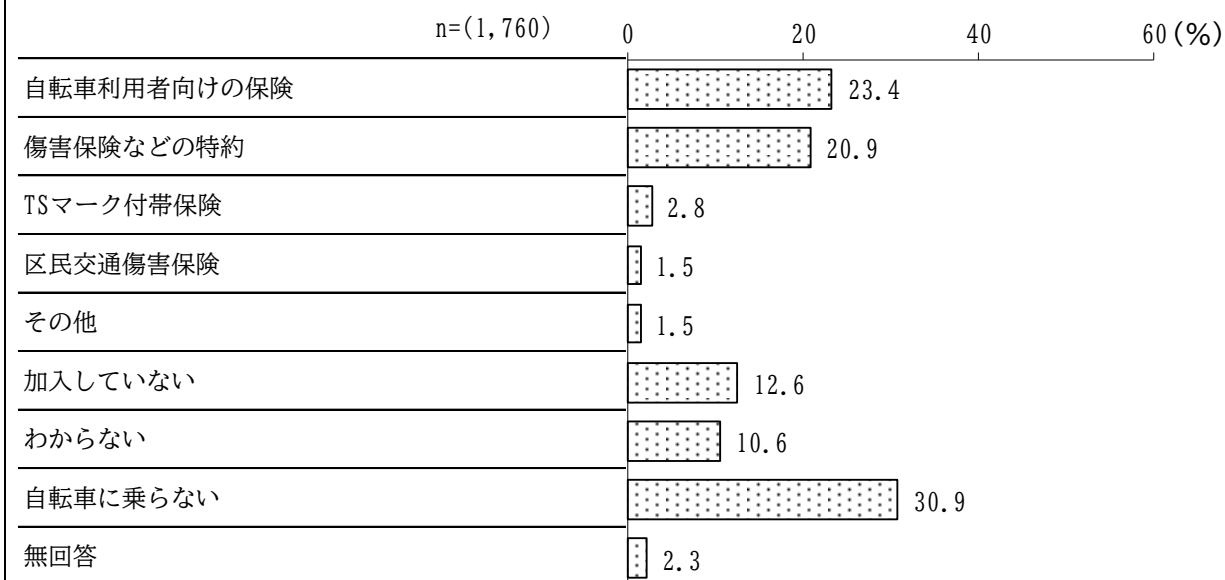


(2) 加入している自転車損害賠償保険の種類

◇「自転車利用者向けの保険」が2割強で最も高い。

問13 東京都では、令和2年4月より自転車利用者自らに自転車損害賠償保険などへの加入が義務化となりました。あなたが加入している自転車損害賠償保険の種類をお答えください。(〇はいくつでも)

<図表8-3> 加入している自転車損害賠償保険の種類



「自転車利用者向けの保険」(23.4%)が2割強と最も高くなっている。次いで「傷害保険などの特約」(20.9%)、「TSマーク付帯保険」(2.8%)となっている。一方、「加入していない」(12.6%)は1割強となっている。(図表8-3)

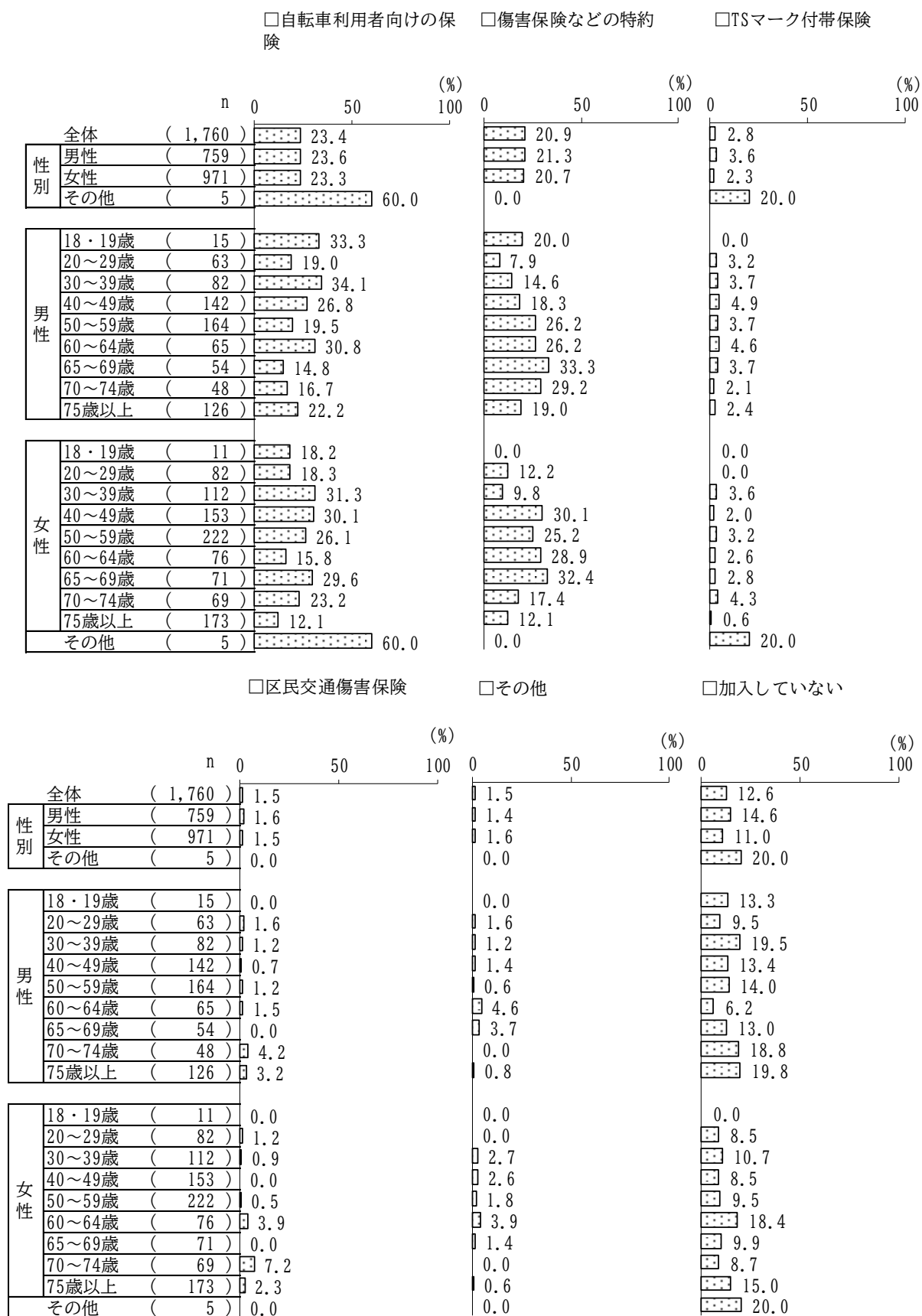
【性・年齢別】

「自転車利用者向けの保険」は男性60～64歳(30.8%)が約3割と高くなっている。「傷害保険などの特約」は男性65～69歳(33.3%)、女性65～69歳(32.4%)が3割強と高くなっている。

「加入していない」は男性30～39歳(19.5%)、75歳以上(19.8%)が2割弱となっている。

(図表8-4)

<図表8-4> 加入している自転車損害賠償保険の種類／性・年齢別



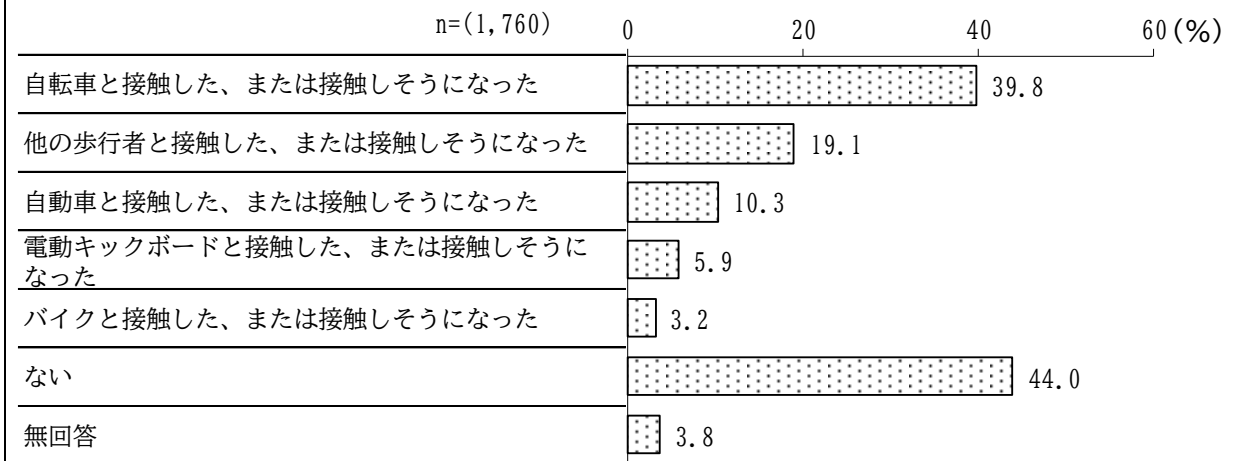
9. 交通安全について

(1) 道路を歩いているときに危険な経験をしたか

◇「自転車と接触した、または接触しそうになった」が4割弱で最も高い。

問 14 あなたは、この1年間で道路を歩いているときに、危険な経験をしたことはありますか。(〇はいくつでも)

<図表9-1>道路を歩いているときに危険な経験をしたか

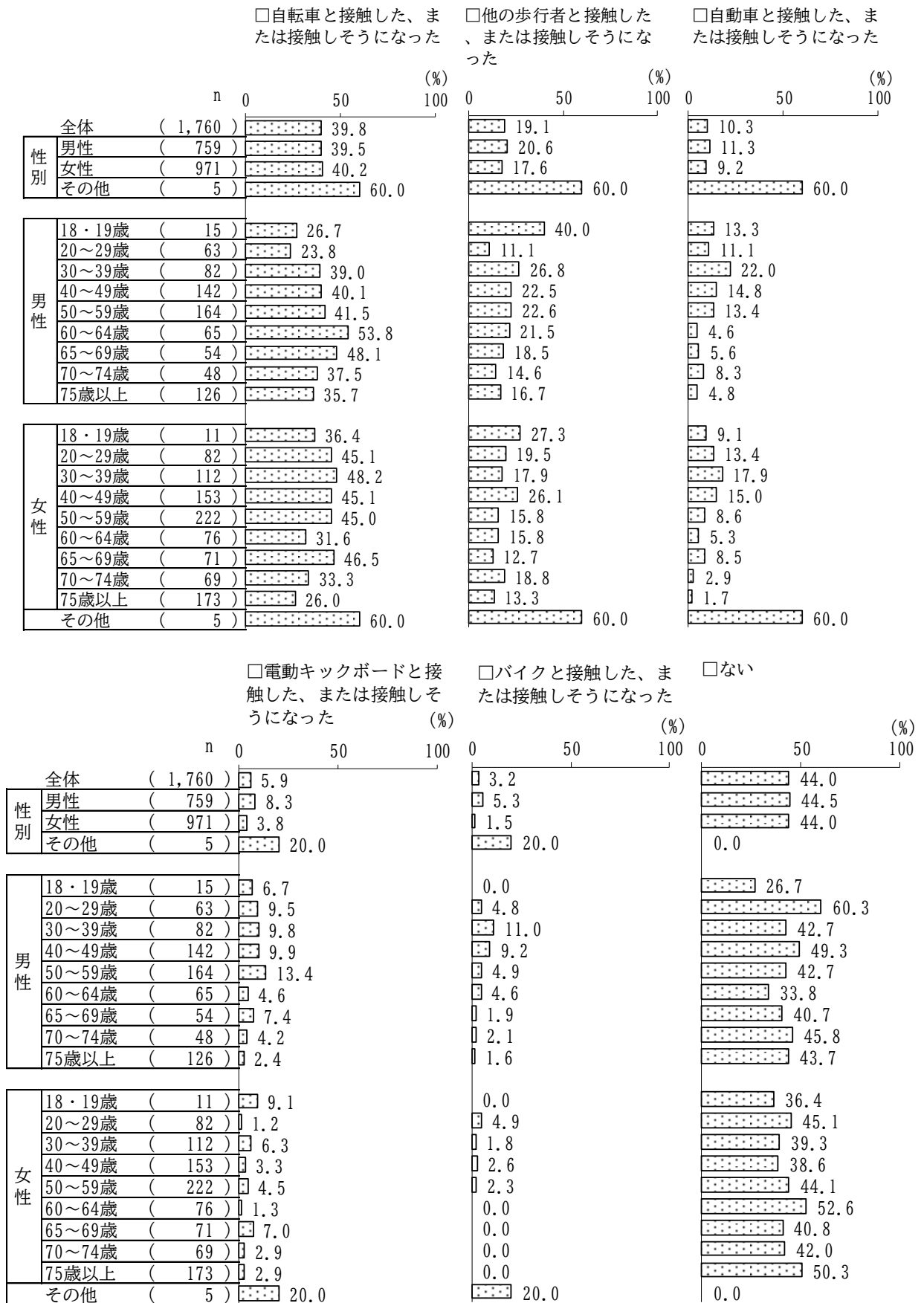


「自転車と接触した、または接触しそうになった」(39.8%)が4割弱と最も高くなっている。次いで「他の歩行者と接触した、または接触しそうになった」(19.1%)、「自動車と接触した、または接触しそうになった」(10.3%)となっている。一方、「ない」(44.0%)は4割台半ばとなっている。(図表9-1)

【性・年齢別】

「自転車と接触した、または接触しそうになった」は男性60～64歳(53.8%)が5割強と高くなっている。「他の歩行者と接触した、または接触しそうになった」は男性30～39歳(26.8%)、女性40～49歳(26.1%)が3割近くと高くなっている。(図表9-2)

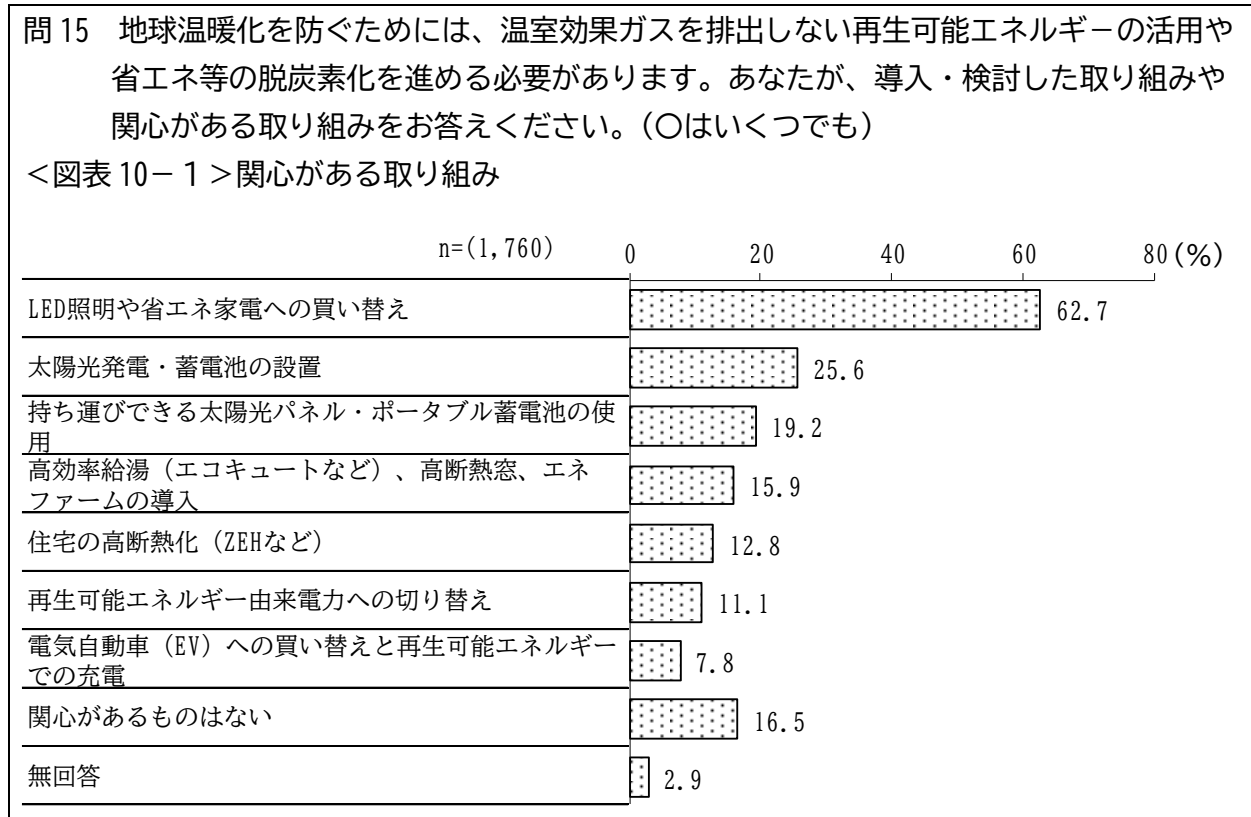
<図表9-2>道路を歩いているときに危険な経験をしたか／性・年齢別



10. 脱炭素化について

(1) 関心がある取り組み

◇「LED 照明や省エネ家電への買い替え」(62.7%) が6割強で最も高い。



「LED 照明や省エネ家電への買い替え」(62.7%) が6割強と最も高くなっている。次いで「太陽光発電・蓄電池の設置」(25.6%)、「持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用」(19.2%)となっている。一方、「関心があるものはない」(16.5%)は2割近くとなっている。

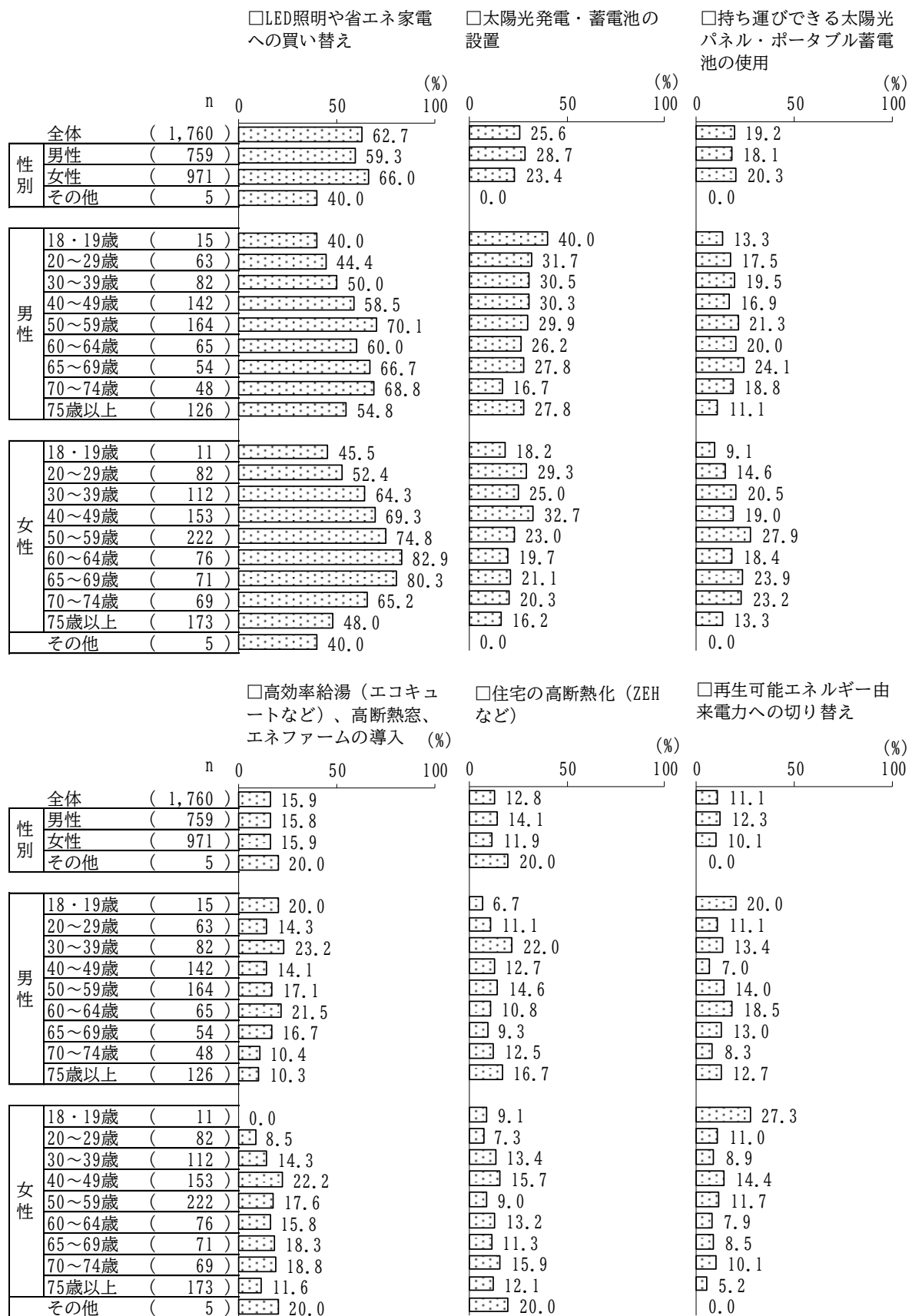
(図表 10-1)

【性・年齢別】

「LED 照明や省エネ家電への買い替え」は女性(66.0%)が男性(59.3%)に比べて6.7ポイント高く、「太陽光発電・蓄電池の設置」は男性(28.7%)が女性(23.4%)に比べて5.3ポイント高くなっている。

「LED 照明や省エネ家電への買い替え」は女性 60～64 歳(82.9%)が8割強と高くなっている。「太陽光発電・蓄電池の設置」は女性 40～49 歳(32.7%)が3割強と高くなっている。「高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入」は男性 30～39 歳(23.2%)、60～64 歳(21.5%)、女性 40～49 歳(22.2%)が2割強と高くなっている。(図表 10-2)

<図表 10-2> 関心がある取り組み／性・年齢別



(2) 導入するときの課題・各項目

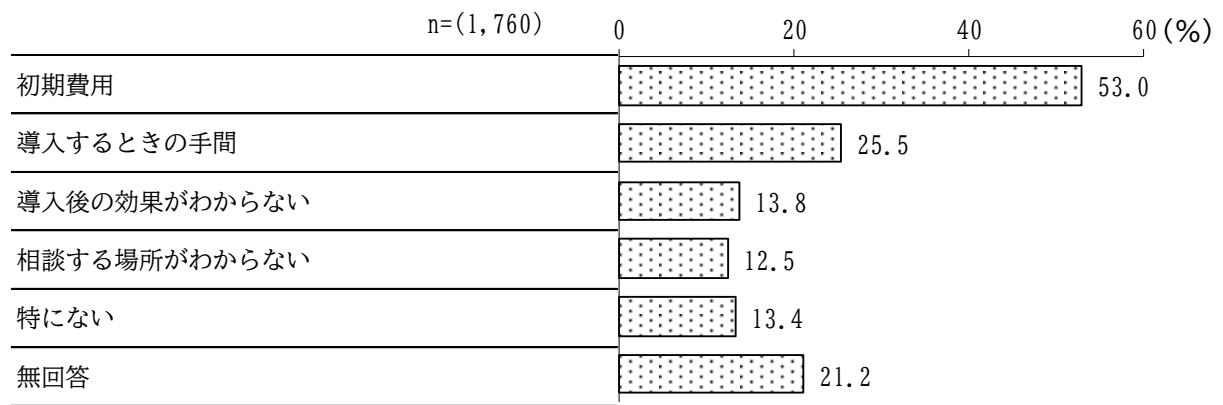
【①太陽光発電・蓄電池の設置】

◇「初期費用」が5割強で最も高い。

問 16 問 15 の取り組みについて、実際に導入するときの課題は何ですか。

(○はいくつでも)

<図表 10-3>①太陽光発電・蓄電池の設置



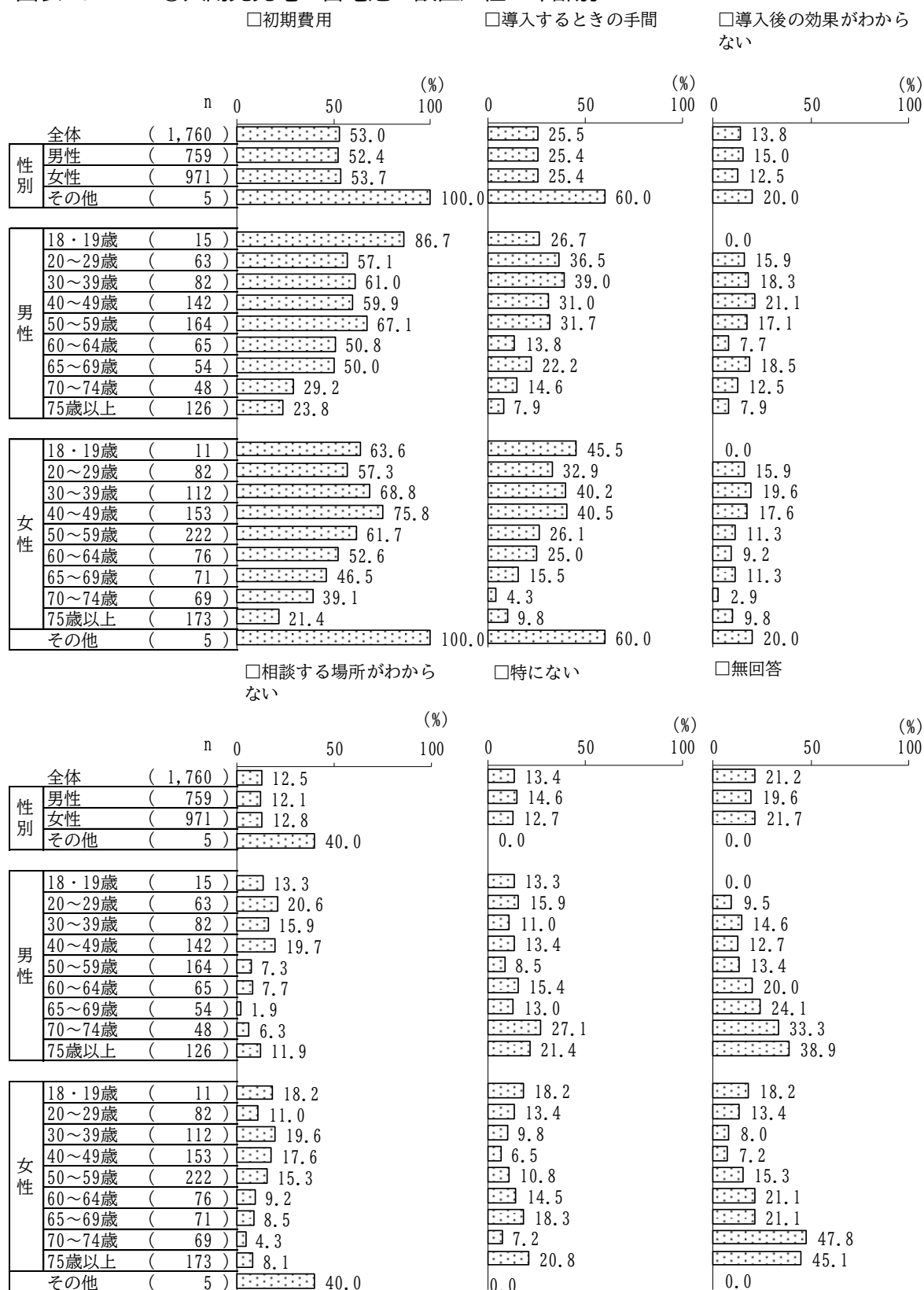
「初期費用」(53.0%)が5割強と最も高くなっている。次いで「導入するときの手間」(25.5%)、「導入後の効果がわからない」(13.8%)、「相談する場所がわからない」(12.5%)となっている。一方、「特にない」(13.4%)は1割強となっている。(図表 10-3)

【①太陽光発電・蓄電池の設置／性・年齢別】

「導入後の効果がわからない」は男性(15.0%)が女性(12.5%)に比べて2.5ポイント高くなっている。

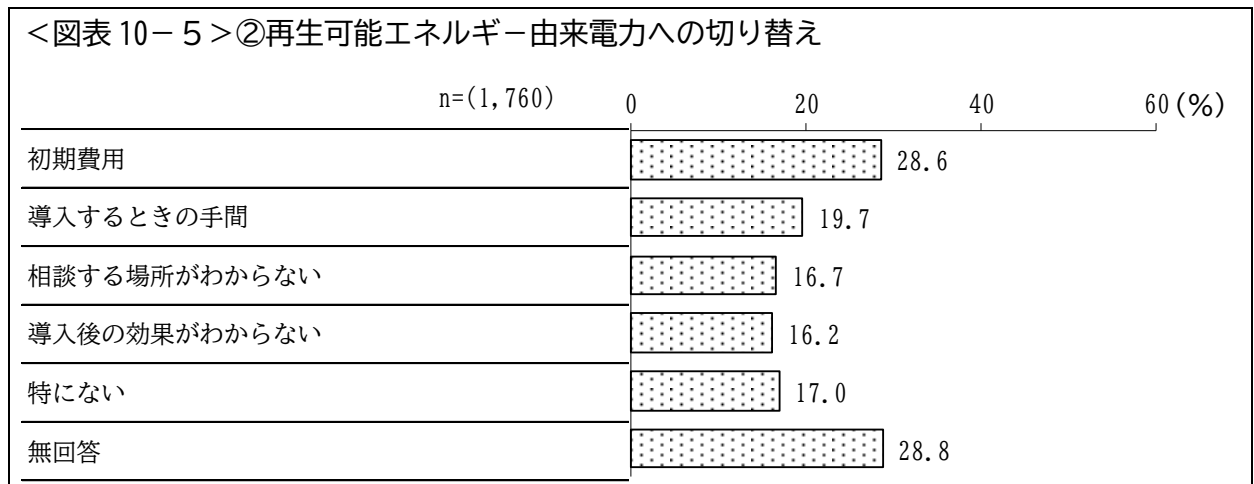
「初期費用」は女性40～49歳(75.8%)が7割台半ばと高くなっている。「導入するときの手間」は女性30～39歳(40.2%)、40～49歳(40.5%)が約4割と高くなっている。「導入後の効果がわからない」は男性40～49歳(21.1%)が2割強と高くなっている。(図表 10-4)

<図表 10-4>①太陽光発電・蓄電池の設置／性・年齢別



【②再生可能エネルギー由来電力への切り替え】

◇「初期費用」が3割近くで最も高い。



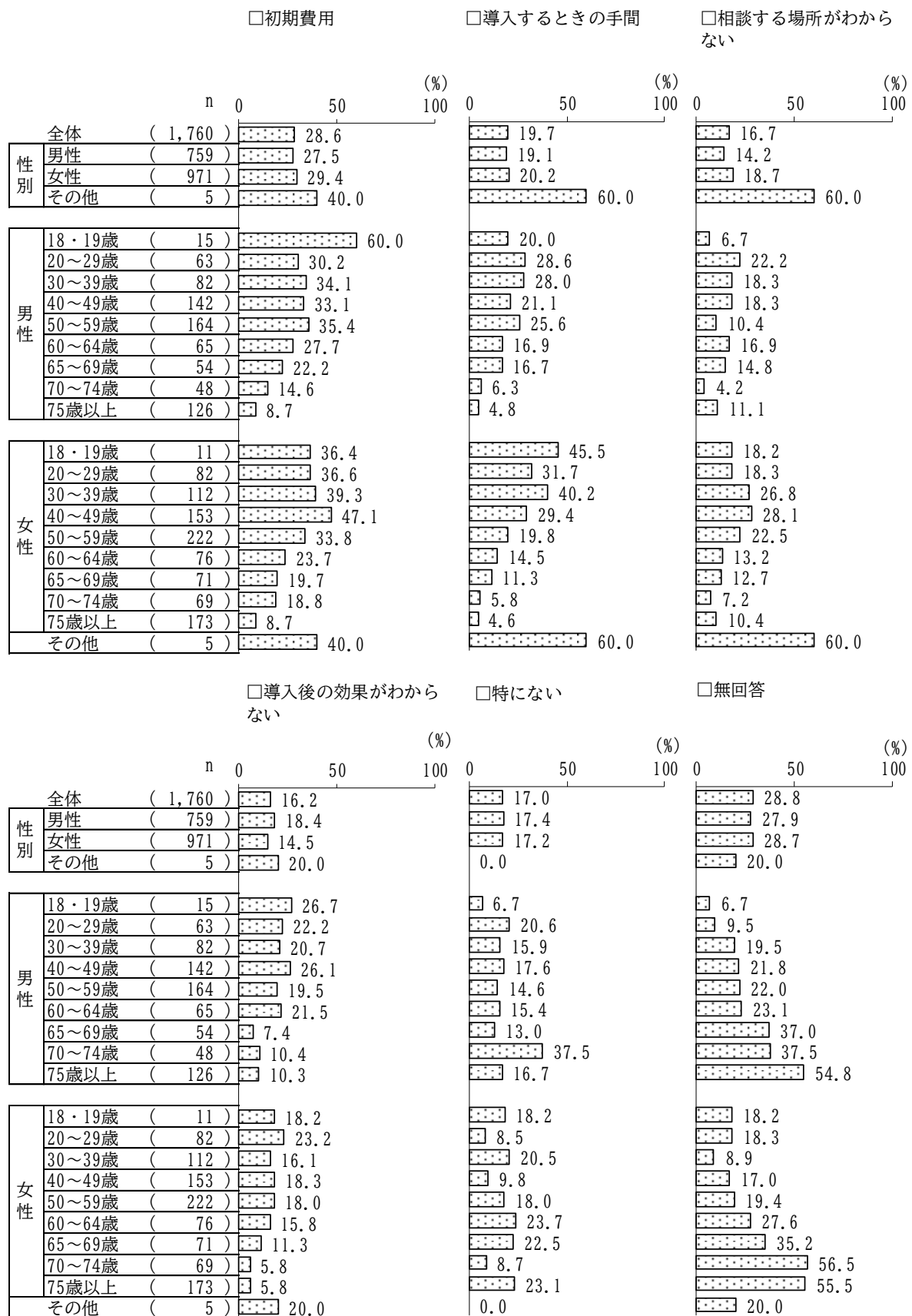
「初期費用」(28.6%) が3割近くと最も高くなっている。次いで「導入するときの手間」(19.7%)、「相談する場所がわからない」(16.7%)、「導入後の効果がわからない」(16.2%)となっている。一方、「特にない」(17.0%)は2割近くとなっている。(図表 10－5)

【②再生可能エネルギー由来電力への切り替え／性・年齢別】

「相談する場所がわからない」は女性(18.7%)が男性(14.2%)に比べて4.5ポイント高くなっている。

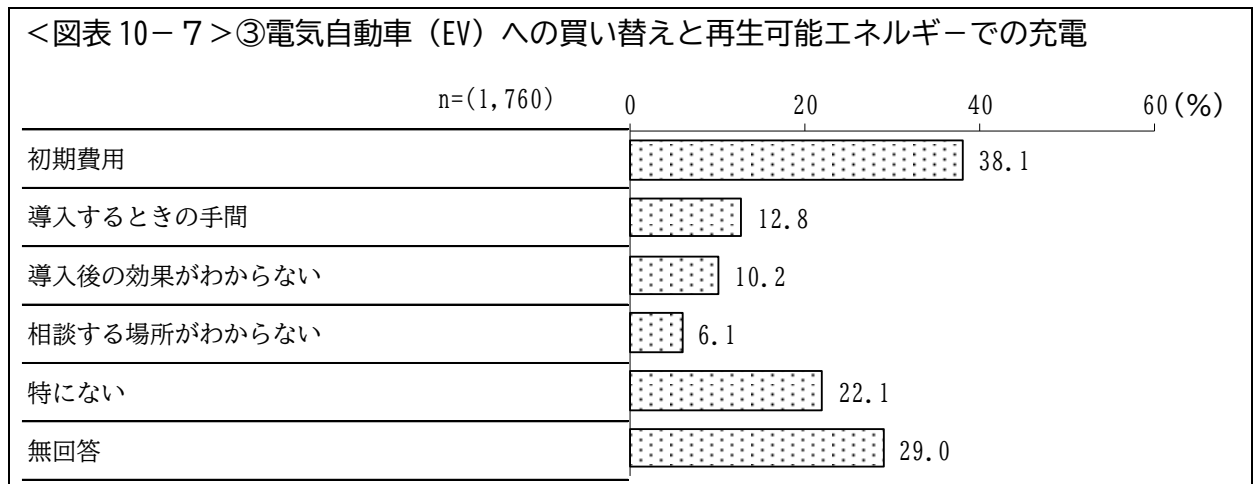
「初期費用」は女性40～49歳(47.1%)が5割近くと高くなっている。「導入するときの手間」は女性30～39歳(40.2%)が約4割と高くなっている。「相談する場所がわからない」は女性40～49歳(28.1%)が3割近くと高くなっている。(図表 10－6)

<図表 10-6>②再生可能エネルギー由来電力への切り替え／性・年齢別



【③電気自動車（EV）への買い替えと再生可能エネルギーでの充電】

◇「初期費用」が4割近くで最も高い。



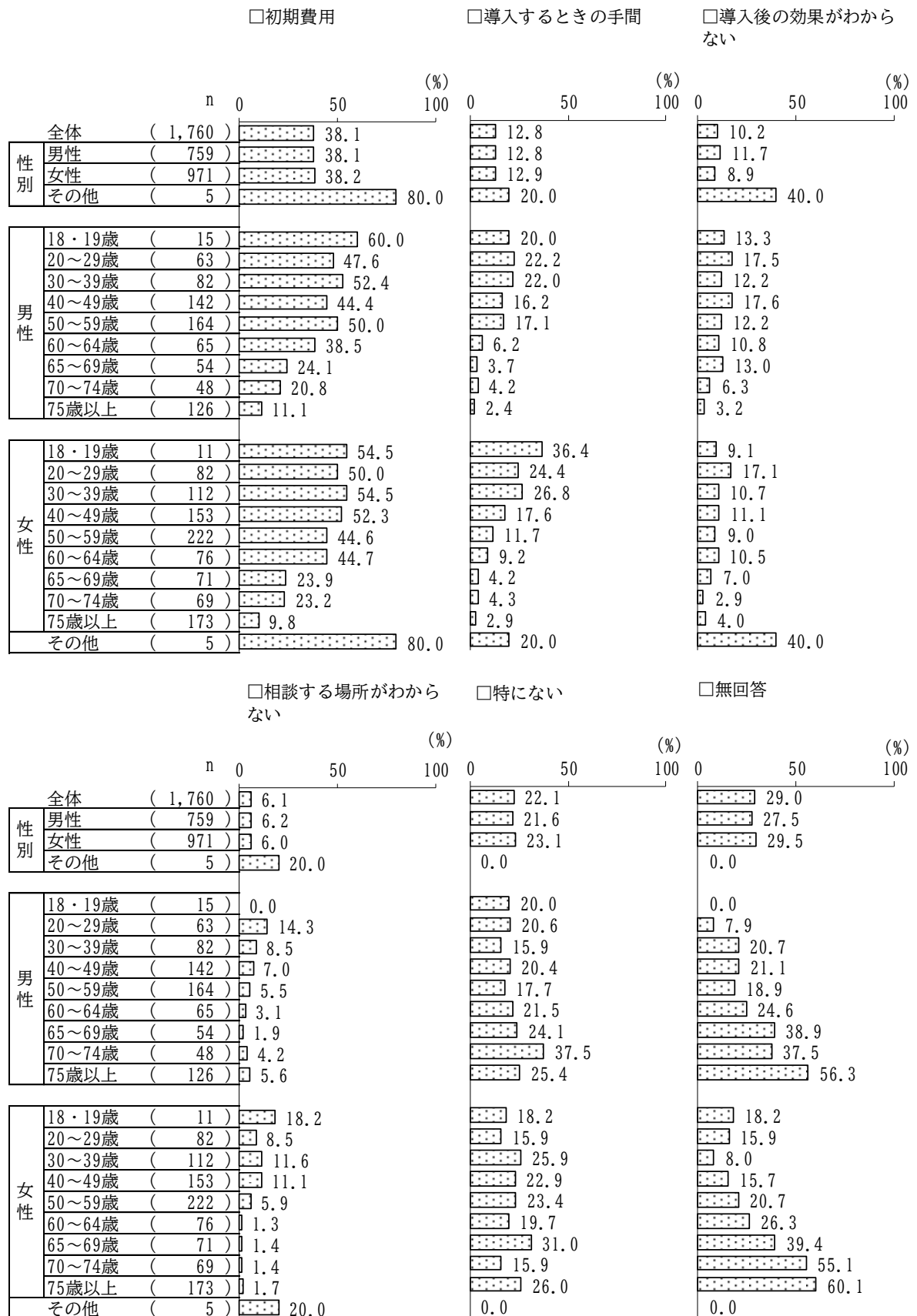
「初期費用」（38.1%）が4割近くと最も高くなっている。次いで「導入するときの手間」（12.8%）、「導入後の効果がわからない」（10.2%）、「相談する場所がわからない」（6.1%）となっている。一方、「特にない」（22.1%）は2割強となっている。（図表 10－7）

【③電気自動車（EV）への買い替えと再生可能エネルギーでの充電／性・年齢別】

「導入後の効果がわからない」は男性（11.7%）が女性（8.9%）に比べて2.8ポイント高くなっている。

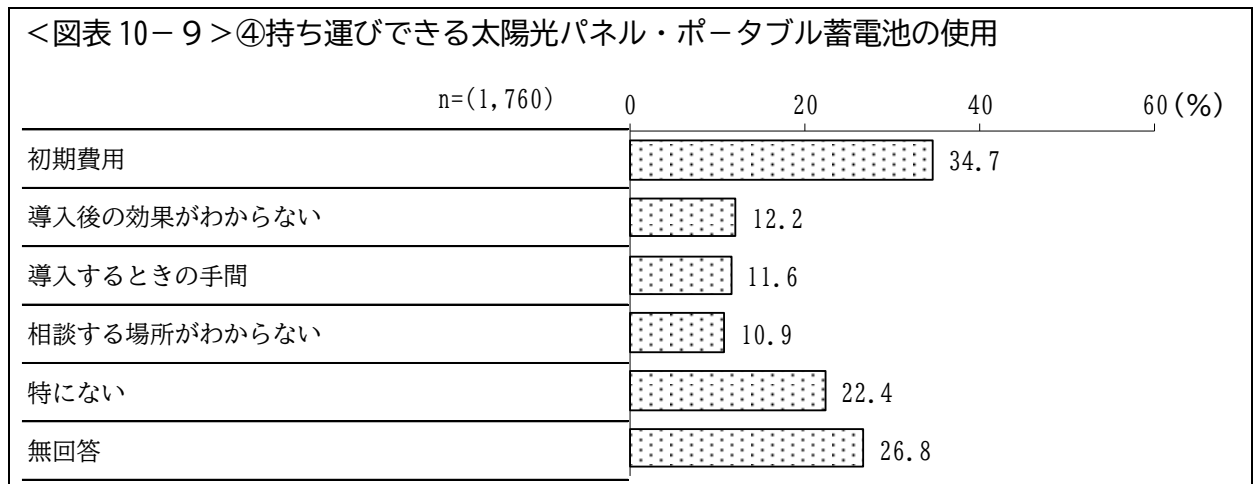
「初期費用」は女性 30～39 歳（54.5%）が5割台半ばと高くなっている。「導入するときの手間」は女性 30～39 歳（26.8%）が3割近くと高くなっている。「導入後の効果がわからない」は男性 20～29 歳（17.5%）、40～49 歳（17.6%）が2割近くと高くなっている。（図表 10－8）

<図表 10-8>③電気自動車（EV）への買い替えと再生可能エネルギーでの充電／性・年齢別



【④持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用】

◇「初期費用」が3割台半ばで最も高い。



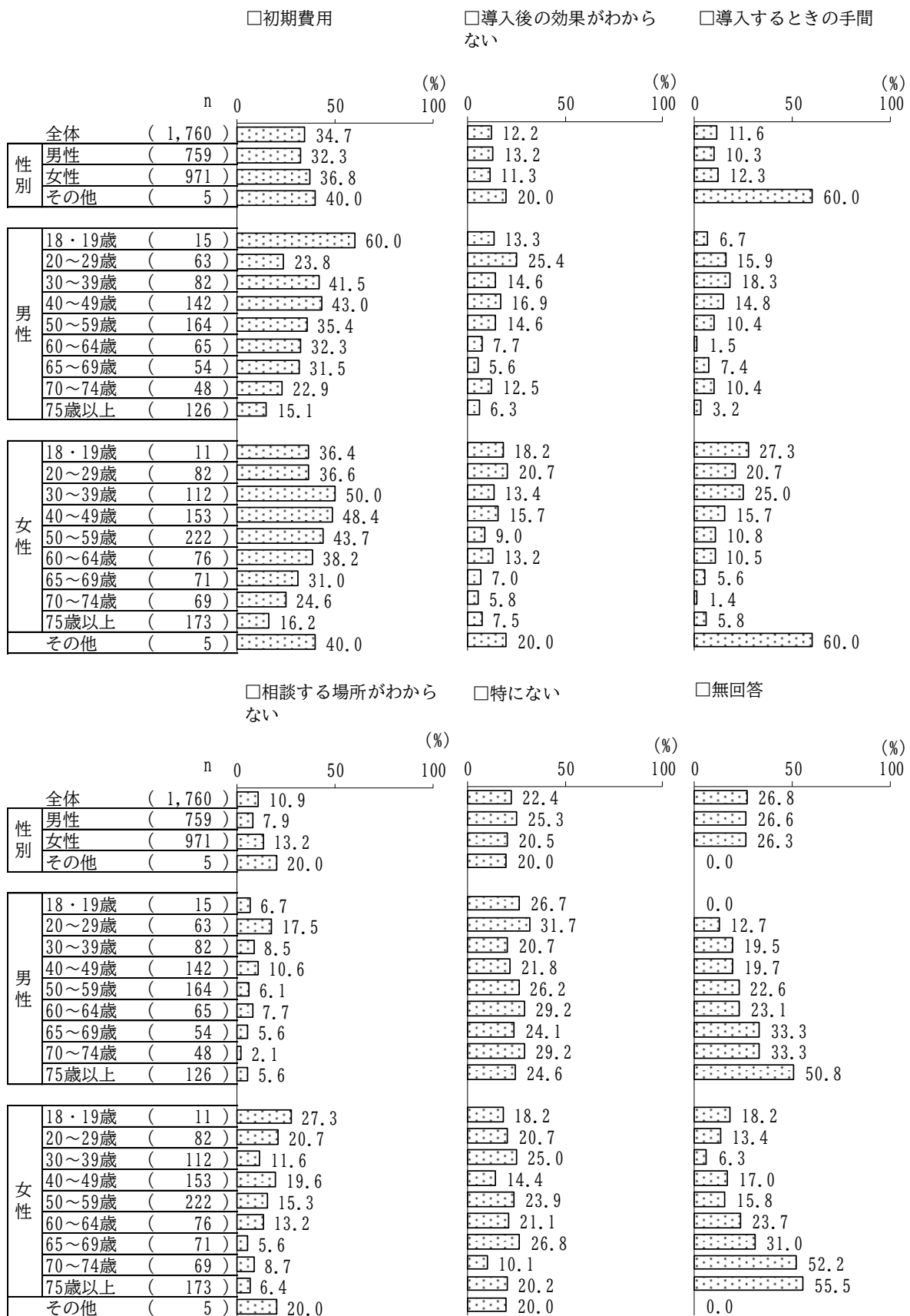
「初期費用」(34.7%) が3割台半ばと最も高くなっている。次いで「導入後の効果がわからない」(12.2%)、「導入するときの手間」(11.6%)、「相談する場所がわからない」(10.9%)となっている。一方、「特にない」(22.4%)は2割強となっている。(図表 10－9)

【④持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用／性・年齢別】

「相談する場所がわからない」は女性(13.2%)が男性(7.9%)に比べて5.3ポイント高くなっている。

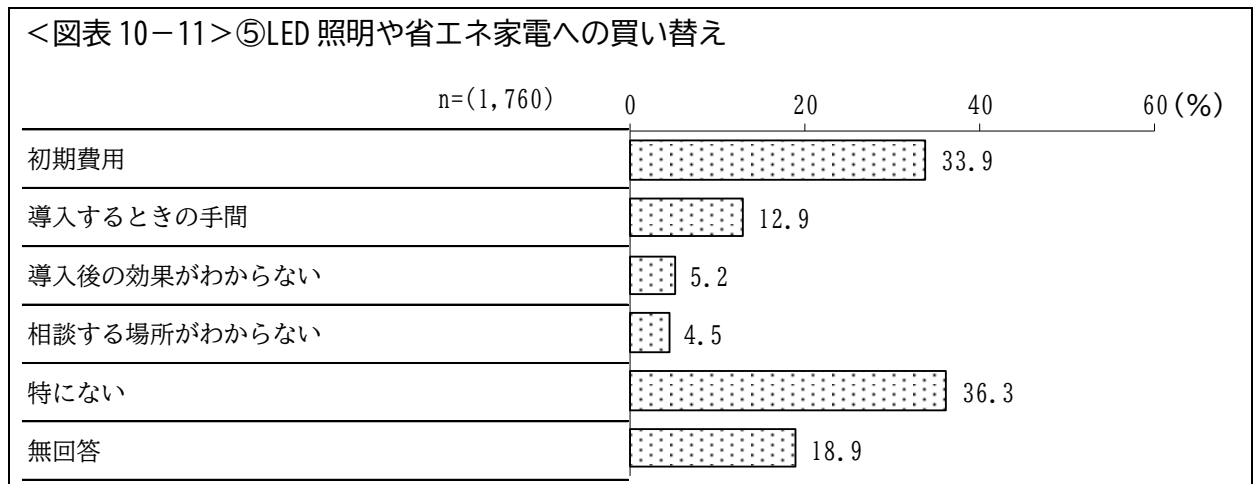
「初期費用」は女性30～39歳(50.0%)が5割と高くなっている。「導入後の効果がわからない」は男性20～29歳(25.4%)が2割台半ばと高くなっている。「導入するときの手間」は女性30～39歳(25.0%)が2割台半ばと高くなっている。(図表 10－10)

<図表 10-10>④持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用／性・年齢別



【⑤LED 照明や省エネ家電への買い替え】

◇「初期費用」が3割強で最も高い。



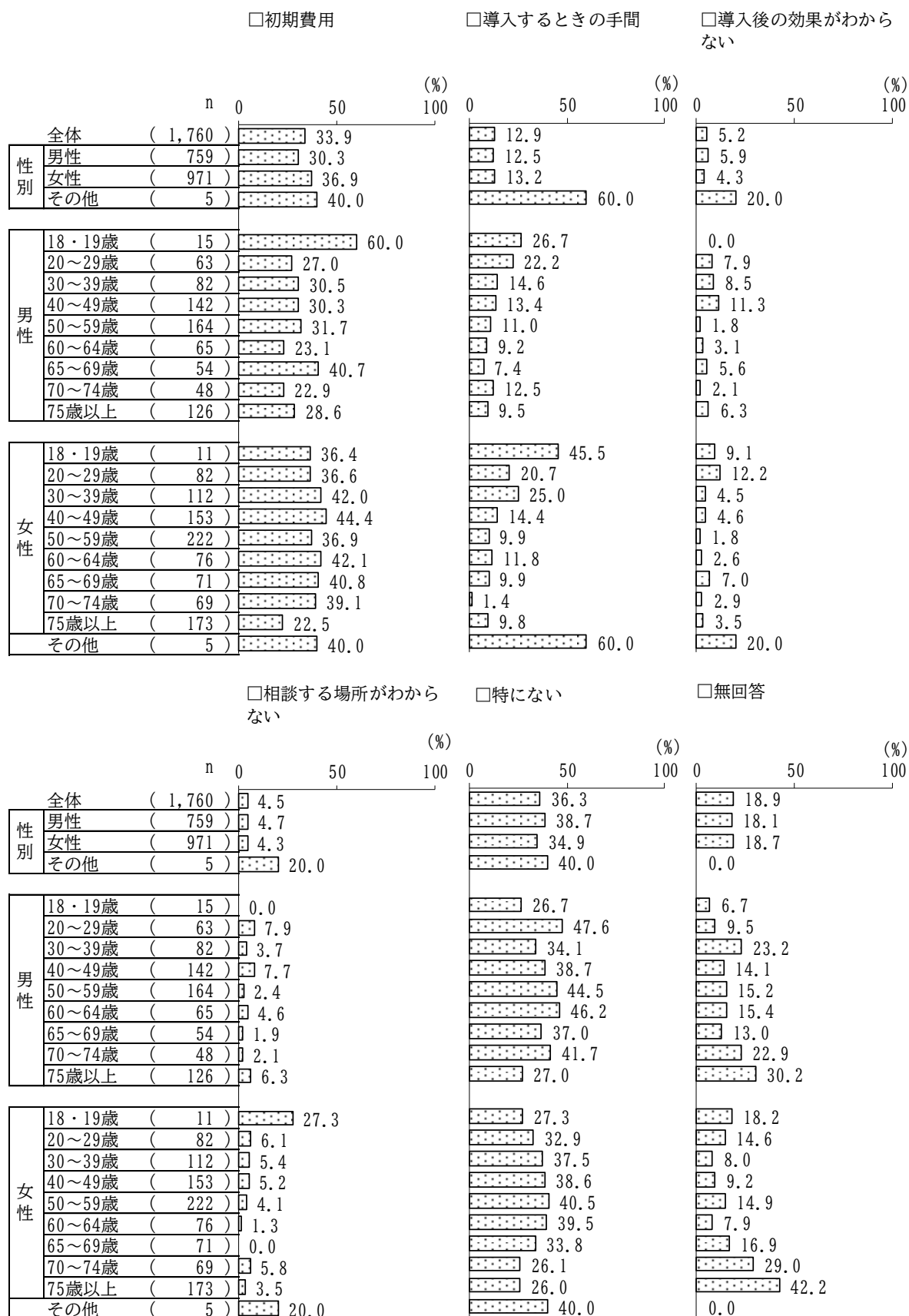
「初期費用」(33.9%) が3割強と最も高くなっている。次いで「導入するときの手間」(12.9%)、「導入後の効果がわからない」(5.2%)、「相談する場所がわからない」(4.5%)となっている。一方、「特になし」(36.3%)は4割近くとなっている。(図表 10-11)

【⑤LED 照明や省エネ家電への買い替え／性・年齢別】

「初期費用」は女性(36.9%)が男性(30.3%)に比べて6.6ポイント高くなっている。

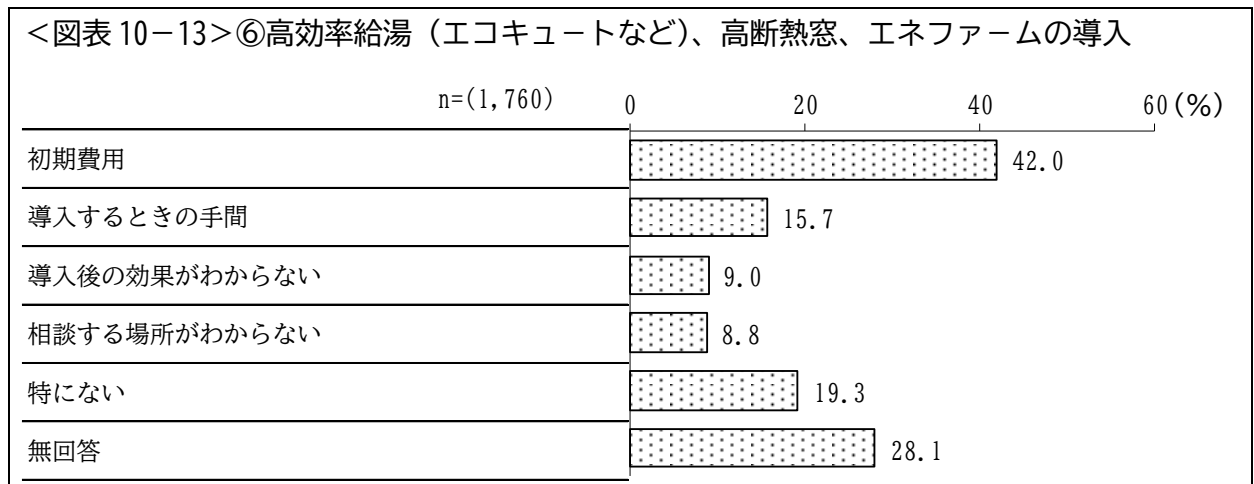
「初期費用」は女性40～49歳(44.4%)が4割台半ばと高くなっている。「導入するときの手間」は女性30～39歳(25.0%)が2割台半ばと高くなっている。「導入後の効果がわからない」は男性40～49歳(11.3%)、女性20～29歳(12.2%)が1割強と高くなっている。(図表 10-12)

<図表 10-12> ⑤LED 照明や省エネ家電への買い替え／性・年齢別



【⑥高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入】

◇「初期費用」が4割強で最も高い。



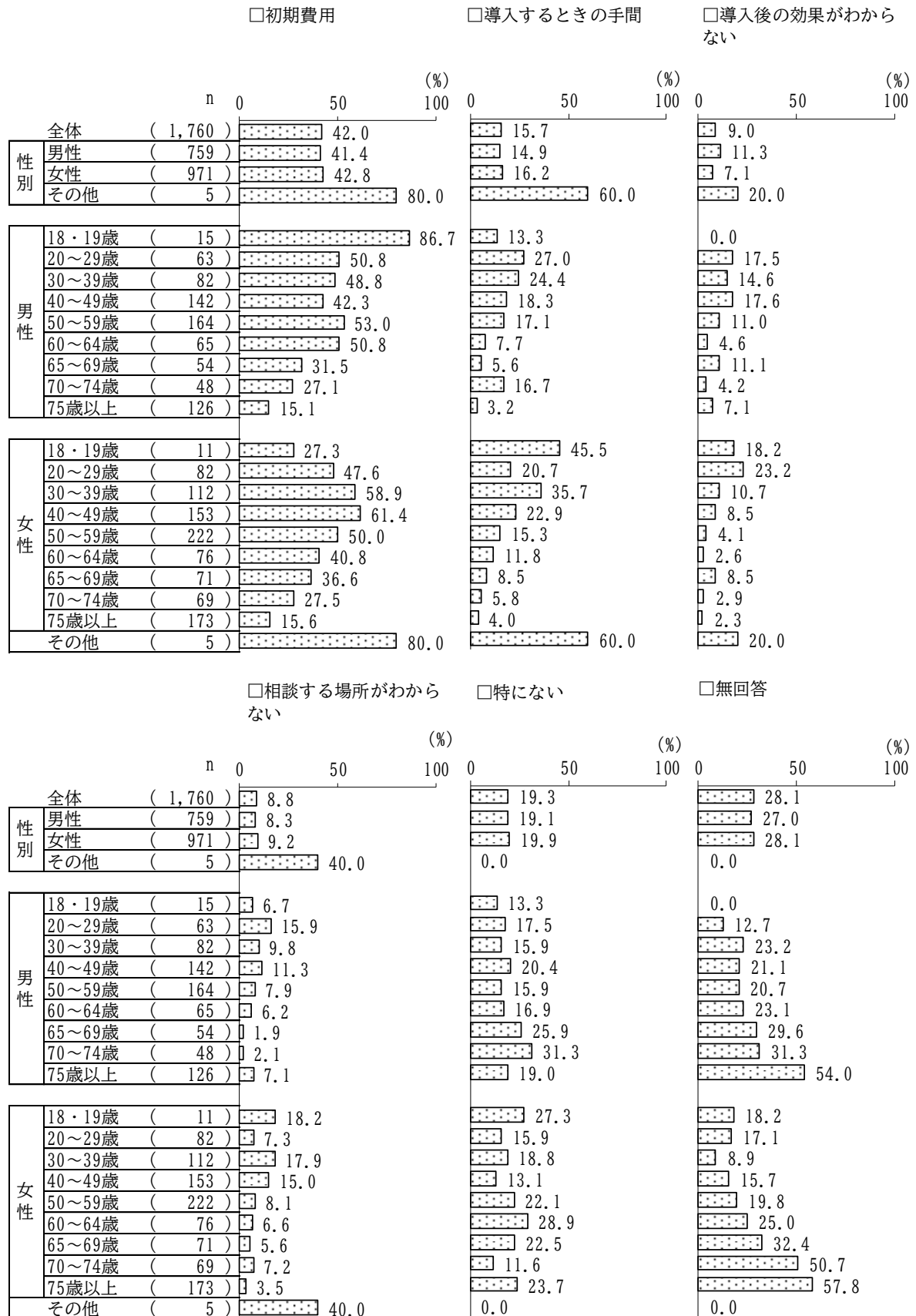
「初期費用」（42.0%）が4割強と最も高くなっている。次いで「導入するときの手間」（15.7%）、「導入後の効果がわからない」（9.0%）、「相談する場所がわからない」（8.8%）となっている。一方、「特になし」（19.3%）は2割弱となっている。（図表 10－13）

【⑥高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入／性・年齢別】

「導入後の効果がわからない」は男性（11.3%）が女性（7.1%）に比べて4.2ポイント高くなっている。

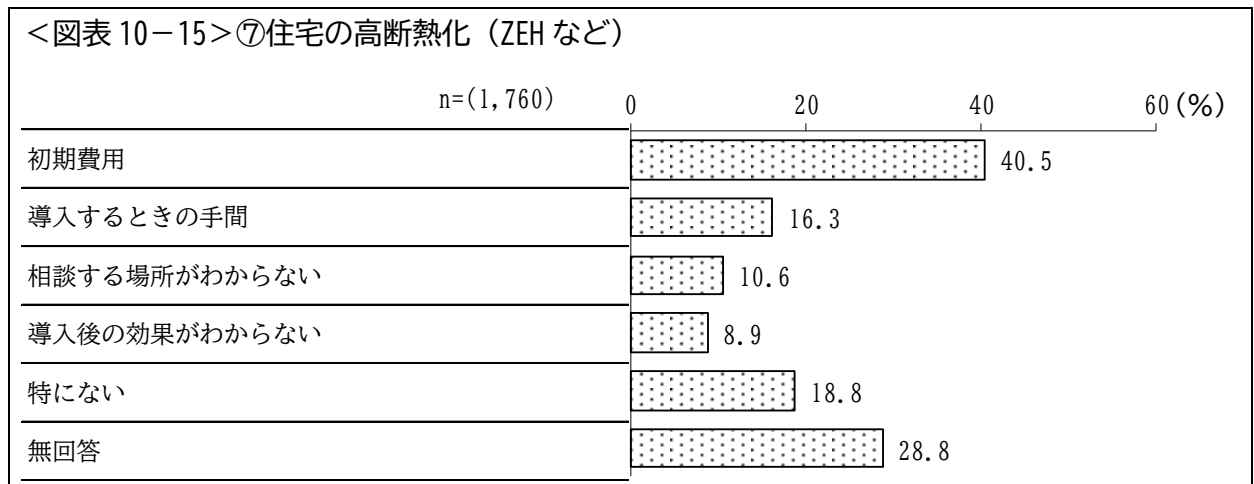
「初期費用」は女性 40～49 歳（61.4%）が6割強と高くなっている。「導入するときの手間」は女性 30～39 歳（35.7%）が3割台半ばと高くなっている。「導入後の効果がわからない」は女性 20～29 歳（23.2%）が2割強と高くなっている。（図表 10－14）

<図表 10-14> ⑥高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入／性・年齢別



【⑦住宅の高断熱化（ZEH など）】

◇「初期費用」が約4割で最も高い。



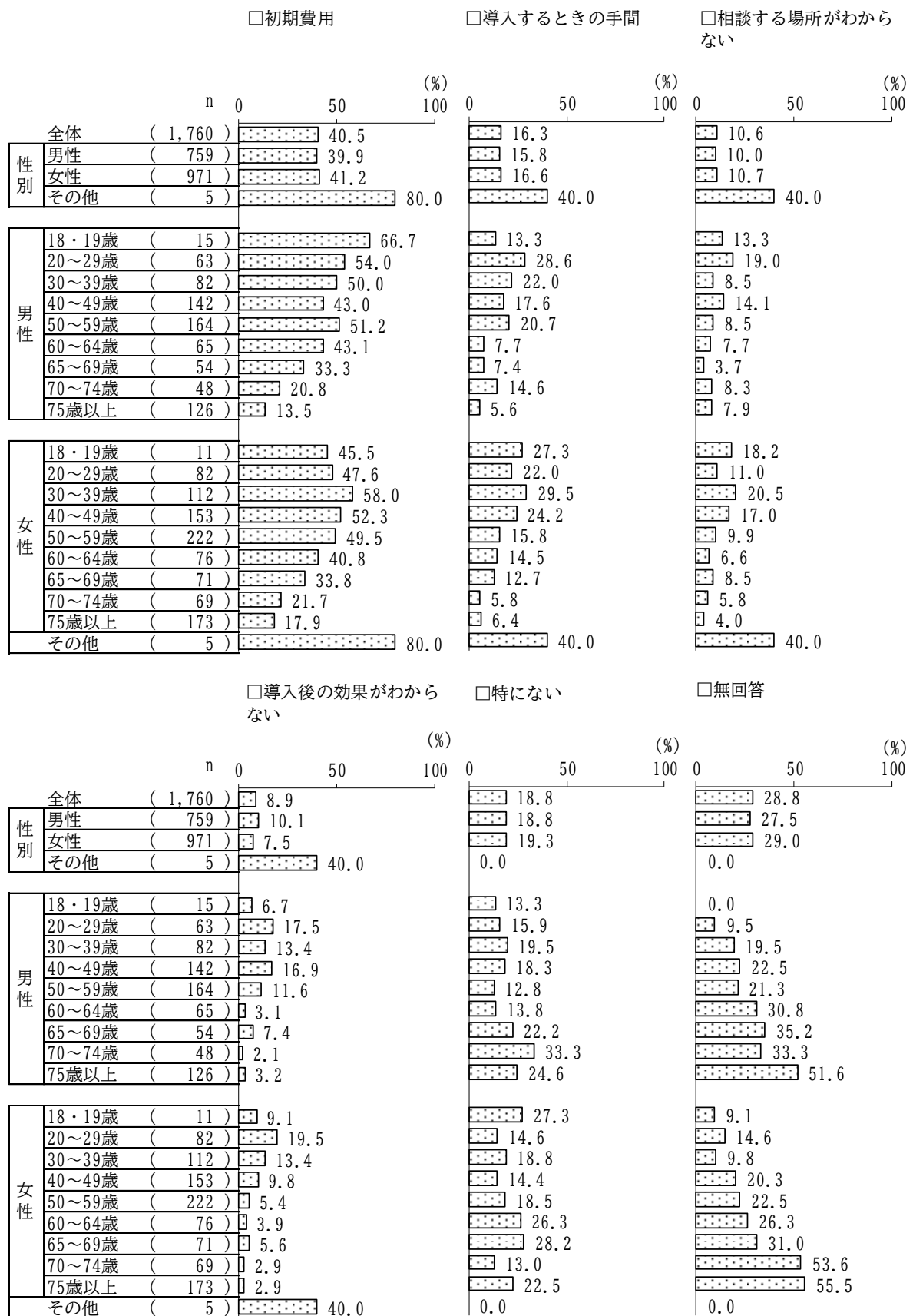
「初期費用」（40.5%）が約4割と最も高くなっている。次いで「導入するときの手間」（16.3%）、「相談する場所がわからない」（10.6%）、「導入後の効果がわからない」（8.9%）となっている。一方、「特にない」（18.8%）は2割近くとなっている。（図表 10－15）

【⑦住宅の高断熱化（ZEH など）／性・年齢別】

「導入後の効果がわからない」は男性（10.1%）が女性（7.5%）に比べて2.6ポイント高くなっている。

「初期費用」は女性30～39歳（58.0%）が6割近くと高くなっている。「導入するときの手間」は女性30～39歳（29.5%）が3割弱と高くなっている。「相談する場所がわからない」は女性30～39歳（20.5%）が約2割と高くなっている。（図表 10－16）

<図表 10-16> ⑦住宅の高断熱化（ZEH など）／性・年齢別



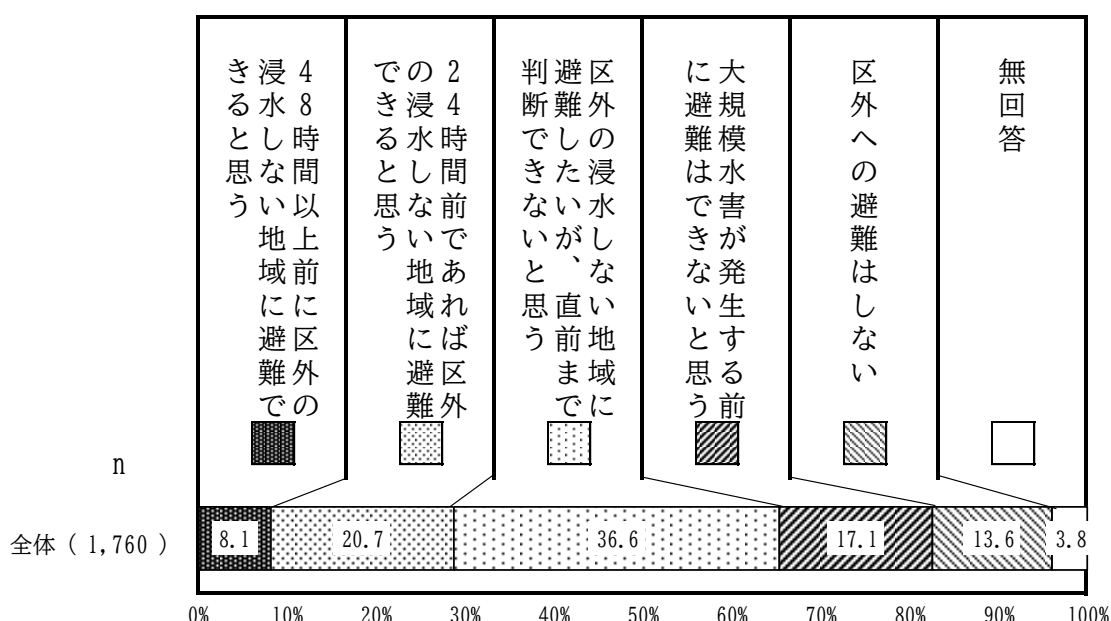
11. 災害対策について

(1) 大規模水害時の避難するタイミング

◇「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」が4割近く。

問 17 江戸川区は海に面した低地帯で、陸域の7割が満潮位以下のゼロメートル地帯です。洪水や高潮などにより大規模水害が発生すると広範囲にわたって浸水し、水が引くまでに2週間以上かかることも考えられます。超大型台風の接近など大規模水害の発生が予測されるときに、あなたは江戸川区外の浸水しない地域にどのタイミングで避難できると思いますか。(○は1つ)

<図表 11-1> 大規模水害時の避難するタイミング



大規模水害時の避難するタイミングは、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」(36.6%)が4割近く、「24時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う」(20.7%)は約2割となっている。(図表 11-1)

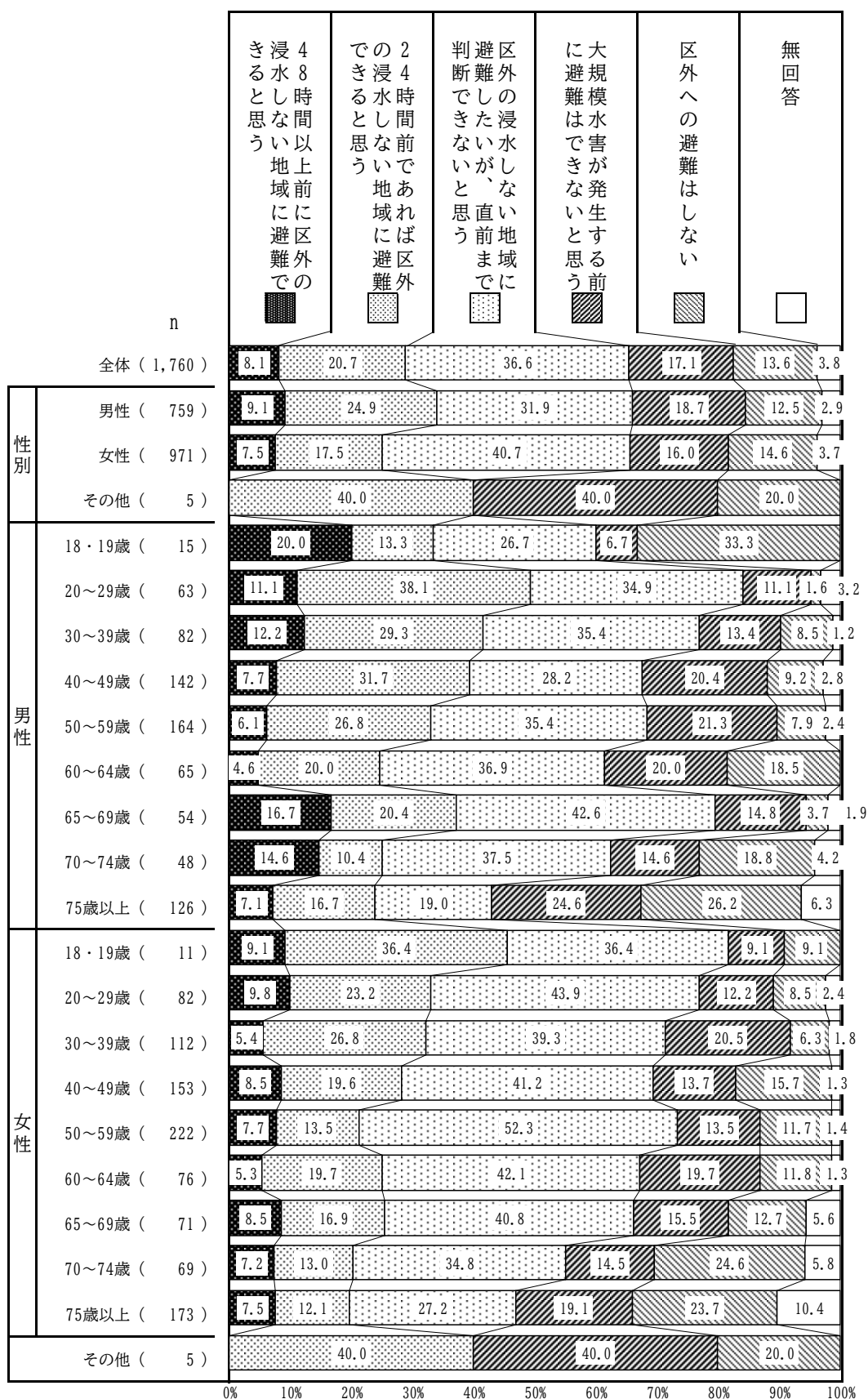
【性・年齢別】

「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は女性(40.7%)が男性(31.9%)に比べて8.8ポイント高くなっている。

男性において、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は65～69歳(42.6%)が4割強となっている。

女性において、「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は50～59歳(52.3%)が5割強となっている。(図表 11-2)

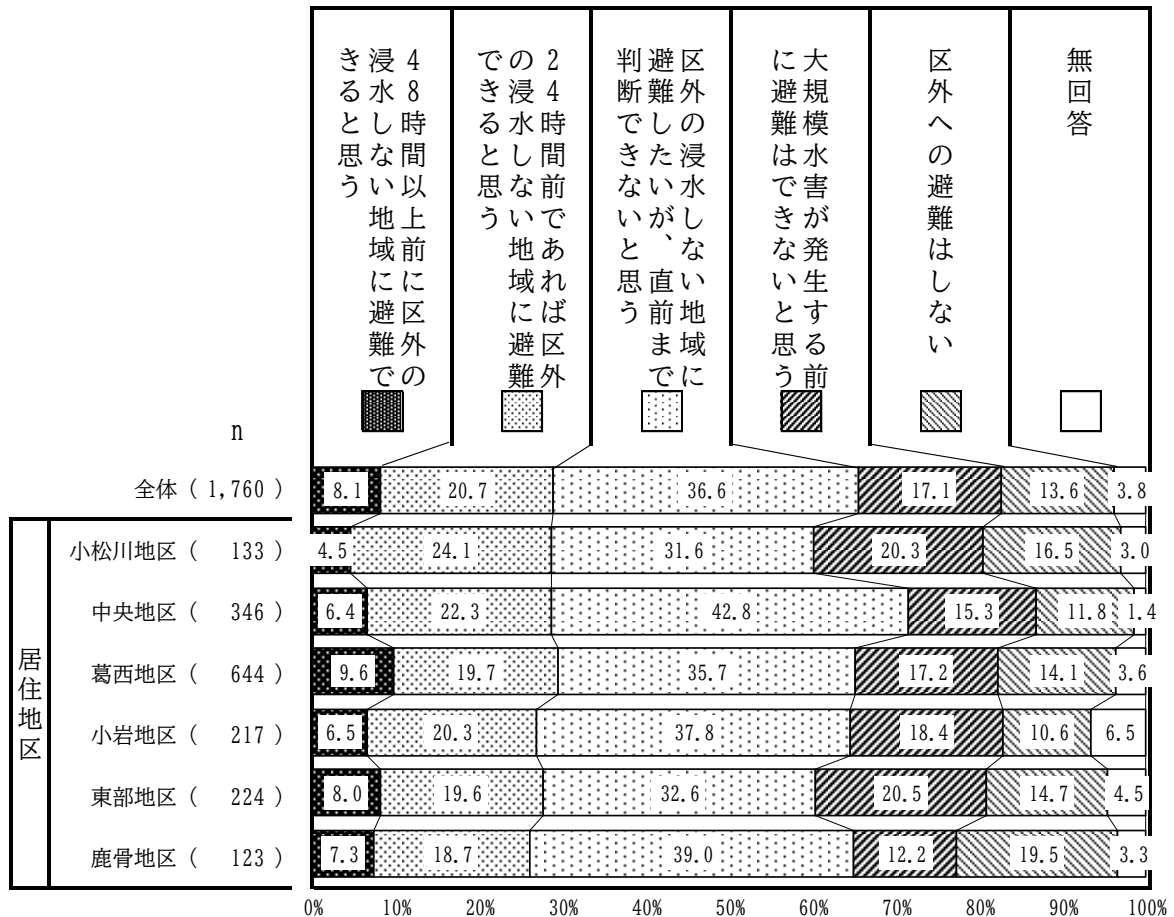
<図表 11-2>大規模水害時の避難するタイミング／性・年齢別



【居住地区別】

「区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う」は中央地区（42.8%）が4割強と高くなっている。「24時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う」は小松川地区（24.1%）が2割台半ばと最も高くなっている。（図表11-3）

＜図表11-3＞大規模水害時の避難するタイミング／居住地区別



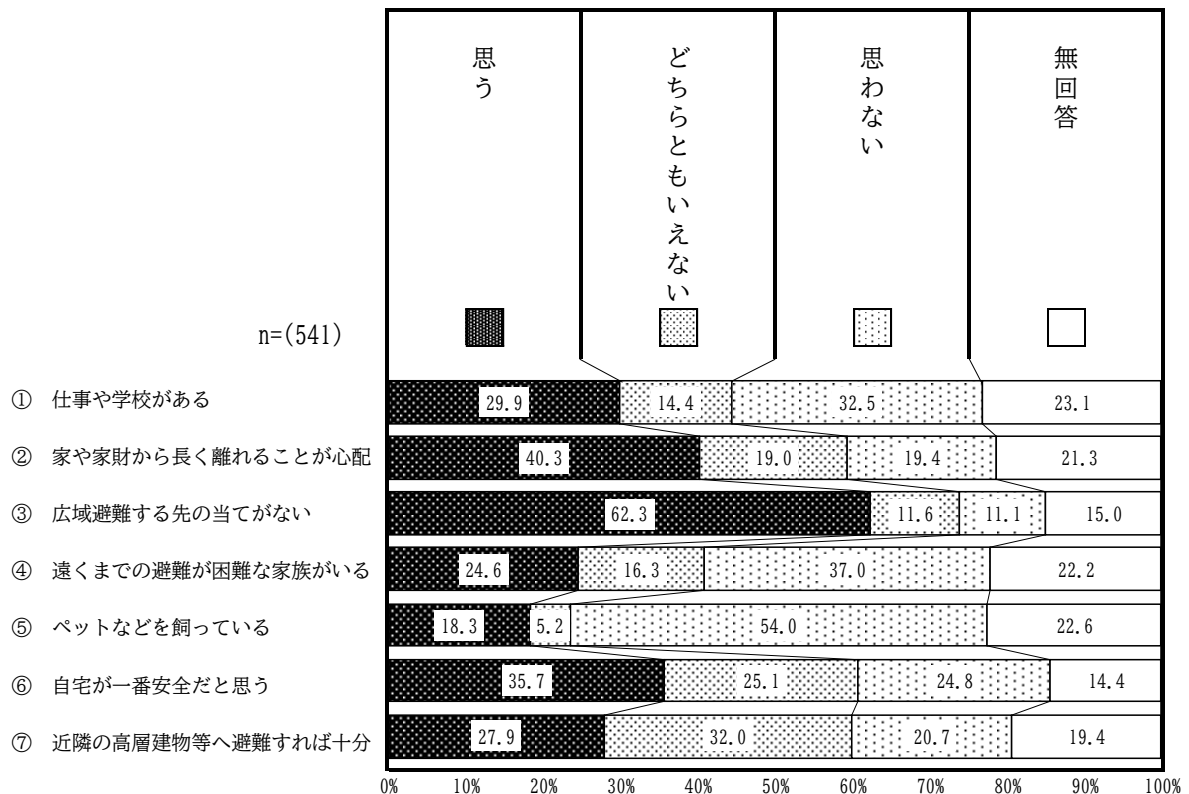
(2) 広域避難しない理由・各項目

◇「思う」は【③広域避難する先の当てがない】が6割強で最も高い。

問18 問17で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難しない（できない）理由について、あなたはどのようにお考えですか。理由ごとにお答えください。（それぞれ○は1つずつ）

<図表 11-4> 広域避難しない理由・各項目



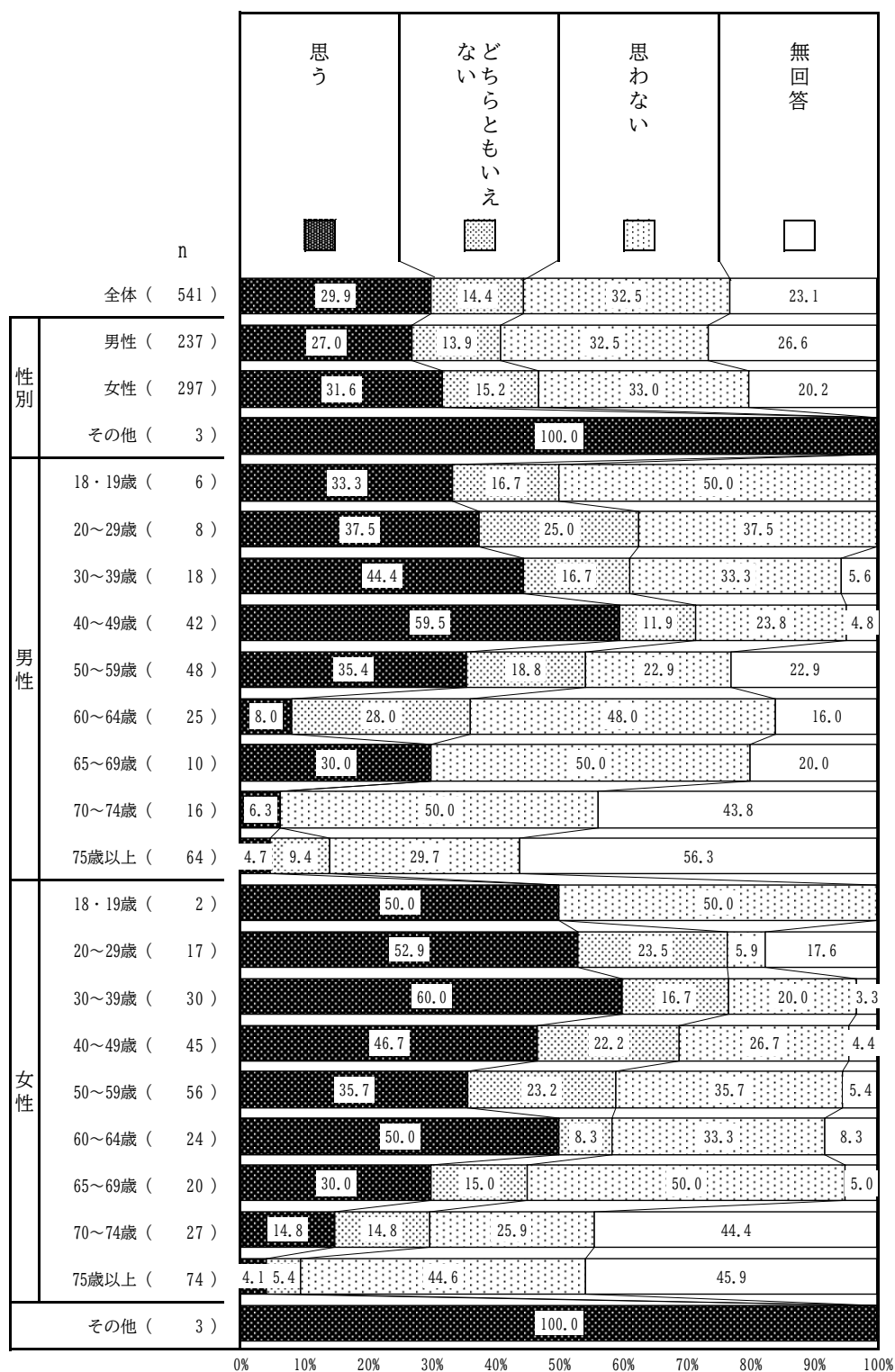
「思う」は【③広域避難する先の当てがない】（62.3%）が6割強と最も高く、次いで【②家や家財から長く離れることが心配】（40.3%）、【⑥自宅が一番安全だと思う】（35.7%）、【①仕事や学校がある】（29.9%）と続いている。一方、「思わない」は【⑤ペットなどを飼っている】（54.0%）が最も高くなっている。（図表 11-4）

【①仕事や学校がある／性・年齢別】

「思う」は女性（31.6％）が男性（27.0％）に比べて4.6ポイント高くなっている。

（図表 11－5）

<図表 11－5>①仕事や学校がある／性・年齢別

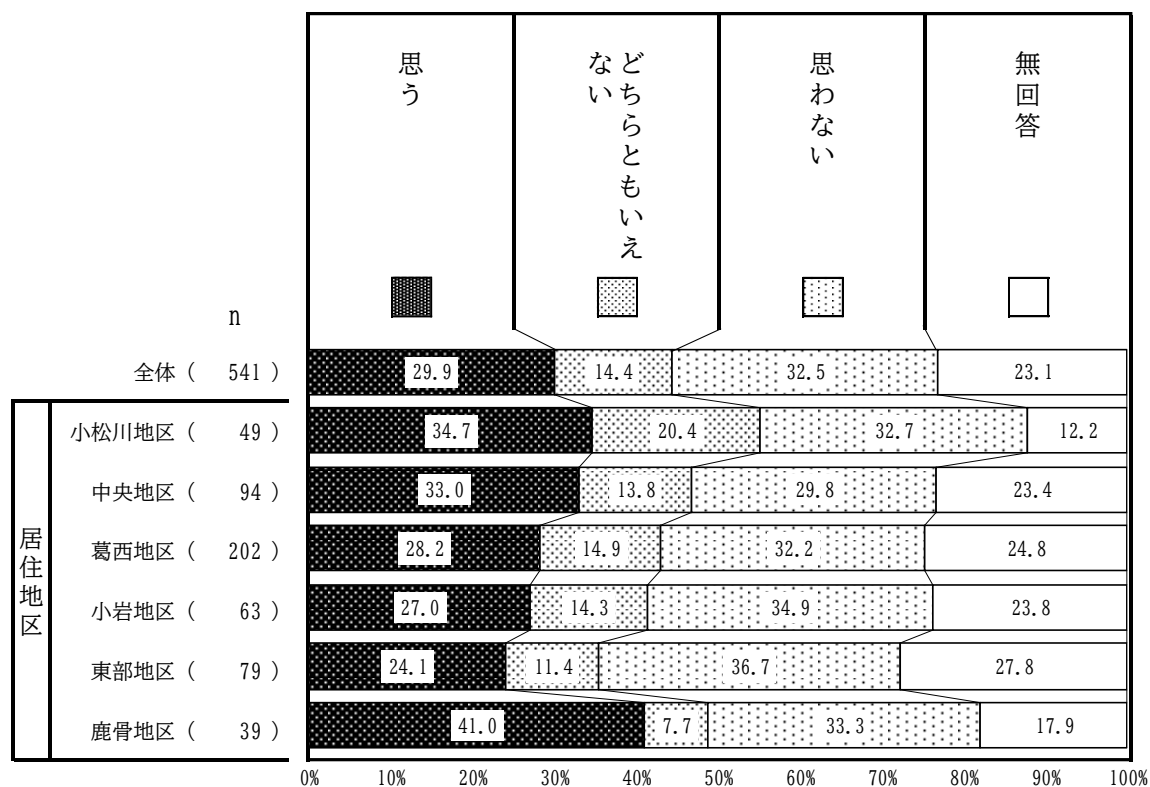


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【①仕事や学校がある／居住地区別】

「思う」は鹿骨地区（41.0%）が4割強と高くなっている。「思わない」は東部地区（36.7%）が4割近くと高くなっている。（図表 11－6）

<図表 11－6> ①仕事や学校がある／居住地区別

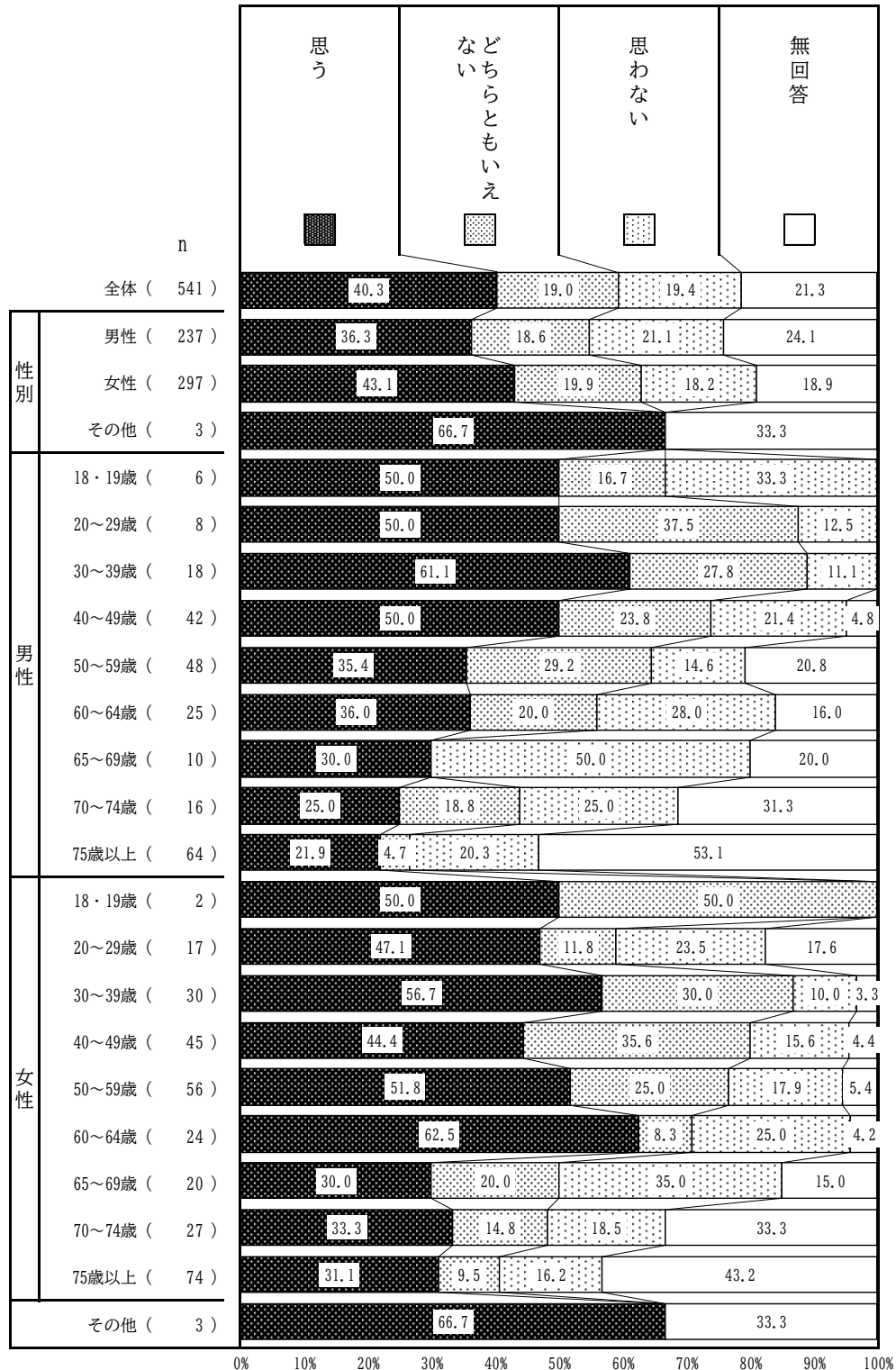


【②家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別】

「思う」は女性（43.1%）が男性（36.3%）に比べて 6.8 ポイント高くなっている。

（図表 11－7）

<図表 11－7>②家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別

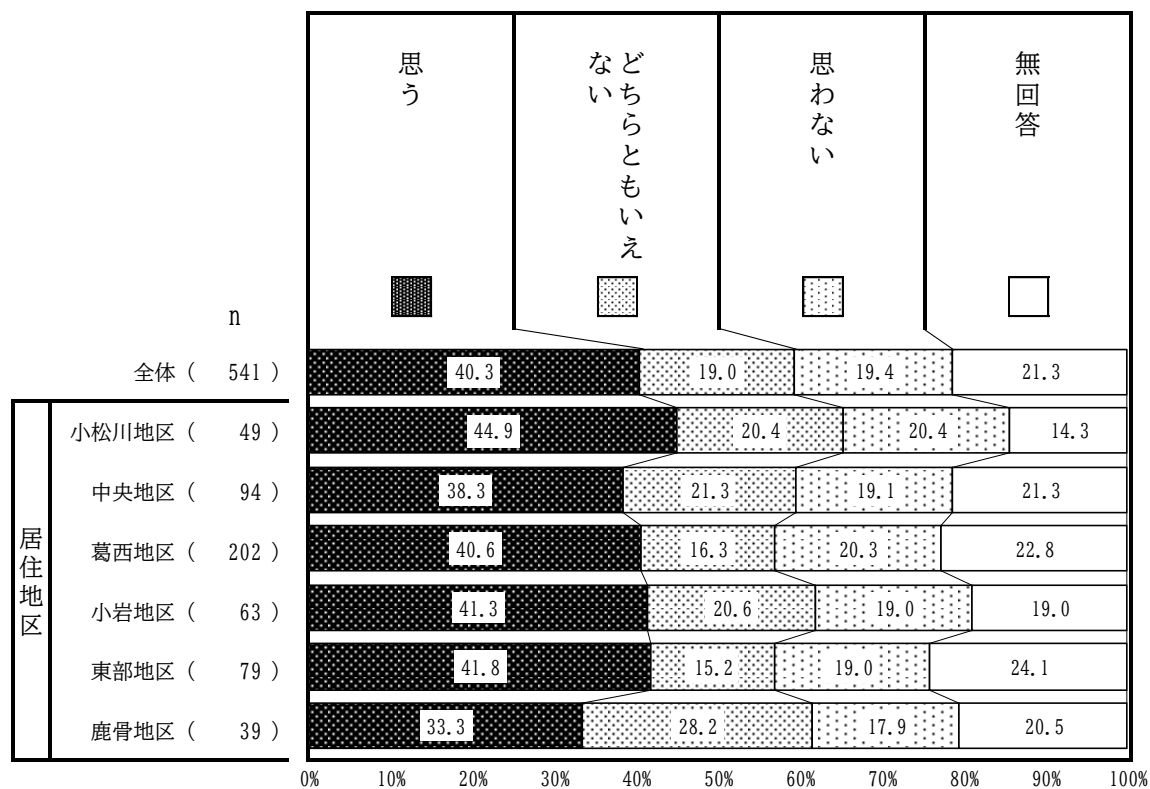


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【②家や家財から長く離れることが心配／居住地区別】

「思う」は小松川地区（44.9%）が4割台半ばと高くなっている。「思わない」は小松川地区（20.4%）、葛西地区（20.3%）が約2割となっている。（図表 11－8）

<図表 11－8> ②家や家財から長く離れることが心配／居住地区別

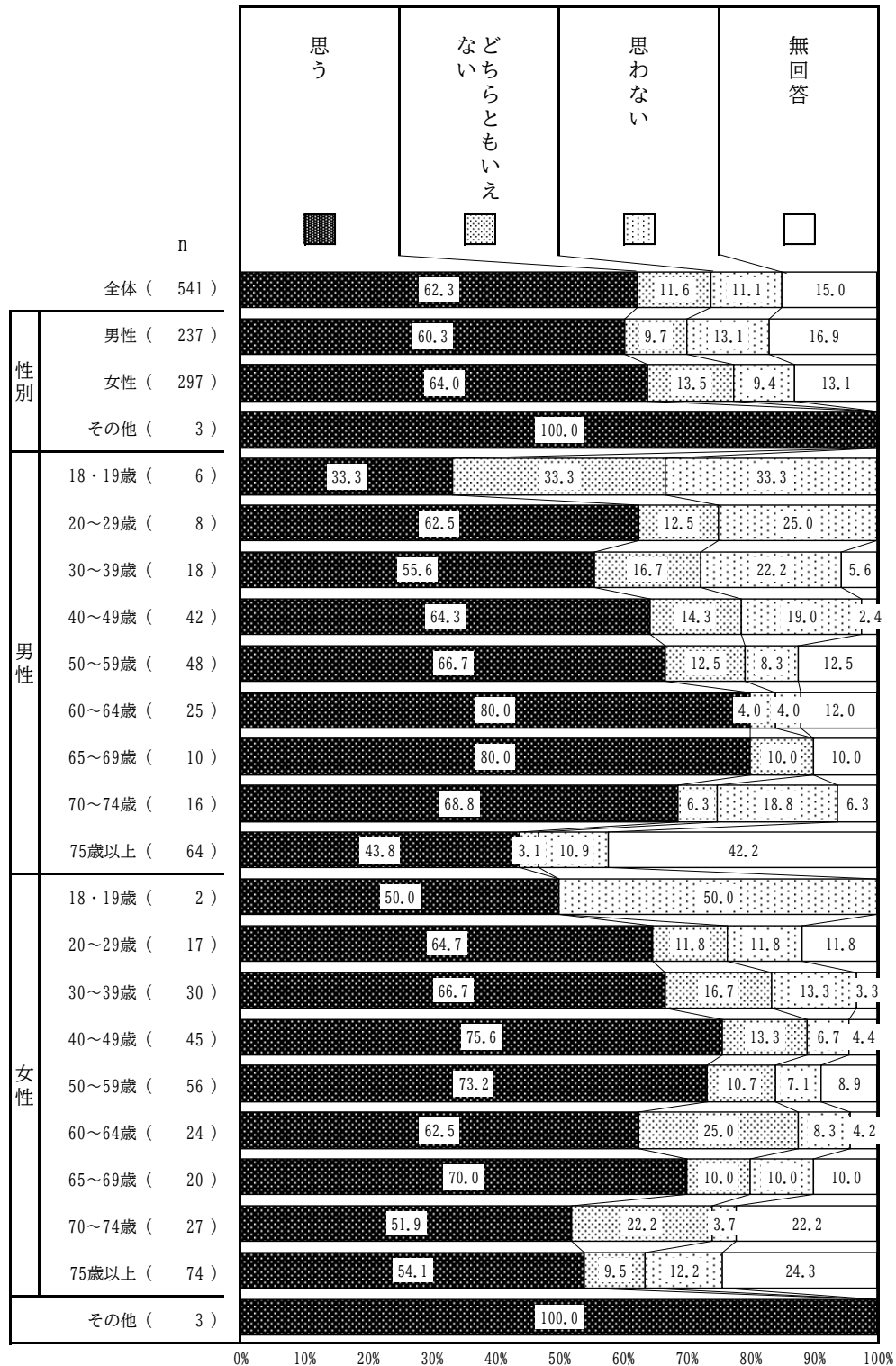


【③広域避難する先の当てがいない／性・年齢別】

「思う」は女性（64.0%）が男性（60.3%）に比べて 3.7 ポイント高くなっている。

（図表 11－9）

<図表 11－9>③広域避難する先の当てがいない／性・年齢別

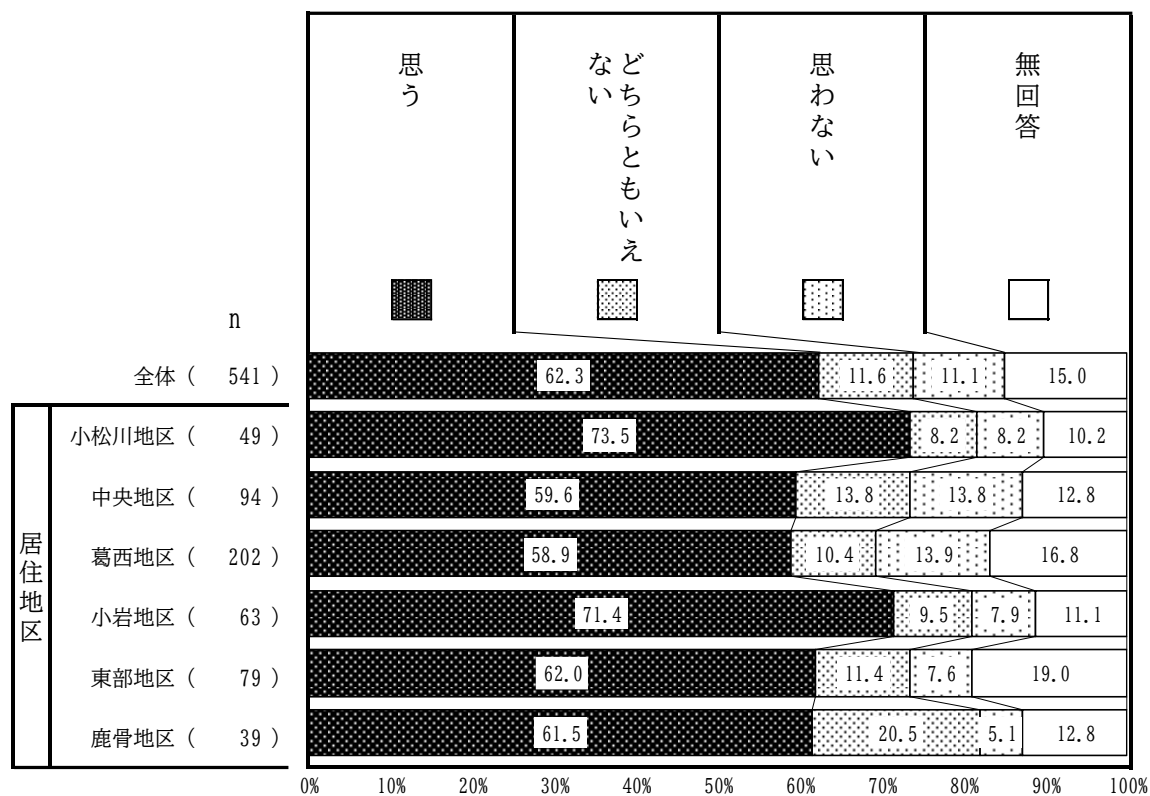


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【③広域避難する先の当てがない／居住地区別】

「思う」は小松川地区（73.5%）が7割強と高くなっている。（図表 11－10）

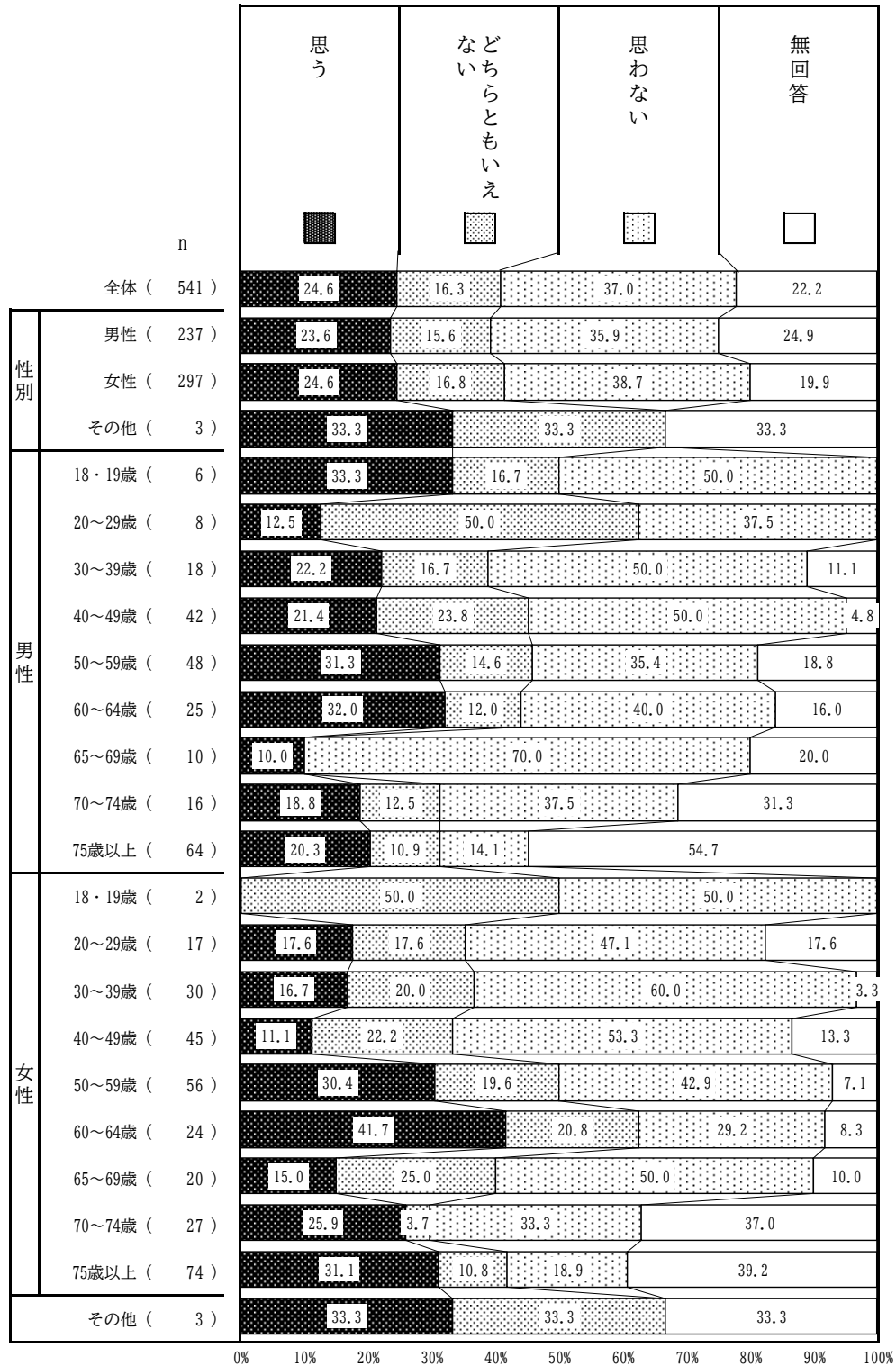
<図表 11－10>③広域避難する先の当てがない／居住地区別



【④遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別】

男女で回答に差はみられなかった。（図表 11-11）

<図表 11-11>④遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別

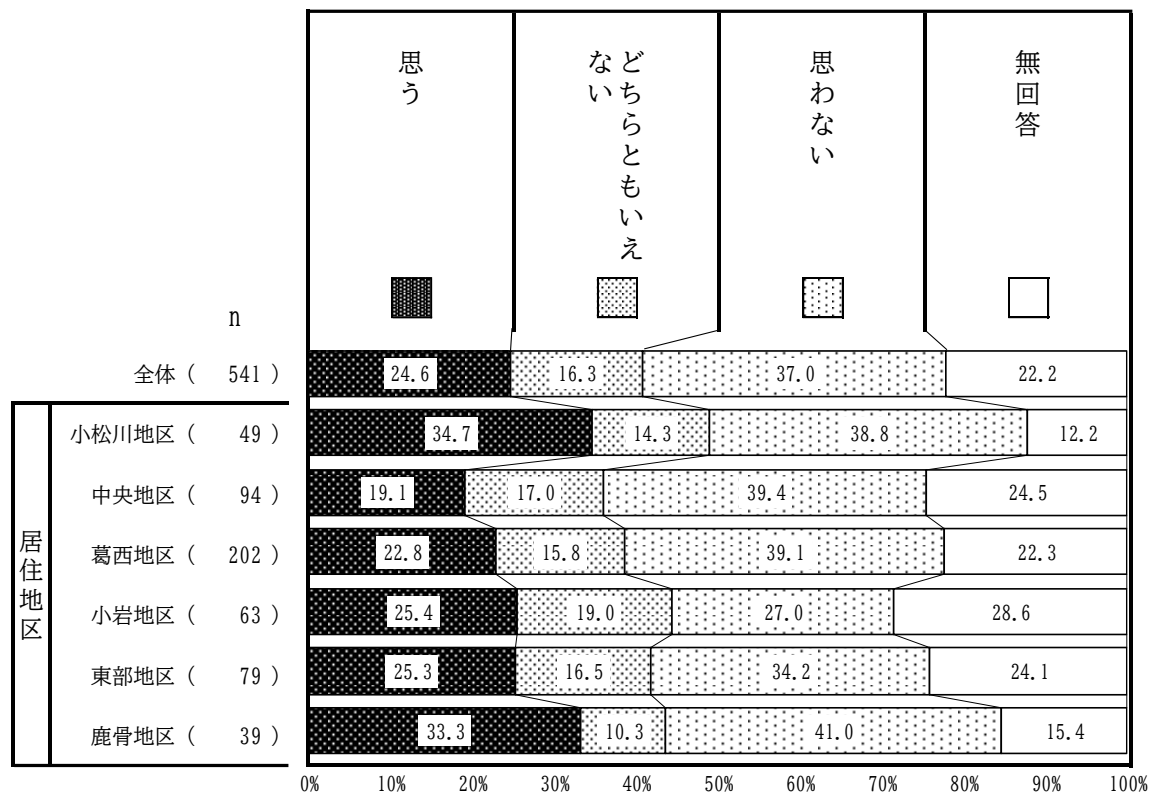


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【④遠くまでの避難が困難な家族がいる／居住地区別】

「思う」は小松川地区（34.7%）が3割台半ばと高くなっている。（図表 11－12）

<図表 11－12> ④遠くまでの避難が困難な家族がいる／居住地区別

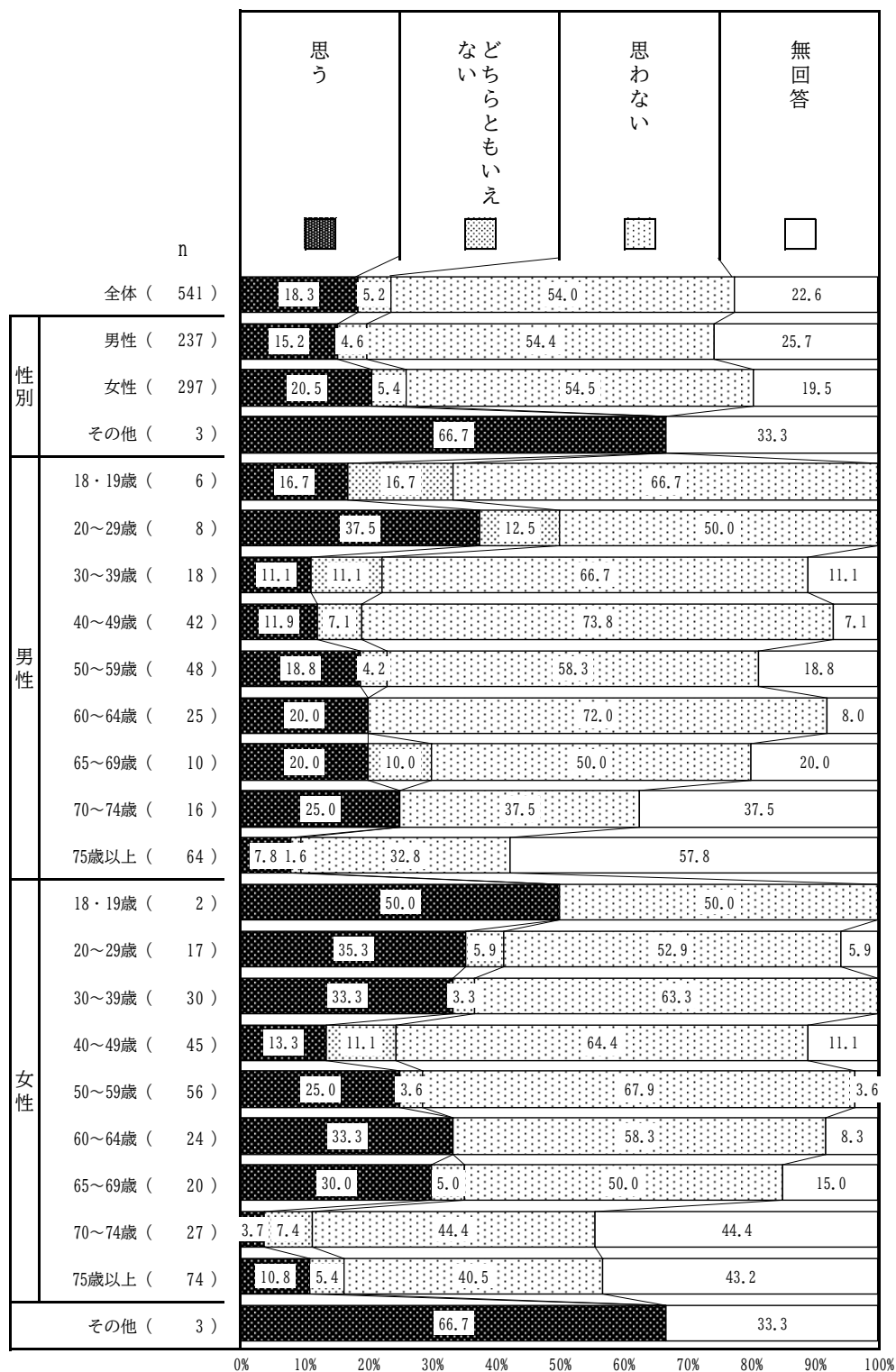


【⑤ペットなどを飼っている／性・年齢別】

「思う」は女性（20.5%）が男性（15.2%）に比べて 5.3 ポイント高くなっている。

（図表 11-13）

<図表 11-13> ⑤ペットなどを飼っている／性・年齢別

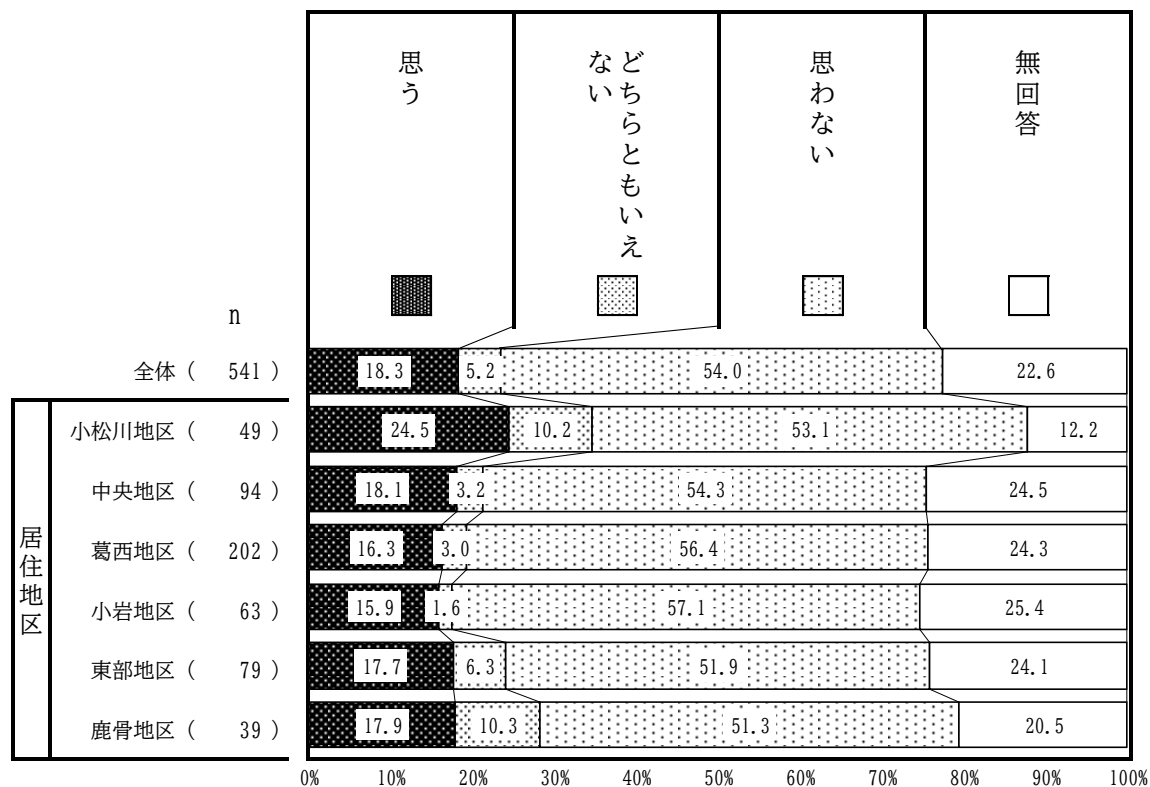


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【⑤ペットなどを飼っている／居住地区別】

「思う」は小松川地区（24.5%）が2割台半ばと高くなっている。（図表 11-14）

<図表 11-14> ⑤ペットなどを飼っている／居住地区別

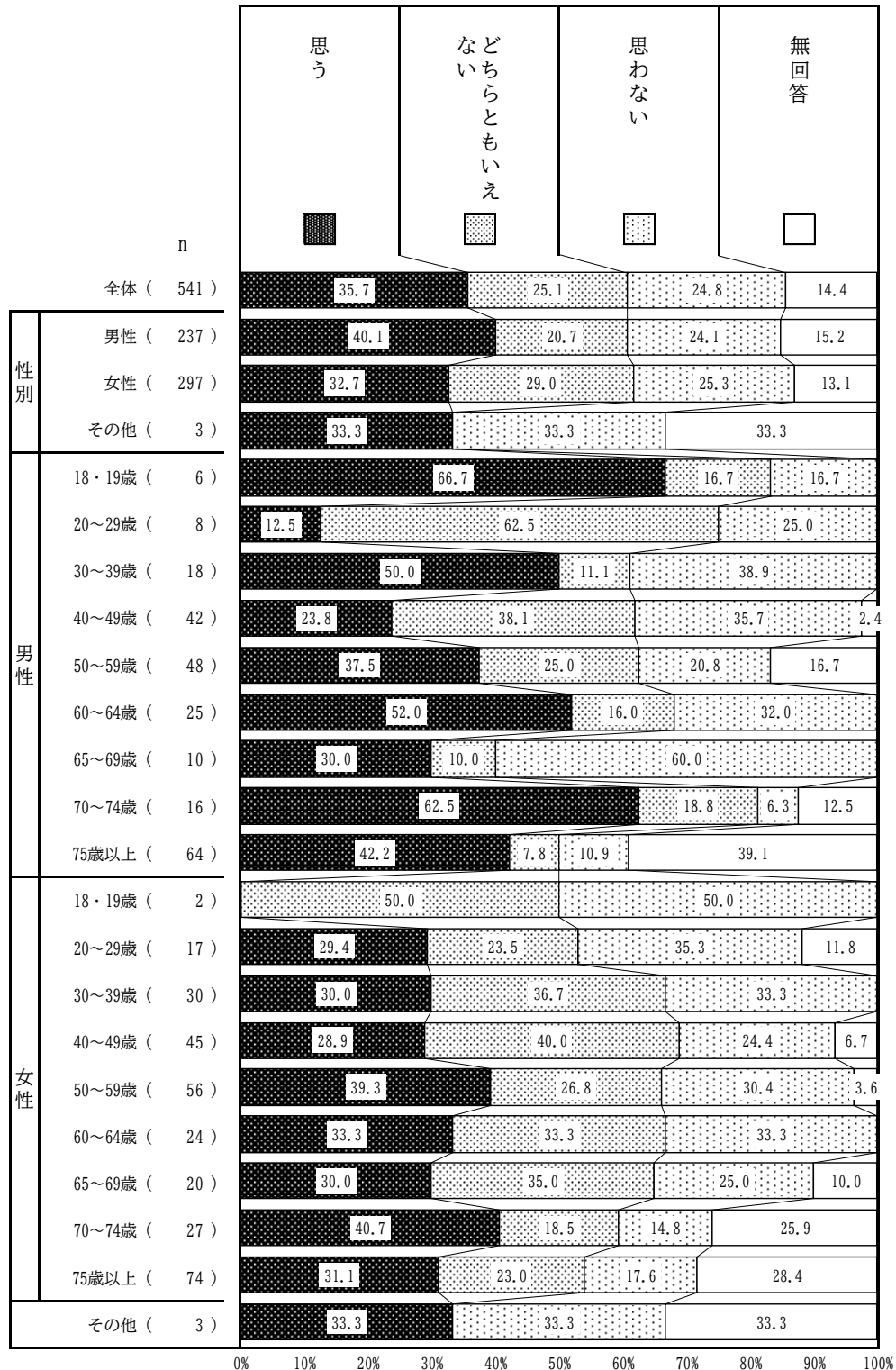


【⑥自宅が一番安全だと思う／性・年齢別】

「思う」は男性（40.1%）が女性（32.7%）に比べて7.4ポイント高くなっている。

（図表 17－15）

<図表 11－15> ⑥自宅が一番安全だと思う／性・年齢別

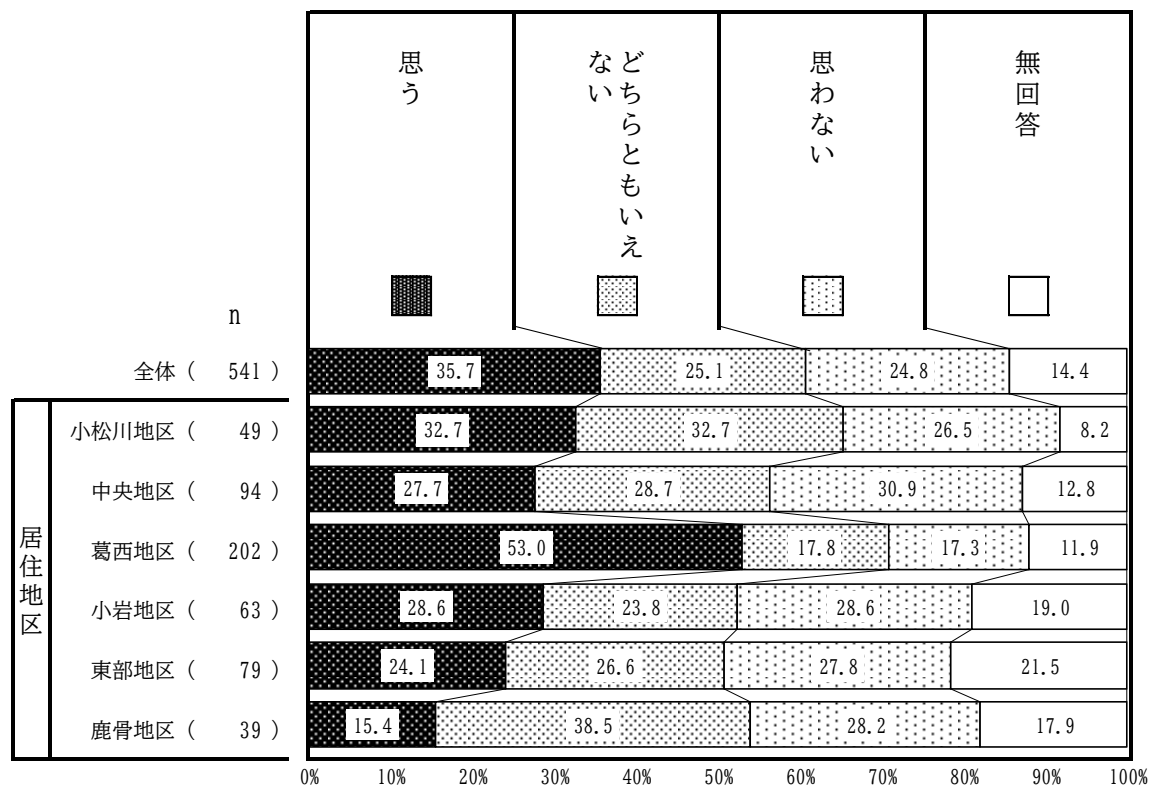


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【⑥自宅が一番安全だと思う／居住地区別】

「思う」は葛西地区（53.0%）が5割強と高くなっている。（図表11-16）

<図表 11-16> ⑥自宅が一番安全だと思う／居住地区別

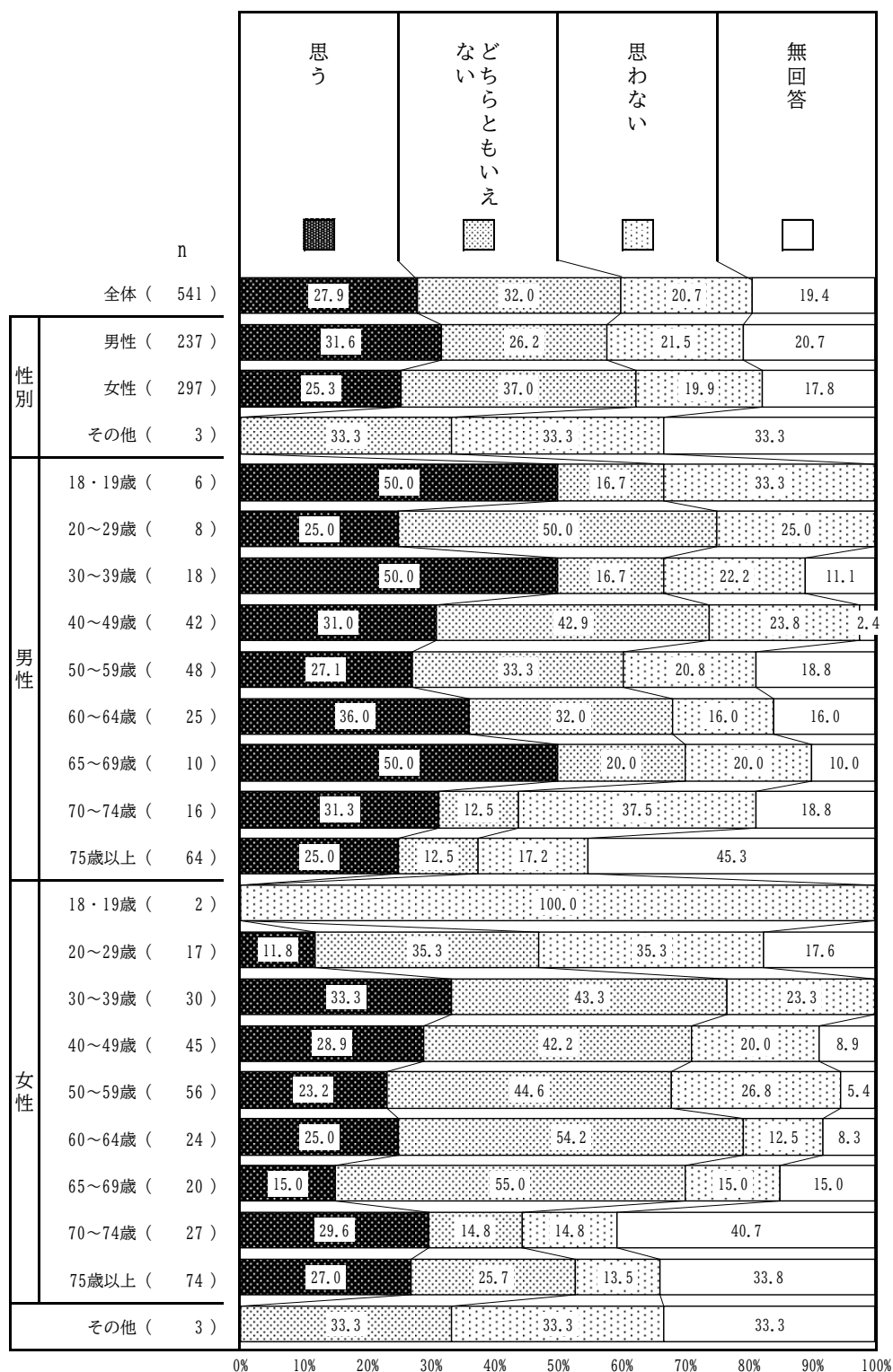


【⑦近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別】

「思う」は男性（31.6%）が女性（25.3%）に比べて 6.3 ポイント高くなっている。

（図表 11-17）

<図表 11-17> ⑦近隣の高層建物等へ避難すれば十分／性・年齢別

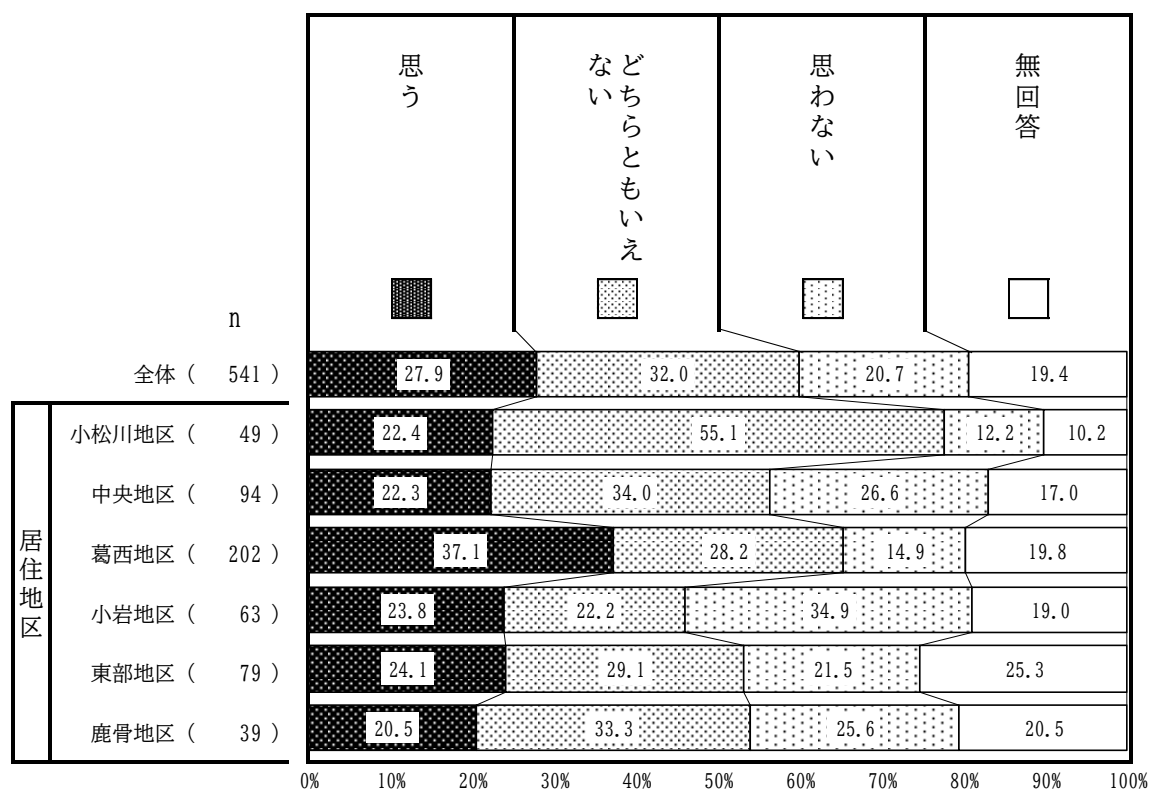


※性・年齢別は、「n」が少ないため、参考掲載に留める。

【⑦近隣の高層建物等へ避難すれば十分／居住地区別】

「思う」は葛西地区（37.1%）が4割近くと高くなっている。「思わない」は小岩地区（34.9%）が3割台半ばと高くなっている。（図表 11－18）

<図表 11－18> ⑦近隣の高層建物等へ避難すれば十分／居住地区別

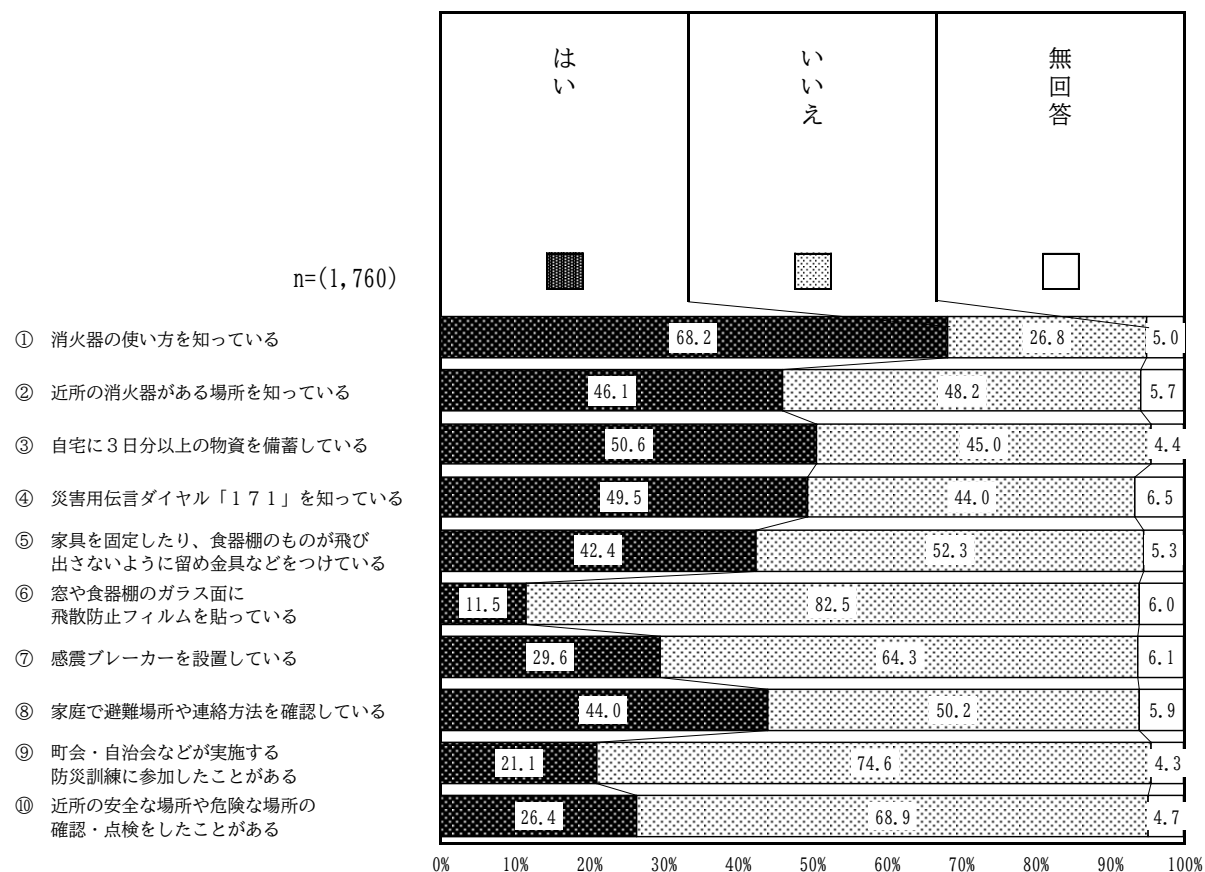


(3) 地震への備え・各項目

◇【①消火器の使い方を知っている】が7割近くで最も高い。

問 19 あなたは、地震が起こったときのために、日ごろから備えをしていますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ○は1つずつ)

<図表 11-19>地震への備え・各項目



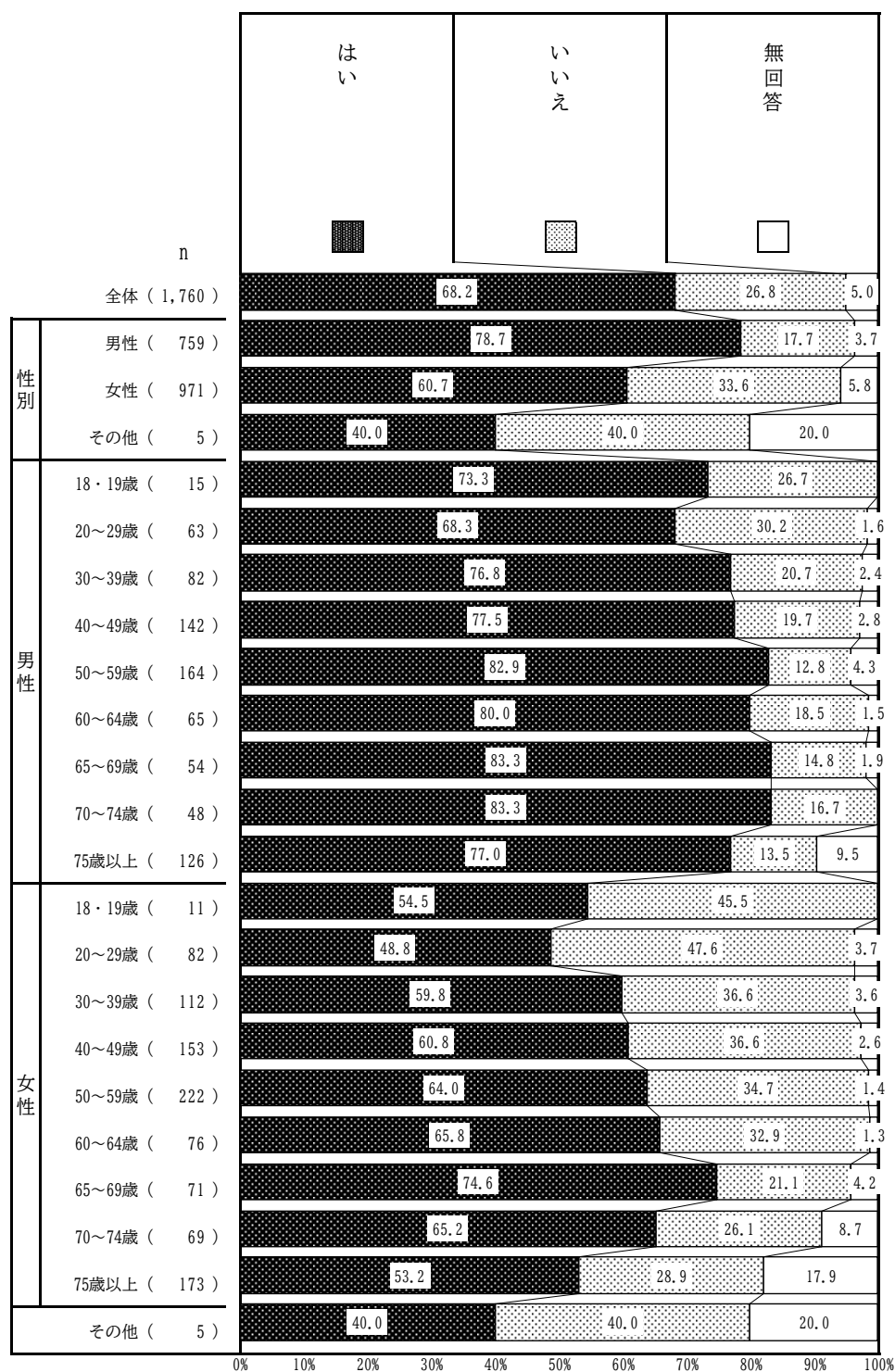
地震への備えについて、「はい」は【①消火器の使い方を知っている】(68.2%)が7割近くと最も高く、次いで【③自宅に3日以上以上の物資を備蓄している】(50.6%)、【④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている】(49.5%)、【②近所の消火器がある場所を知っている】(46.1%)となっている。(図表 11-19)

【①消火器の使い方を知っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は65～69歳（83.3%）、70～74歳（83.3%）が8割強と高くなっている。

女性において、「はい」は65～69歳（74.6%）が7割台半ばと高くなっている。（図表11-20）

<図表11-20>①消火器の使い方を知っている／性・年齢別

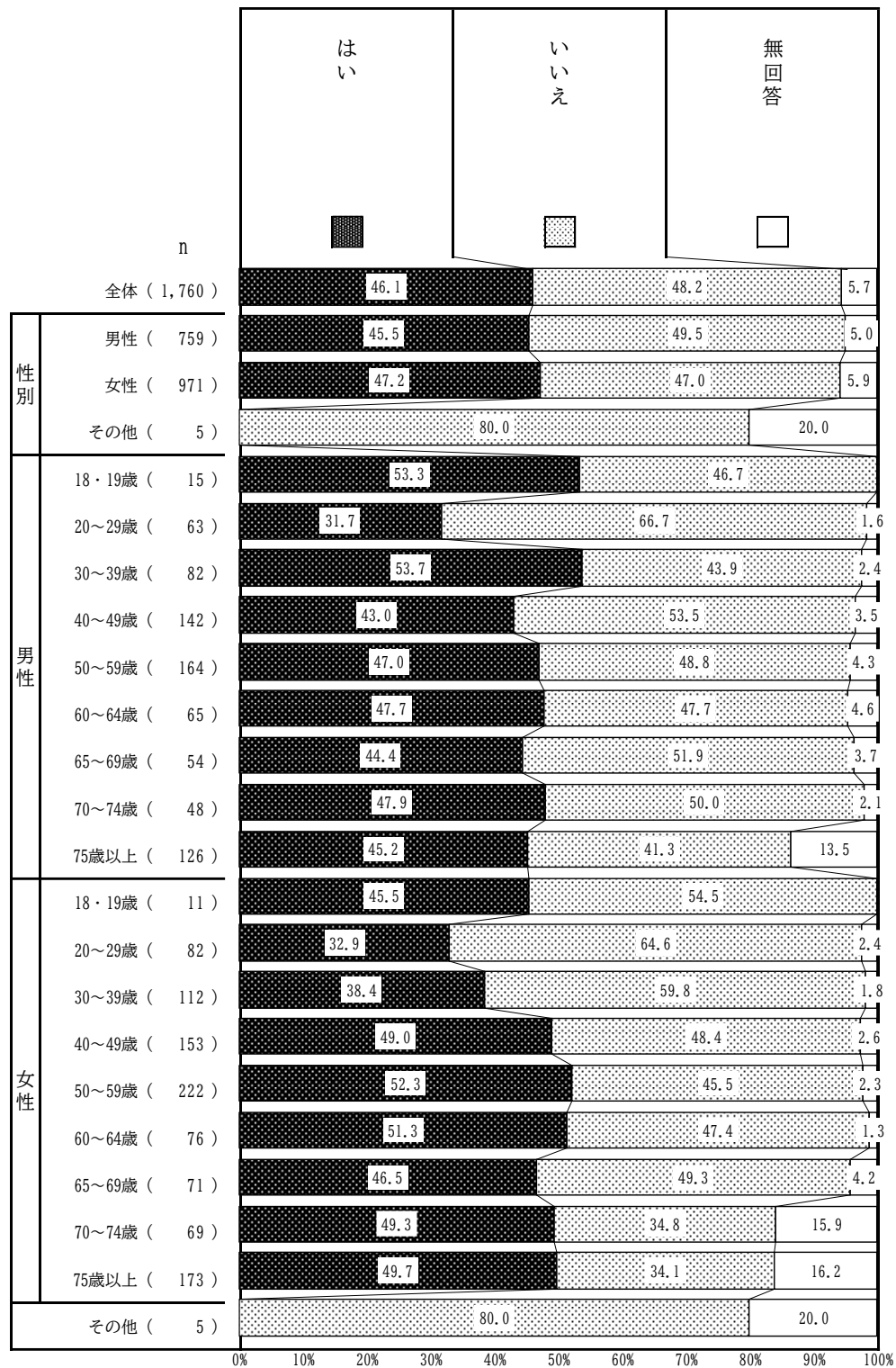


【②近所の消火器がある場所を知っている／性・年齢別】

男性において、「いいえ」は20～29歳（66.7%）が7割近くと高くなっている。

女性において、「いいえ」は20～29歳（64.6%）が6割台半ばと高くなっている。（図表 11-21）

<図表 11-21> ②近所の消火器がある場所を知っている／性・年齢別

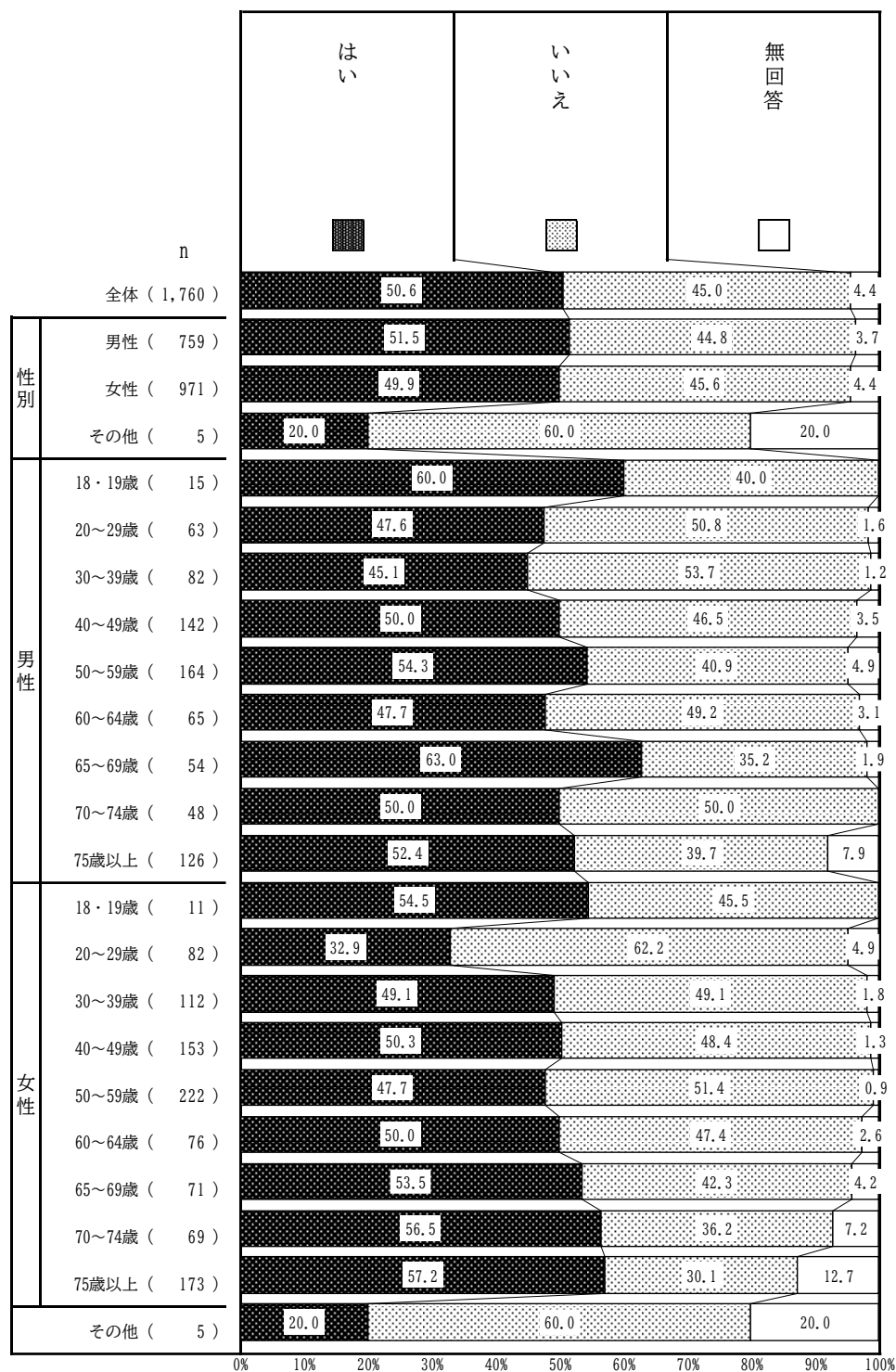


【③自宅に3日以上の物資を備蓄している／性・年齢別】

男性において、「はい」は65～69歳（63.0%）が6割強と高くなっている

女性において、「いいえ」は20～29歳（62.2%）が6割強と高くなっている。（図表11-22）

<図表11-22>③自宅に3日以上の物資を備蓄している／性・年齢別

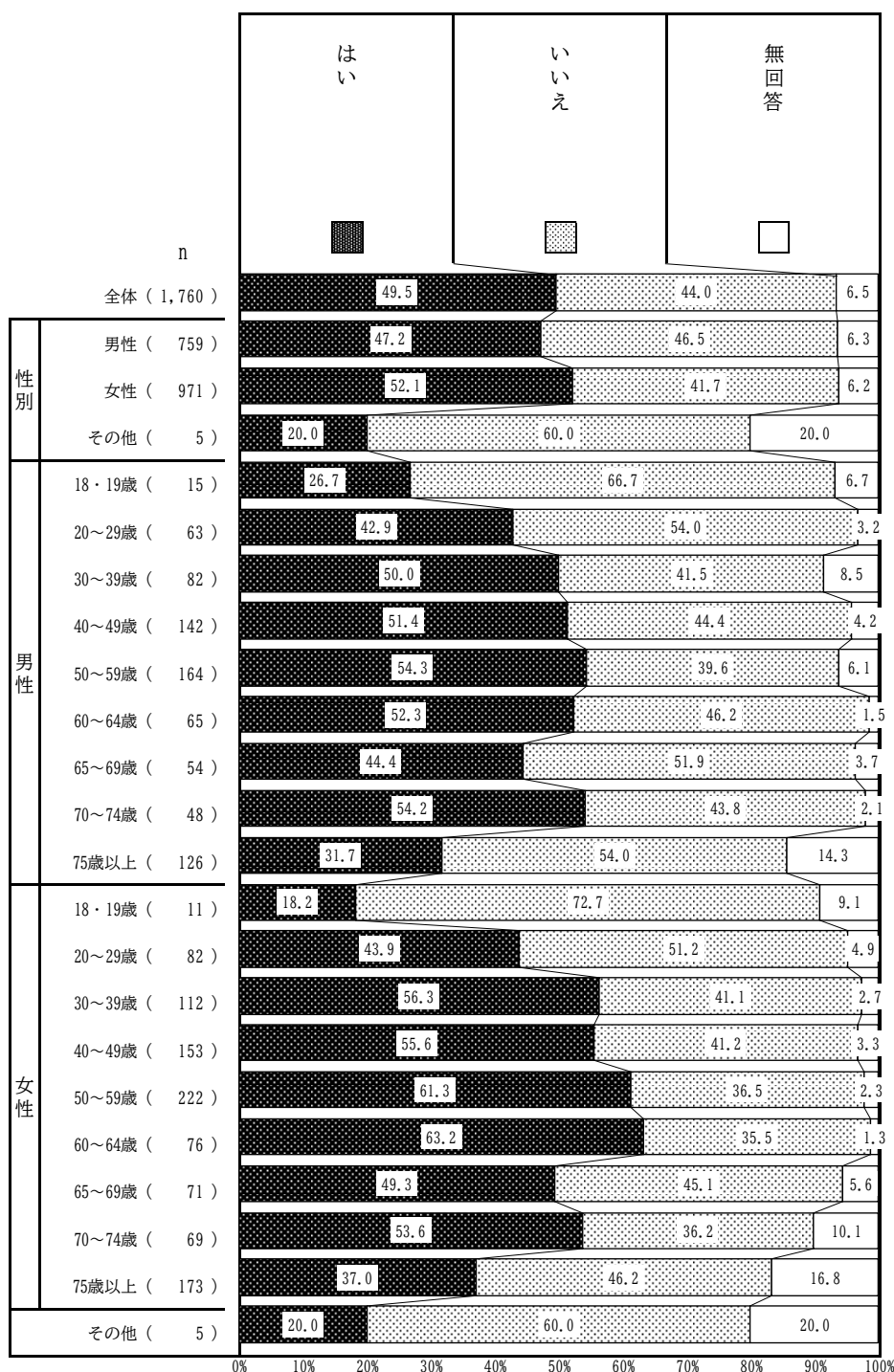


【④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は50～59歳（54.3%）、70～74歳（54.2%）が5割台半ばと高くなっている

女性において、「はい」は50～59歳（61.3%）、60～64歳（63.2%）が6割強と高くなっている。（図表11-23）

<図表11-23>④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別

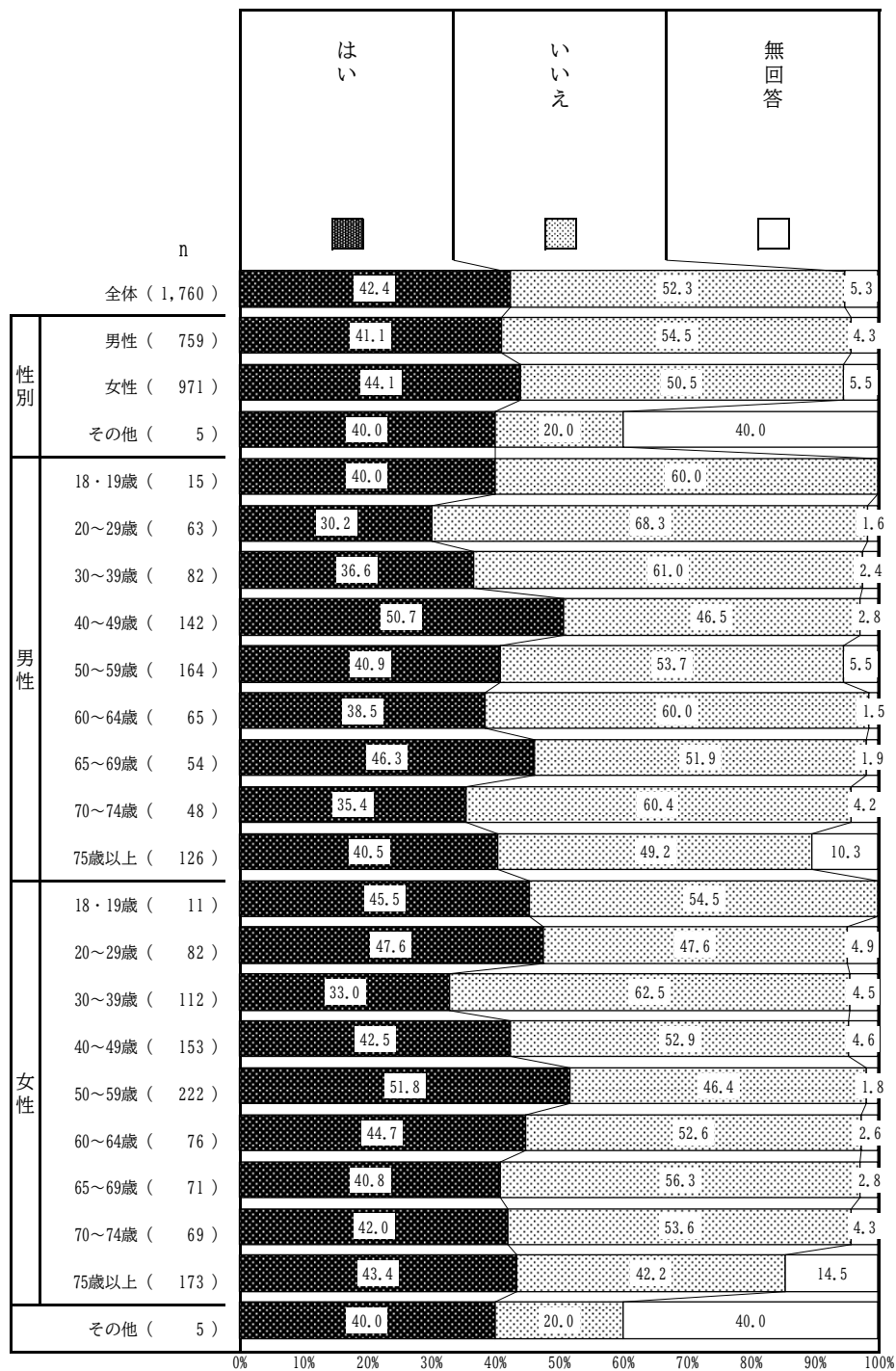


【⑤家具を固定したり、食器棚のものが飛び出さないように留め金具などを付けている／性・年齢別】

男性において、「いいえ」は20～29歳（68.3%）が7割近くと高くなっている

女性において、「いいえ」は30～39歳（62.5%）が6割強と高くなっている。（図表 11－24）

<図表 11－24> ⑤家具を固定したり、食器棚のものが飛び出さないように留め金具などを付けている／性・年齢別

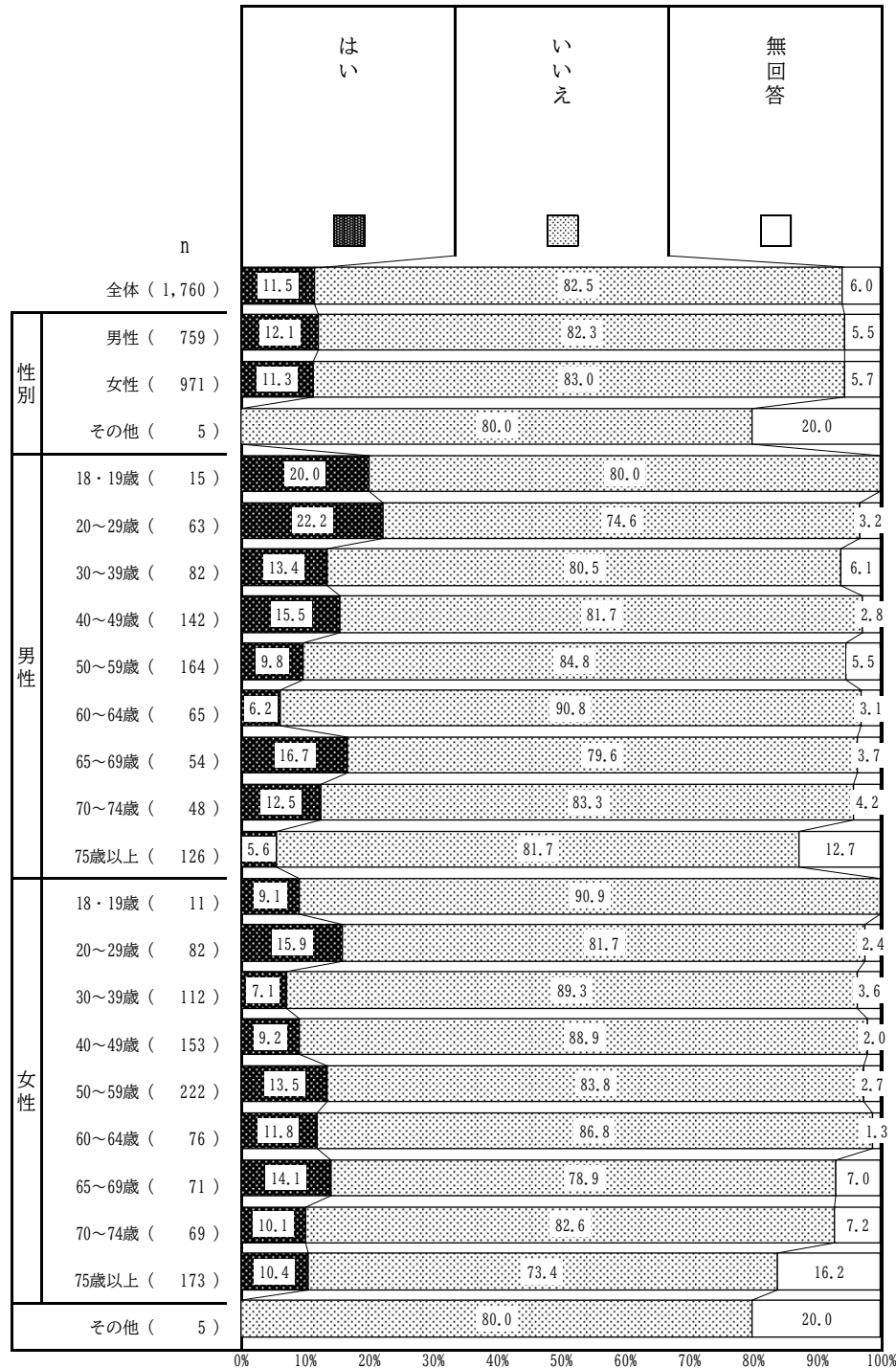


【⑥窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別】

男性において、「いいえ」は60～64歳（90.8%）が約9割と高くなっている

女性において、「いいえ」は30～39歳（89.3%）が9割弱と高くなっている。（図表 11－25）

<図表 11－25> ⑥窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別

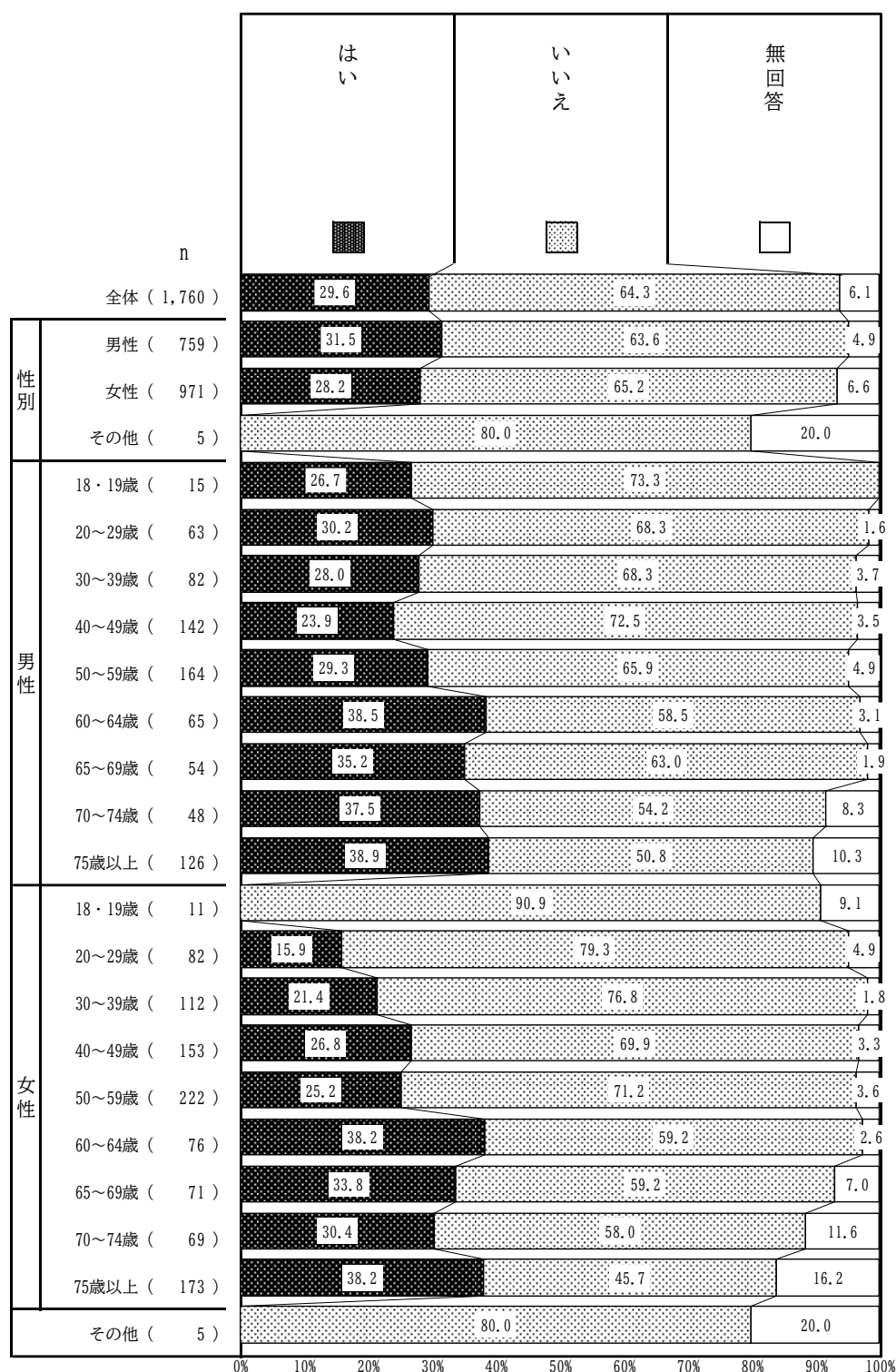


【⑦感震ブレーカーを設置している／性・年齢別】

男性において、「いいえ」は40～49歳（72.5%）が7割強と高くなっている

女性において、「いいえ」は20～29歳（79.3%）が8割弱と高くなっている。（図表11-26）

<図表11-26> ⑦感震ブレーカーを設置している／性・年齢別

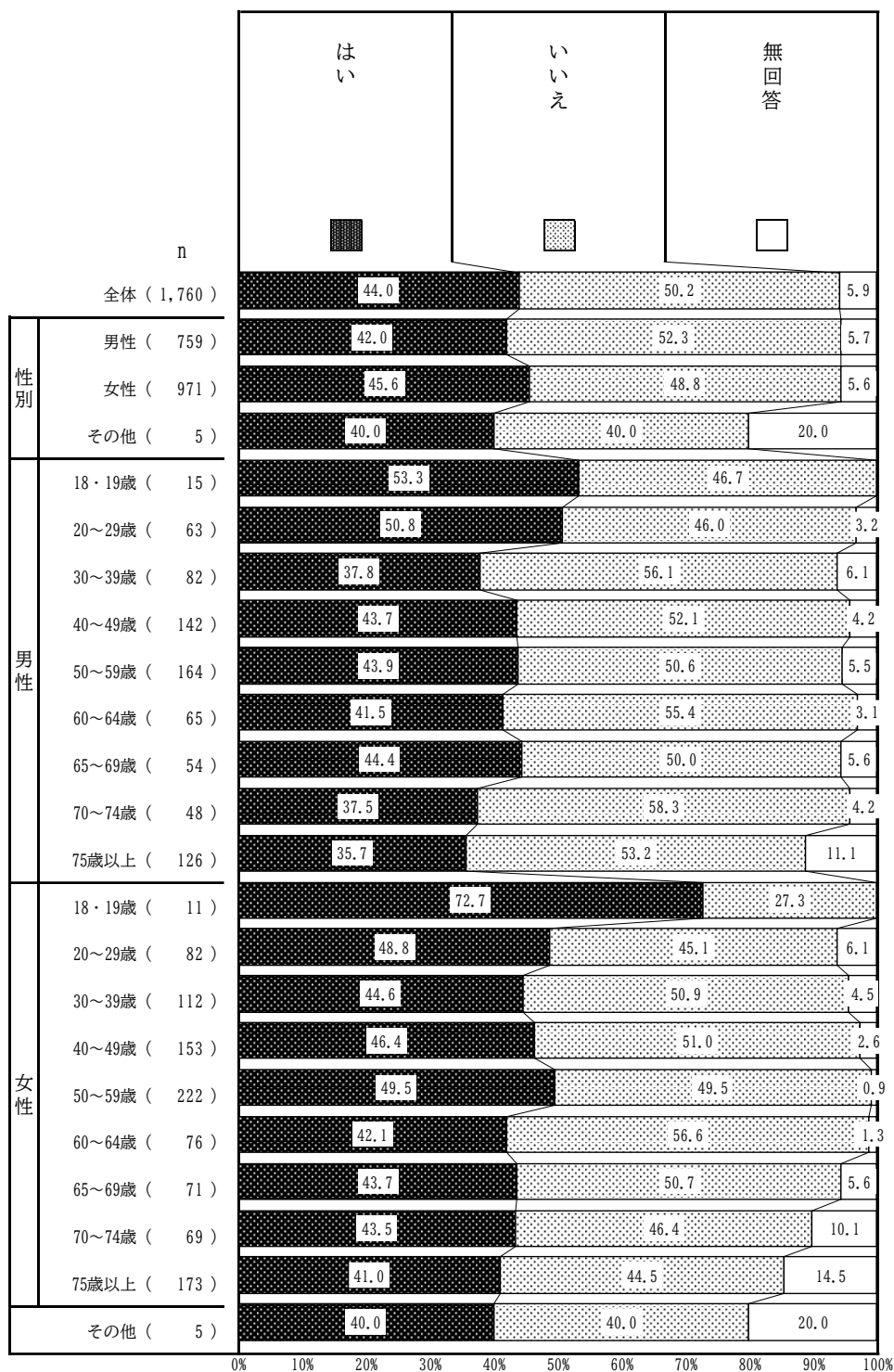


【⑧家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別】

男性において、「いいえ」は30～39歳（56.1%）、70～74歳（58.3%）が6割近くと高くなっている

女性において、「いいえ」は60～64歳（56.6%）が6割近くと高くなっている。（図表 11-27）

<図表 11-27> ⑧家庭で避難場所や連絡方法を確認している／性・年齢別

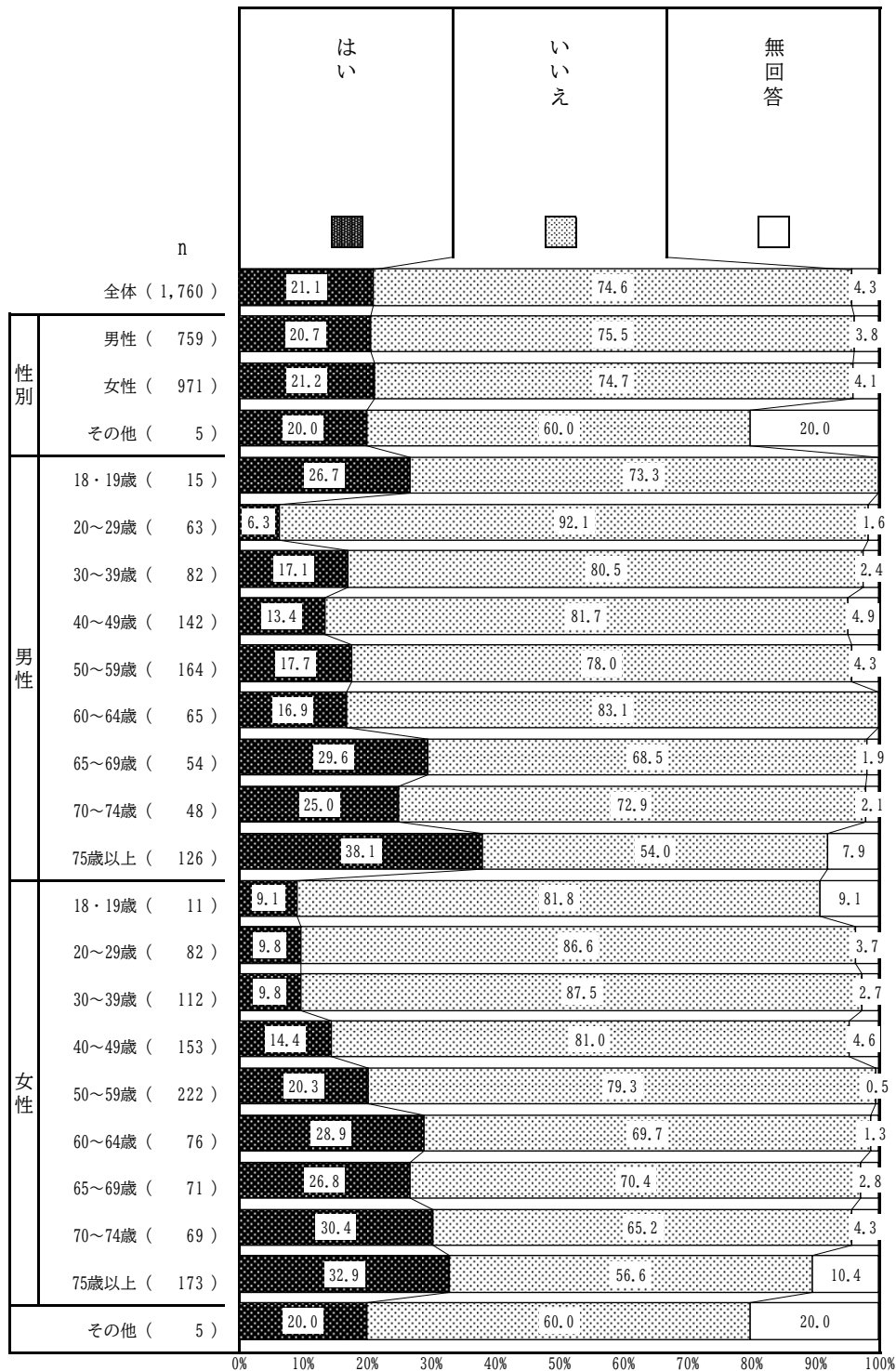


【⑨町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別】

男性において、「いいえ」は20～29歳（92.1%）が9割強と高くなっている

女性において、「いいえ」は20～29歳（86.6%）、30～39歳（87.5%）が9割近くと高くなっている。（図表 11-28）

<図表 11-28> ⑨町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別

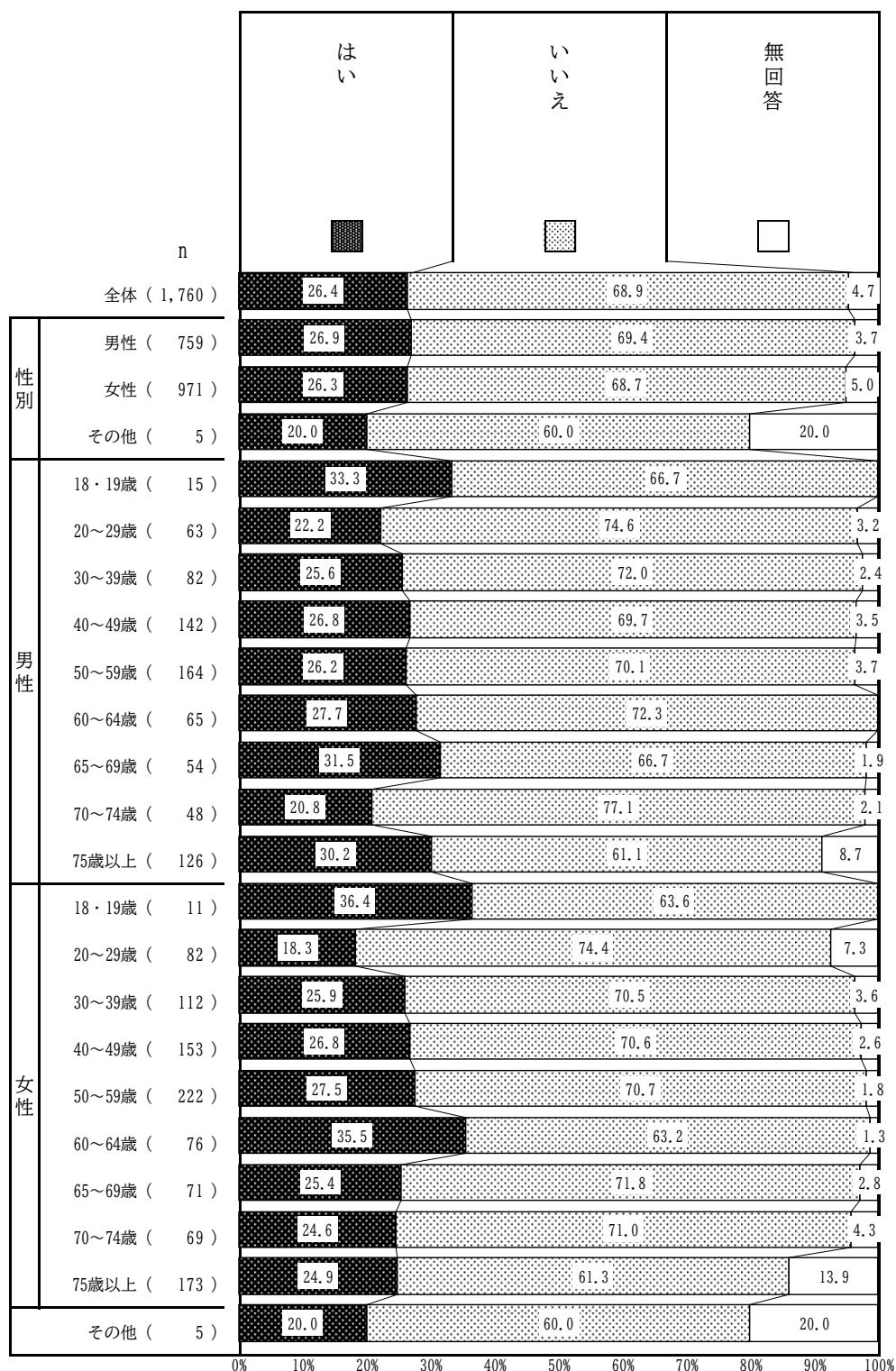


【⑩近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別】

男性において、「いいえ」は70～74歳（77.1%）が8割近くと高くなっている

女性において、「いいえ」は20～29歳（74.4%）が7割台半ばと高くなっている。（図表 11－29）

<図表 11－29> ⑩近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別



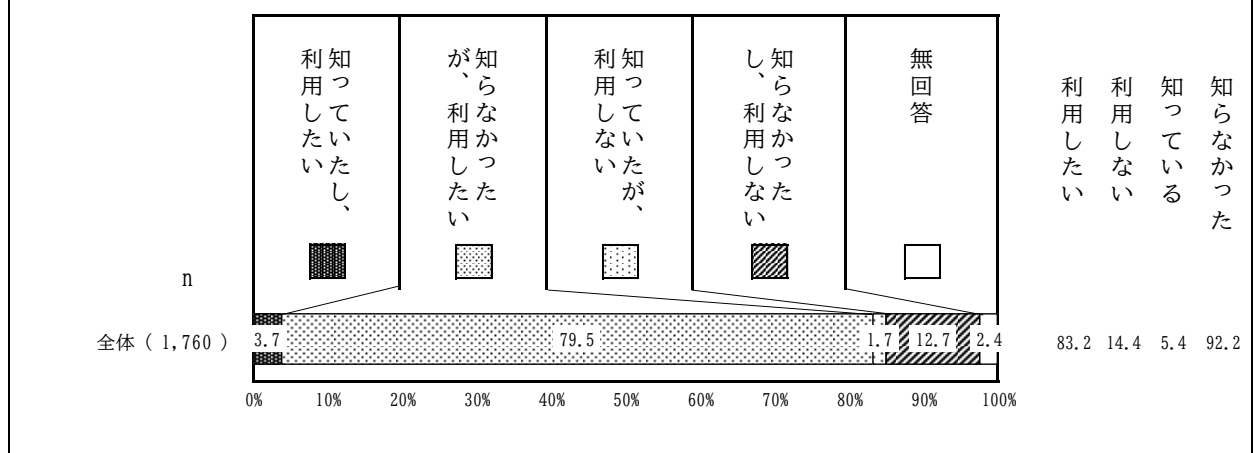
(4) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について

◇「知らなかったが、利用したい」が8割弱で最も高い。

問 20 江戸川区には「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度があります。この制度は、江東5区において広域避難情報を発令した際、避難場所として区外の旅館やホテルなどの宿泊施設を利用された方に、最大9,000円(1泊一律3,000円、3泊までを限度)を補助するものです。

「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度についてお答えください。(○は1つ)

<図表 11-30> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について



「知らなかったが、利用したい」(79.5%)が8割弱と最も高くなっている。次いで、「知らなかったし、利用しない」(12.7%)、「知っていたし、利用したい」(3.7%)、「知っていたが、利用しない」(1.7%)となっている。

『利用したい』合計は8割強と高くなっている一方、『知らなかった』合計は9割強と高く、認知度は低いことが読み取れる。(図表 11-30)

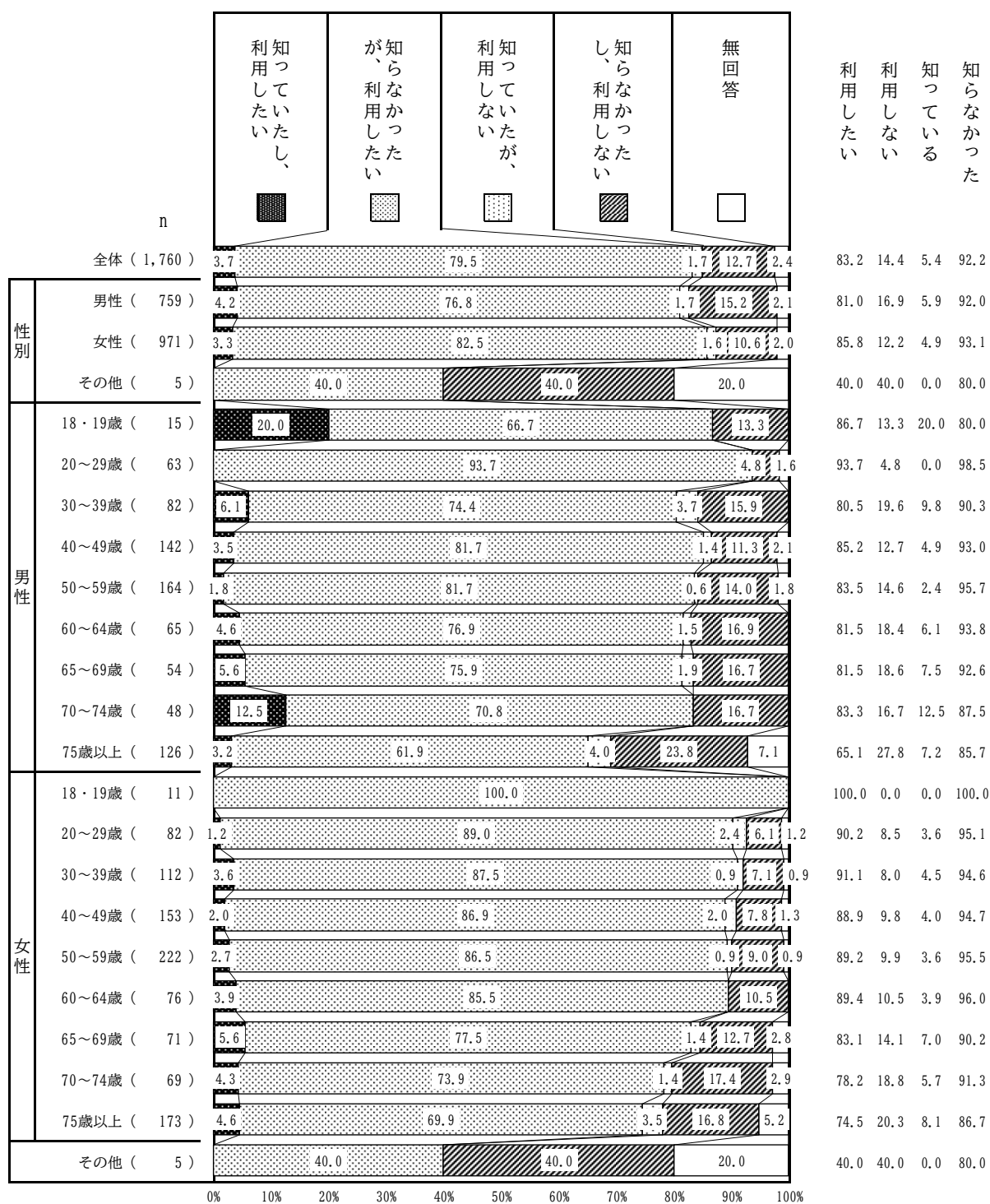
【性・年齢別】

「知らなかったが、利用したい」は女性(82.5%)が男性(76.8%)に比べて5.7ポイント高く、「知らなかったし、利用しない」は男性(15.2%)が女性(10.6%)に比べて4.6ポイント高くなっている。

男性において、「知らなかったし、利用しない」は75歳以上(23.8%)が2割強と高くなっている。

女性において、「知らなかったが、利用したい」は20～29歳(89.0%)が9割弱と最も高くなっている。(図表 11-31)

<図表 11-31> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について／性・年齢別



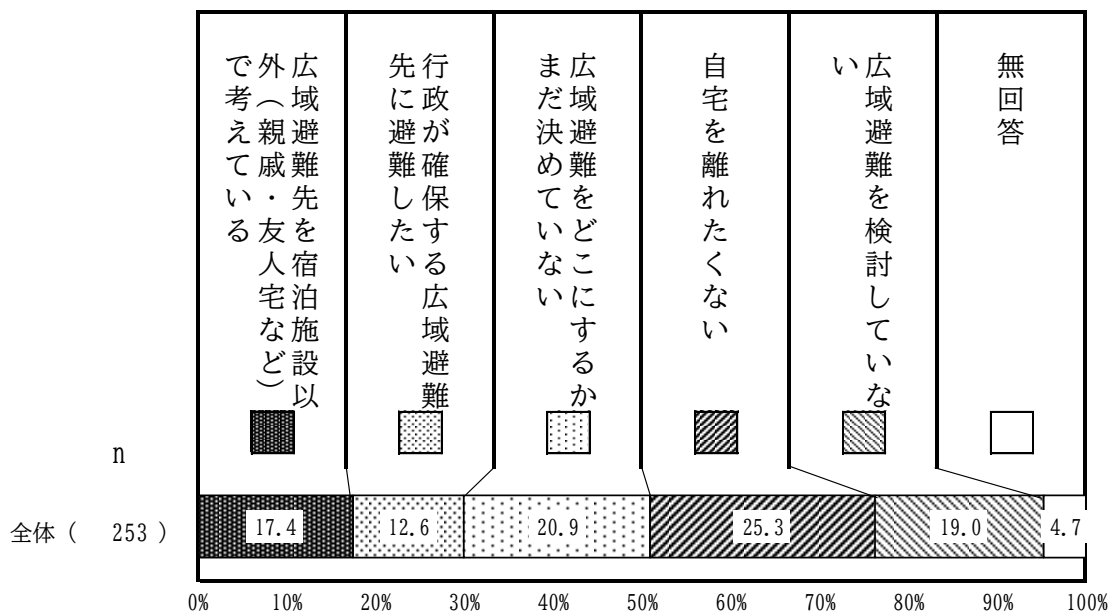
(5) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由

◇「自宅を離れたくない」が2割台半ばで最も高い。

問21 問20で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

上記制度を利用しない理由は何ですか。(○は1つ)

<図表 11-32> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由

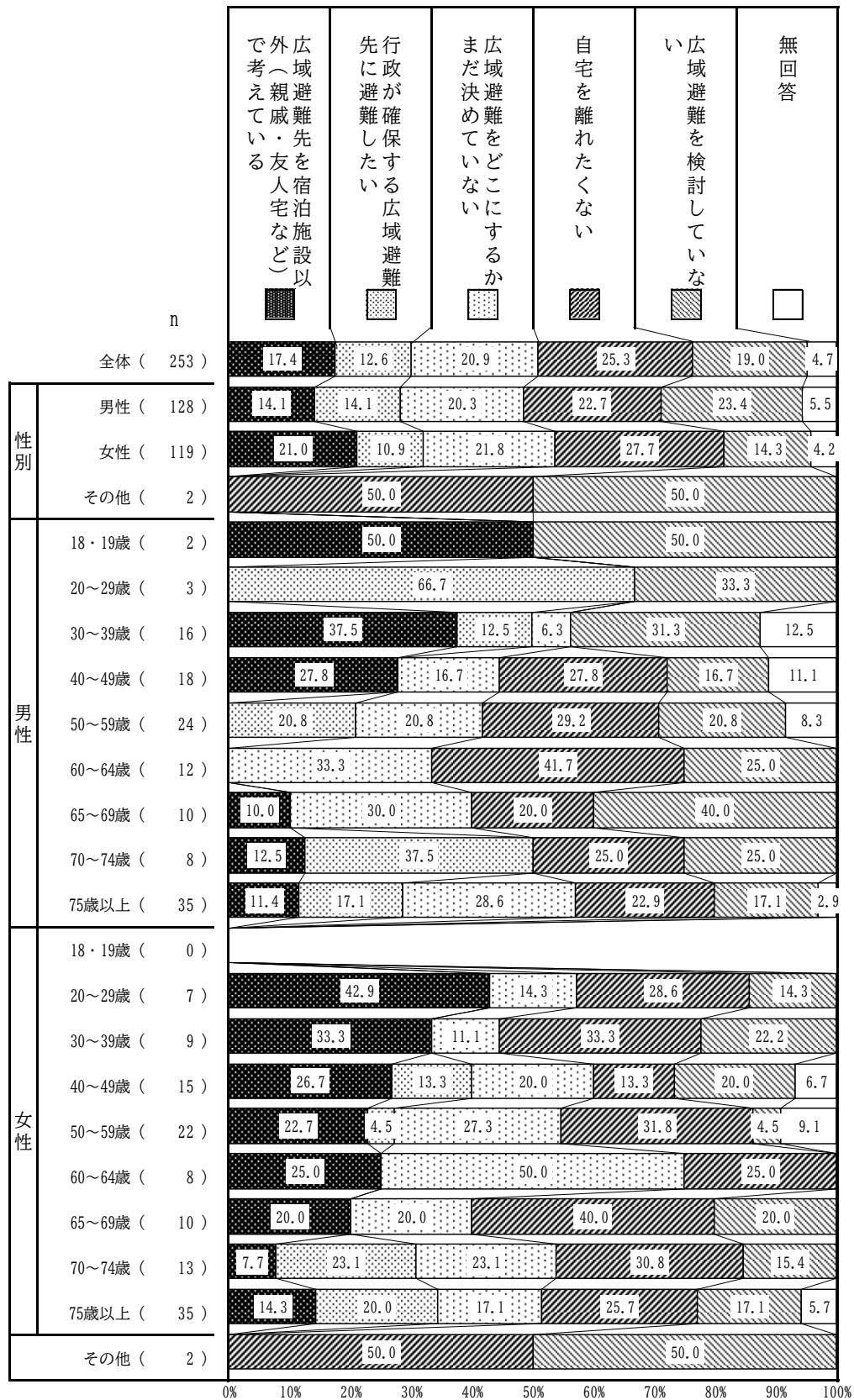


制度を利用しない理由を尋ねたところ、「自宅を離れたくない」(25.3%)が2割台半ばと最も高く、次いで「広域避難をどこにするかまだ決めていない」(20.9%)、「広域避難を検討していない」(19.0%)、「広域避難先を宿泊施設以外（親戚・友人宅など）で考えている」(17.4%)、「行政が確保する広域避難先に避難したい」(12.6%)となっている。(図表 11-32)

【性・年齢別】

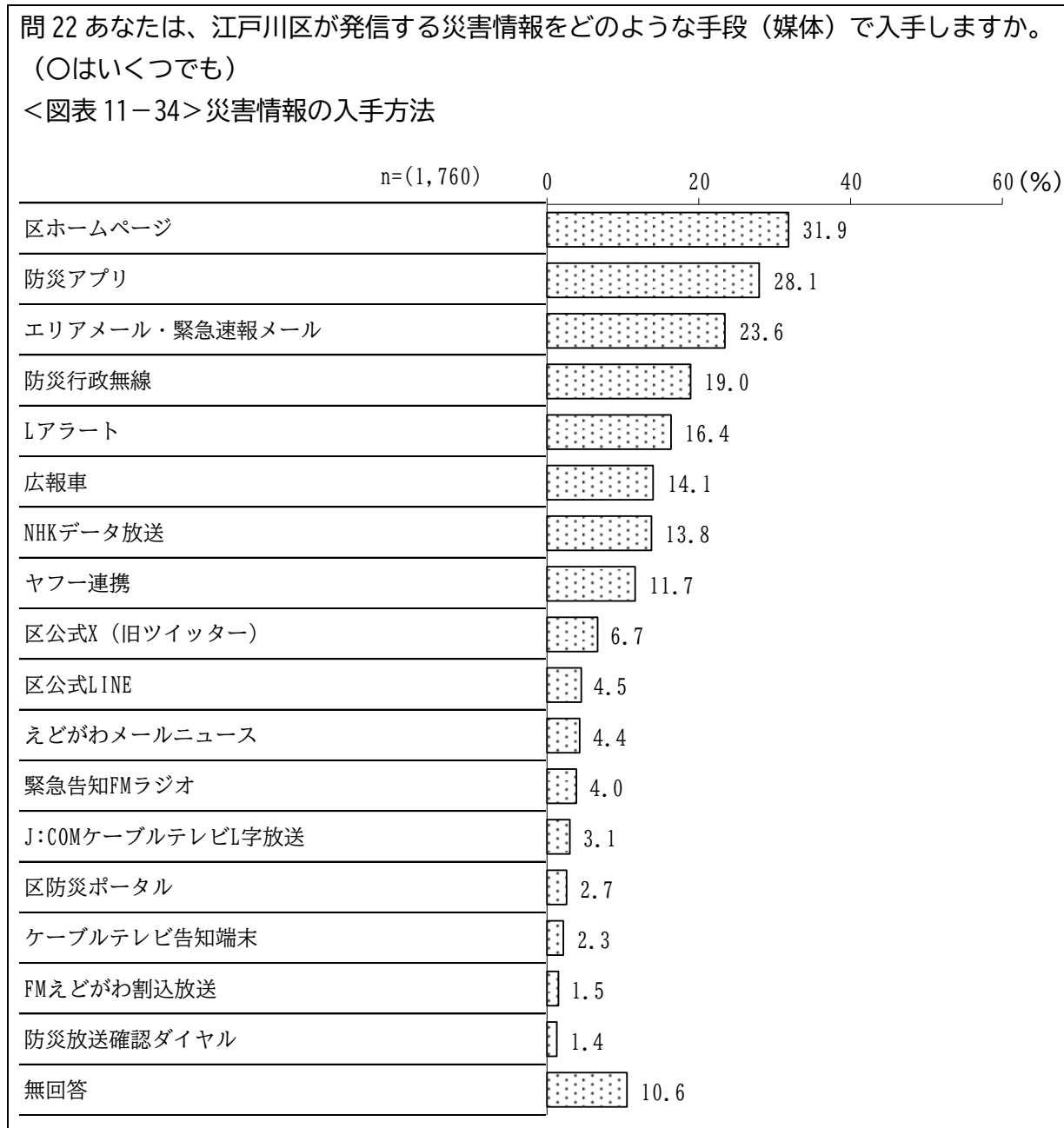
「広域避難先を宿泊施設以外（親戚・友人宅など）で考えている」は女性(21.0%)が男性(14.1%)に比べて6.9ポイント、「自宅を離れたくない」は女性(27.7%)が男性(22.7%)に比べて5.0ポイント高く、「広域避難を検討していない」は男性(23.4%)が女性(14.3%)に比べて9.1ポイント高くなっている。(図表 11-33)

<図表 11-33> 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由／性・年齢別



(6) 災害情報の入手方法

◇「区ホームページ」が3割強で最も高い。

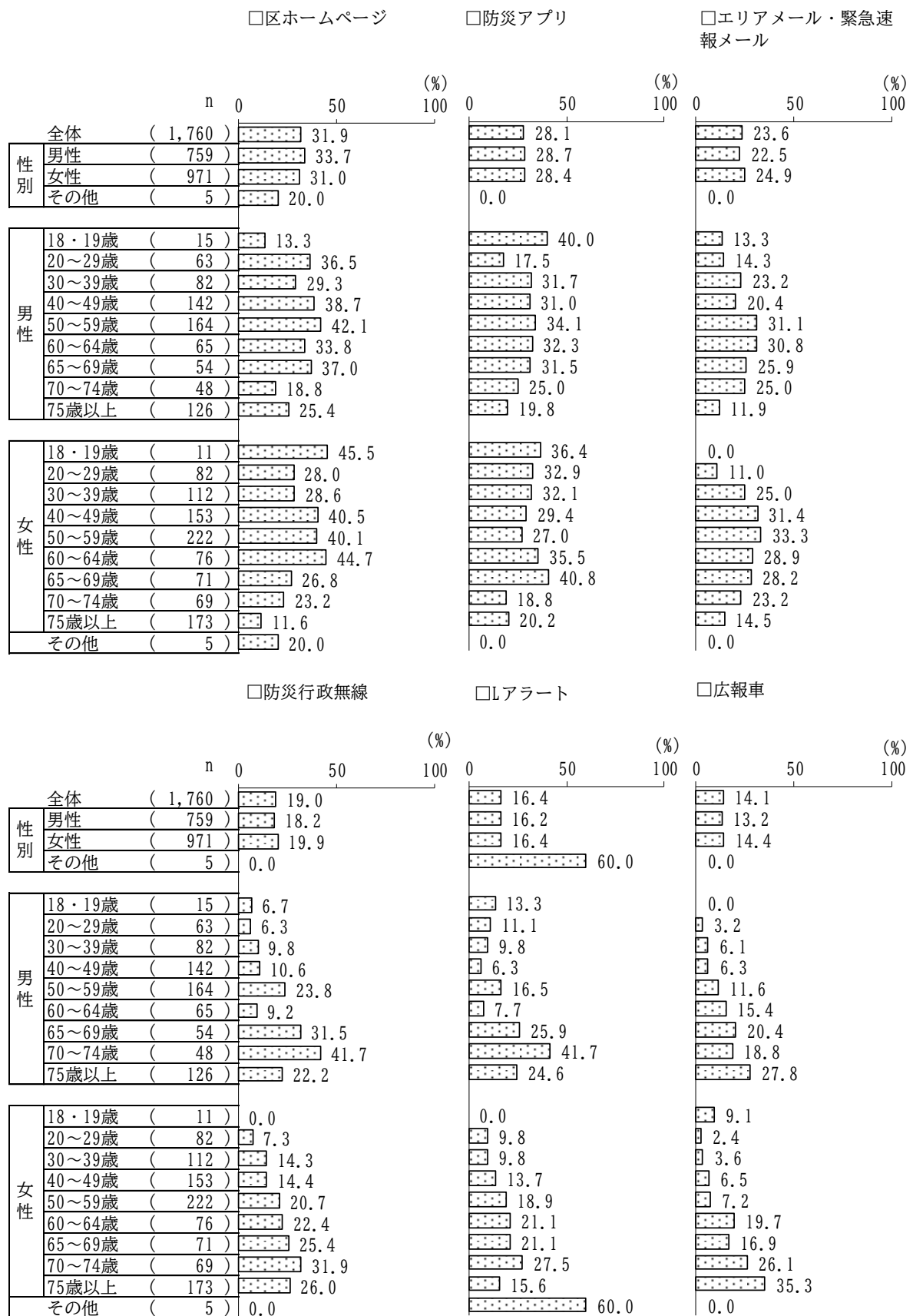


「区ホームページ」（31.9%）が3割強と最も高くなっている。次いで「防災アプリ」（28.1%）、「エリアメール・緊急速報メール」（23.6%）、「防災行政無線」（19.0%）となっている。（図表 11-34）

【性・年齢別】

「区ホームページ」は女性 60～64 歳（44.7%）が4割台半ばと高くなっている。また、「防災アプリ」は女性 65～69 歳（40.8%）が約4割と高くなっている。（図表 11-35）

<図表 11-35> 災害情報の入手方法／性・年齢別



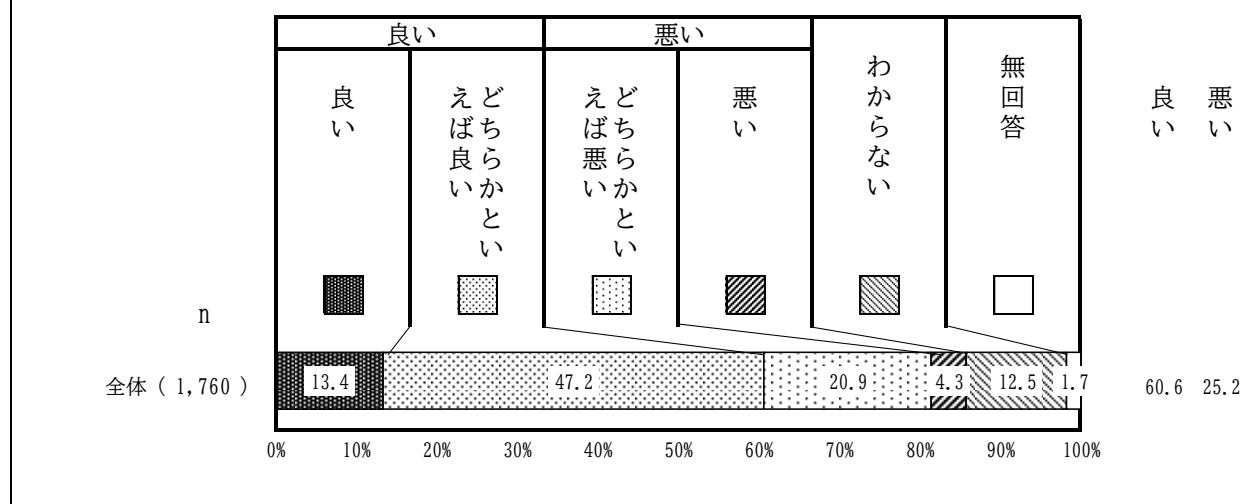
12. 治安について

(1) 地域の治安

◇『良い』が60.6%を占める。

問23 あなたは、お住まいの地域の治安について、どのように感じていますか。(○は1つ)

<図表 12-1> 地域の治安



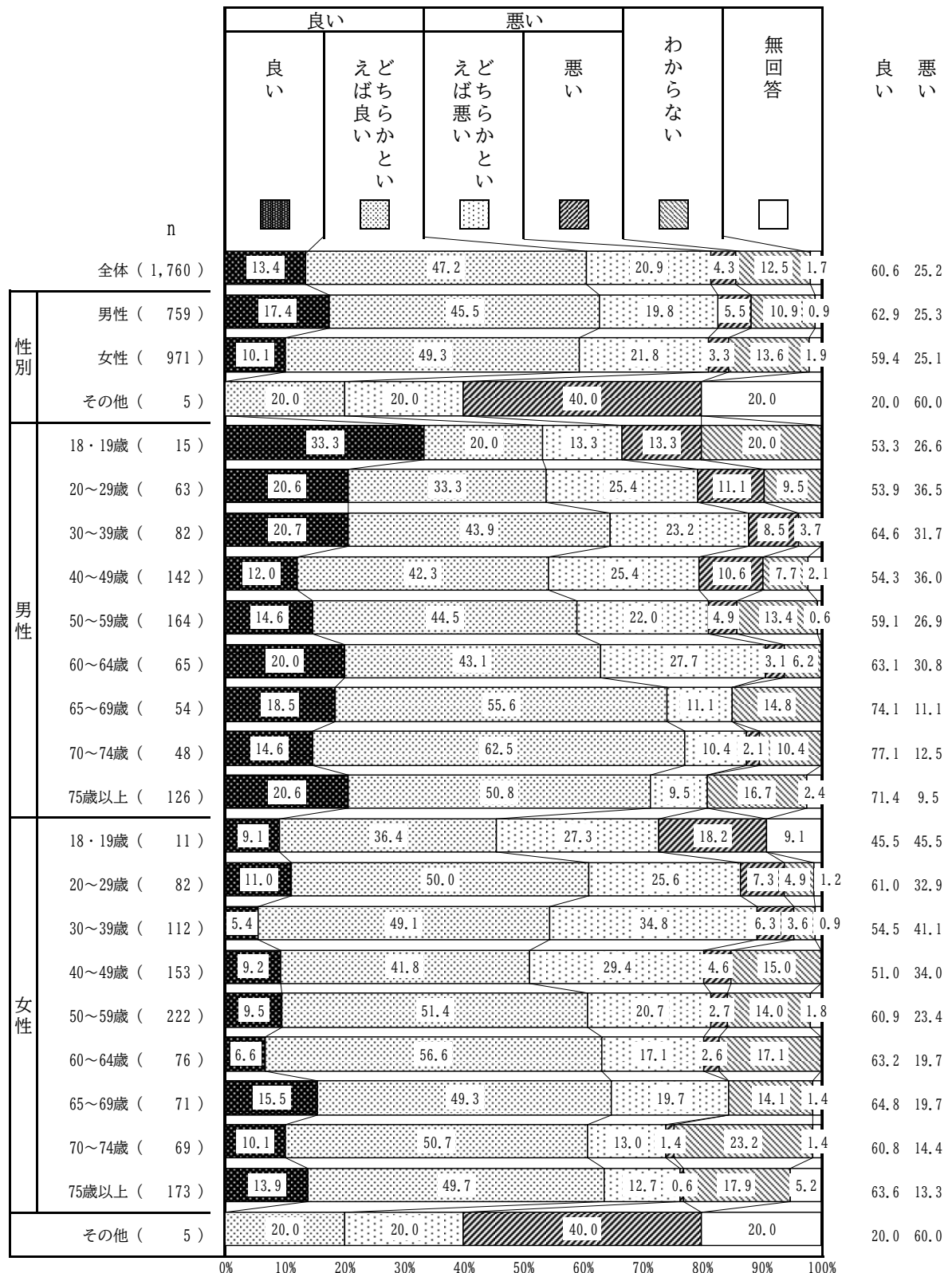
「良い」が13.4%、「どちらかといえば良い」が47.2%で、『良い』（「良い」＋「どちらかといえば良い」）は60.6%となっている。一方、『悪い』（「悪い」＋「どちらかといえば悪い」）は25.2%となっている。（図表12-1）

【性・年齢別】

男性において、『良い』は70～74歳（77.1%）が8割近くと最も高くなっている。一方、『悪い』は20～29歳（36.5%）、40～49歳（36.0%）が4割近くとなっている。

女性において、『良い』は65～69歳（64.8%）が6割台半ばと最も高くなっている。一方、『悪い』は30～39歳（41.1%）が4割強となっている。（図表12-2）

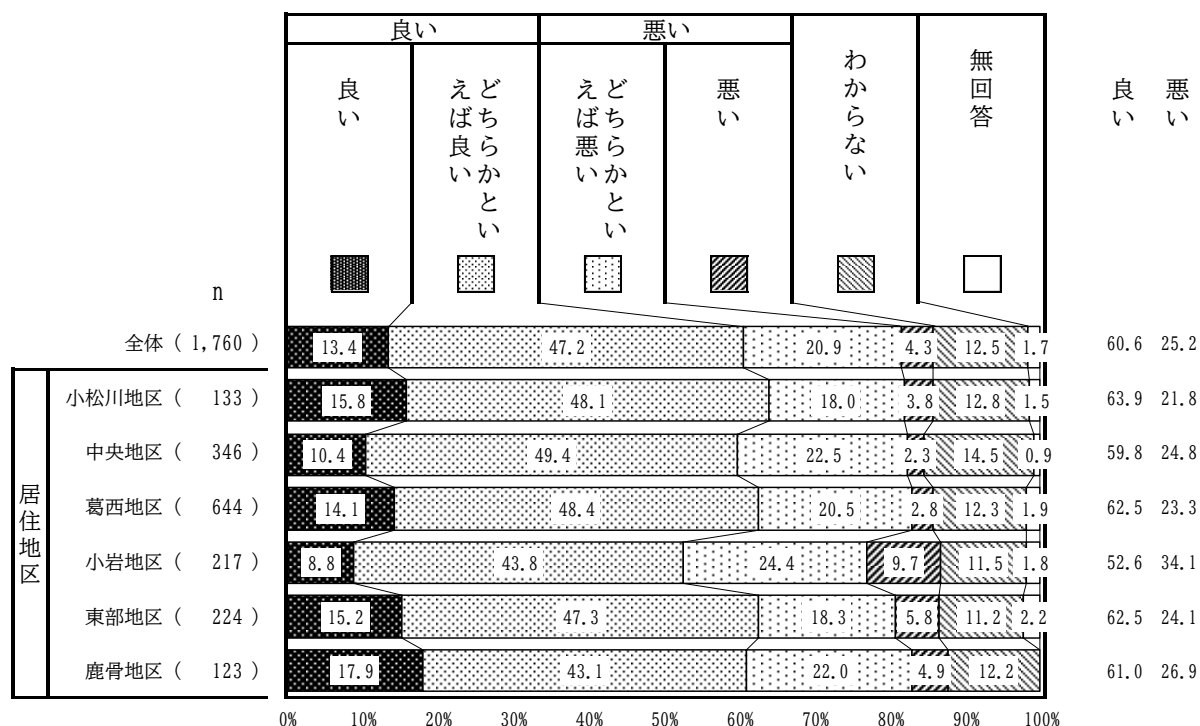
<図表 12-2> 地域の治安／性・年齢別



【居住地区別】

『良い』は小松川地区（63.9%）、葛西地区（62.5%）、東部地区（62.5%）、鹿骨地区（61.0%）が6割強と高くなっている。（図表 12－3）

<図表 12－3>地域の治安／居住地区別



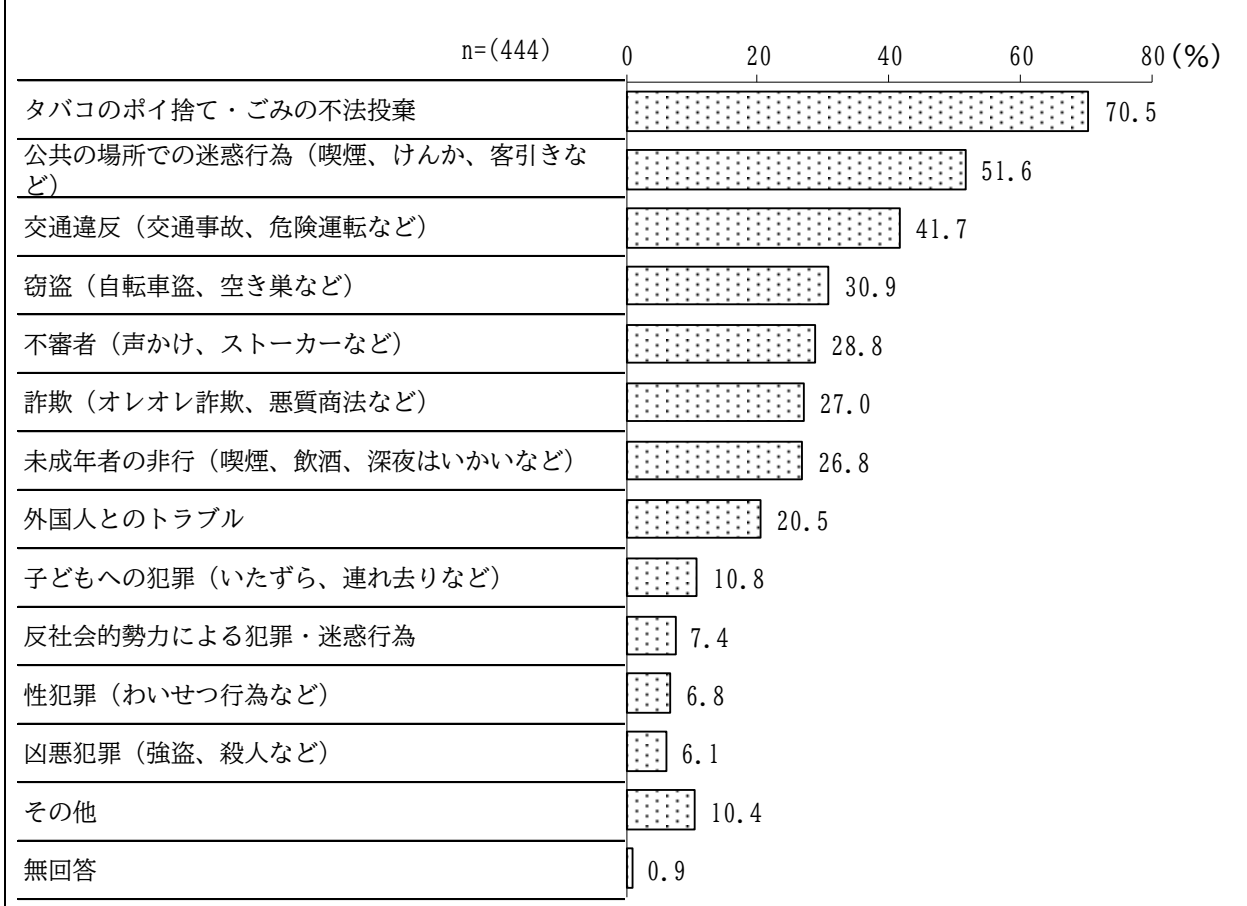
(2) 治安が悪いと感じる理由

◇「タバコのポイ捨て・ごみの不法投棄」が約7割で最も高い。

問 24 問 23 で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

治安が悪いと感じる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 12-4> 治安が悪いと感じる理由

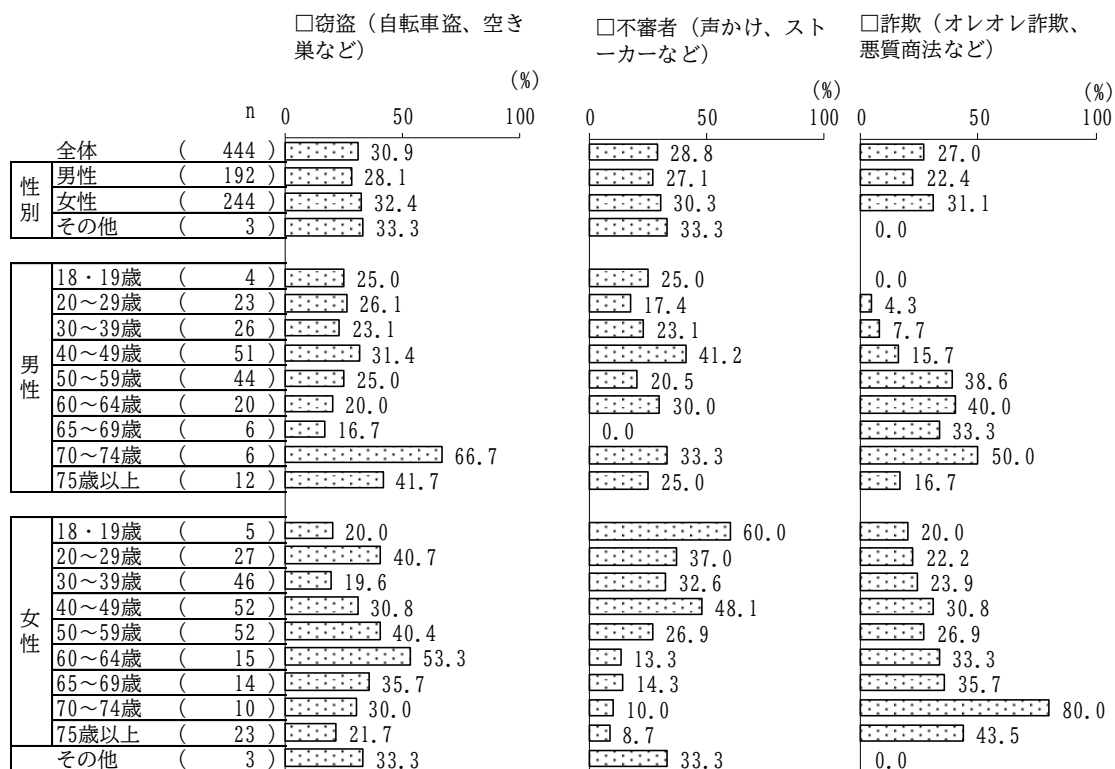
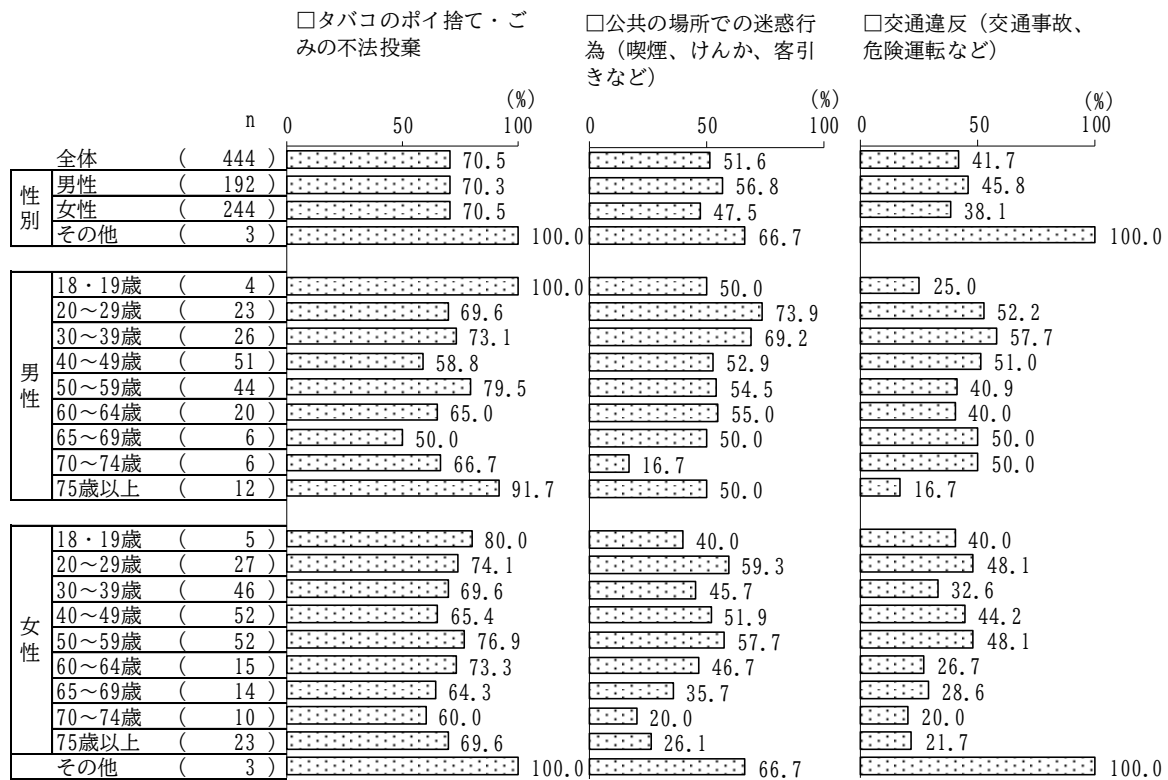


「タバコのポイ捨て・ごみの不法投棄」(70.5%) が約7割と最も高くなっている。次いで「公共の場所での迷惑行為（喫煙、けんか、客引きなど）」(51.6%)、「交通違反（交通事故、危険運転など）」(41.7%)、「窃盗（自転車盗、空き巣など）」(30.9%) となっている。(図表 12-4)

【性・年齢別】

「タバコのポイ捨て・ごみの不法投棄」は男性 50～59 歳 (79.5%) が8割弱と高くなっている。また、「公共の場所での迷惑行為（喫煙、けんか、客引きなど）」は女性 50～59 歳 (57.7%) が6割近くと高くなっている。(図表 12-5)

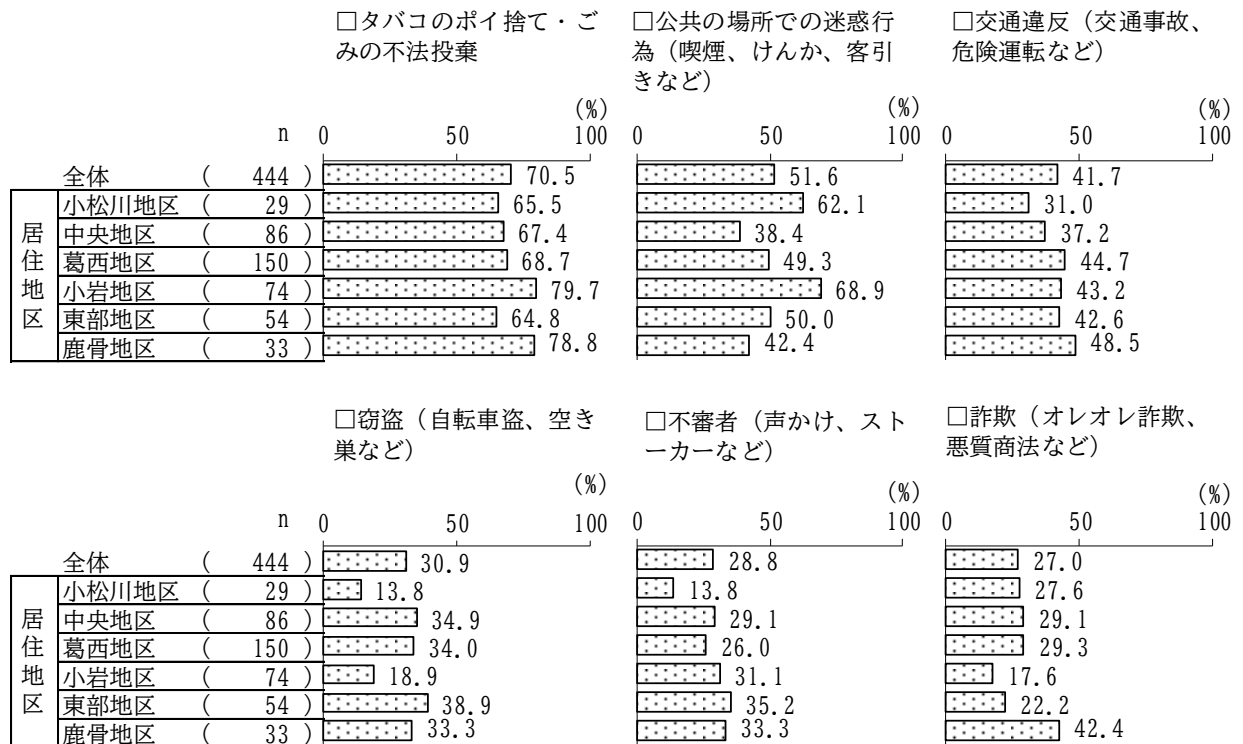
<図表 12-5> 治安が悪いと感じる理由／性・年齢別



【居住地区別】

「タバコのポイ捨て・ごみの不法投棄」は小岩地区（79.7%）が8割弱と高くなっている。また、「公共の場所での迷惑行為（喫煙、けんか、客引きなど）」は小岩地区（68.9%）が7割近くと高くなっている。（図表 12－6）

<図表 12－6> 治安が悪いと感じる理由／居住地区別



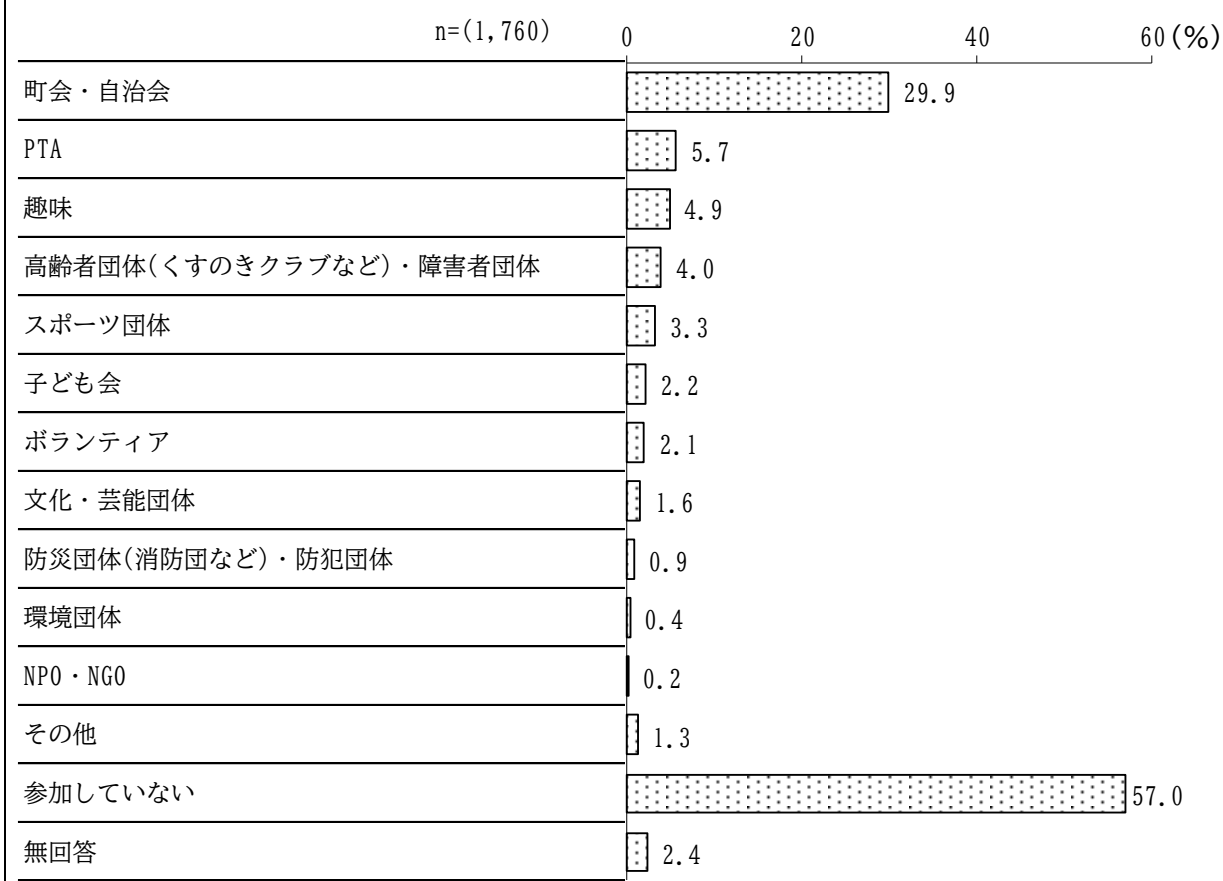
13. 地域活動の参加状況について

(1) 参加している地域の活動・団体

◇「町会・自治会」が3割弱で最も高い。

問 25 あなたは、現在地域での活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

<図表 13-1> 参加している地域の活動・団体

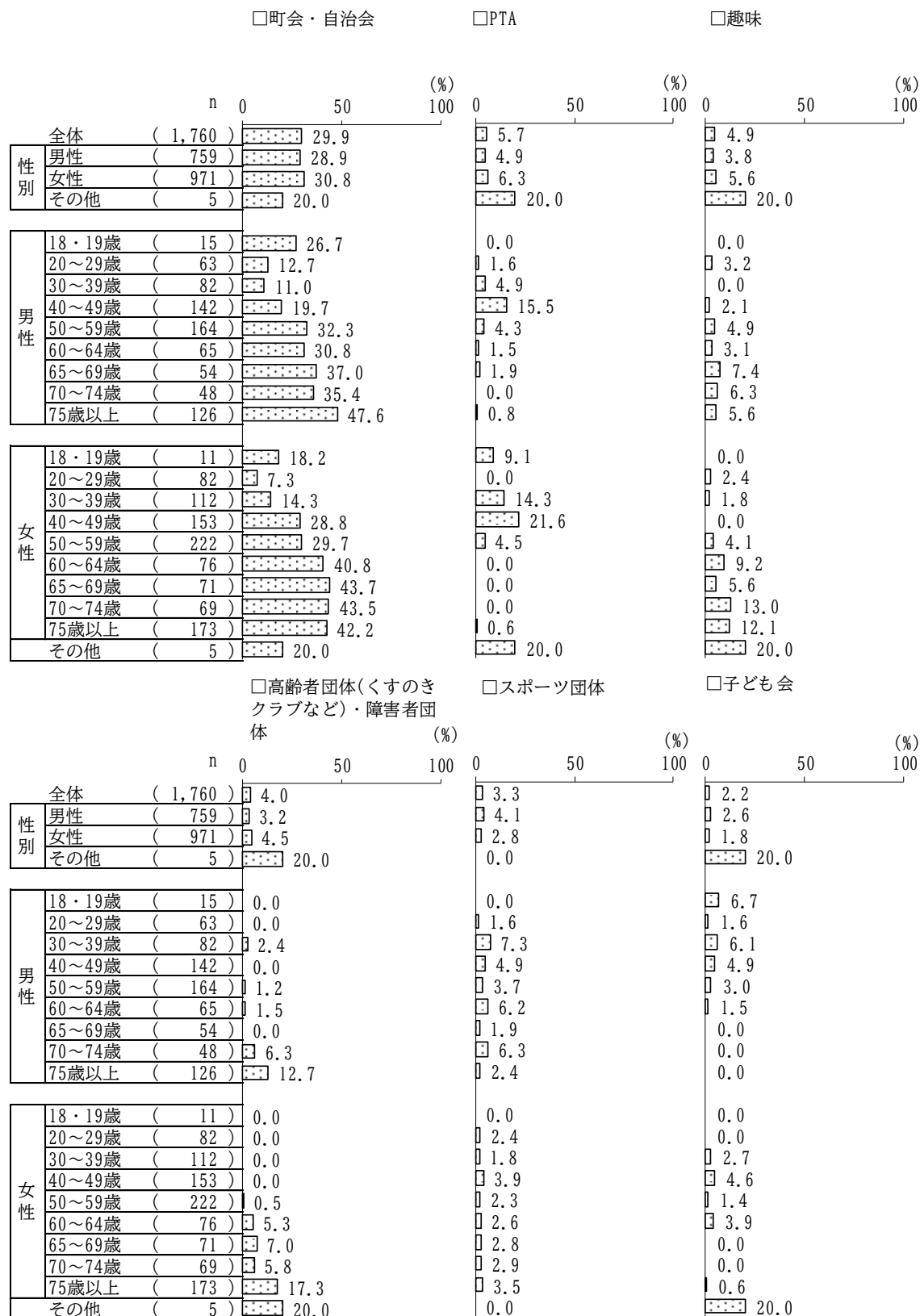


「町会・自治会」(29.9%) が3割弱と最も高くなっている。次いで「PTA」(5.7%)、「趣味」(4.9%)、「高齢者団体(くすのきクラブなど)・障害者団体」(4.0%)となっている。一方、「参加していない」(57.0%)は6割近くとなっている。(図表 13-1)

【性・年齢別】

「町会・自治会」は男性 75 歳以上（47.6%）が 5 割近くとなっている。（図表 13-2）

<図表 13-2> 参加している地域の活動・団体／性・年齢別

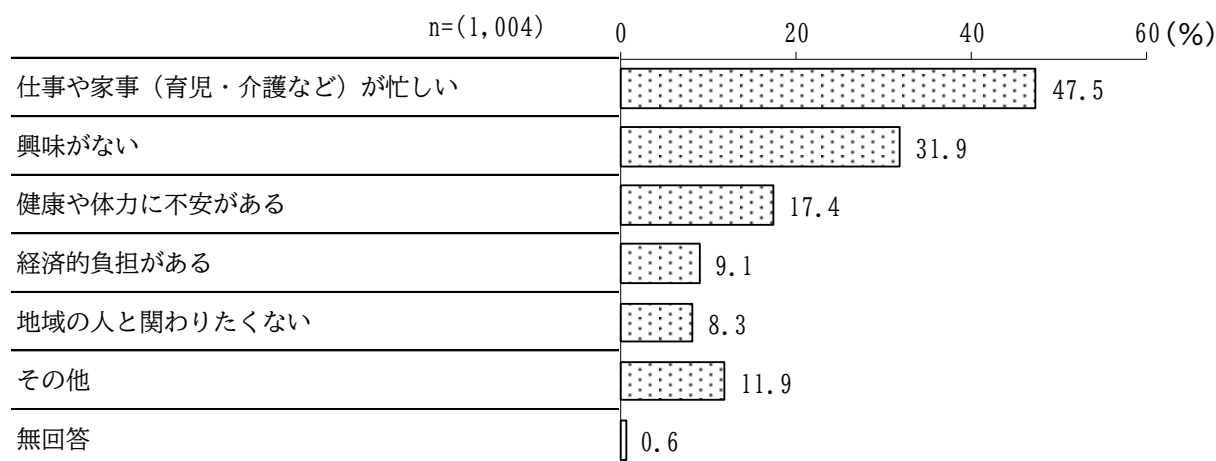


(2) 参加していない理由

◇「仕事や家事（育児・介護など）が忙しい」が5割近くで最も高い。

問 26 問 25 で「13」と答えた方にお尋ねします。参加していない理由は何ですか。
(○はいくつでも)

<図表 13-3> 参加していない理由



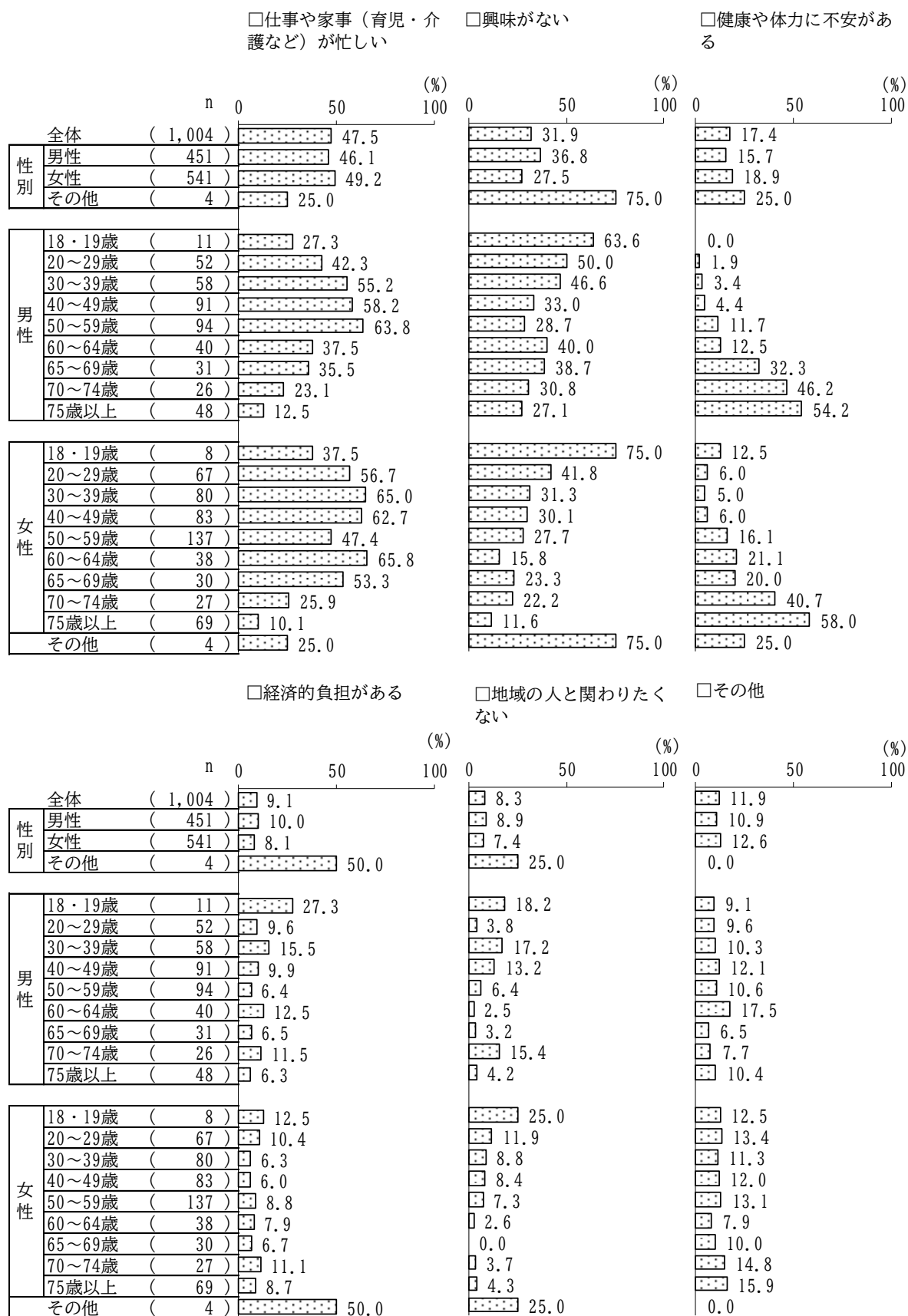
「仕事や家事（育児・介護など）が忙しい」（47.5%）が5割近くと最も高くなっている。次いで「興味がない」（31.9%）、「健康や体力に不安がある」（17.4%）、「経済的負担がある」（9.1%）となっている。（図表 13-3）

【性・年齢別】

「興味がない」は男性（36.8%）が女性（27.5%）に比べて 9.3 ポイント高くなっている。

「興味がない」は男性 20～29 歳（50.0%）が5割と高くなっている。また、「健康や体力に不安がある」は女性 75 歳以上（58.0%）が6割近くと高くなっている。（図表 13-4）

<図表 13-4> 参加していない理由／性・年齢別



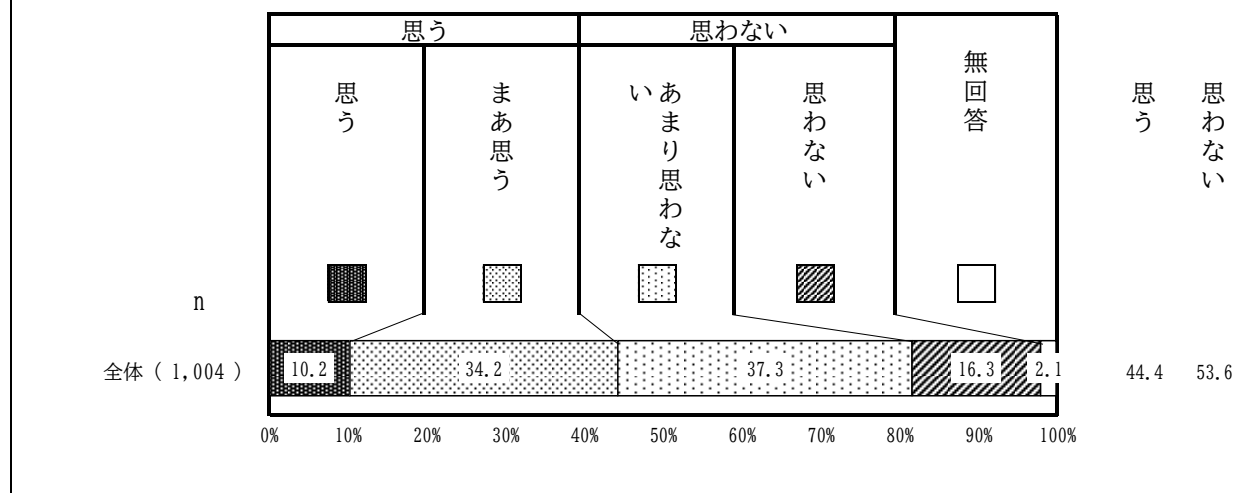
(3) 参加したいと思うか

◇『思う』が44.4%を占める。

問 27 問 25 で「13」と答えた方にお尋ねします。

きっかけがあれば参加したいと思いますか。(○は1つ)

<図表 13-5> 参加したいと思うか



「思う」が10.2%、「まあ思う」が34.2%で、『思う』(「思う」+「まあ思う」)は44.4%となっている。一方、『思わない』(「思わない」+「あまり思わない」)は53.6%となっている。

(図表 13-5)

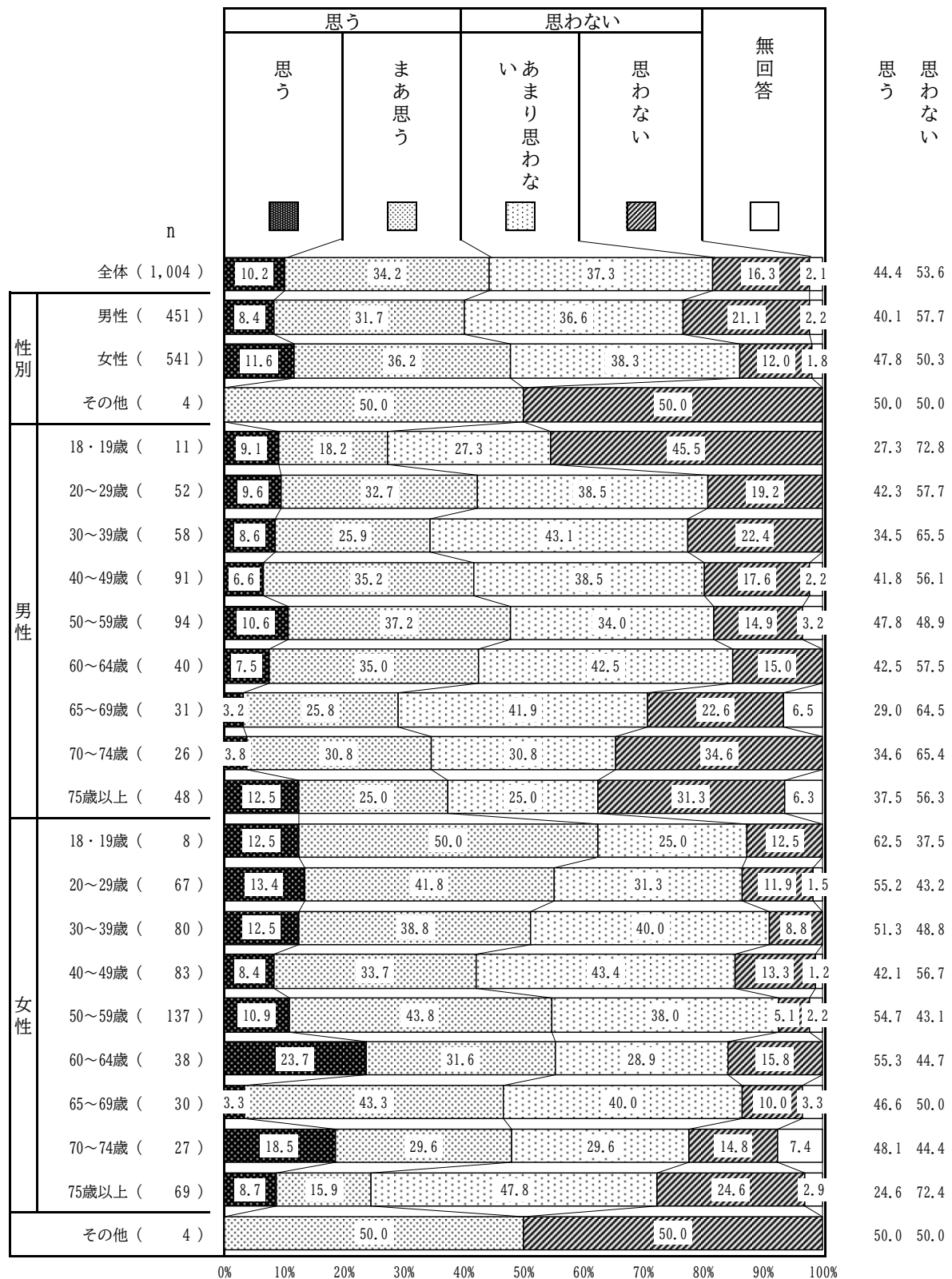
【性・年齢別】

『思う』は女性(47.8%)が男性(40.1%)に比べて7.7ポイント高くなっている。

男性において、『思う』は50～59歳(47.8%)が5割近くと最も高くなっている。一方、『思わない』は30～39歳(65.5%)、65～69歳(64.5%)、70～74歳(65.4%)が6割台半ばとなっている。

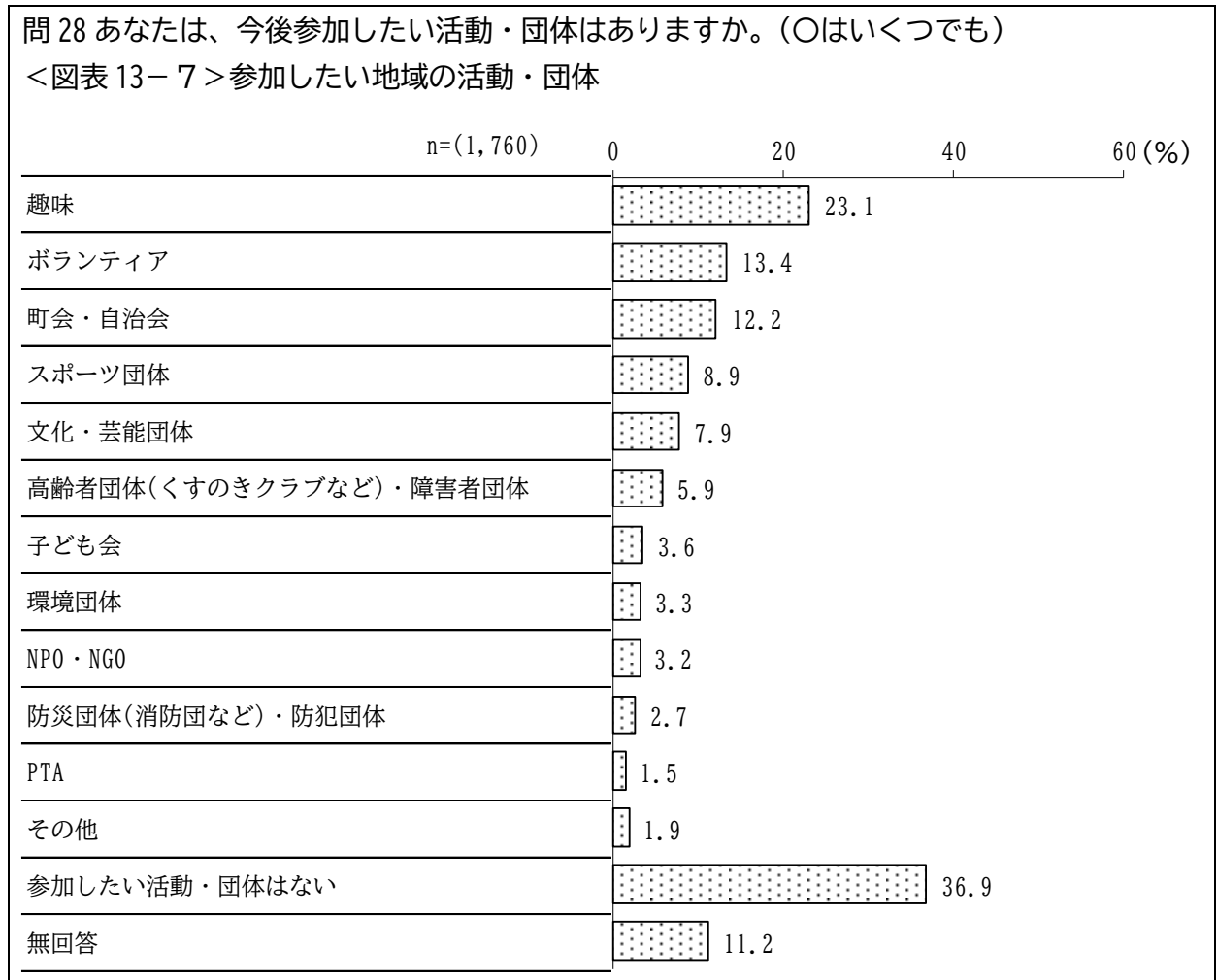
女性において、『思う』は20～29歳(55.2%)、50～59歳(54.7%)、60～64歳(55.3%)が5割台半ばと最も高くなっている。一方、『思わない』は75歳以上(72.4%)が7割強となっている。(図表 13-6)

<図表 13-6> 参加したいと思うか／性・年齢別



(4) 参加したい地域の活動・団体

◇「趣味」が2割強で最も高い。



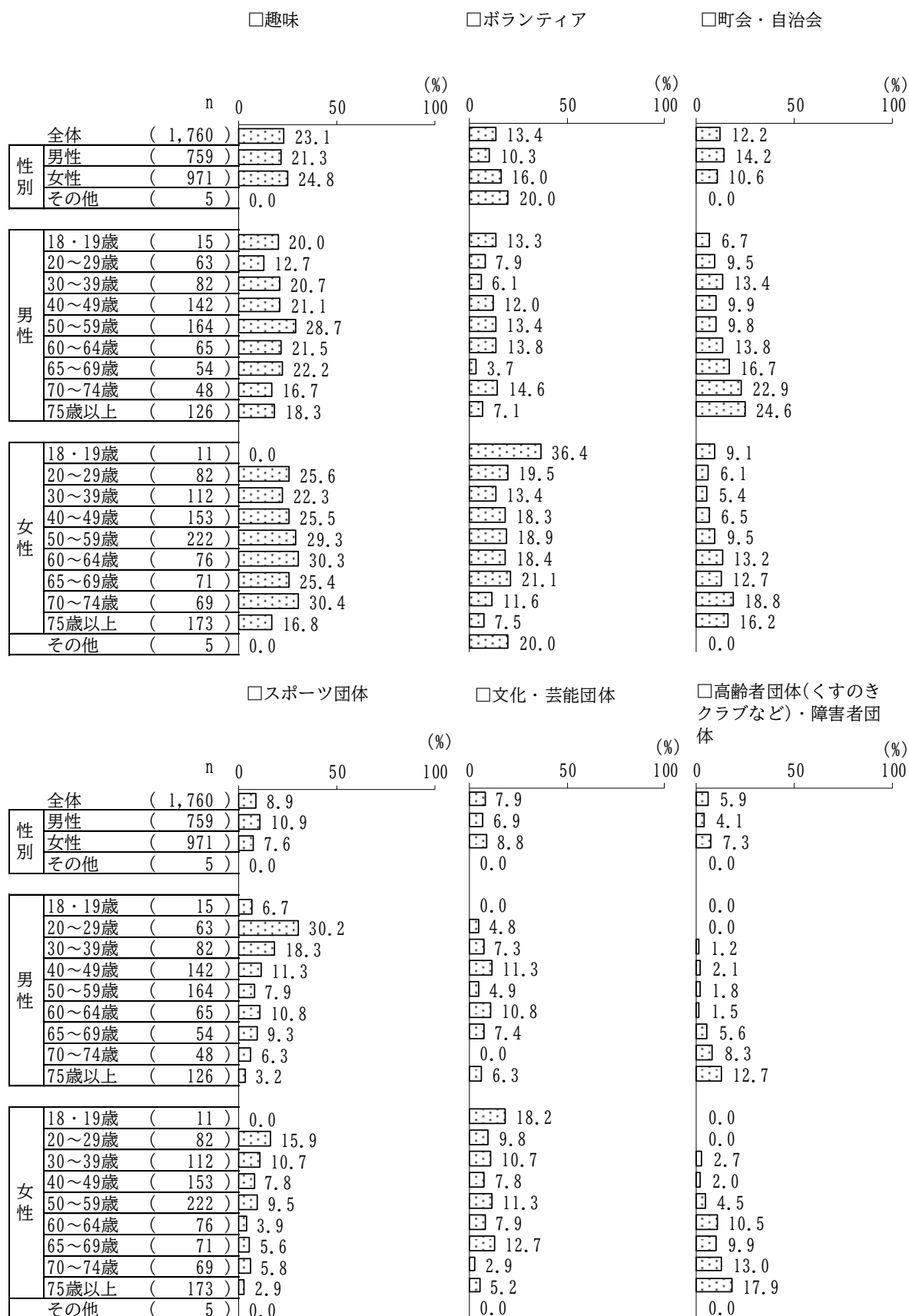
「趣味」(23.1%) が2割強と最も高くなっている。次いで「ボランティア」(13.4%)、「町会・自治会」(12.2%)、「スポーツ団体」(8.9%)となっている。一方、「参加したい活動・団体はない」(36.9%)は4割近くとなっている。(図表 13-7)

【性・年齢別】

「ボランティア」は女性(16.0%)が男性(10.3%)に比べて5.7ポイント高くなっている。

「趣味」は女性60～64歳(30.3%)、70～74歳(30.4%)が約3割と高くなっている。「ボランティア」は女性65～69歳(21.1%)が2割強と高くなっている。(図表 13-8)

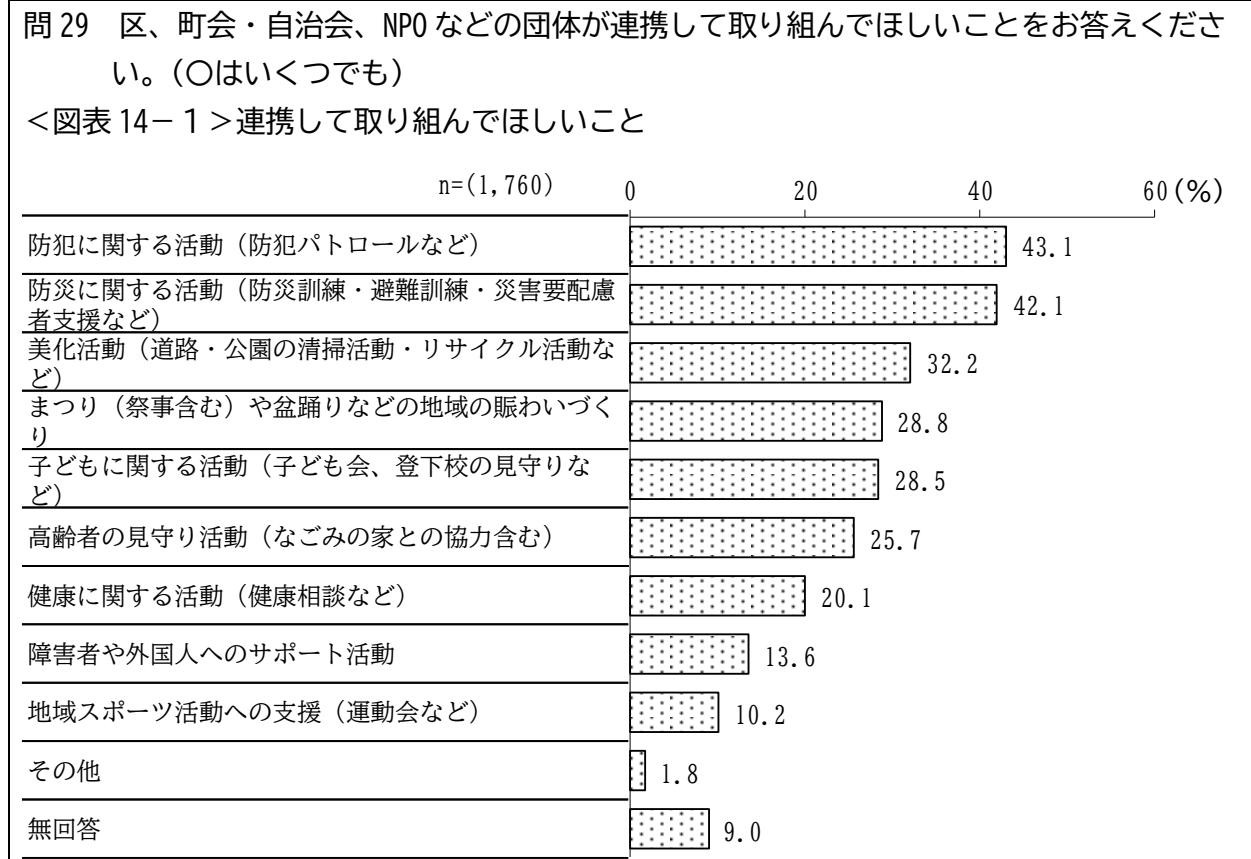
<図表 13-8> 参加したい地域の活動・団体／性・年齢別



14. 地域力の醸成について

(1) 連携して取り組んでほしいこと

◇「防犯に関する活動（防犯パトロールなど）」が4割強で最も高い。



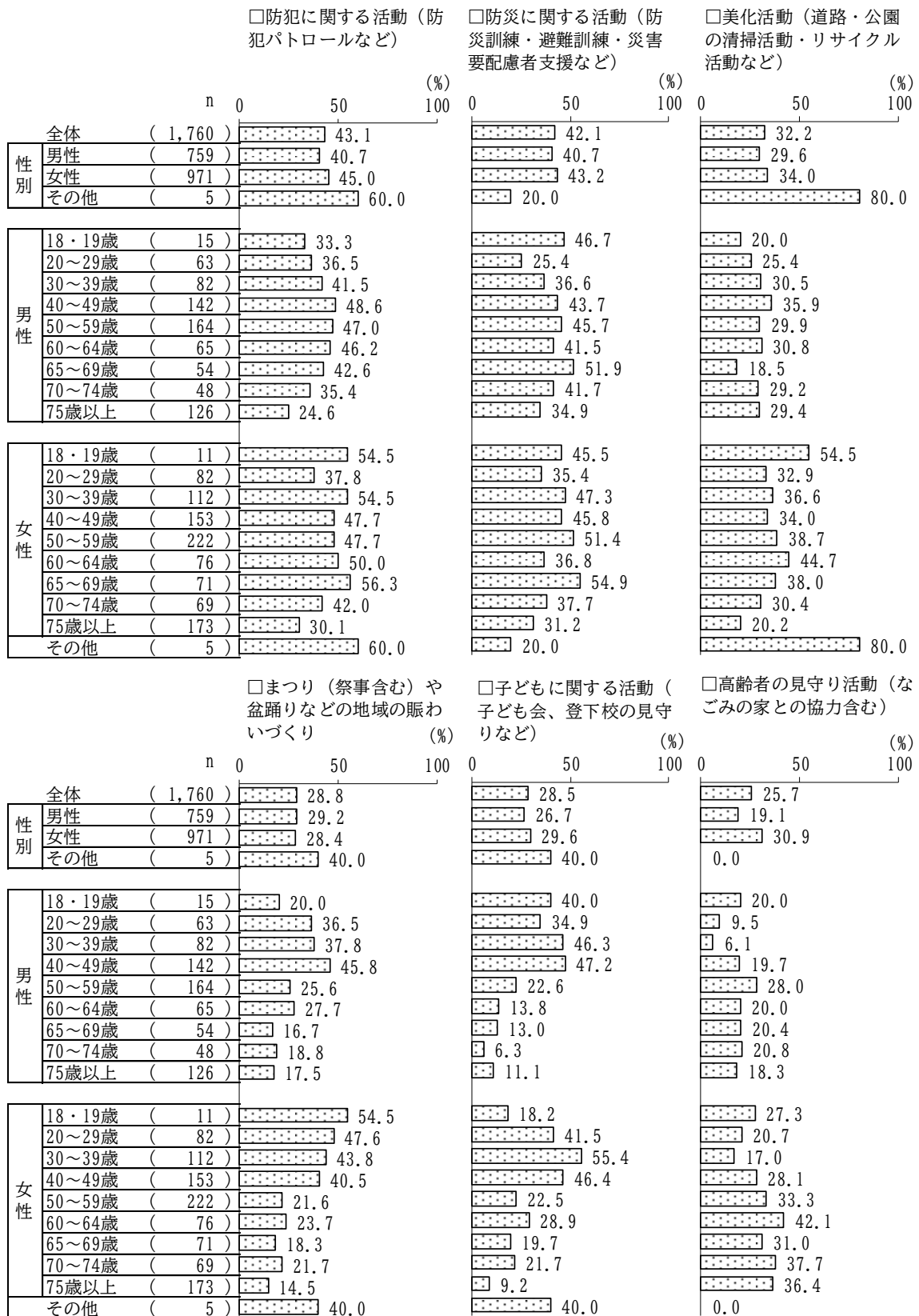
「防犯に関する活動（防犯パトロールなど）」（43.1%）が4割強と最も高くなっている。次いで「防災に関する活動（防災訓練・避難訓練・災害要配慮者支援など）」（42.1%）、「美化活動（道路・公園の清掃活動・リサイクル活動など）」（32.2%）、「まつり（祭事含む）や盆踊りなどの地域の賑わいづくり」（28.8%）となっている。（図表 14-1）

【性・年齢別】

「高齢者の見守り活動（なごみの家との協力含む）」は女性（30.9%）が男性（19.1%）に比べて11.8ポイント高くなっている。

「防犯に関する活動（防犯パトロールなど）」は女性 65～69 歳（56.3%）が6割近くと高くなっている。「防災に関する活動（防災訓練・避難訓練・災害要配慮者支援など）」は女性 65～69 歳（54.9%）が5割台半ばと高くなっている。（図表 14-2）

<図表 14-2>連携して取り組んでほしいこと／性・年齢別



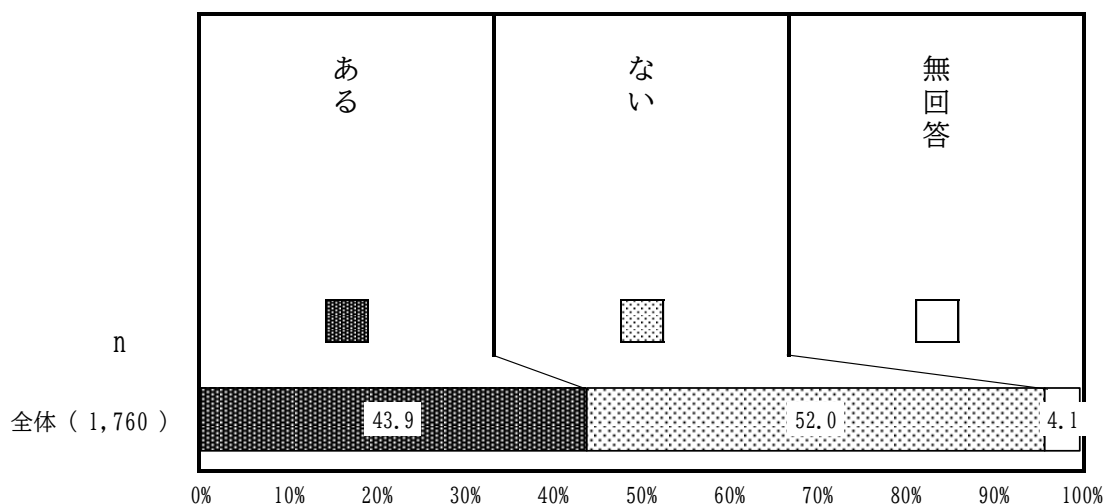
15. 困りごとや悩みについて

(1) 困りごとや悩みの有無

◇日常生活の中で困りごとや悩みが「ある」は4割強。

問 30 現在、あなたは日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。(○は1つ)

<図表 15-1> 困りごとや悩みの有無



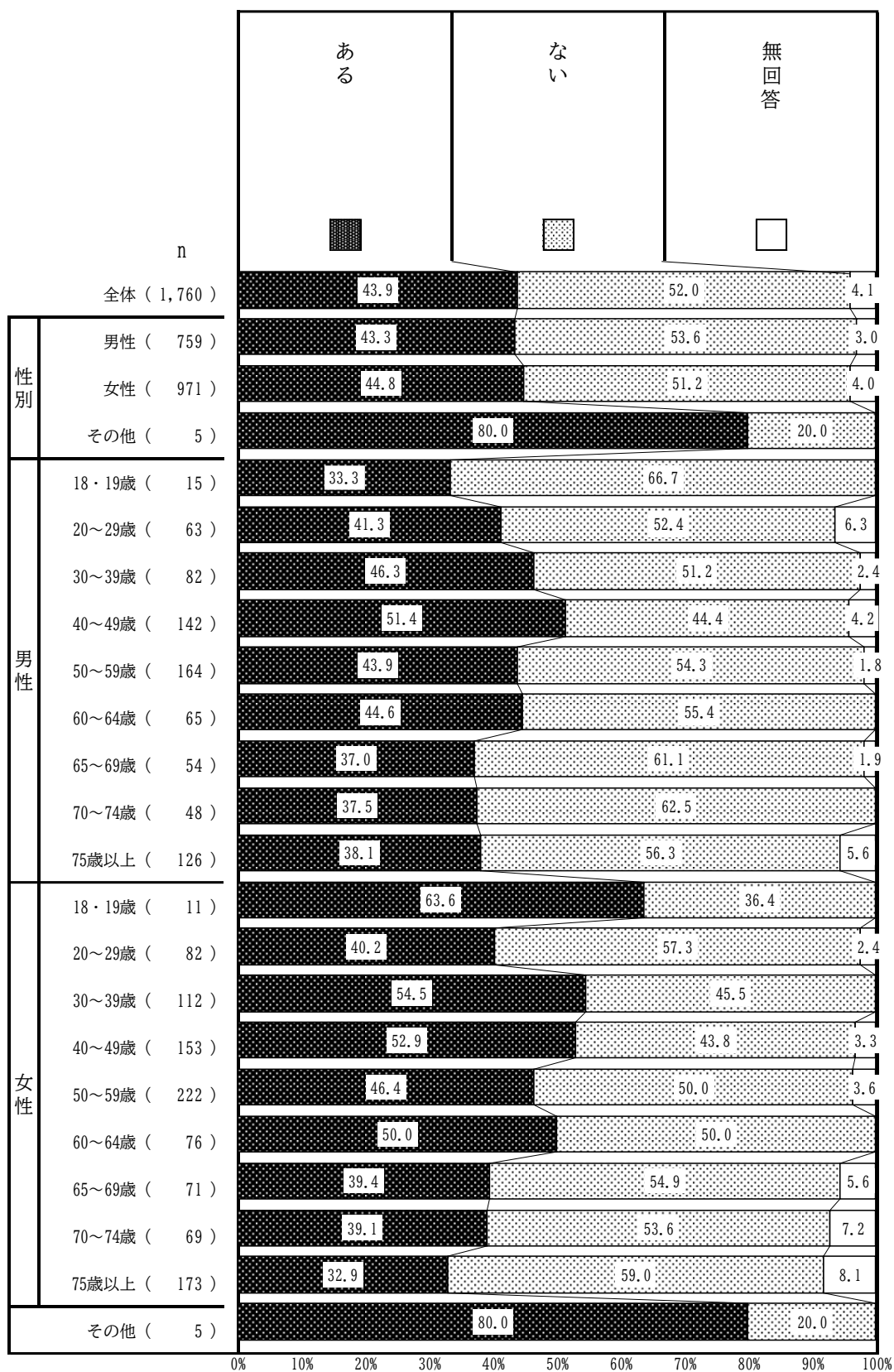
日常生活の中での困りごとや悩みは、「ある」(43.9%)が4割強、「ない」(52.0%)は5割強となっている。(図表 15-1)

【性・年齢別】

男性において、「ある」は40～49歳(51.4%)が5割強と高くなっている。「ない」は65～69歳(61.1%)、70～74歳(62.5%)が6割強と高くなっている。

女性において、「ある」は30～39歳(54.5%)が5割台半ばと高くなっている。「ない」は75歳以上(59.0%)が6割弱と高くなっている。(図表 15-2)

<図表 15-2> 困りごとや悩みの有無／性・年齢別



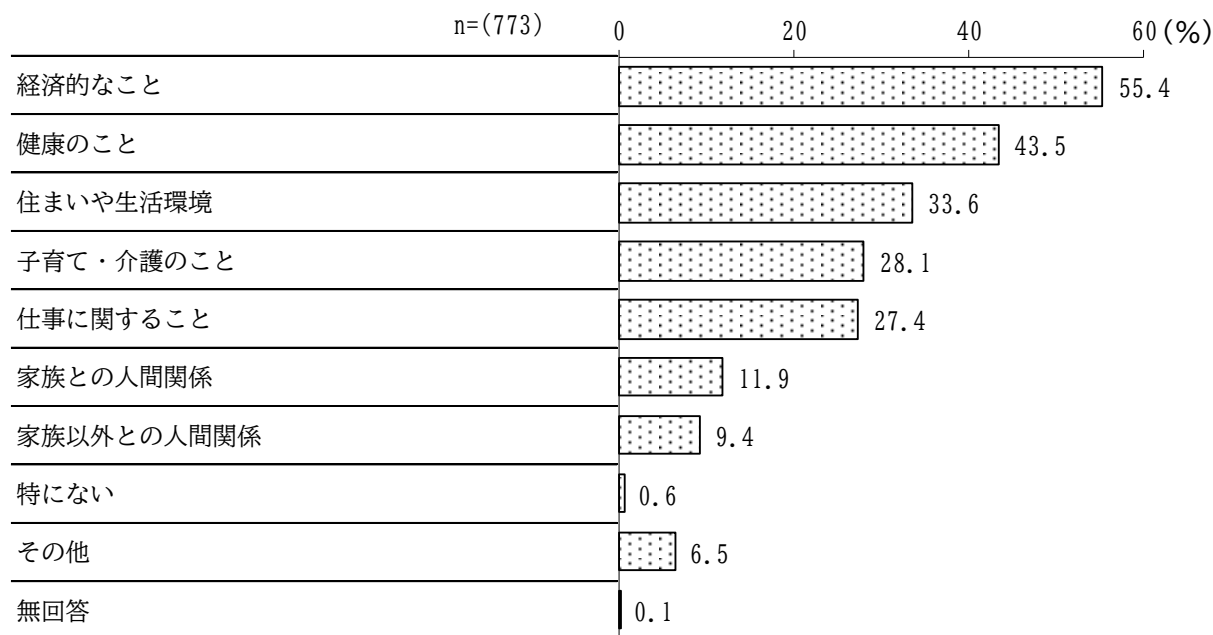
(2) 困りごとや悩みの具体的内容

◇「経済的なこと」が5割台半ばで最も高い。

問 31 問 30 で「1」と答えた方にお尋ねします。

あなたの困りごとや悩みはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

<図表 15-3> 困りごとや悩みの具体的内容



「経済的なこと」(55.4%)が5割台半ばと最も高くなっている。次いで「健康のこと」(43.5%)、「住まいや生活環境」(33.6%)、「子育て・介護のこと」(28.1%)となっている。

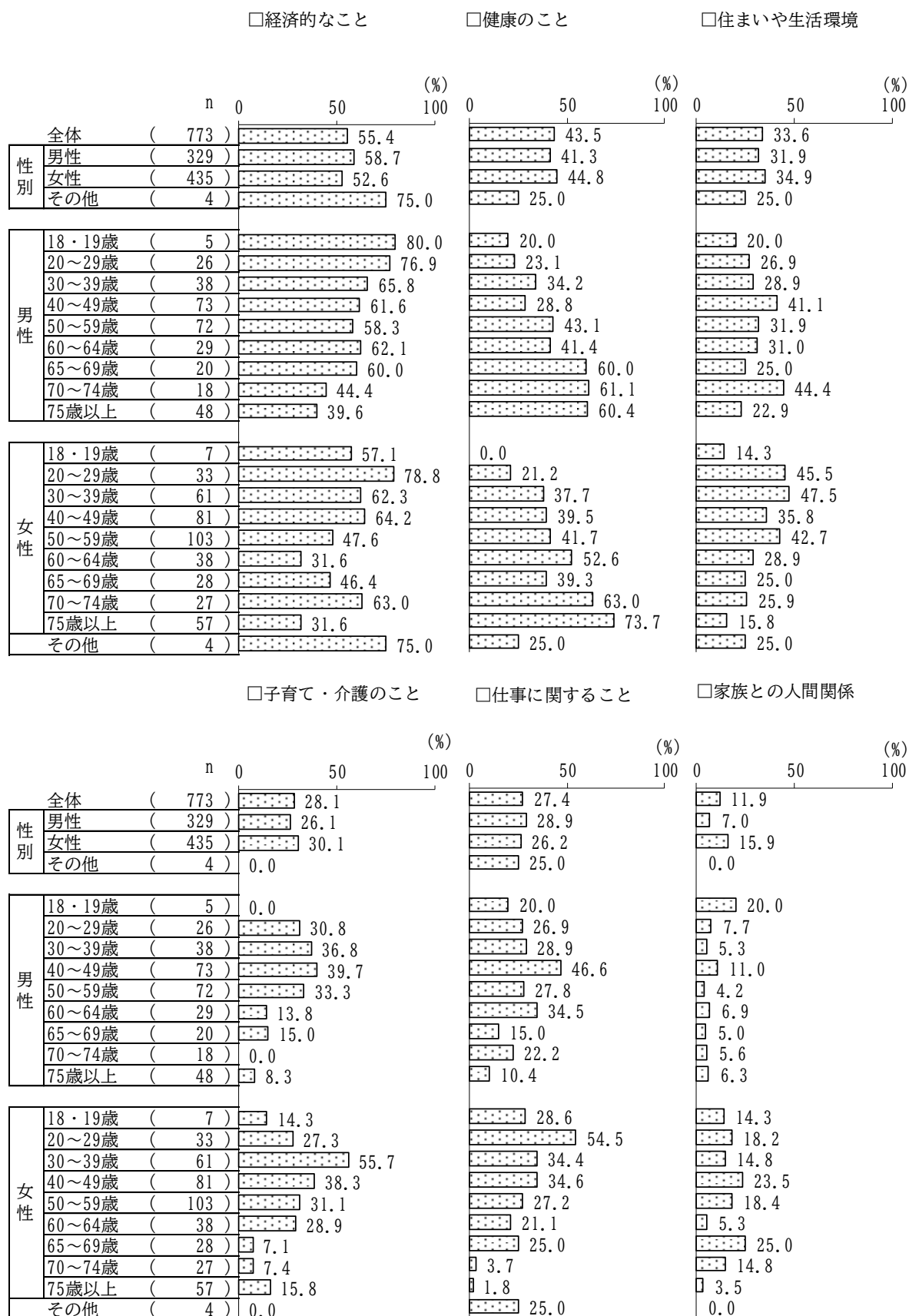
(図表 15-3)

【性・年齢別】

「経済的なこと」は男性(58.7%)が女性(52.6%)に比べて6.1ポイント高く、「子育て・介護のこと」は女性(30.1%)が男性(26.1%)に比べて4.0ポイント高くなっている。

「経済的なこと」は女性20~29歳(78.8%)が8割近くと高くなっている。「健康のこと」は女性75歳以上(73.7%)が7割強と高くなっている。(図表 15-4)

<図表 15-4> 困りごとや悩みの具体的内容／性・年齢別



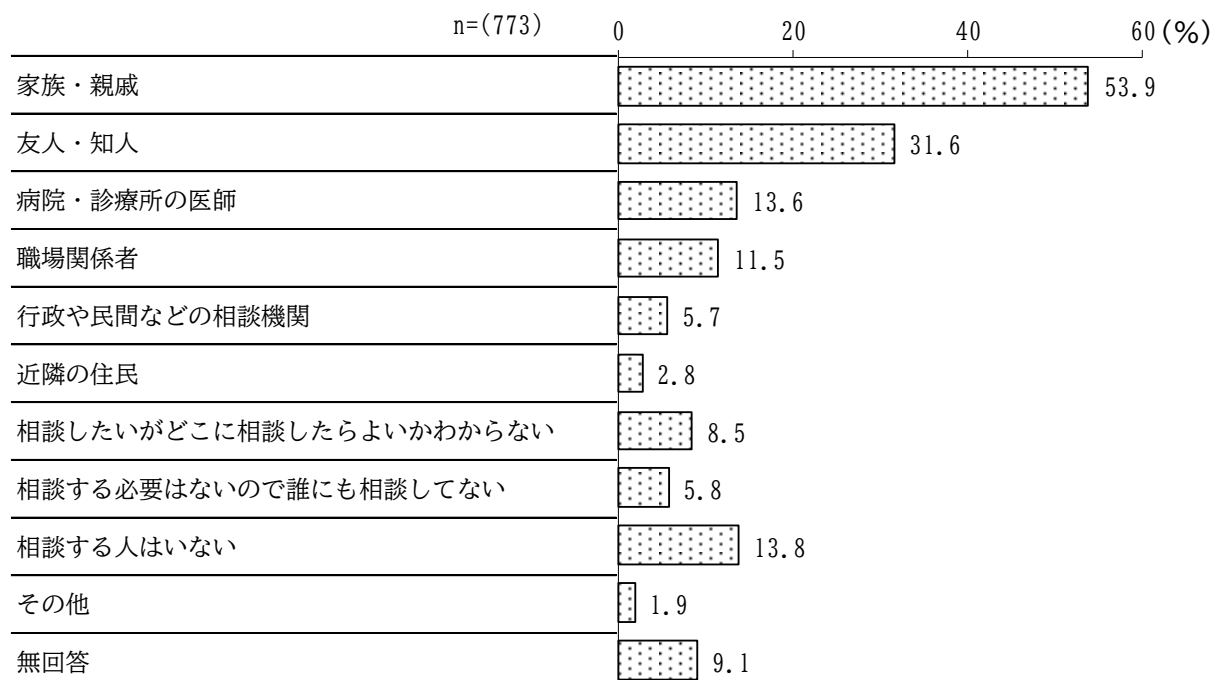
(3) 相談する相手

◇「家族・親戚」が5割強で最も高い。

問 32 問 30 で「1」と答えた方にお尋ねします。

あなたは、困りごとや悩みを誰に相談していますか。(○はいくつでも)

<図表 15－5> 相談する相手



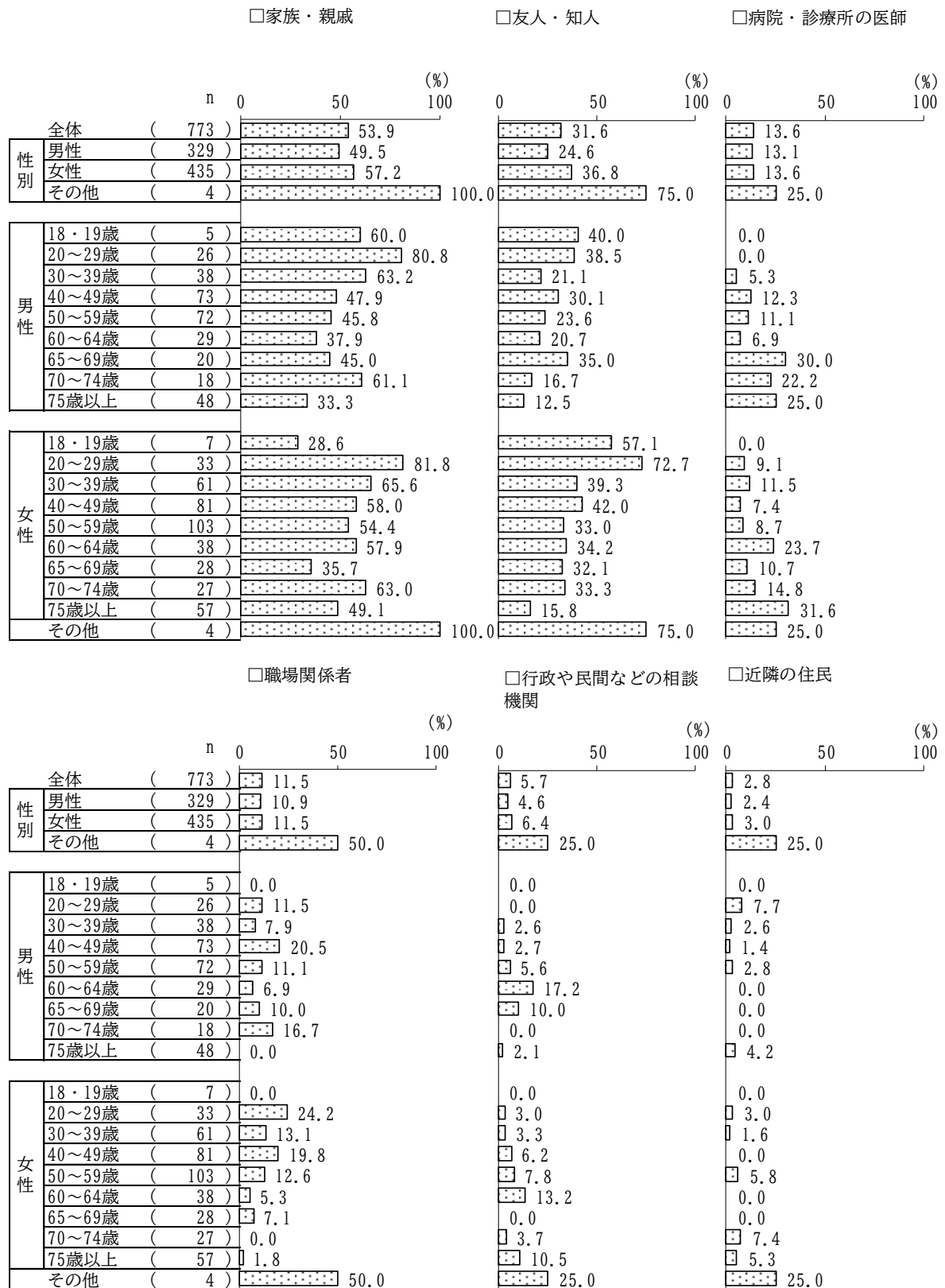
「家族・親戚」(53.9%)が5割強と最も高くなっている。次いで「友人・知人」(31.6%)、「病院・診療所の医師」(13.6%)、「職場関係者」(11.5%)となっている。一方、「相談する人はいない」(13.8%)は1割強となっている。(図表 15－5)

【性・年齢別】

「友人・知人」は女性(36.8%)が男性(24.6%)に比べて12.2ポイント高く、「家族・親戚」は女性(57.2%)が男性(49.5%)に比べて7.7ポイント高くなっている。

「家族・親戚」は女性20～29歳(81.8%)が8割強と高くなっている。また、「友人・知人」は女性20～29歳(72.7%)が7割強と高くなっている。(図表 15－6)

<図表 15-6> 相談する相手／性・年齢別



16. 区政への要望について

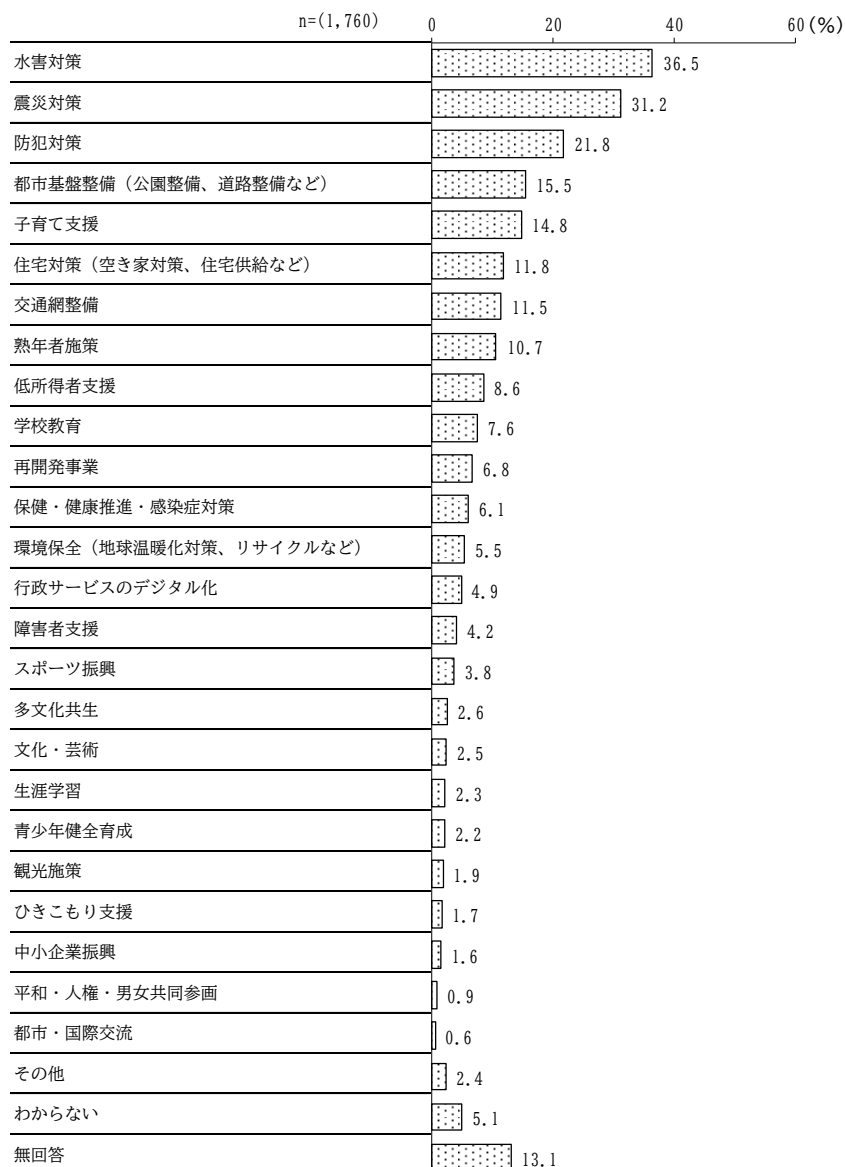
(1) 今後推進してほしい施策

◇「水害対策」が4割近くで最も高い。

問 33 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。

(○は3つまで)

<図表 16-1> 困りごとや悩みの有無

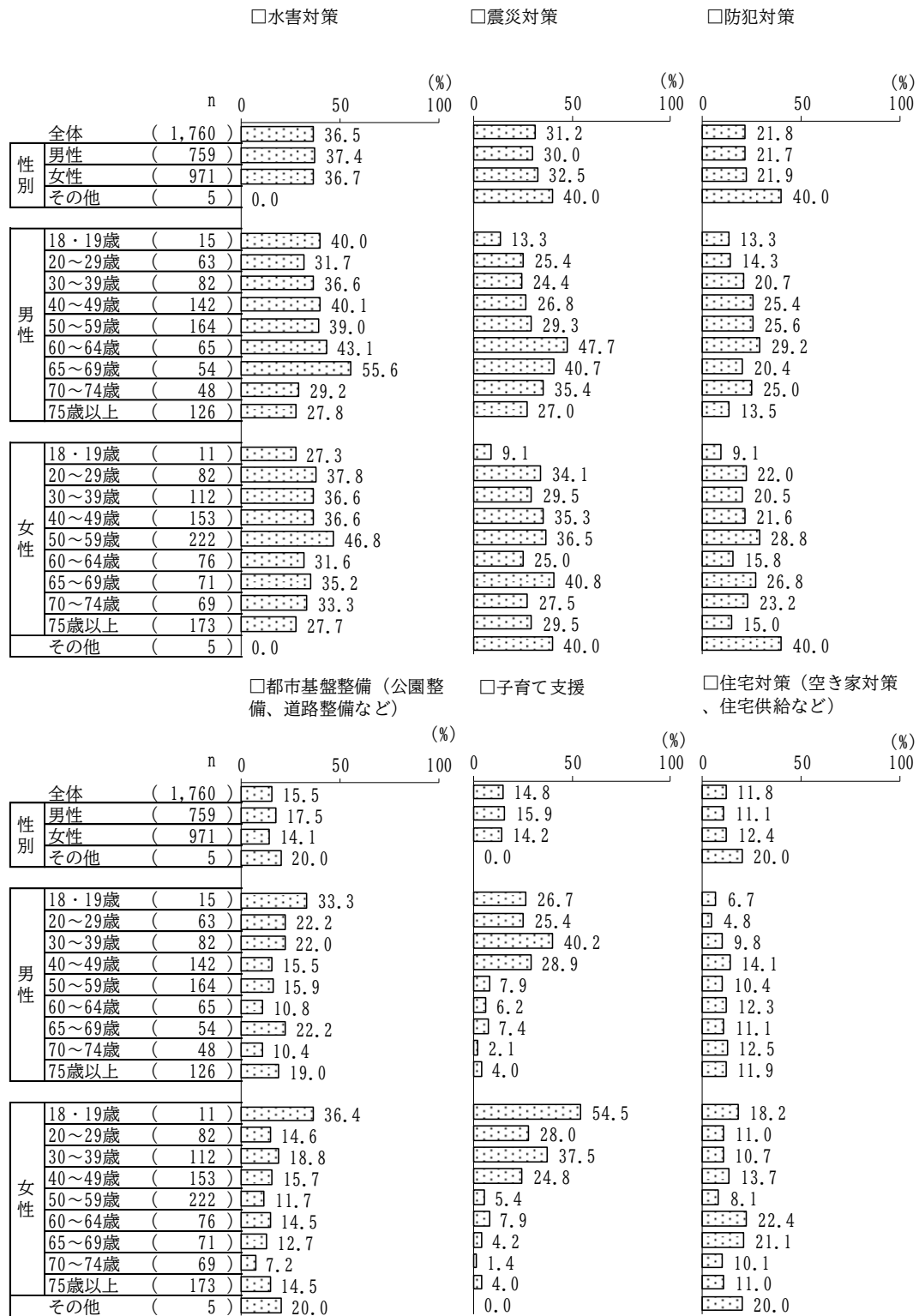


「水害対策」(36.5%)が4割近くと最も高く、次いで「震災対策」(31.2%)、「防犯対策」(21.8%)と続いている。(図表 16-1)

【性・年齢別】

「水害対策」は男性 65～69 歳（55.6%）が 5 割台半ばと高くなっている。「震災対策」は男性 60～64 歳（47.7%）が 5 割近くと高くなっている。（図表 16－2）

<図表 16－2> 困りごとや悩みの有無／性・年齢別



【性・年齢別】

令和2年以降、1位から3位までに変化はみられない。令和5年に比べて1位の「水害対策」(36.5%)は4割近くと9.4ポイント減少し、2位の「震災対策」(31.2%)は3割強と9.1ポイント減少している。(図表16-3)

<図表16-3> 困りごとや悩みの有無／性・年齢別

	1位	2位	3位	4位	5位
令和7年	水害対策 36.5%	震災対策 31.2%	防犯対策 21.8%	都市基盤整備 (公園整備、道路など) 15.5%	子育て支援 14.8%
令和6年	水害対策 45.9%	震災対策 40.3%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 30.5%	子育て支援 19.4%	熟年者施策 18.2%
令和5年	水害対策 49.2%	震災対策 33.3%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 28.5%	子育て支援 18.3%	都市基盤整備 (道路など) 18.0%
令和4年	水害対策 46.7%	震災対策 32.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.6%	都市基盤整備(道路など) /子育て支援 (注)18.0%	都市基盤整備 (道路など) 16.9%
令和3年	水害対策 54.1%	震災対策 38.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	交通網整備 17.0%	
令和2年	水害対策 55.6%	震災対策 36.4%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	子育て支援 19.2%	交通網整備 15.6%
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%

(注) 令和4年は「都市基盤整備(道路など)」「子育て支援」が同率4位となっている。

IV 調査票

第38回江戸川区民世論調査

調査へのご協力をお願い

この調査は、区民の皆さまが日頃から感じていることや区政に対してお持ちのご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施するものです。調査の実施にあたり、区内にお住まいの満18歳以上の方4,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

斉藤猛

【回答に当たってのお願い】

- 封筒の宛名のご本人様がお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をしてください。
- 「その他」を選んだ場合は、() 内に具体的に記入してください。
- 調査結果は全て統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 令和7年5月8日(木)までにご回答ください。

【 郵 送 で の 回 答 】

- 調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵送してください。(切手不要)

【インターネットでの回答】

- パソコン・スマートフォンなどで、表紙の回答専用ページにアクセスしてご回答ください。
スマートフォンからは、二次元コードよりアクセスいただけます。
- 回答専用ページから、以下のID・パスワードを入力してログインをしてください。
- 通信料はご利用者様の負担となります。

あなたのインターネット回答用のID・パスワード

ID:

パスワード:

※IDは半角数字/パスワードは半角英字です。

ID・パスワードは個人を特定するものではありません。

インターネット回答用
二次元コード



インターネット回答用URL: <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/edogawa/sub/>

【調査結果の活用例】

○街路樹の調査

どのような街路樹があれば良いと思うかを調査した結果

「桜など季節の花が咲く街路樹」と「夏に涼しい緑陰提供ができる街路樹」
が特に高かった。

【活用例】「江戸川区街路樹指針新しい街路樹デザイン」の改定に活用しています。

○デジタル化の調査

デジタル化に関して、どのような取り組みを推進してほしいかを調査した結果

「税金や手数料などの支払いのキャッシュレス化」と「行政手続のオンライン化」
が特に高かった。

【活用例】窓口におけるキャッシュレス化・各種申請のオンライン化を推進しています。

【お問い合わせ】

調査受託事業者・回答方法のお問い合わせ 株式会社ケー・デー・シー 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-2-12 電話：03-5733-5111 (受付時間：平日 10：00～17：00)	調査主体・調査内容のお問い合わせ 江戸川区 SDGs 推進部広報課区政案内係 〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1 電話：03-5662-6168（直通） (受付時間：平日 8：30～17：00)
---	--

【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ) <n=1,760>

1	1年未満	2.7%	3	6年以上11年未満	7.2	5	21年以上31年未満	16.0
2	1年以上6年未満	11.4	4	11年以上21年未満	15.5	6	31年以上	46.3

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ) <n=1,760>

1	ずっと住み続けたい	47.6%	3	区外に転出したい	3.4
2	当分の間は住み続けたい	37.6	4	わからない	10.1

問3 あなたは、江戸川区に愛着や親しみを感ずりますか。(○は1つ) <n=1,760>

1	感じている	55.7%	3	あまり感じていない	7.0
2	やや感じている	33.8	4	感じていない	1.9

【江戸川区の現況について】

問4 ①～⑱の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。

(それぞれ○は1つずつ) <n=1,760> (%)

項目	評価	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
①買い物の便		38.4	25.5	23.6	8.5	2.3	0.3
②交通の便		30.9	26.3	22.2	13.2	5.4	0.2
③道路・歩道の整備		21.0	25.0	35.7	11.6	4.3	0.5
④公園・水辺の整備		34.5	28.9	27.7	4.5	1.5	1.3
⑤緑化の推進		31.4	27.3	32.8	3.9	0.9	1.9
⑥街の景観		17.4	21.0	43.9	10.7	3.6	1.0
⑦街のバリアフリー		8.4	15.5	44.3	16.7	5.7	7.1
⑧ごみの収集		31.6	24.0	34.3	6.0	1.9	0.6
⑨リサイクルの推進		16.1	19.4	48.4	5.9	1.3	6.9
⑩地域の治安・安全性		10.6	21.9	41.1	16.7	6.5	1.5
⑪災害への備え		7.5	14.9	43.1	18.2	6.5	8.0
⑫近所づきあい		7.9	11.5	59.8	8.1	3.2	7.7
⑬文化施設の充実度		11.9	19.8	45.6	10.9	2.6	6.8
⑭スポーツ施設の充実度		11.8	21.5	43.9	9.6	2.4	8.4
⑮熟年者の生活環境		8.1	14.9	42.8	10.1	3.1	19.0
⑯子育て環境		15.5	26.8	33.5	4.1	1.4	16.0
⑰健康相談・健康診査		13.6	22.8	46.3	4.4	2.0	8.9
⑱病院・診療所の充実度		17.1	26.5	37.5	11.4	3.5	1.9
⑲総合的な満足度		16.0	40.5	35.2	5.3	0.6	

【広報と情報化について】

問5 あなたは、江戸川区からの情報全般をどのような手段(媒体)で入手していますか。(○はいくつでも)

<n=1,760>

1 広報誌(広報えどがわ)紙版	50.7%	11 テレビ、ラジオ	8.5
2 広報誌(広報えどがわ)デジタル版	5.4	12 区公式以外のWebサイト・SNS	7.0
3 暮らしの便利帳	16.2	13 町内・自治会回覧からの資料	23.5
4 区公式ホームページ	24.0	14 チラシ、パンフレット	10.9
5 区公式SNS	5.9	15 新聞、雑誌、コミュニティペーパー	11.6
6 えどがわメールニュース	3.4	16 親族、友人、知人に聞く	22.5
7 広報ビデオ(えどがわ区民ニュース)	3.6	17 その他()	1.2
8 区の広報板(ポスター)	11.2	18 情報を得る手段がない	1.4
9 J:COM江戸川	4.8	19 特に情報を入手していない	16.3
10 FMえどがわ	1.9		

【SDGsについて】

問6 あなたが、生活の中で日ごろから取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。(○はいくつでも)

<n=1,760>

1 食品ロスを防ぐ(必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど)	65.2%
2 健康的な生活を送る(健康的な食事をする、運動を心がける、十分な睡眠をとるなど)	56.9
3 家のことを家族で分担する(家事の偏りを減らす、育休や介護休暇を活用するなど)	22.5
4 電気も水も大切に使う(見ていないテレビを消す、食器や手を洗うときに水をこまめに止めるなど)	57.7
5 最新の科学や技術を活用する(キャッシュレス決済を使う、オンラインで買い物をするなど)	37.0
6 多様性への理解を深める(外国語・手話・点字などに触れる、多様性に関する記事を見るなど)	15.8
7 地域の人たちと絆を深める(地域のおまつりや清掃活動に参加するなど)	11.3
8 リサイクルをする(服やペットボトルを資源回収に出す、リサイクルショップを活用するなど)	50.5
9 みどりを大切にする、プラごみを減らす(家庭菜園を楽しむ、詰め替え製品を選ぶなど)	30.9
10 江戸川区のことを知る(区内の公園で自然に触れる、区の伝統工芸品を知るなど)	14.7
11 上記以外の行動をしている()	1.5
12 何もしていない	6.1

【共生社会について】

問7 江戸川区には、子どもから高齢者、障害や病気のある方、外国人などさまざまな方々が暮らしています。そうした誰もが、互いの違いを認め合い、支え合いながら自分らしく暮らせる社会を「共生社会」といいます。あなたは、「共生社会」を知っていますか。(○は1つ)

<n=1,760>

1 知っている	33.2%	2 言葉だけは聞いたことがある	39.8	3 知らない	25.5
---------	-------	-----------------	------	--------	------

【人権について】

問8 日本における人権課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。(〇はいくつでも) $n=1,760$

1 女性	37.9%	10 犯罪被害者やその家族	15.1
2 こども	40.5	11 性的マイノリティ (LGBTQなど)	15.6
3 高齢者	44.8	12 刑を終えて出所した人やその家族	7.5
4 障害者	36.5	13 路上生活者 (ホームレス)	11.1
5 部落差別 (同和問題)	8.6	14 インターネット上の誹謗中傷などによる人権侵害	36.4
6 アイヌの人々	7.2	15 北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族	18.3
7 外国人	20.0	16 人身取引 (性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)	12.2
8 HIV、新型コロナウイルス感染症などの感染者・医療従事者やその家族	12.4	17 災害に伴う人権問題	19.9
9 ハンセン病患者・元患者やその家族	6.4	18 その他 ()	0.9
		19 特にな	10.7

【文化芸術活動について】

問9 あなたは、この1年間にどのような文化芸術活動や鑑賞 (テレビ・DVDなどによる鑑賞を除く) をしましたか。(〇はいくつでも) $n=1,760$

1 美術 (絵画、彫刻、写真、書、工芸、盆栽、建築など) の製作または鑑賞	30.7%
2 文芸 (小説、俳句、短歌、随筆など) の製作または鑑賞	16.0
3 音楽 (歌唱、楽器の演奏、作曲など) の活動または鑑賞	36.7
4 ミュージカル、演劇などの活動または鑑賞	15.3
5 舞踊 (バレエ、ダンス、日本舞踊など) の活動または鑑賞	7.2
6 伝統芸能・演芸 (歌舞伎、能楽、民謡、落語など) の活動または鑑賞	7.5
7 メディア芸術 (映画、アニメーションなど) の製作または鑑賞	36.0
8 華道、茶道、着物の着付けなどの活動	3.0
9 囲碁、将棋などの活動	2.0
10 特にな	31.8

問10 問9で「1」から「9」と答えた方にお尋ねします。

あなたは、この1年間に文化芸術活動や鑑賞 (テレビ・DVDなどによる鑑賞を除く) をどのくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ) $n=1,162$

1 週3日以上	7.7%	4 月1日～3日	19.0
2 週2日	3.5	5 3か月1～2日	16.5
3 週1日	8.3	6 年1～3日	30.4

問11 問9で「10」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、この1年間に文化芸術活動や鑑賞 (テレビ・DVDなどによる鑑賞を除く) をしなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも) $n=559$

1 時間に余裕がない	43.8%	6 活動に関する情報が少ない	19.7
2 学ぶための教室や講習が少ない	9.3	7 一緒に活動する仲間が見つからない	17.9
3 魅力的な活動、イベントが少ない	19.5	8 文化芸術活動や鑑賞以外の活動 (スポーツ・ボランティアなど) をしているため	10.0
4 施設や教室が近くにない	10.2		
5 受講料や参加費、鑑賞料、活動する施設の利用料金が高い	14.1		

【自転車の利用について】

問12 令和5年4月から、すべての年代で自転車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

あなたは、自転車を利用するときに、自転車用ヘルメットを着用していますか。(〇はいくつでも)

<n=1,760>

1	いつも着用している	3.4%	5	ヘルメットを持っているが、着用して	6.3
2	通勤・通学時に着用している	2.2		いない	
3	買い物時に着用している	2.4	6	自転車を利用することがあるが、ヘル	49.5
4	サイクリング等の運動時に着用している	1.5		メットを持っていない	
			7	自転車を利用しない	36.1

問13 東京都では、令和2年4月より自転車利用者自らに自転車損害賠償保険などへの加入が義務化となりました。あなたが加入している自転車損害賠償保険の種類をお答えください。(〇はいくつでも)

<n=1,760>

1	自転車利用者向けの保険	23.4%	5	その他()	1.5
2	傷害保険などの特約	20.9	6	加入していない	12.6
3	TSマーク付帯保険	2.8	7	わからない	10.6
4	区民交通傷害保険	1.5	8	自転車に乗らない	30.9

【交通安全について】

問14 あなたは、この1年間で道路を歩いているときに、危険な経験をしたことはありますか。

(〇はいくつでも) <n=1,760>

1	他の歩行者と接触した、または接触しそうになった	19.1%
2	自転車と接触した、または接触しそうになった	39.8
3	自動車と接触した、または接触しそうになった	10.3
4	バイクと接触した、または接触しそうになった	3.2
5	電動キックボードと接触した、または接触しそうになった	5.9
6	ない	44.0

【脱炭素化について】

問15 地球温暖化を防ぐためには、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの活用や省エネ等の脱炭素化を進める必要があります。あなたが、導入・検討した取り組みや関心がある取り組みをお答えください。(〇はいくつでも) <n=1,760>

1	太陽光発電・蓄電池の設置	25.6%	5	LED照明や省エネ家電への買い替え	62.7
2	再生可能エネルギー由来電力への切り替え	11.1	6	高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入	15.9
3	電気自動車（EV）への買い替えと再生可能エネルギーでの充電	7.8	7	住宅の高断熱化（ZEHなど）	12.8
4	持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用	19.2	8	関心があるものはない	16.5

問16 問15の取り組みについて、実際に導入するときの課題は何ですか。(〇はいくつでも) <n=1,760>

項目 \ 評価	初期費用	導入するときの手間	相談する場所がわからない	導入後の効果がわからない	特になし
①太陽光発電・蓄電池の設置	53.0	25.5	12.5	13.8	13.4
②再生可能エネルギー由来電力への切り替え	28.6	19.7	16.7	16.2	17.0
③電気自動車（EV）への買い替えと再生可能エネルギーでの充電	38.1	12.8	6.1	10.2	22.1
④持ち運びできる太陽光パネル・ポータブル蓄電池の使用	34.7	11.6	10.9	12.2	22.4
⑤LED照明や省エネ家電への買い替え	33.9	12.9	4.5	5.2	36.3
⑥高効率給湯（エコキュートなど）、高断熱窓、エネファームの導入	42.0	15.7	8.8	9.0	19.3
⑦住宅の高断熱化（ZEHなど）	40.5	16.3	10.6	8.9	18.8

【災害対策について】

問17 江戸川区は海に面した低地帯で、陸域の7割が満潮位以下のゼロメートル地帯です。洪水や高潮などにより大規模水害が発生すると広範囲にわたって浸水し、水が引くまでに2週間以上かかることも考えられます。

超大型台風の接近など大規模水害の発生が予測されるときに、あなたは江戸川区外の浸水しない地域にどのタイミングで避難できると思いますか。(〇は1つ) <n=1,760>

1	48時間以上前に区外の浸水しない地域に避難できると思う	8.1%
2	24時間前であれば区外の浸水しない地域に避難できると思う	20.7
3	区外の浸水しない地域に避難したいが、直前まで判断できないと思う	36.6
4	大規模水害が発生する前に避難はできないと思う	17.1
5	区外への避難はしない	13.6

問18 問17で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難しない（できない）理由について、あなたはどのようにお考えですか。

理由ごとにお答えください。（それぞれ○は1つずつ）

<n=541> (%)

広域避難しない理由	考え	思う	どちらとも いえない	思わない
①仕事や学校がある		29.9	14.4	32.5
②家や家財から長く離れることが心配		40.3	19.0	19.4
③広域避難する先の当てがない		62.3	11.6	11.1
④遠くまでの避難が困難な家族がいる		24.6	16.3	37.0
⑤ペットなどを飼っている		18.3	5.2	54.0
⑥自宅が一番安全だと思う		35.7	25.1	24.8
⑦近隣の高層建物等へ避難すれば十分		27.9	32.0	20.7

問19 あなたは、地震が起こったときのために、日ごろから備えをしていますか。

項目ごとにお答えください。（それぞれ○は1つずつ）

<n=1,760> (%)

項目	該当	はい	いいえ
《自分自身の備え》			
①消火器の使い方を知っている		68.2	26.8
②近所の消火器がある場所を知っている		46.1	48.2
③自宅に3日分以上の物資を備蓄している		50.6	45.0
④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている		49.5	44.0
《家庭での備え》			
⑤家具を固定したり、食器棚のものが飛び出さないように留め金具などをつけている		42.4	52.3
⑥窓や食器棚のガラス面に飛散防止フィルムを貼っている		11.5	82.5
⑦感震ブレーカーを設置している		29.6	64.3
⑧家庭で避難場所や連絡方法を確認している		44.0	50.2
《地域の中での備え》			
⑨町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある		21.1	74.6
⑩近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある		26.4	68.9

問20 江戸川区には「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度があります。この制度は、江東5区において広域避難情報を発令した際、避難場所として区外の旅館やホテルなどの宿泊施設を利用された方に、最大9,000円(1泊一律3,000円、3泊までを限度)を補助するものです。

「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度についてお答えください。(〇は1つ)

<n=1,760>

1	知っていたし、利用したい	3.7%	3	知っていたが、利用しない	1.7
2	知らなかったが、利用したい	79.5	4	知らなかったし、利用しない	12.7

問21 問20で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

上記制度を利用しない理由は何ですか。(〇は1つ)

<n=253>

1	広域避難先を宿泊施設以外(親戚・友人宅など)で考えている	17.4%
2	行政が確保する広域避難先に避難したい	12.6
3	広域避難をどこにするかまだ決めていない	20.9
4	自宅を離れたくない	25.3
5	広域避難を検討していない	19.0

問22 あなたは、江戸川区が発信する災害情報をどのような手段(媒体)で入手しますか。(〇はいくつでも)

<n=1,760>

1	防災アプリ	28.1%	10	Lアラート	16.4
2	区ホームページ	31.9	11	FMえどがわ割込放送	1.5
3	区防災ポータル	2.7	12	ヤフー連携	11.7
4	ケーブルテレビ告知端末	2.3	13	広報車	14.1
5	区公式LINE	4.5	14	エリアメール・緊急速報メール	23.6
6	防災行政無線	19.0	15	J:COMケーブルテレビL字放送	3.1
7	NHKデータ放送	13.8	16	緊急告知FMラジオ	4.0
8	えどがわメールニュース	4.4	17	防災放送確認ダイヤル	1.4
9	区公式X(旧ツイッター)	6.7			

【治安について】

問23 あなたは、お住まいの地域の治安について、どのように感じていますか。(〇は1つ) <n=1,760>

1	良い	13.4%	3	どちらかといえば悪い	20.9
2	どちらかといえば良い	47.2	4	悪い	4.3
			5	わからない	12.5

問24 問23で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

治安が悪いと感じる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<n=444>

1	タバコのポイ捨て・ごみの不法投棄	70.5%	8	反社会的勢力による犯罪・迷惑行為	7.4
2	公共の場所での迷惑行為(喫煙、けんか、客引きなど)	51.6	9	窃盗(自転車盗、空き巣など)	30.9
3	交通違反(交通事故、危険運転など)	41.7	10	子どもへの犯罪(いたづら、連れ去りなど)	10.8
4	外国人とのトラブル	20.5	11	性犯罪(わいせつ行為など)	6.8
5	不審者(声かけ、ストーカーなど)	28.8	12	凶悪犯罪(強盗、殺人など)	6.1
6	詐欺(オレオレ詐欺、悪質商法など)	27.0	13	その他()	10.4
7	未成年者の非行(喫煙、飲酒、深夜はいかいなど)	26.8			

【地域活動の参加状況について】

問25 江戸川区は、これまでも地域のみなさんや町会・自治会など多くの団体の協力・協働により、さまざまな地域課題に取り組んできました。

災害時などには、地域のみなさんどうしのつながりや団体相互の協力・協働が大変大きな力となりますが、そのためには日頃から声を掛け合えるような間柄になることがとても大切なことです。

あなたは、現在地域での活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも) <n=1,760>

1 町会・自治会	29.9%	8 文化・芸能団体	1.6
2 PTA	5.7	9 NPO・NGO	0.2
3 子ども会	2.2	10 ボランティア	2.1
4 高齢者団体(くすのきクラブなど)・障害者団体	4.0	11 趣味	4.9
5 防災団体(消防団など)・防犯団体	0.9	12 その他()	1.3
6 環境団体	0.4	13 参加していない	57.0
7 スポーツ団体	3.3		

問26 問25で「13」と答えた方にお尋ねします。

参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも) <n=1,004>

1 健康や体力に不安がある	17.4%	5 経済的負担がある	9.1
2 仕事や家事(育児・介護など)が忙しい	47.5	6 その他()	11.9
3 地域の人と関わりたくない	8.3		
4 興味がない	31.9		

問27 問25で「13」と答えた方にお尋ねします。

きっかけがあれば参加したいと思いますか。(〇は1つ) <n=1,004>

1 思う	10.2%
2 まあ思う	34.2
3 あまり思わない	37.3
4 思わない	16.3

問28 あなたは、今後参加したい活動・団体はありますか。(〇はいくつでも)

<n=1,760>

1 町会・自治会	12.2%	8 文化・芸能団体	7.9
2 PTA	1.5	9 NPO・NGO	3.2
3 子ども会	3.6	10 ボランティア	13.4
4 高齢者団体(くすのきクラブなど)・障害者団体	5.9	11 趣味	23.1
5 防災団体(消防団など)・防犯団体	2.7	12 その他()	1.9
6 環境団体	3.3	13 参加したい活動・団体はない	36.9
7 スポーツ団体	8.9		

【地域力の醸成について】

問29 区、町会・自治会、NP0などの団体が連携して取り組んでほしいことをお答えください。

(○はいくつでも) <n=1,760>

1 防災に関する活動（防災訓練・避難訓練・災害要配慮者支援など）	42.1%	5 美化活動（道路・公園の清掃活動・リサイクル活動など）	32.2
2 防犯に関する活動（防犯パトロールなど）	43.1	6 高齢者の見守り活動（なごみの家との協力含む）	25.7
3 まつり（祭事含む）や盆踊りなどの地域の賑わいづくり	28.8	7 子どもに関する活動（子ども会、登下校の見守りなど）	28.5
4 地域スポーツ活動への支援（運動会など）	10.2	8 障害者や外国人へのサポート活動	13.6
		9 健康に関する活動（健康相談など）	20.1
		10 その他（ ）	1.8

【困りごとや悩みについて】

問30 現在、あなたは日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。(○は1つ)

<n=1,760>

1 ある	43.9%
2 ない	52.0

問31 問30で「1」と答えた方にお尋ねします。

あなたの困りごとや悩みはどのようなことですか。(○はいくつでも)

<n=773>

1 経済的なこと	55.4%	6 家族以外との人間関係	9.4
2 健康のこと	43.5	7 住まいや生活環境	33.6
3 子育て・介護のこと	28.1	8 特にない	0.6
4 仕事に関すること	27.4	9 その他（ ）	6.5
5 家族との人間関係	11.9		

問32 問30で「1」と答えた方にお尋ねします。

あなたは、困りごとや悩みを誰に相談していますか。(○はいくつでも)

<n=773>

1 家族・親戚	53.9%	6 病院・診療所の医師	13.6
2 友人・知人	31.6	7 相談したいがどこに相談したらよいかわからない	8.5
3 近隣の住民	2.8	8 相談する必要はないので誰にも相談してない	5.8
4 職場関係者	11.5	9 相談する人はいない	13.8
5 行政や民間などの相談機関	5.7	10 その他（ ）	1.9

【区政への要望について】

問33 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。(〇は3つまで)

<n=1,760>

1	都市基盤整備（公園整備、道路整備など）	15.5%	15	青少年健全育成	2.2
2	再開発事業	6.8	16	生涯学習	2.3
3	交通網整備	11.5	17	文化・芸術	2.5
4	住宅対策（空き家対策、住宅供給など）	11.8	18	スポーツ振興	3.8
5	震災対策	31.2	19	保健・健康推進・感染症対策	6.1
6	水害対策	36.5	20	中小企業振興	1.6
7	防犯対策	21.8	21	観光施策	1.9
8	環境保全（地球温暖化対策、リサイクルなど）	5.5	22	都市・国際交流	0.6
9	熟年者施策	10.7	23	多文化共生	2.6
10	障害者支援	4.2	24	平和・人権・男女共同参画	0.9
11	ひきこもり支援	1.7	25	行政サービスのデジタル化	4.9
12	低所得者支援	8.6	26	その他（	2.4
13	子育て支援	14.8	27	わからない	5.1
14	学校教育	7.6			

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。(○は1つ) <n=1,760>

1	男性	43.1%	2	女性	55.2	3	その他	0.3
---	----	-------	---	----	------	---	-----	-----

F 2 あなたのご年齢をお知らせください。(○は1つ) <n=1,760>

1	18・19歳	1.6%	4	40～49歳	16.9	7	65～69歳	7.1
2	20～29歳	8.2	5	50～59歳	22.0	8	70～74歳	6.8
3	30～39歳	11.1	6	60～64歳	8.0	9	75歳以上	17.1

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(○は1つ) <n=1,760>

1	自営業者	7.0%	5	家事専業	9.9
2	家族従業(家事手伝い)	1.0	6	学生	2.7
3	勤め(フルタイム)	40.9	7	無職	18.8
4	勤め(パートタイム)	15.3	8	その他()	2.6

F 4 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。(○は1つ) <n=1,760>

1	1人	17.6%	3	3人	24.9	5	5人	5.2
2	2人	30.1	4	4人	18.8	6	6人	1.5
						7	7人以上	0.6

F 4-1 F 4で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」のいずれかと答えた方にお尋ねします。

同居者(本人以外)をお知らせください。(○はいくつでも)

<n=1,427>

1	小学校入学前のお子さん	9.0%	3	16～64歳の方	73.8
2	小・中学生	16.3	4	65歳以上の方	34.5

F 5 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つ) <n=1,760>

1	持ち家(一戸建)	39.8%	6	公営の賃貸住宅	4.6
2	持ち家(共同住宅)	23.4	7	都市再生機構・公社などの賃貸住宅	2.1
3	持ち家(長屋建・その他)	0.5	8	給与住宅(社宅・公務員住宅など)	1.9
4	民営の賃貸住宅(一戸建)	2.3	9	借間	1.6
5	民営の賃貸住宅(共同住宅)	21.8			

F 6 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

町名

丁目

(例)

中央

1

丁目)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和7年8月発行

第38回江戸川区民世論調査

編集・発行／江戸川区SDGs推進部広報課
東京都江戸川区中央1丁目4番1号
電話 03(5662) 6168〔直通〕

集計・分析／株式会社ケー・デー・シー
東京都港区虎ノ門4丁目2番12号
電話 03(5733) 5111



ともに、生きる。
江戸川区